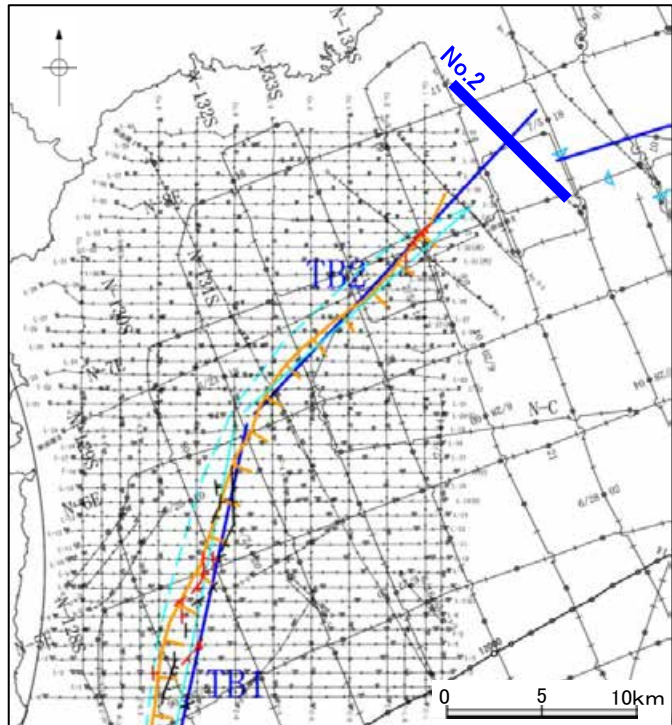
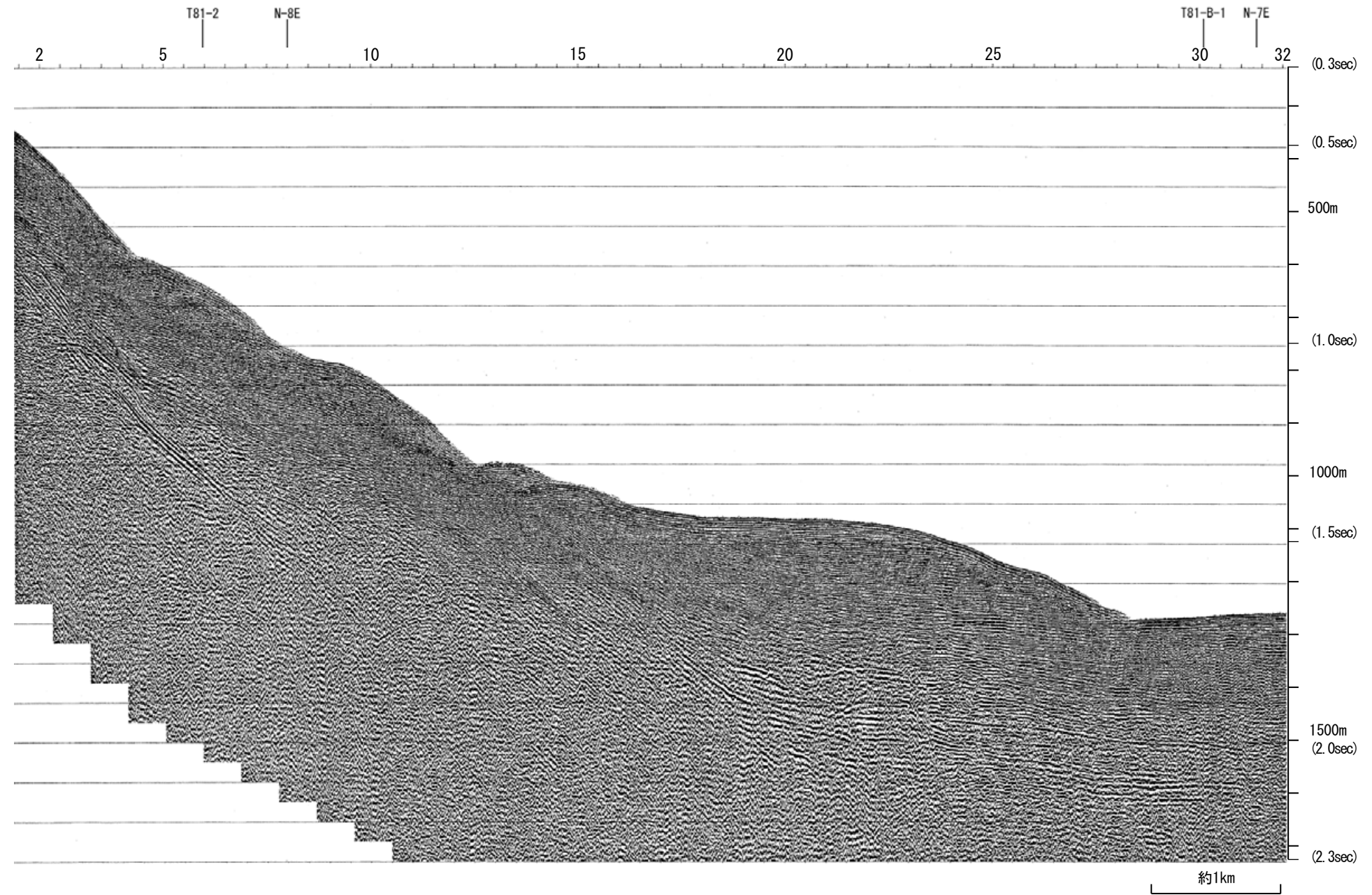


北陸電カスパーカー No.2

←NW

SE→



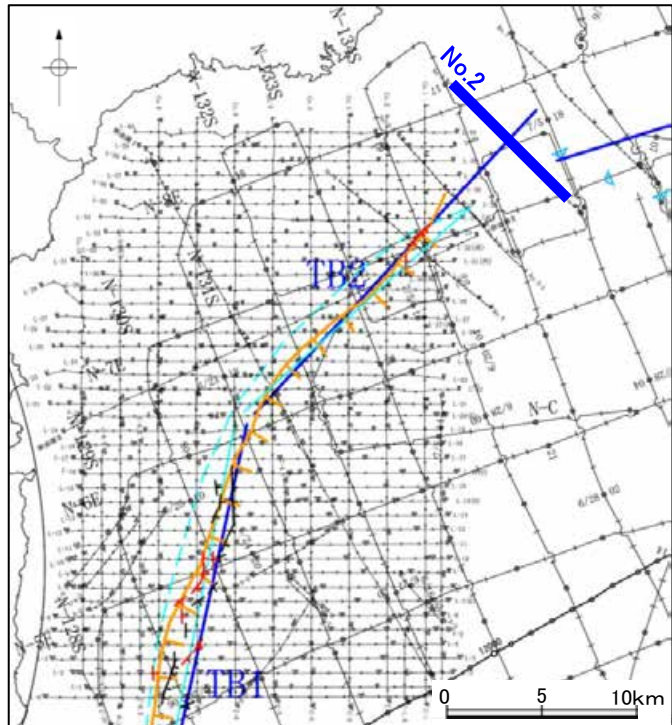
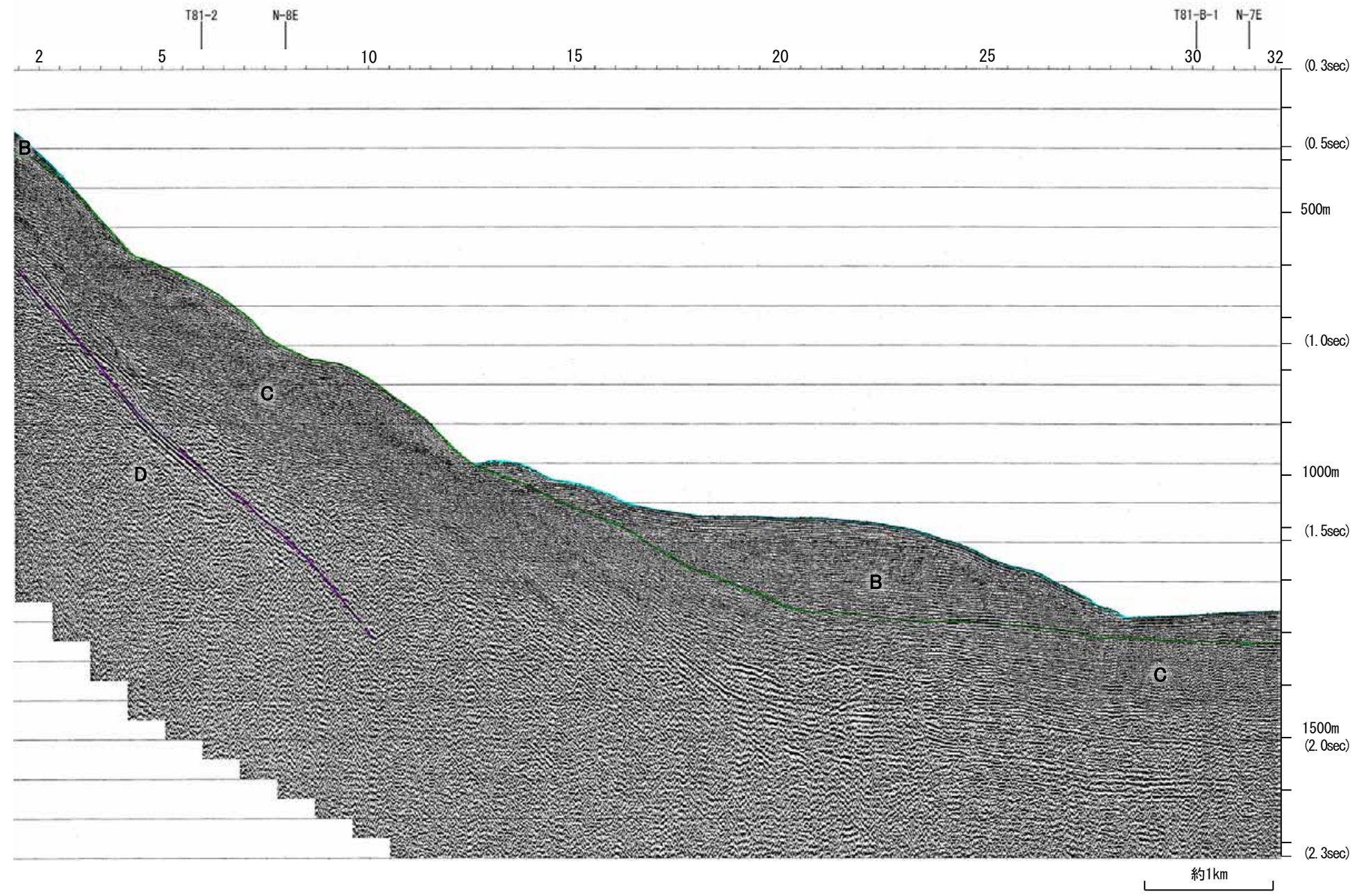
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
更新世	前期	C層	
	鮮新世	D層	
中新世			
古第三紀	D層		
先第三紀			

1:1

北陸電カスパーカー No.2

←NW

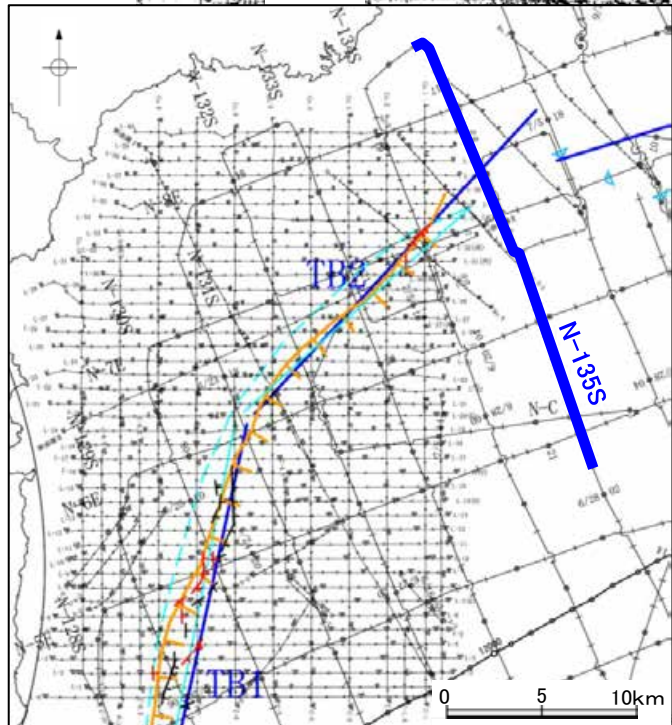
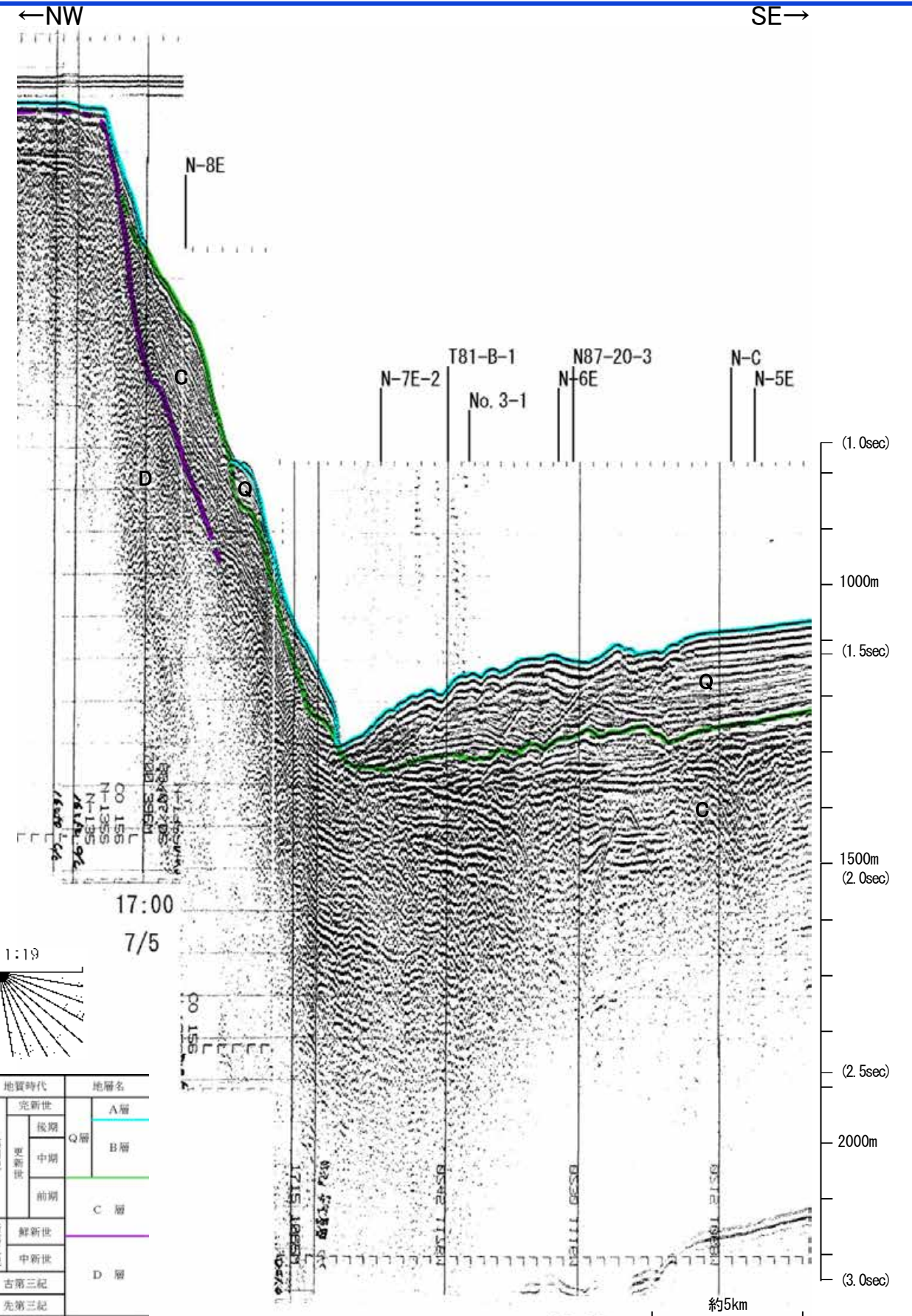
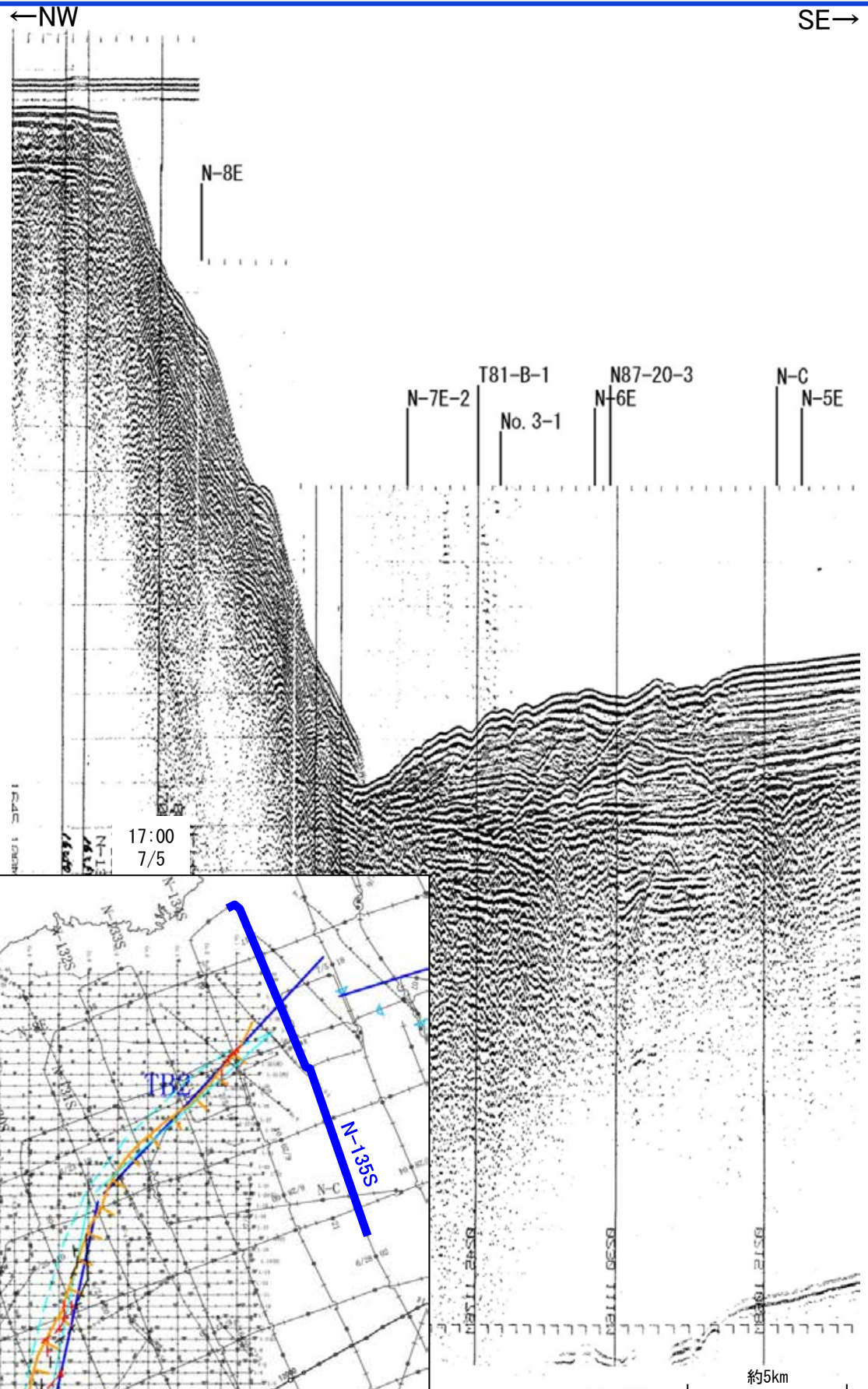
SE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
更新世	前期	C層	
	鮮新世	D層	
中新世			
古第三紀			
先第三紀			

1:1

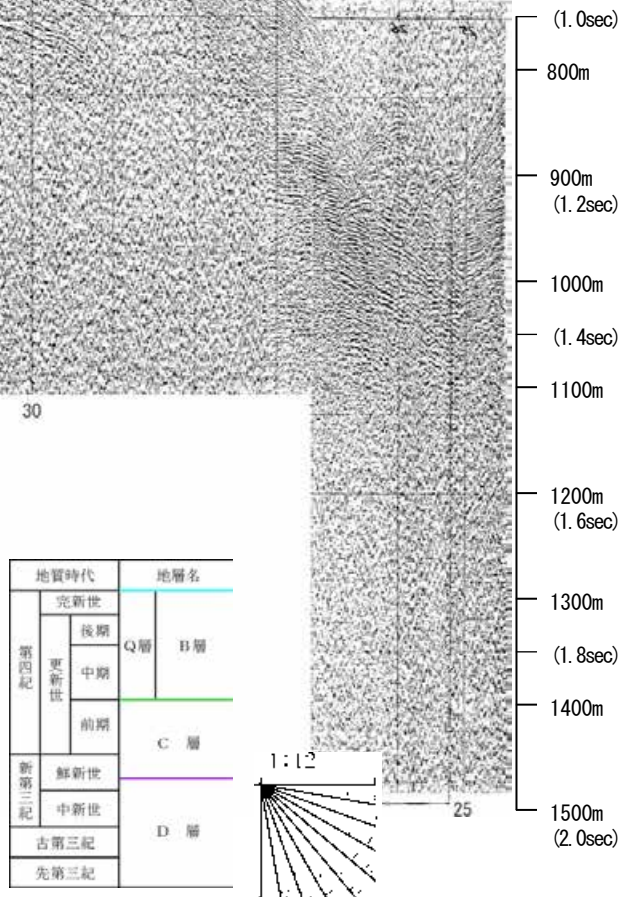
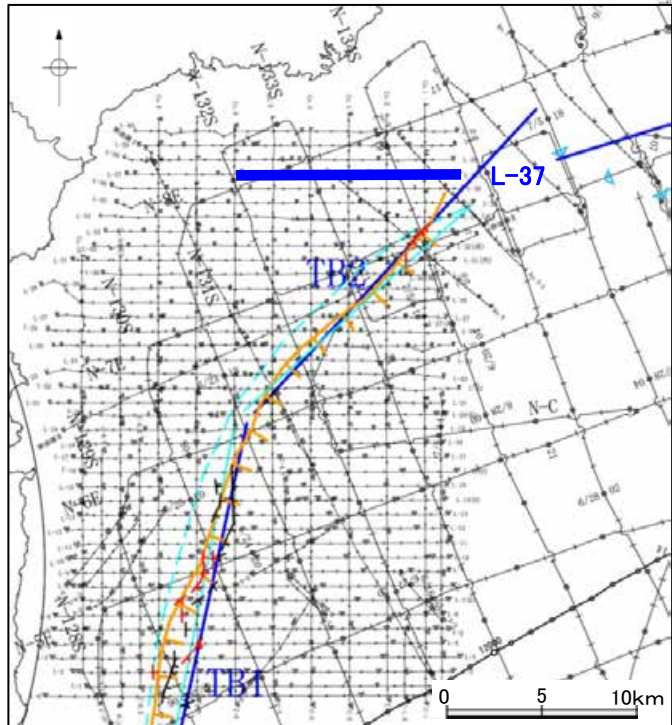
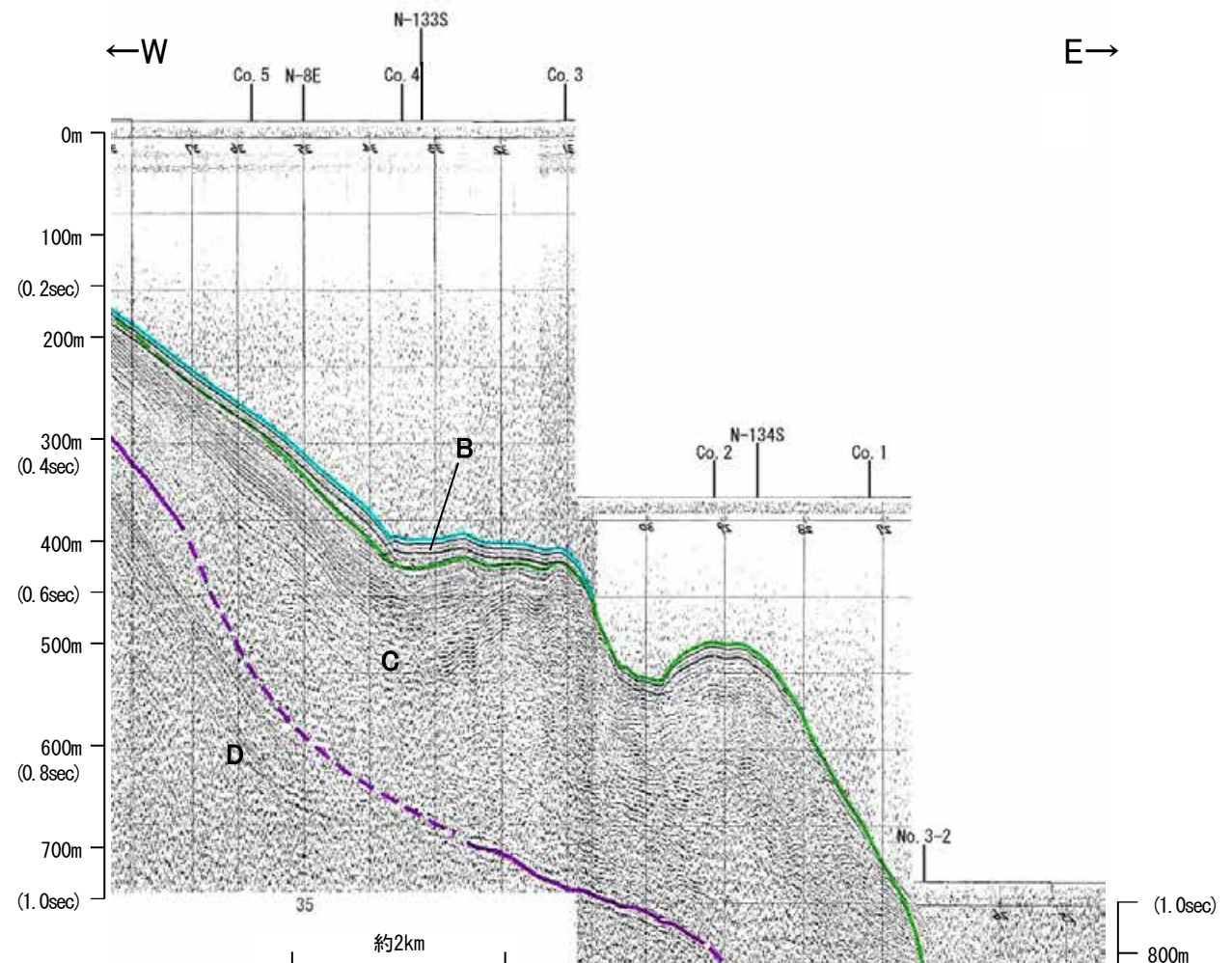
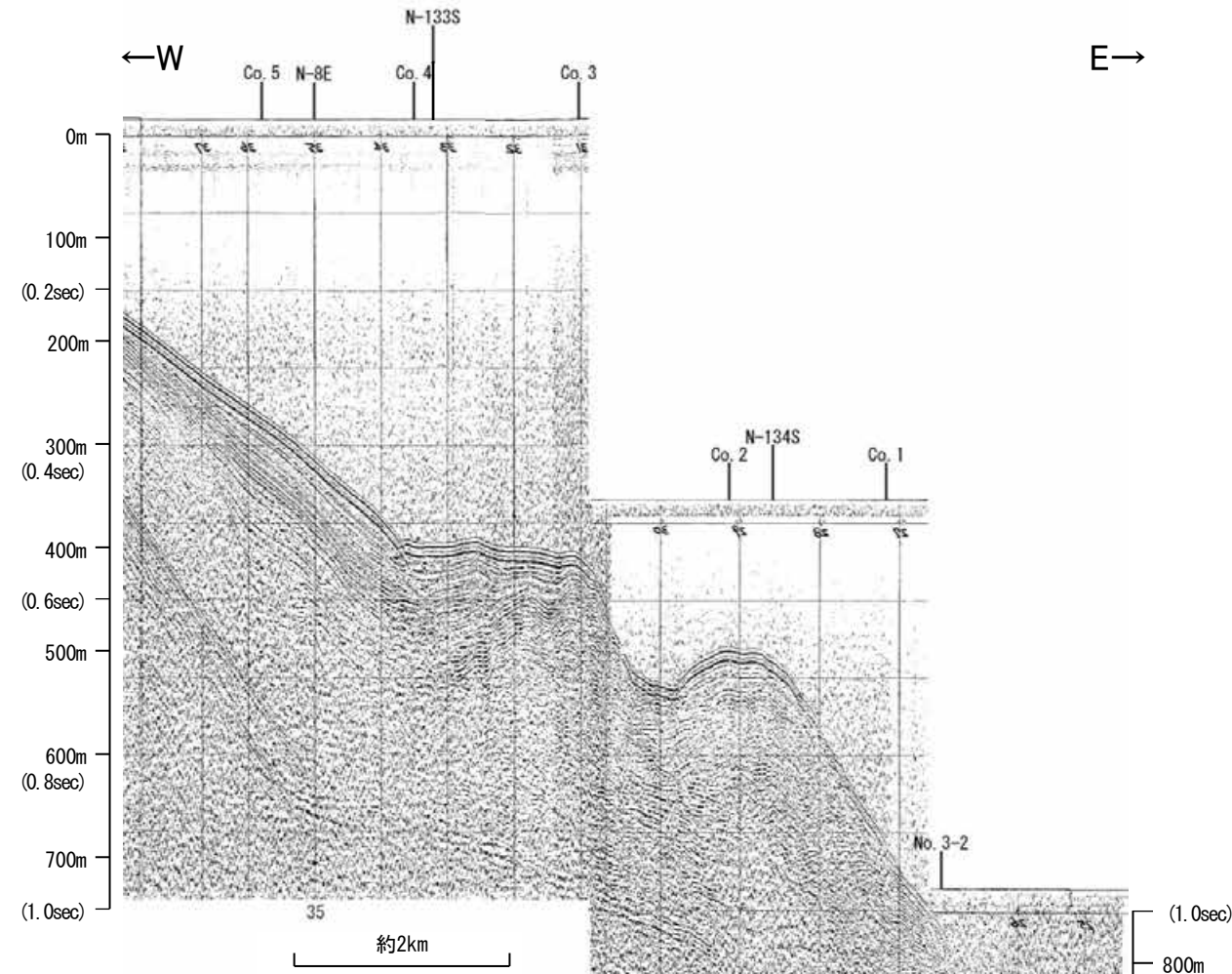
地質調査所エアガン N-135S



地質時代	地層名
第四紀	完新世 A層
	後期 Q層
	中期 B層
第四紀	前期 C層
	鮮新世
第四紀	中新世 D層
古第三紀	
先第三紀	

この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

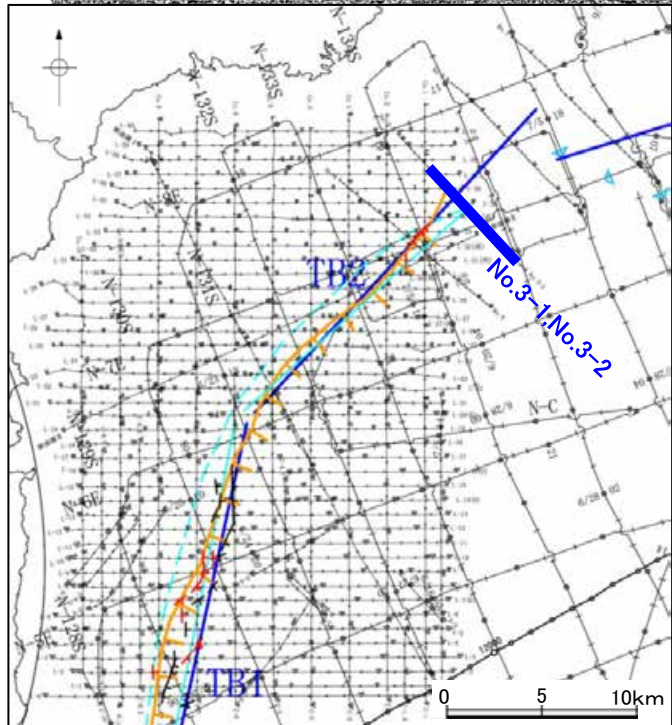
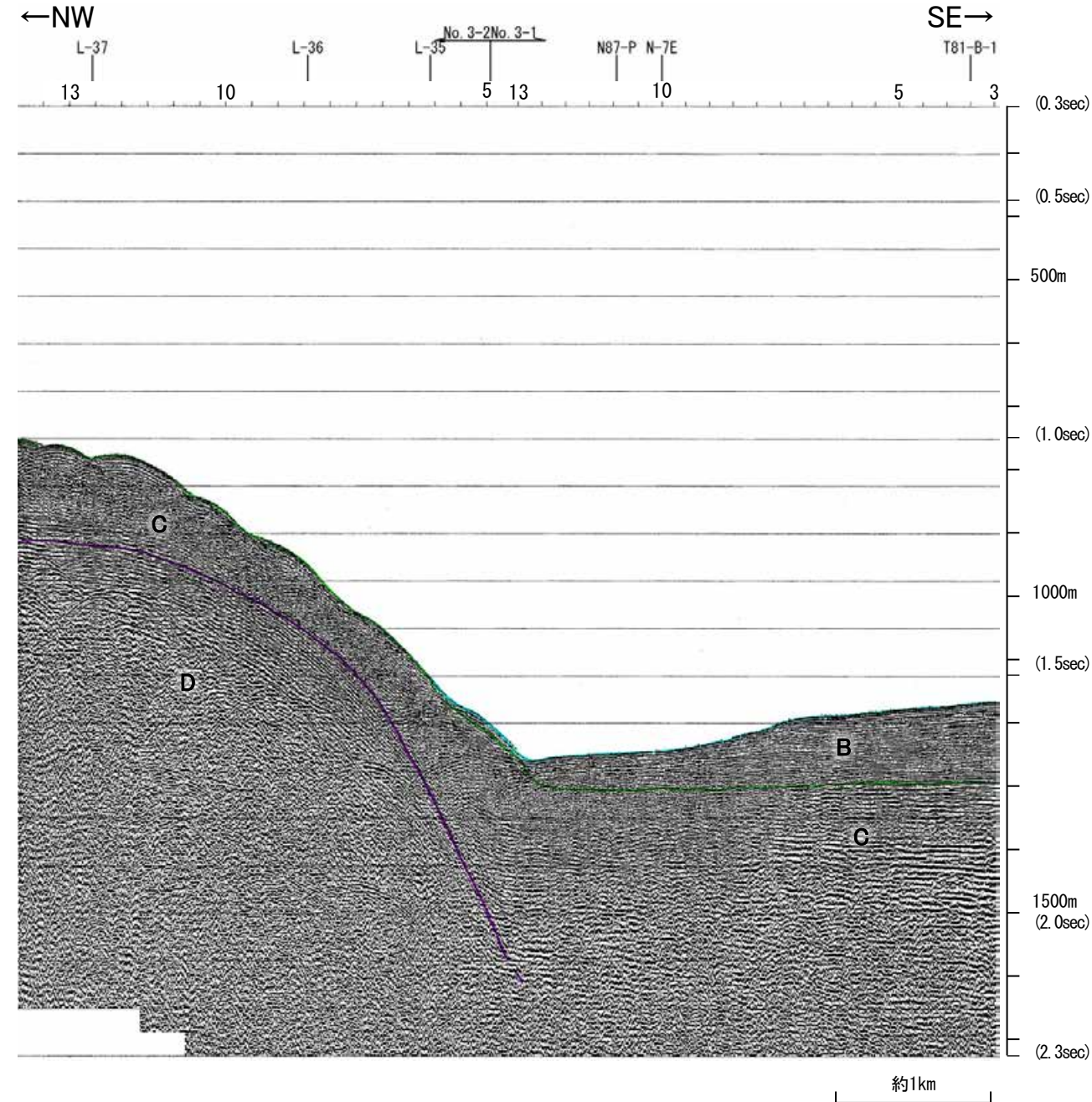
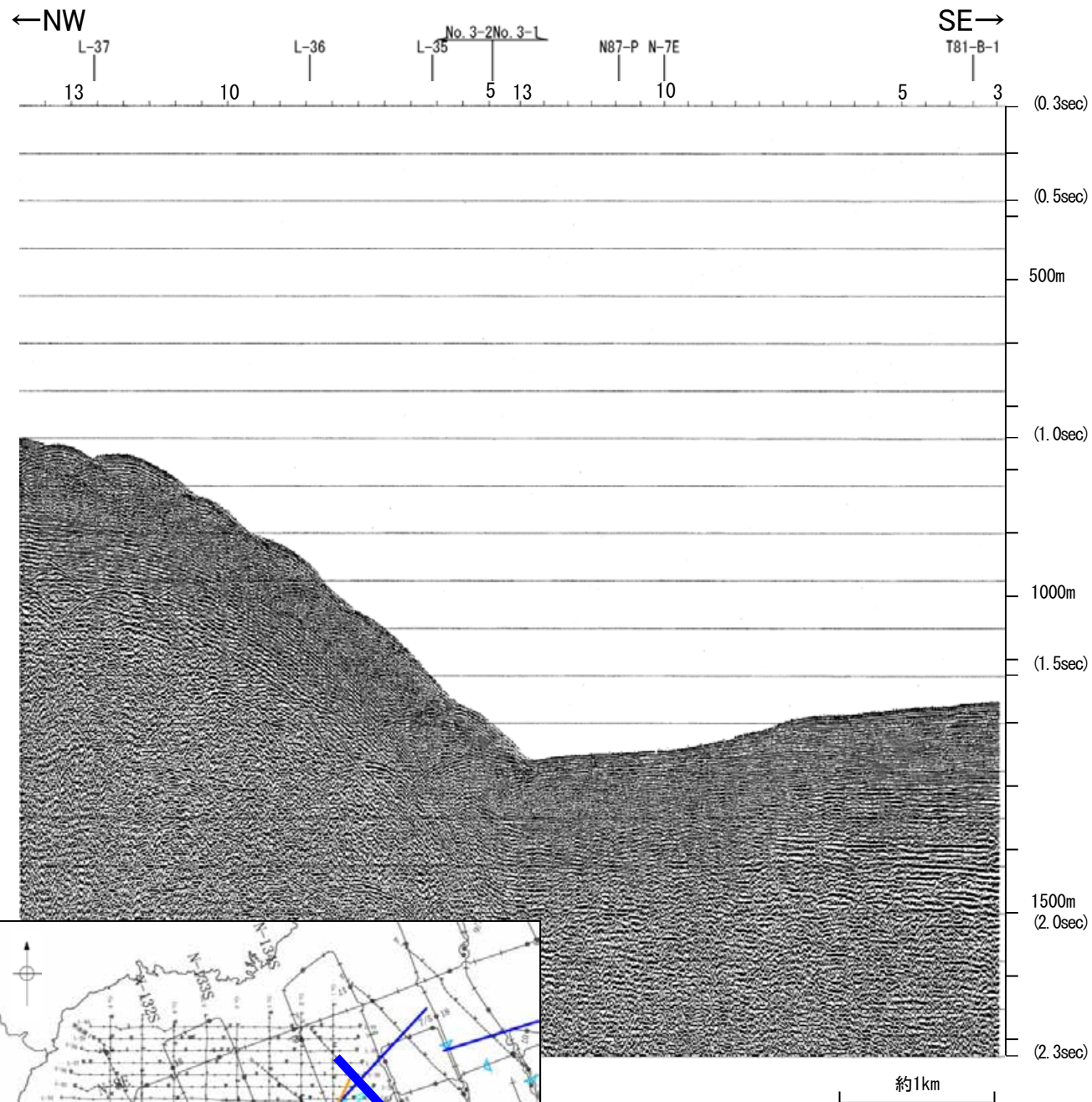
海上保安庁スパーカー L-37



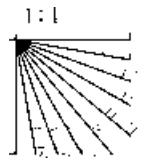
地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期		C層
新第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			

・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

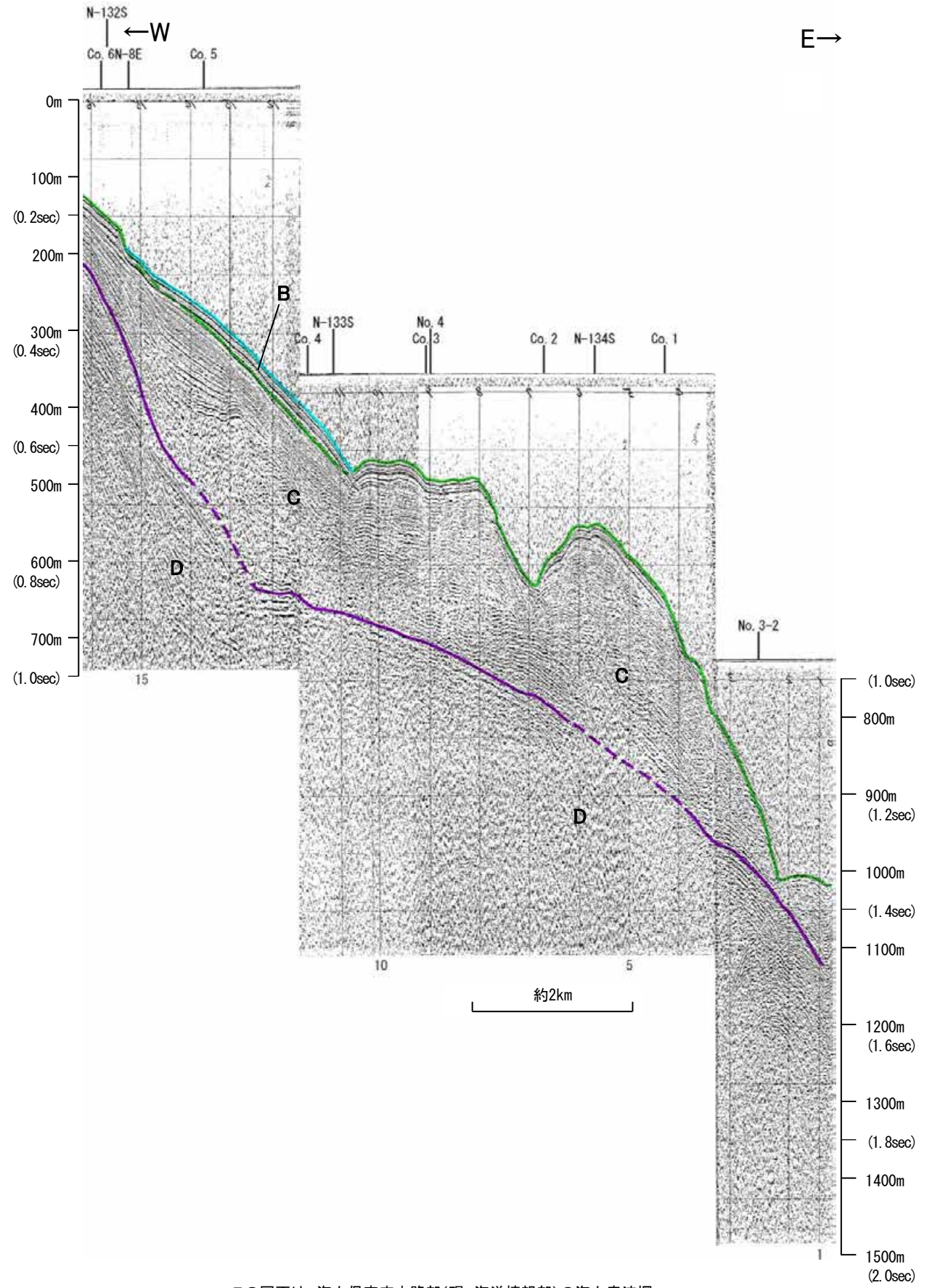
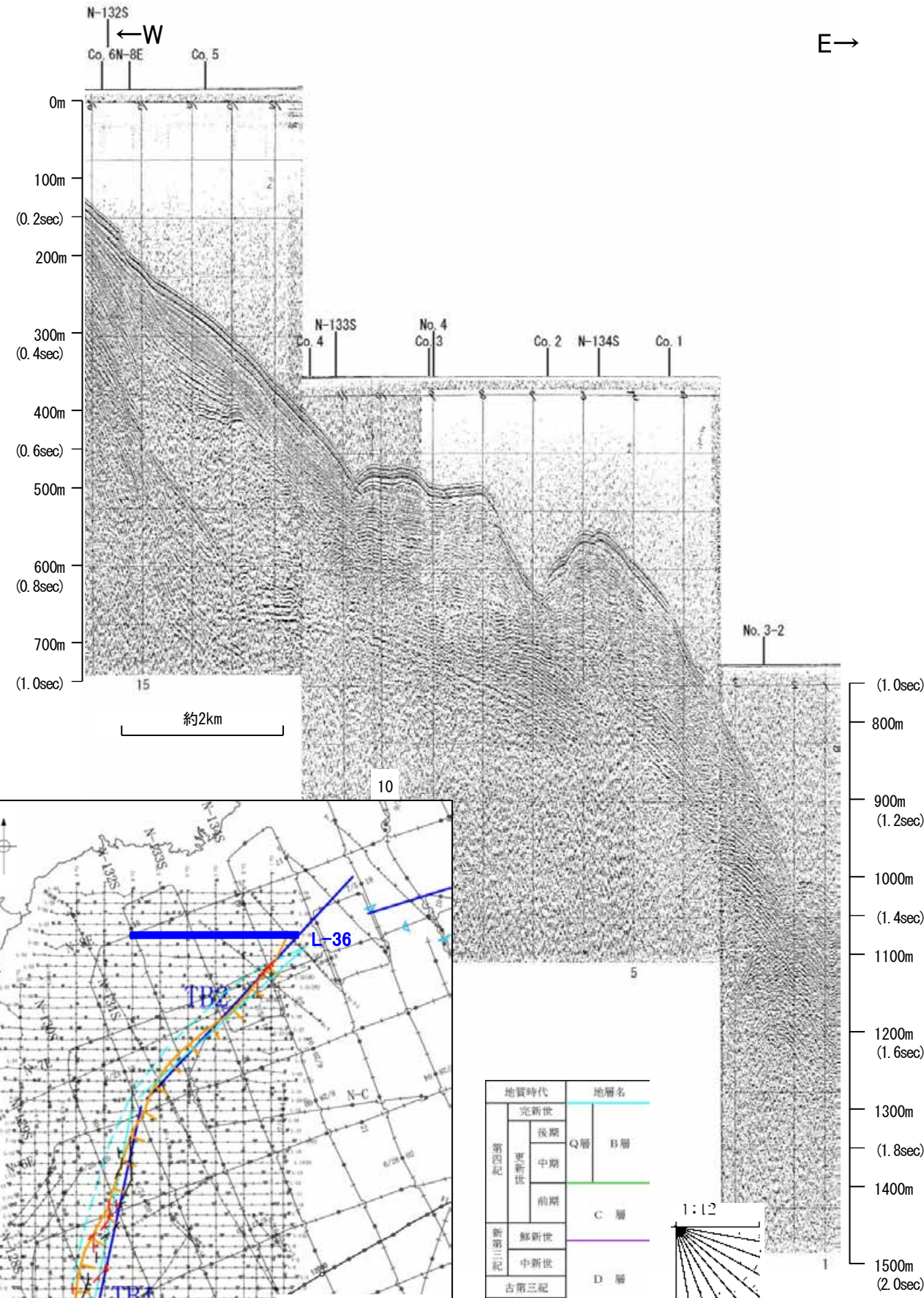
北陸電カスパーカー No.3-1, No.3-2



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期		C層
新第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			

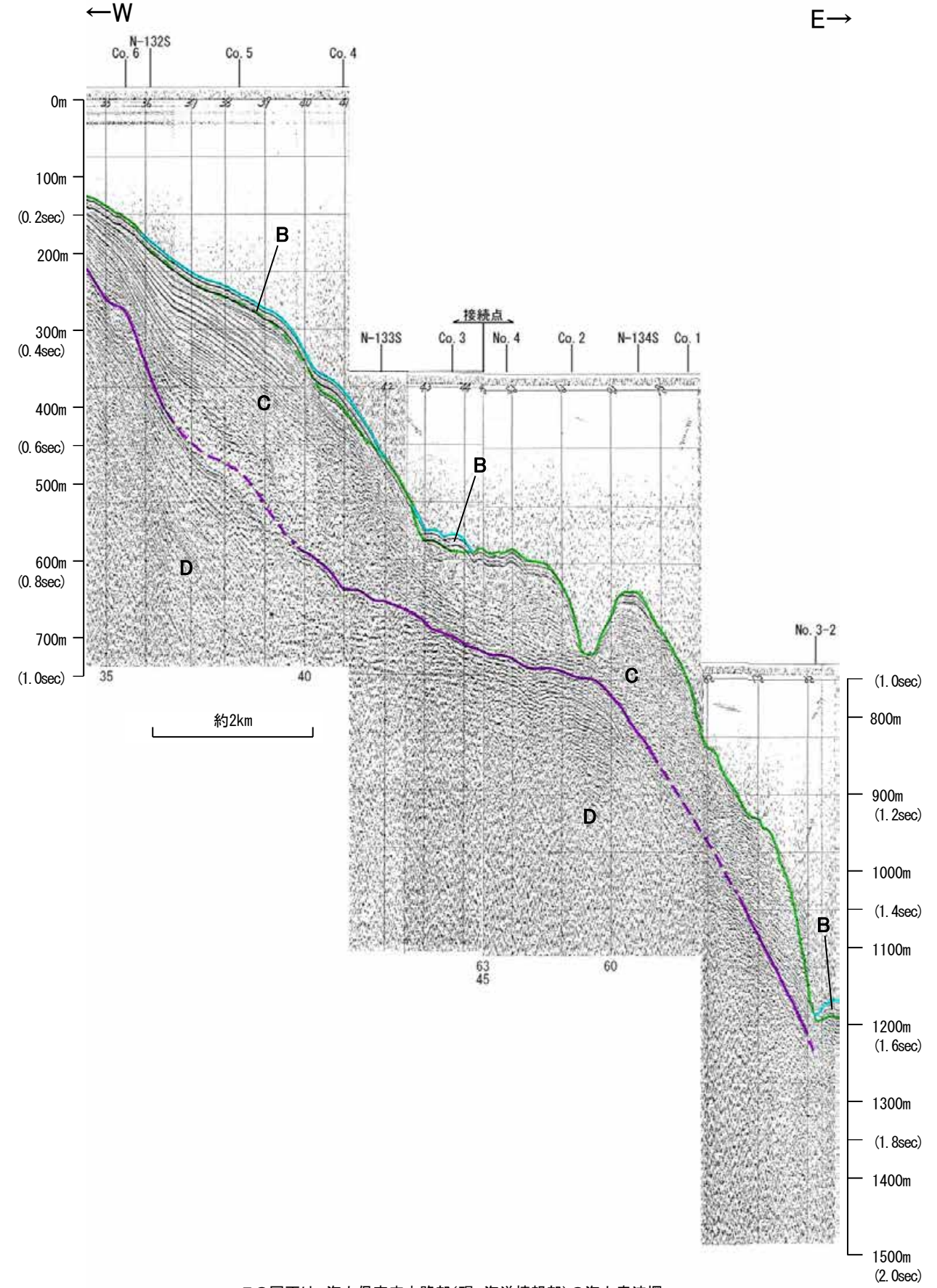
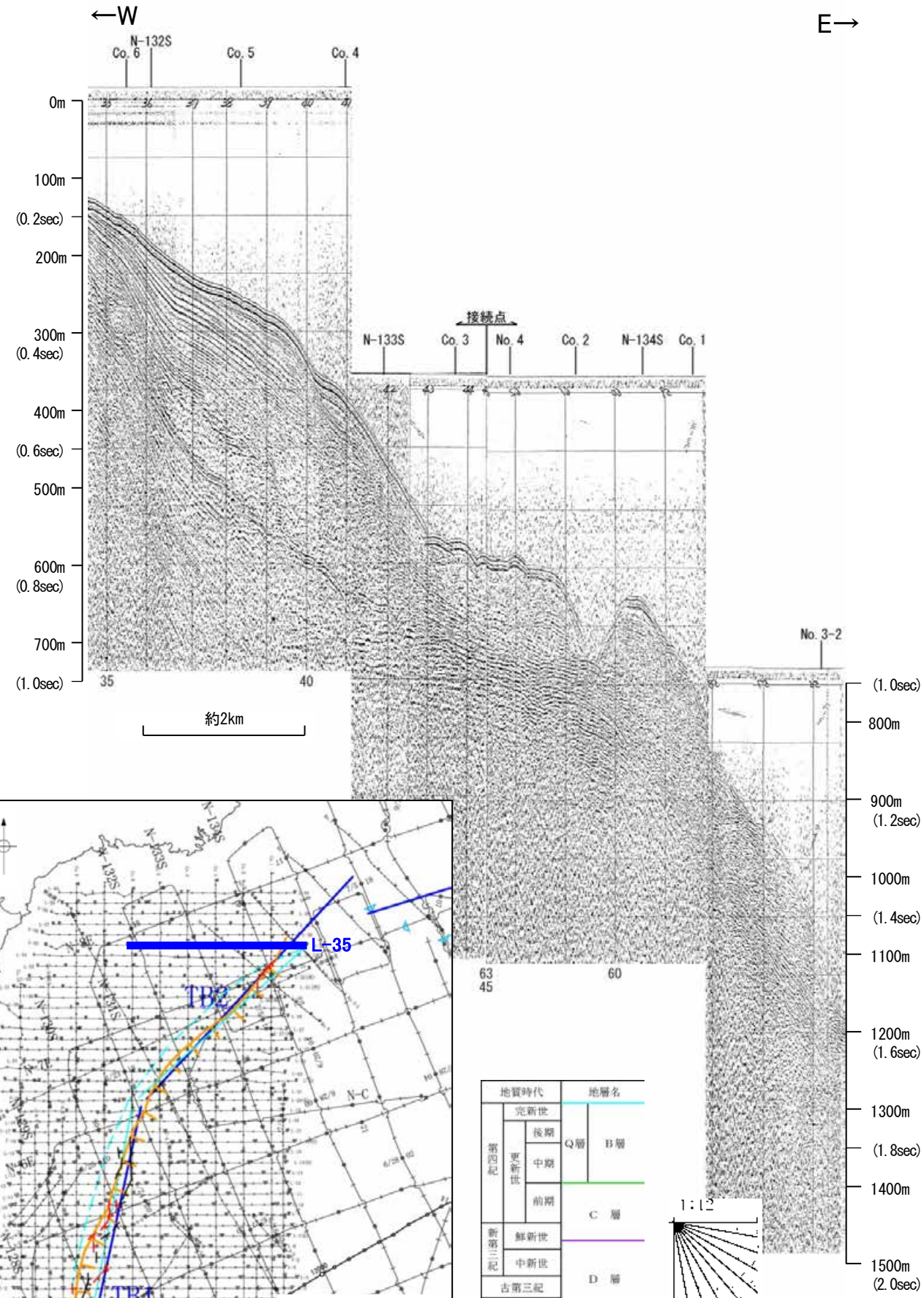


海上保安庁スパーカー L-36



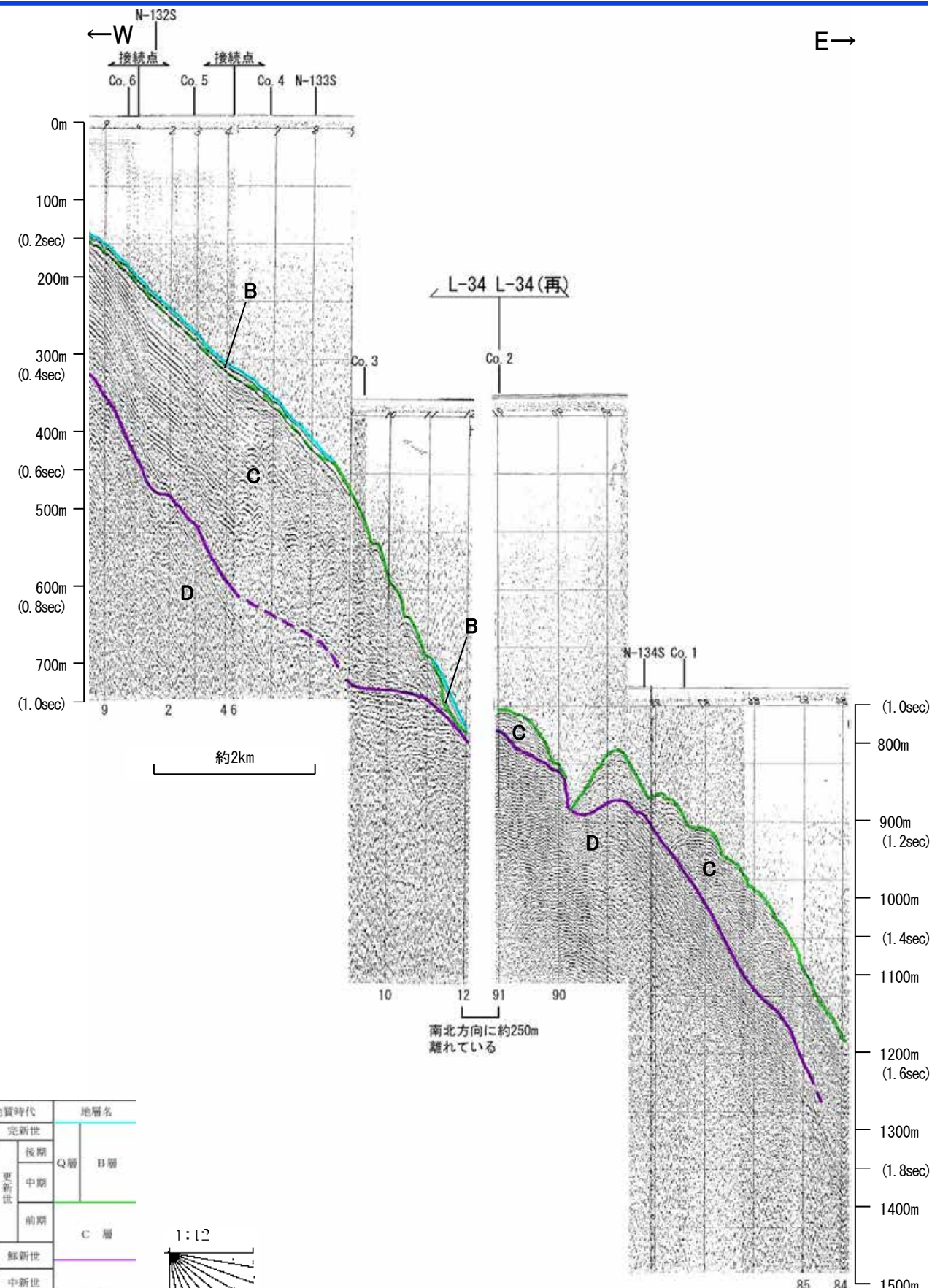
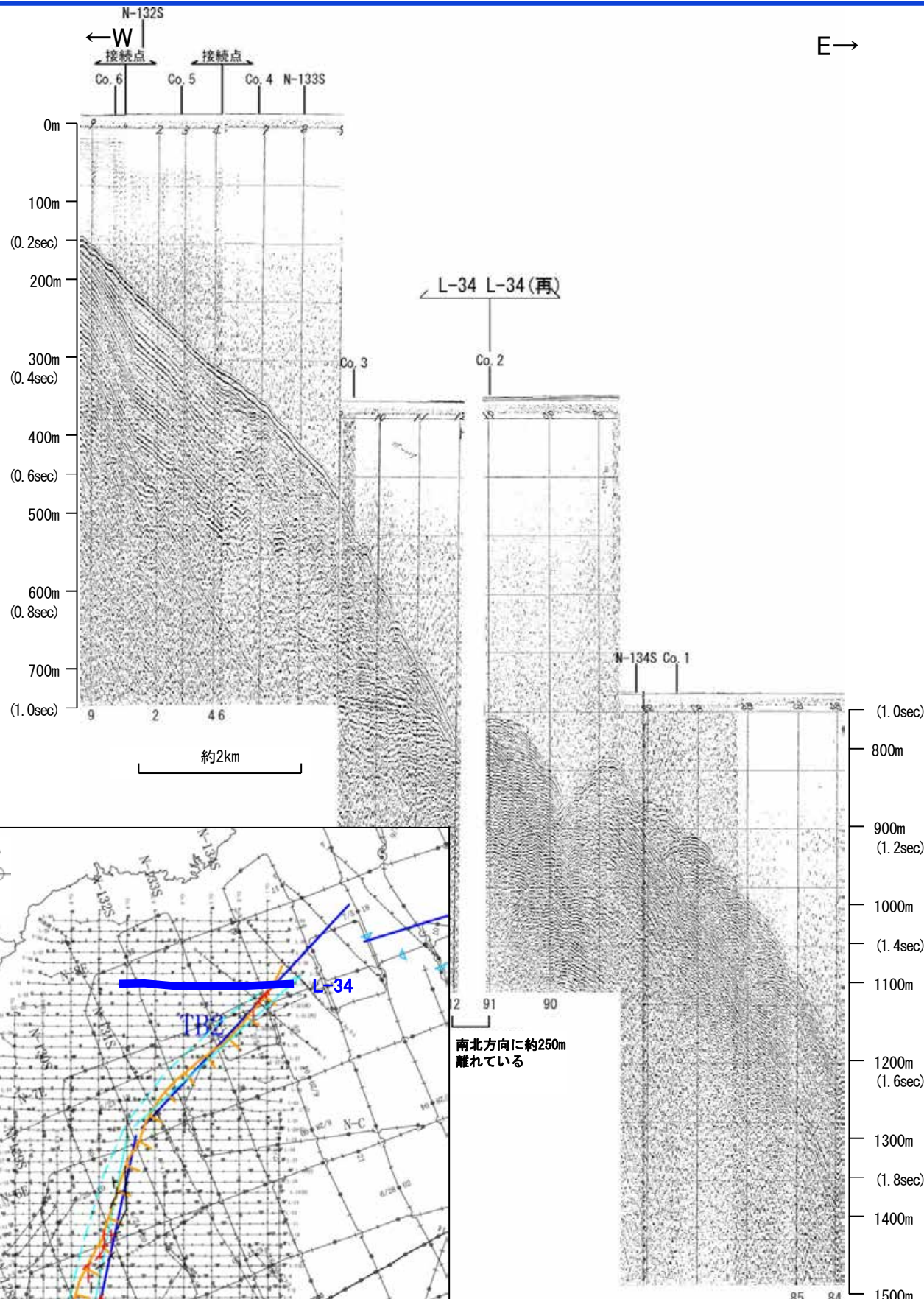
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-35



・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

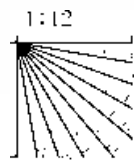
海上保安庁スパーカー L-34



南北方向に約250m
離れている

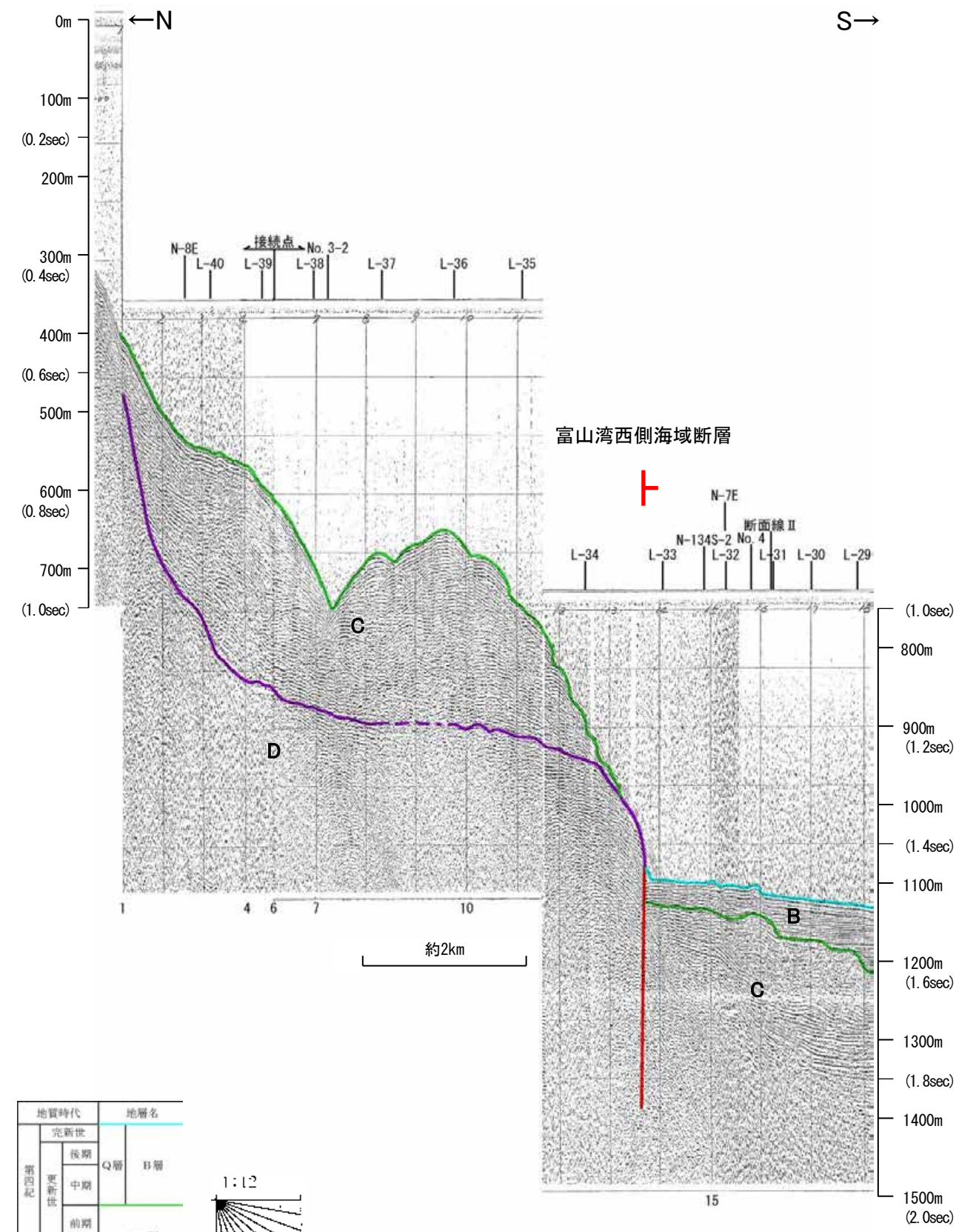
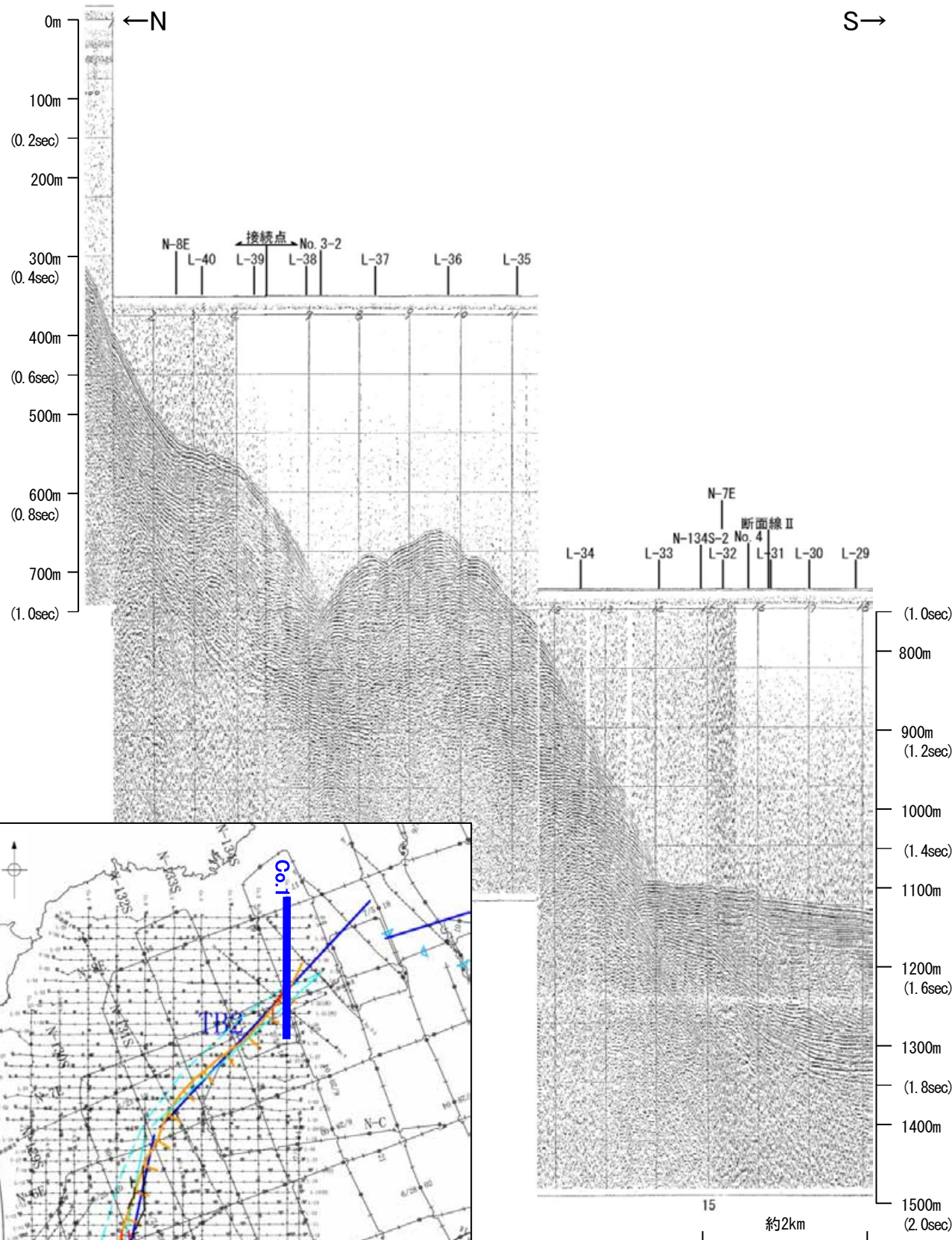
南北方向に約250m
離れている

地質時代	地層名	
第四紀	完新世	B層
	後期	
	更新世	Q層
新第三紀	中新世	D層
	鮮新世	
先第三紀	C層	

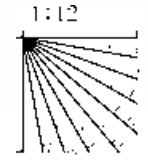


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー Co.1

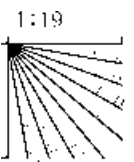
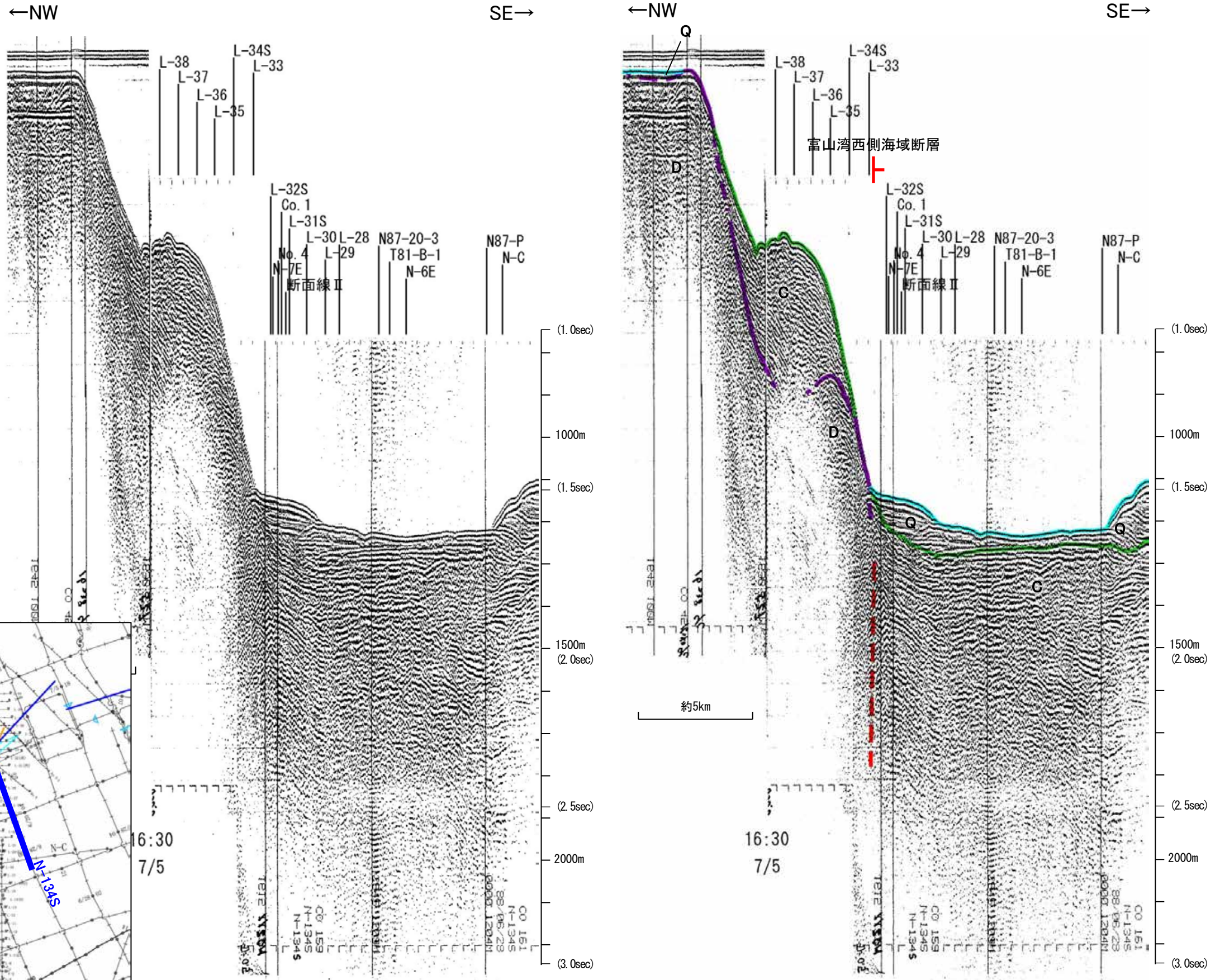


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	更新世		
	前期	C層	
新第三紀	鮮新世		
	中新世	D層	
古第三紀			
先第三紀			

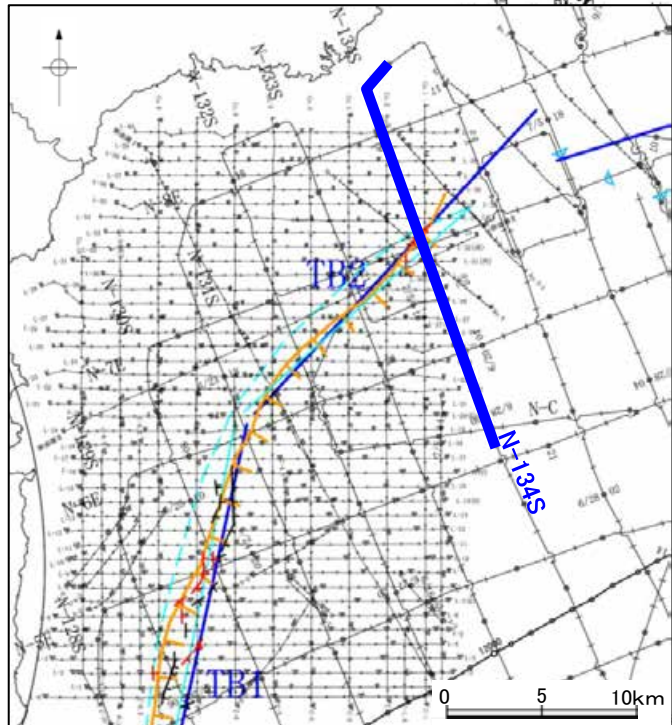


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-134S

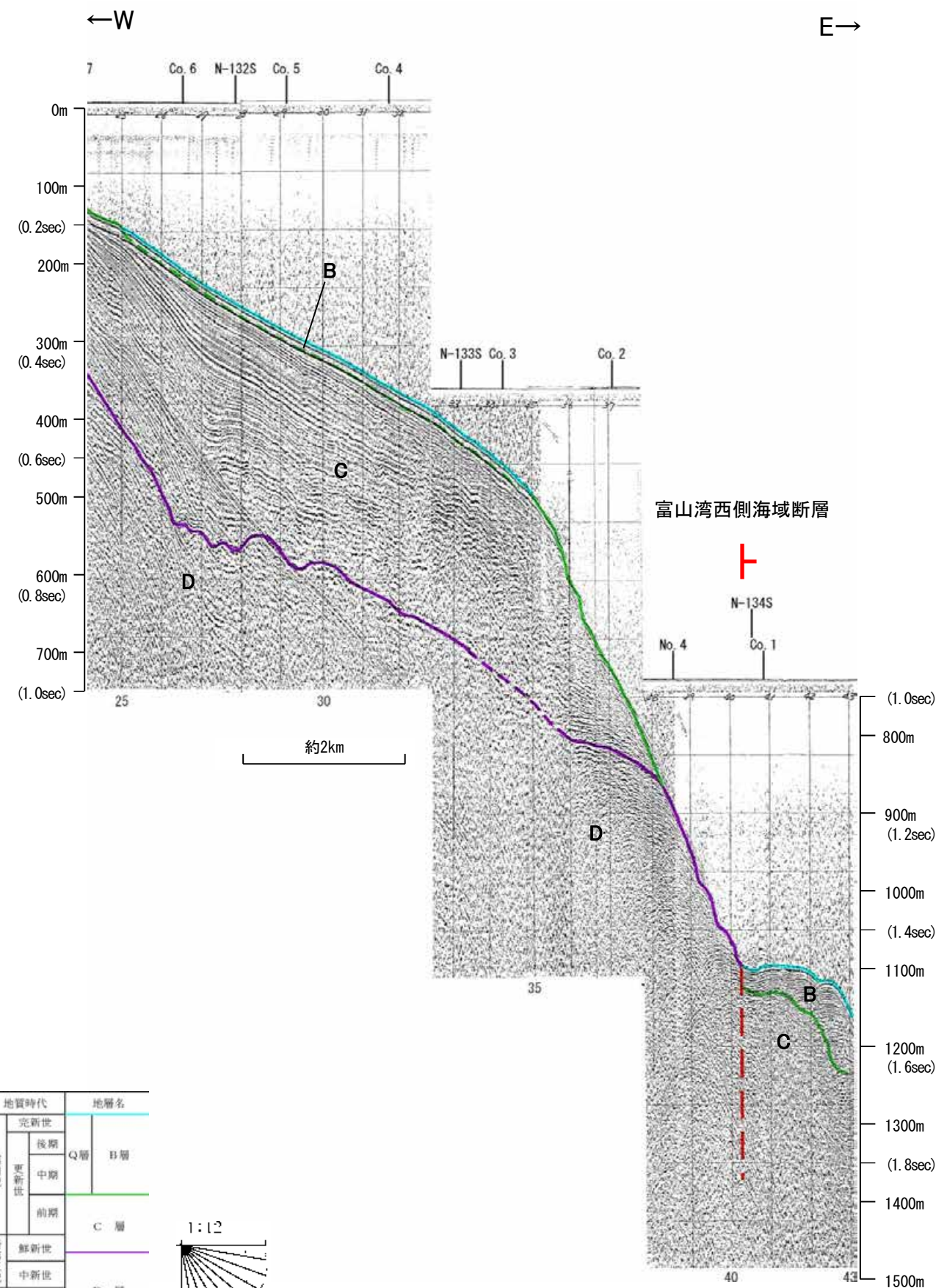
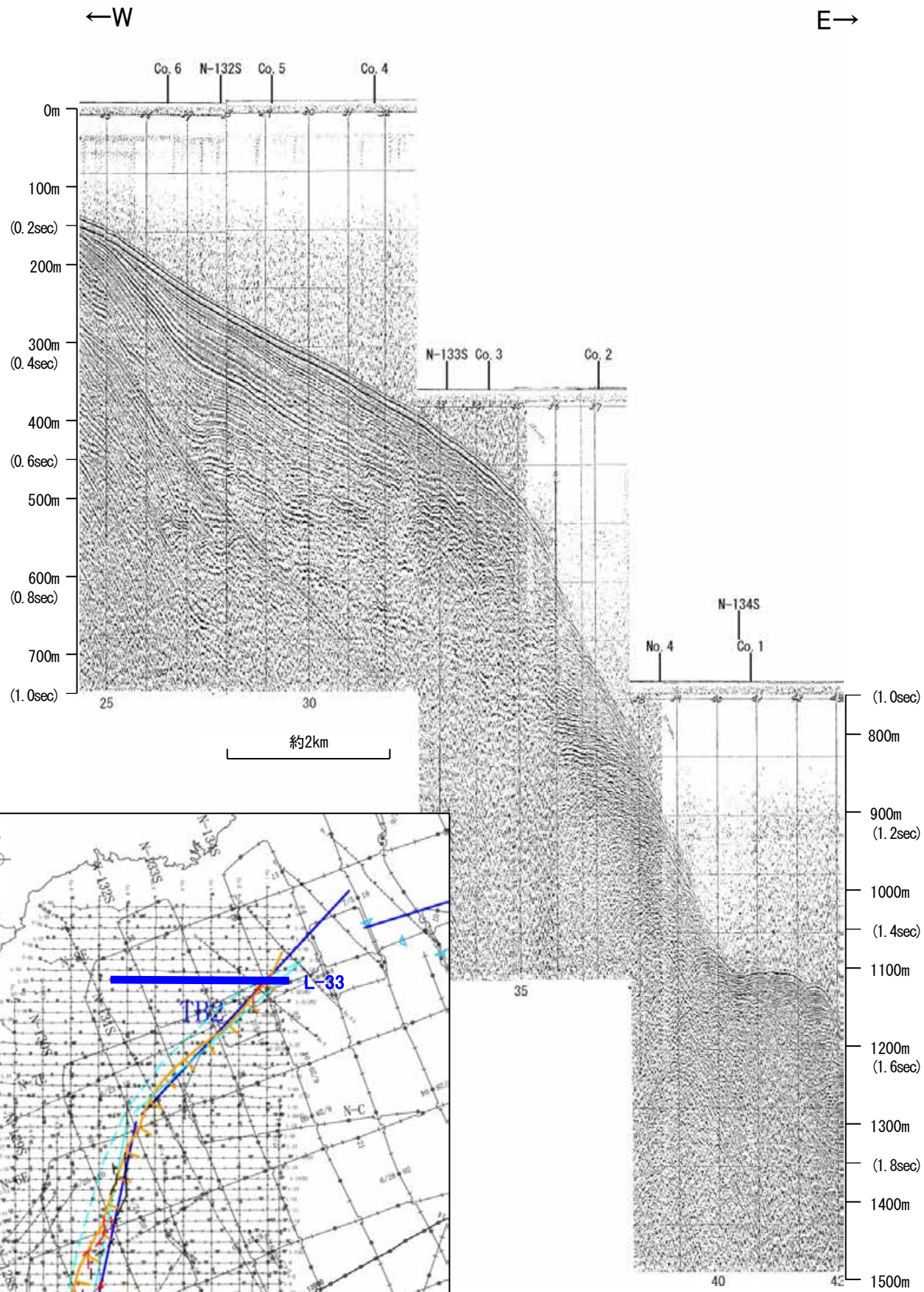


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	Q層 B層
	更新世	中期	
		前期	C層
新第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			



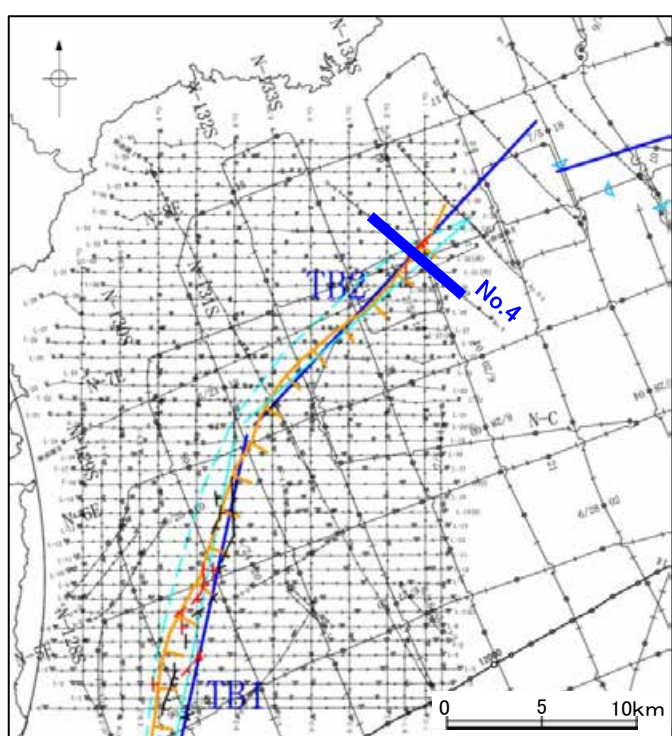
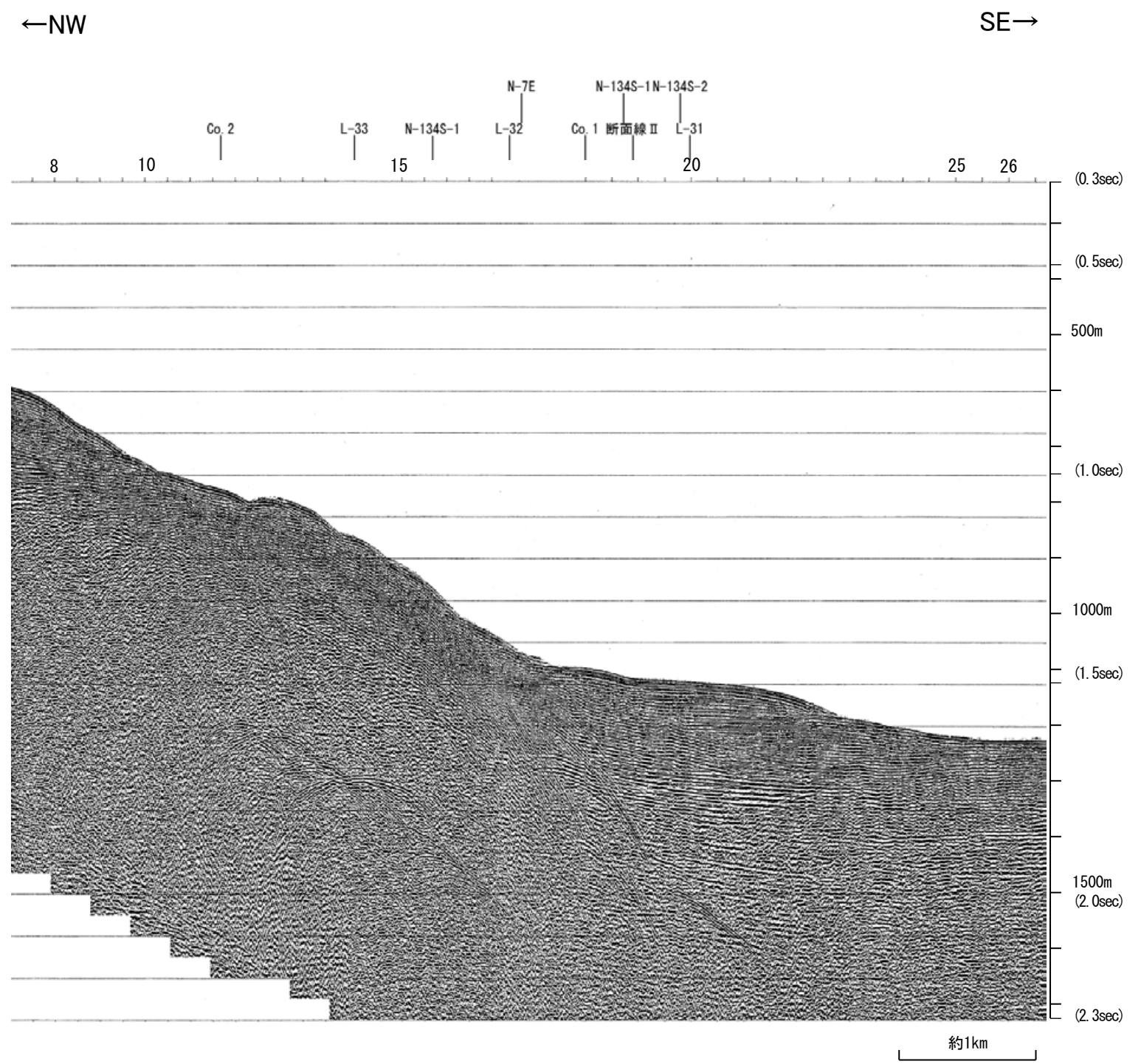
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-33



・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

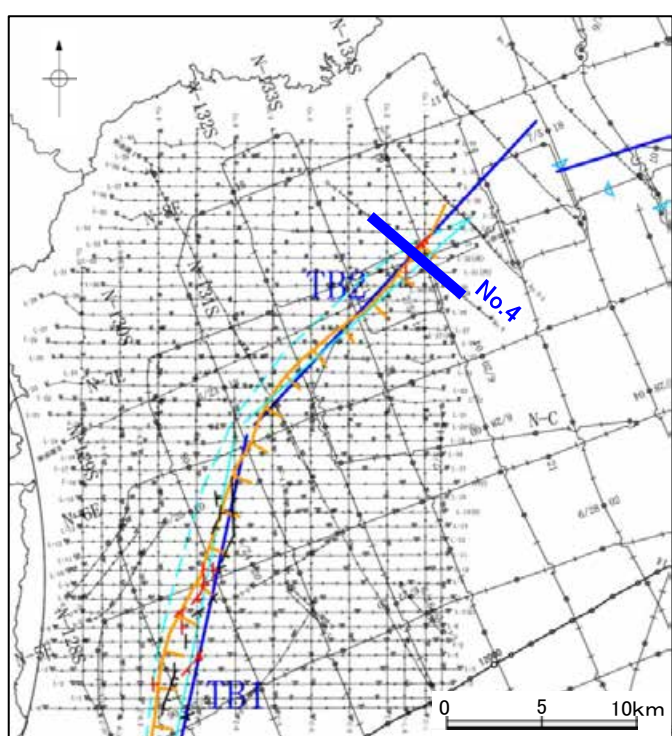
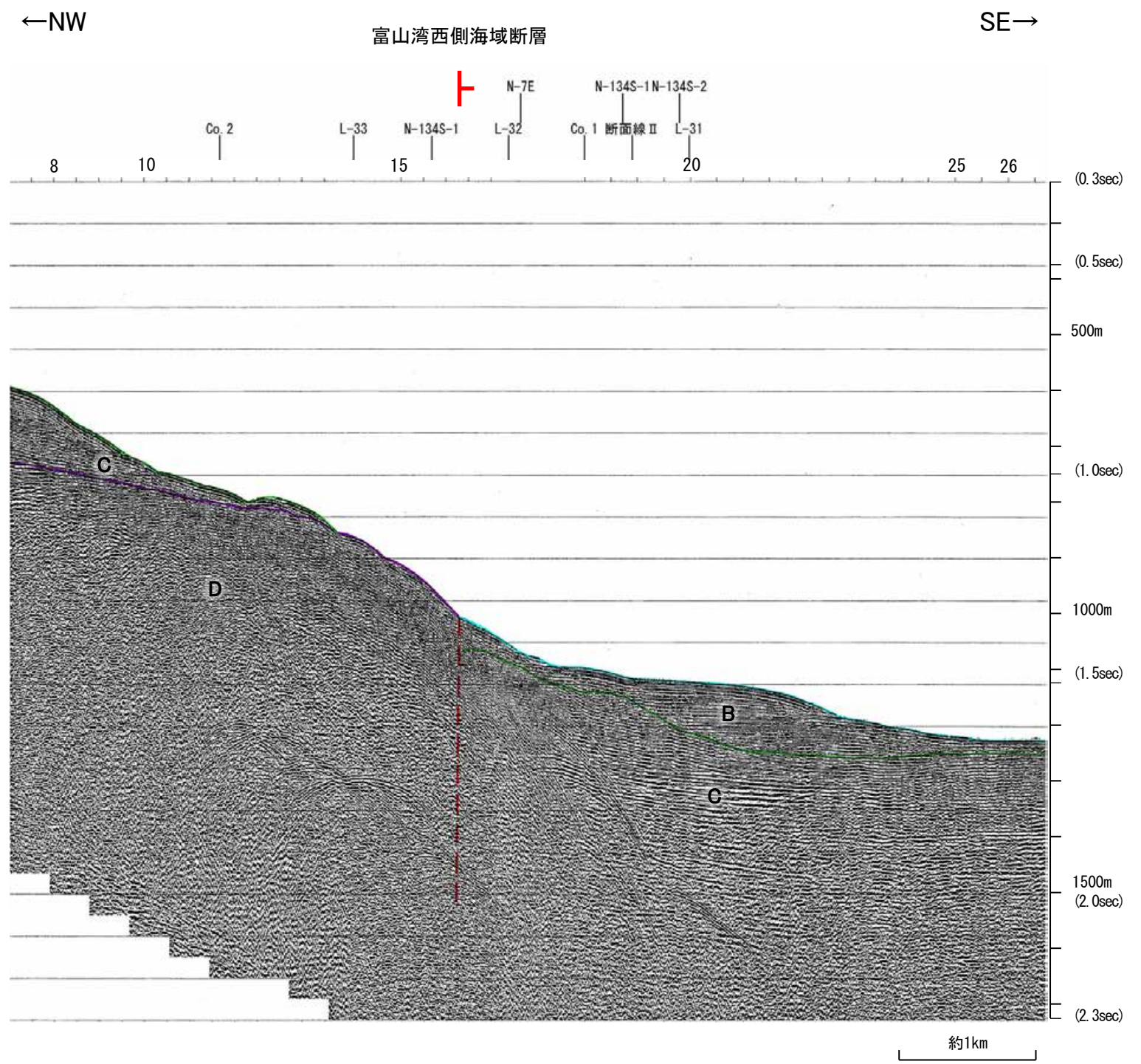
北陸電カスパーカー No.4



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
更新世	前期	C層	
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			

1:1

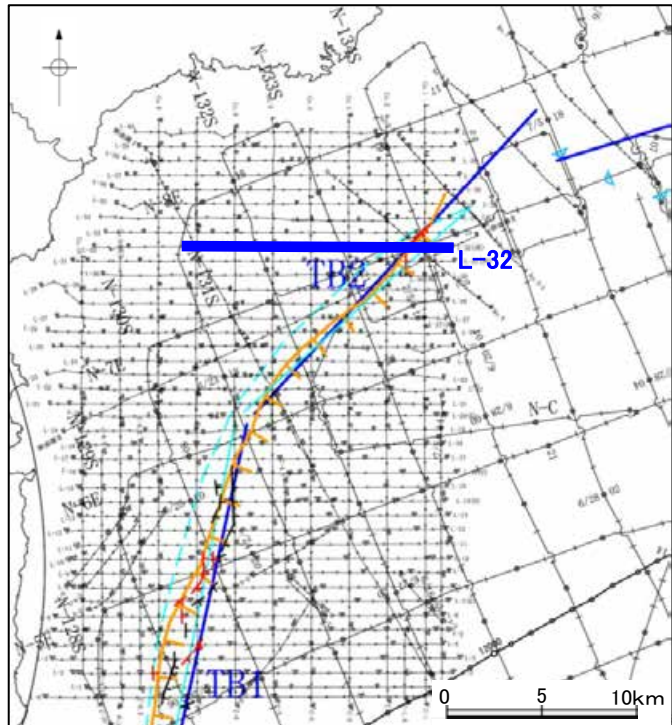
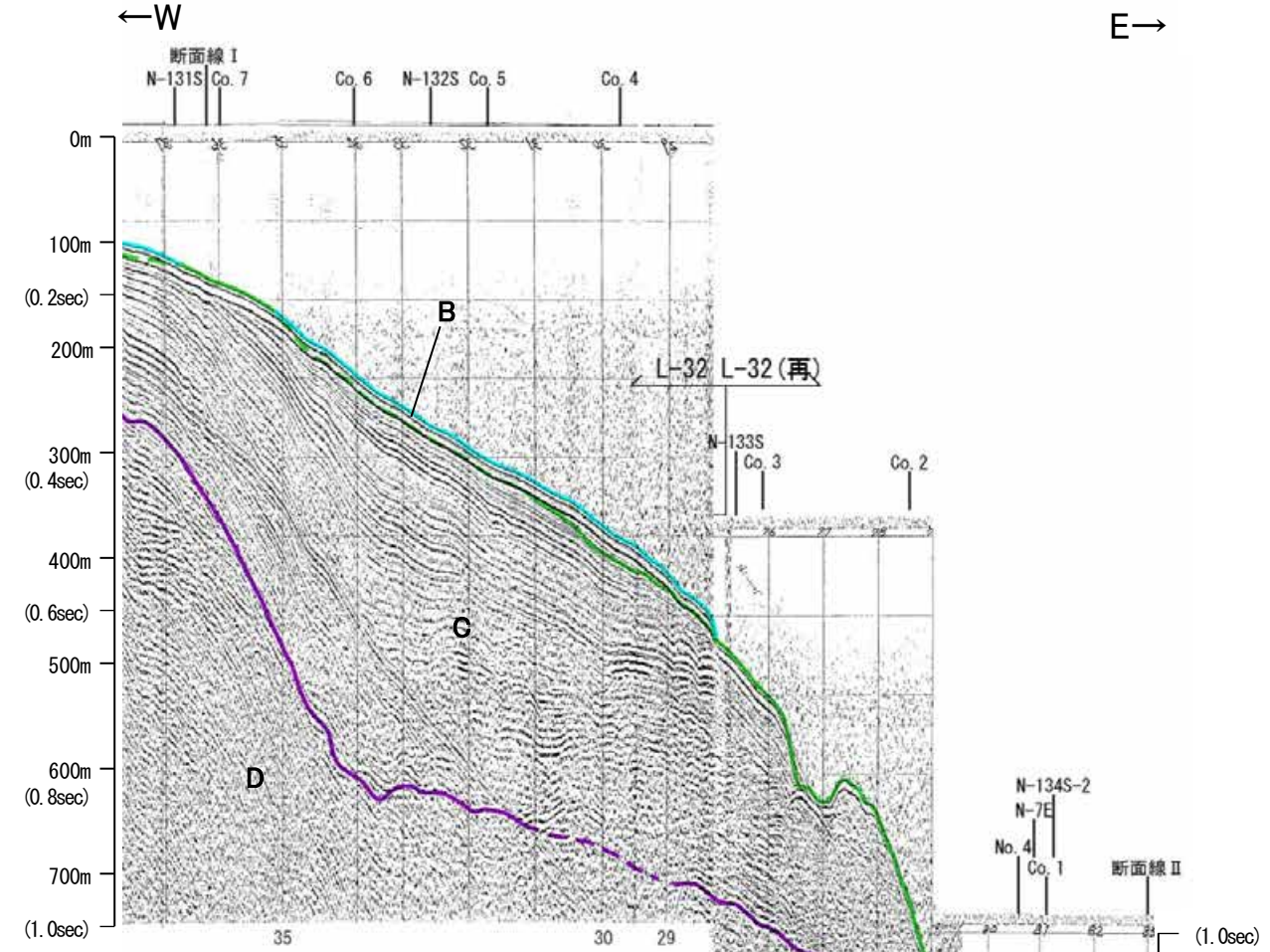
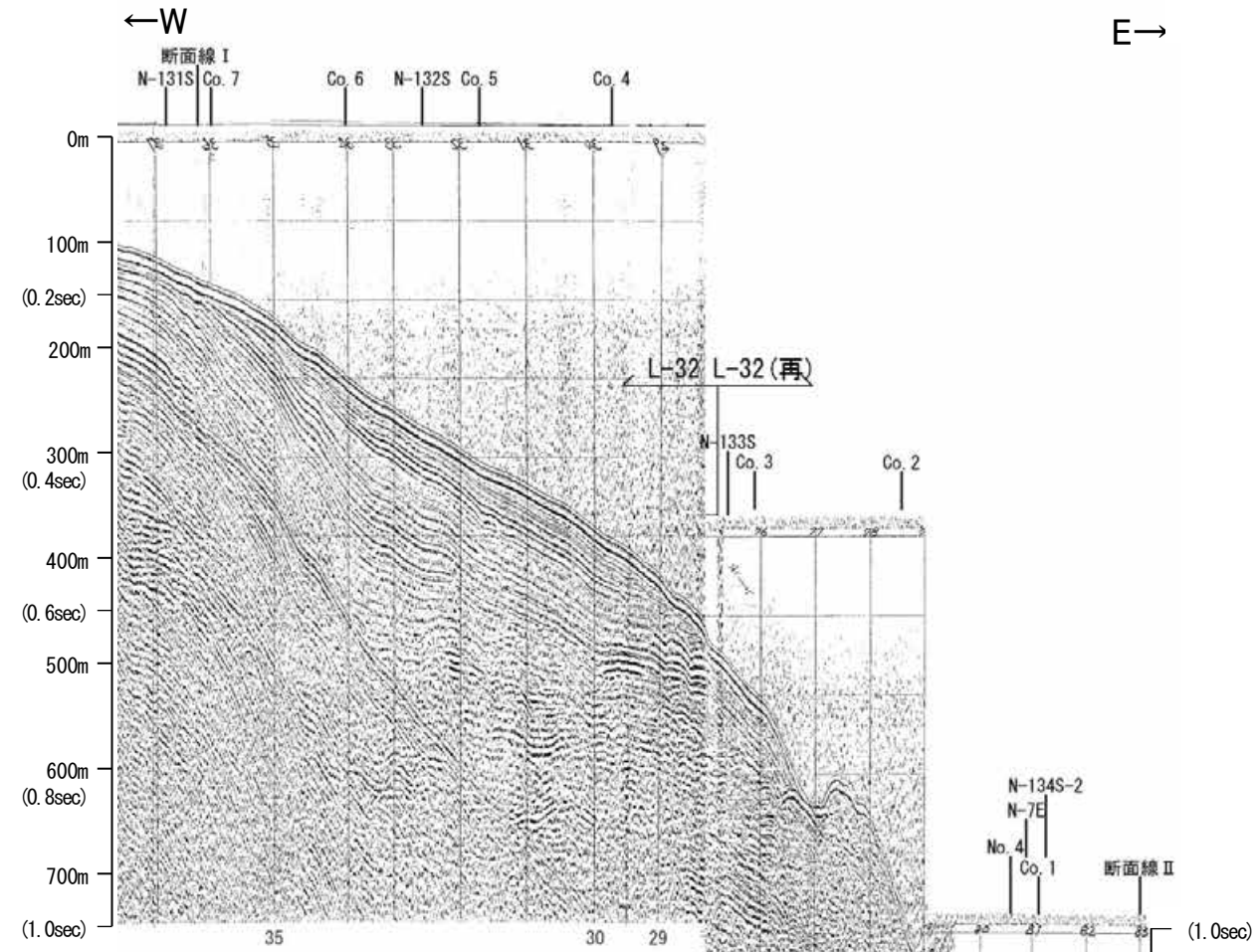
北陸電カスパーカー No.4



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期		C層
新第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			

1:1

海上保安庁スパーカー L-32

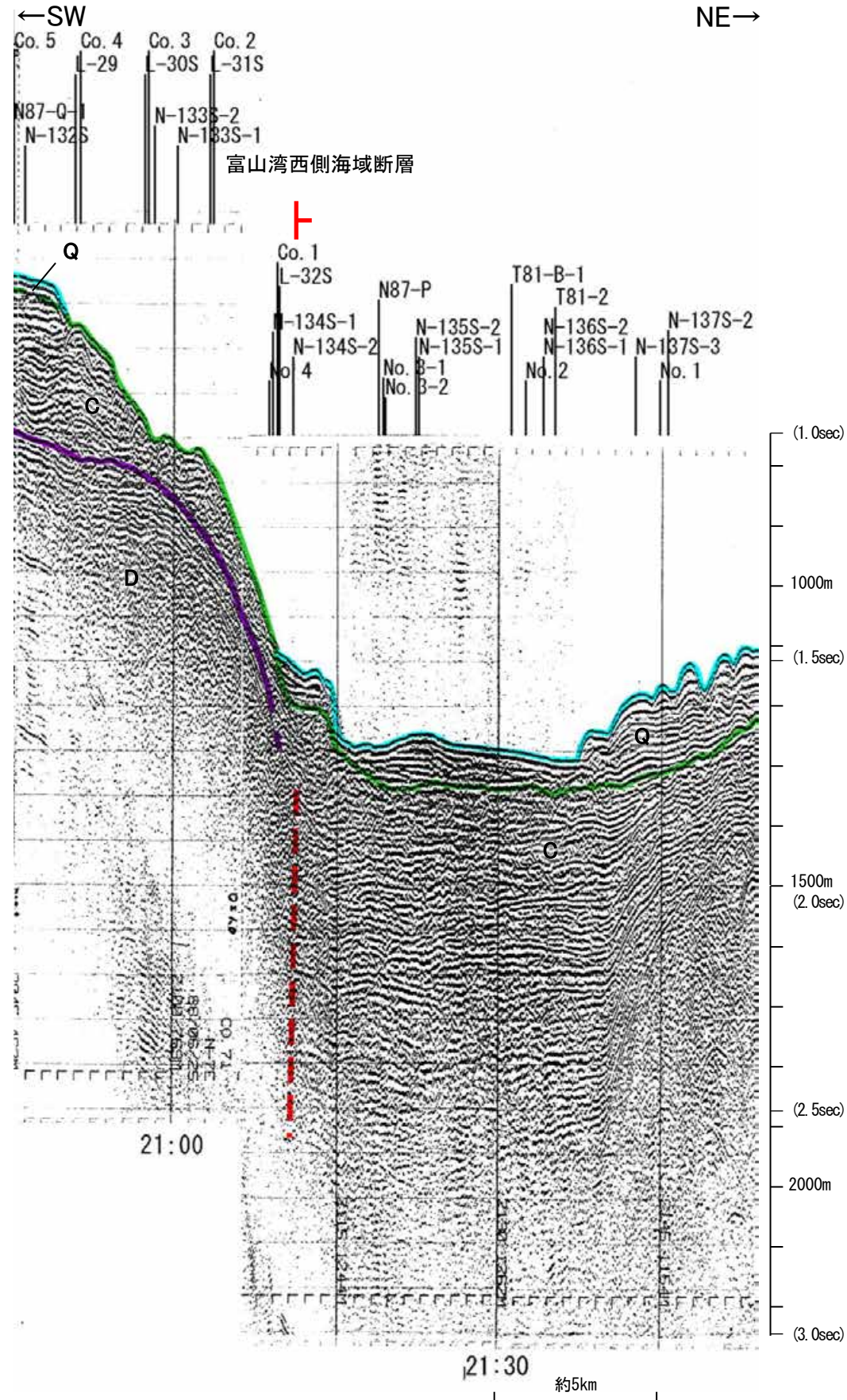
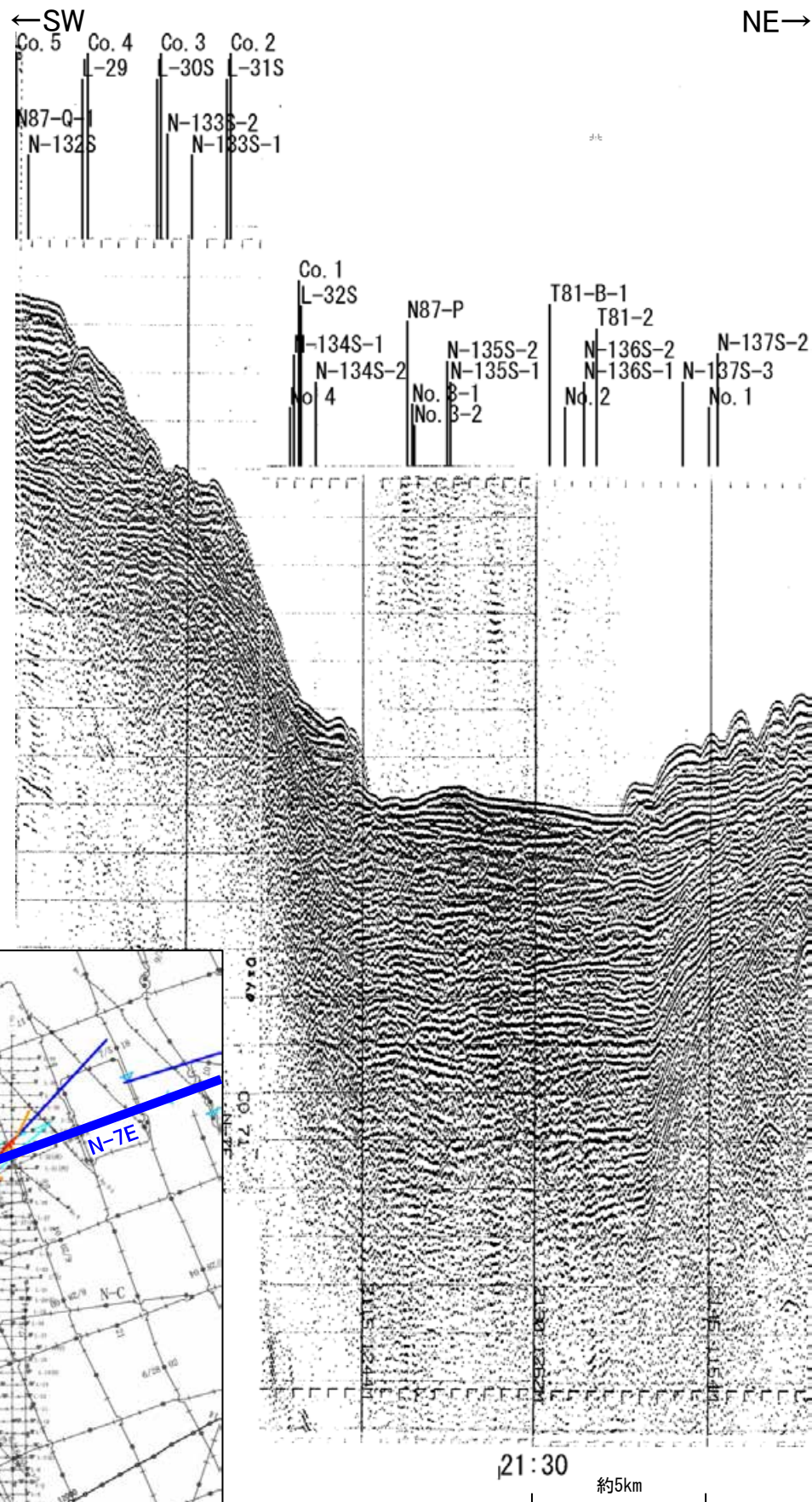


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	
	後期	Q層
	中期	B層
	前期	C層
第三紀	鮮新世	D層
	中新世	
古第三紀		
先第三紀		

1:12

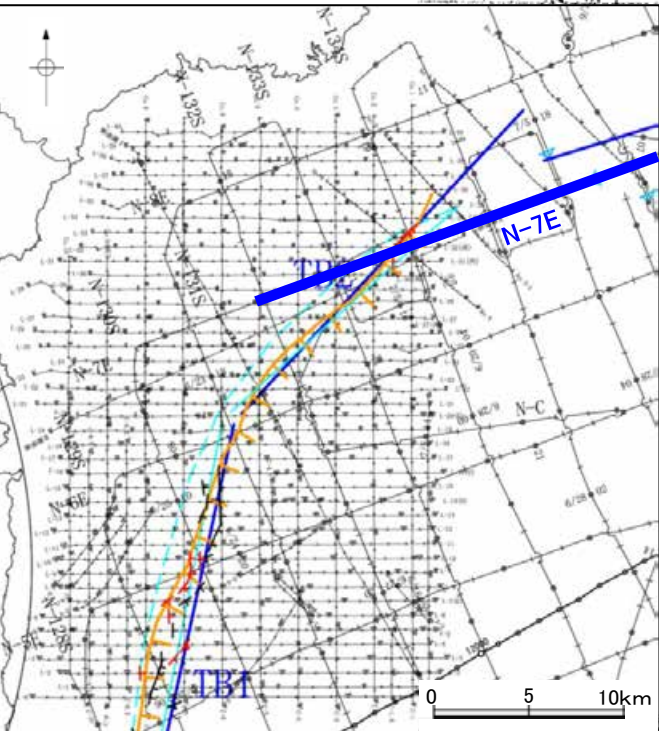
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-7E



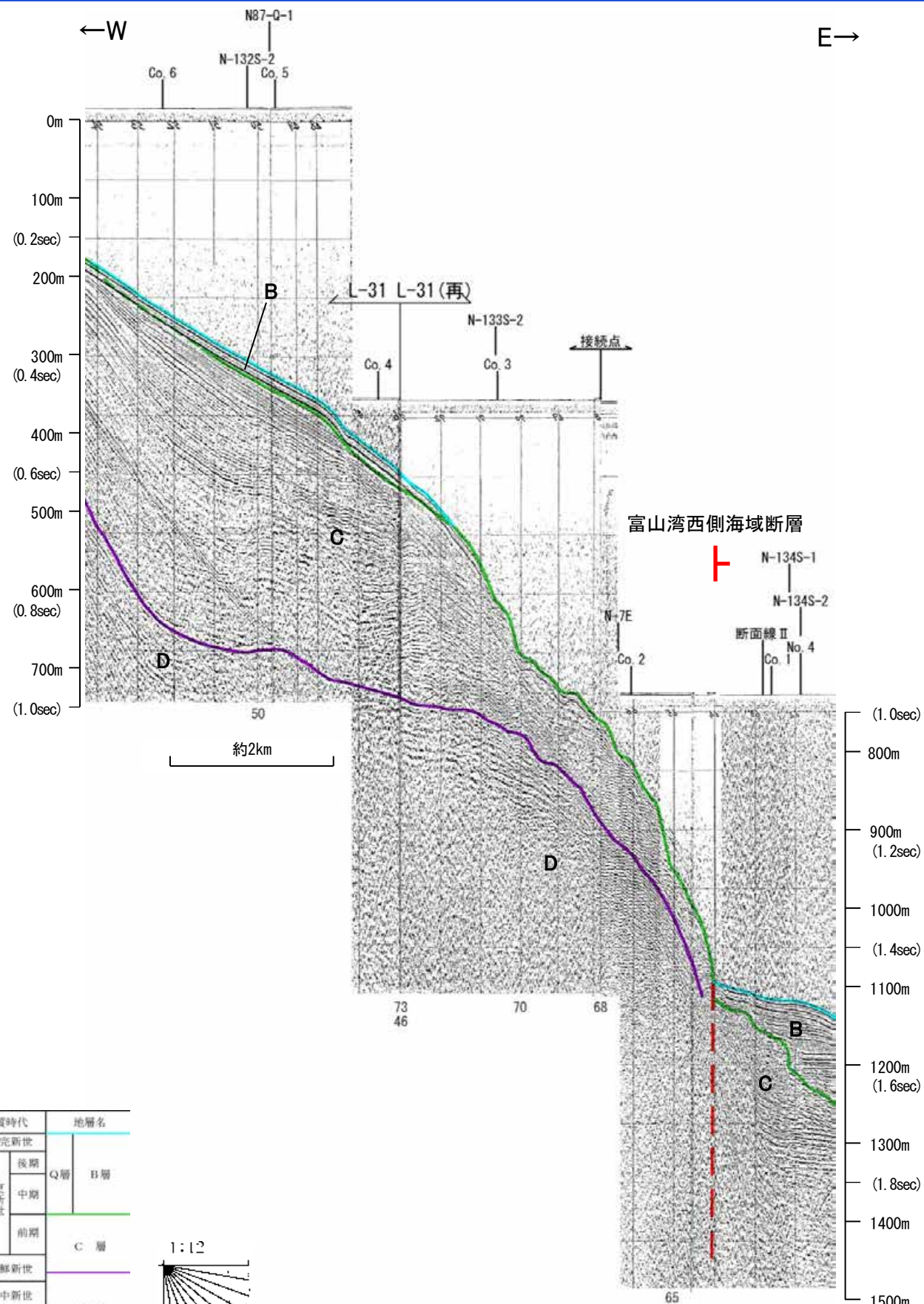
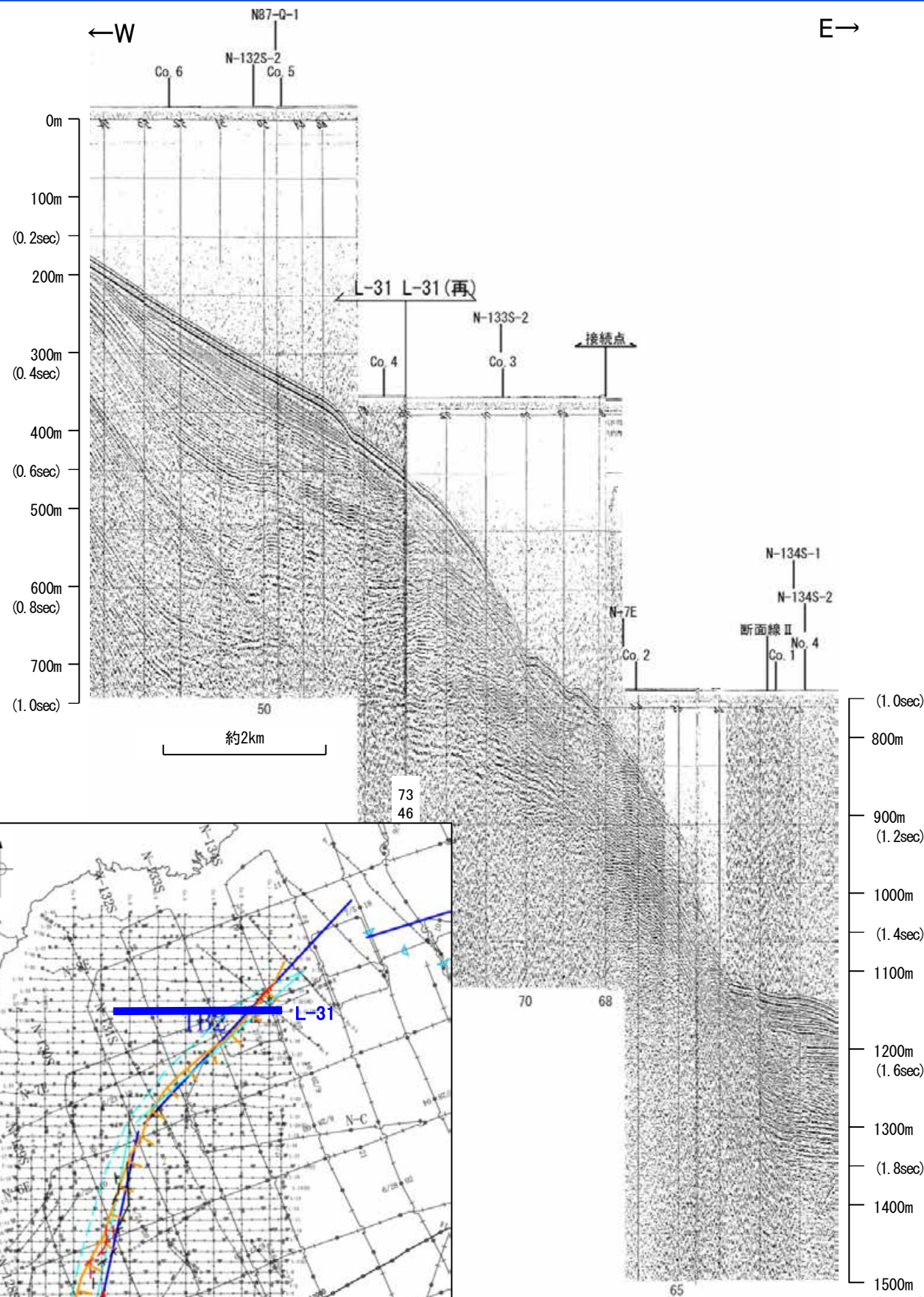
地質時代		地層名	
第三紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
第四紀	前期	C層	
	中期	D層	
新第三紀	鮮新世		
古第三紀	中新世		
先第三紀			

1:19



この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

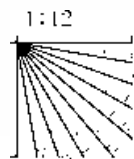
海上保安庁スパーカー L-31



富山湾西側海域断層

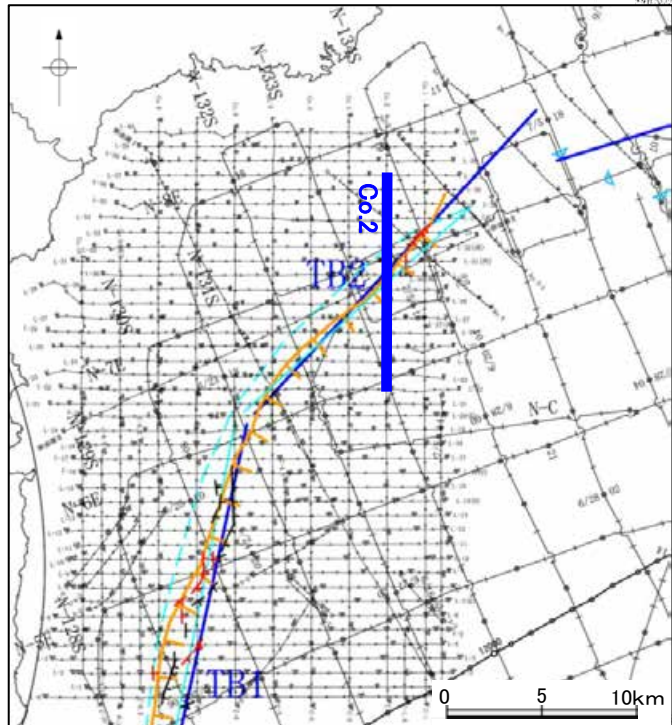
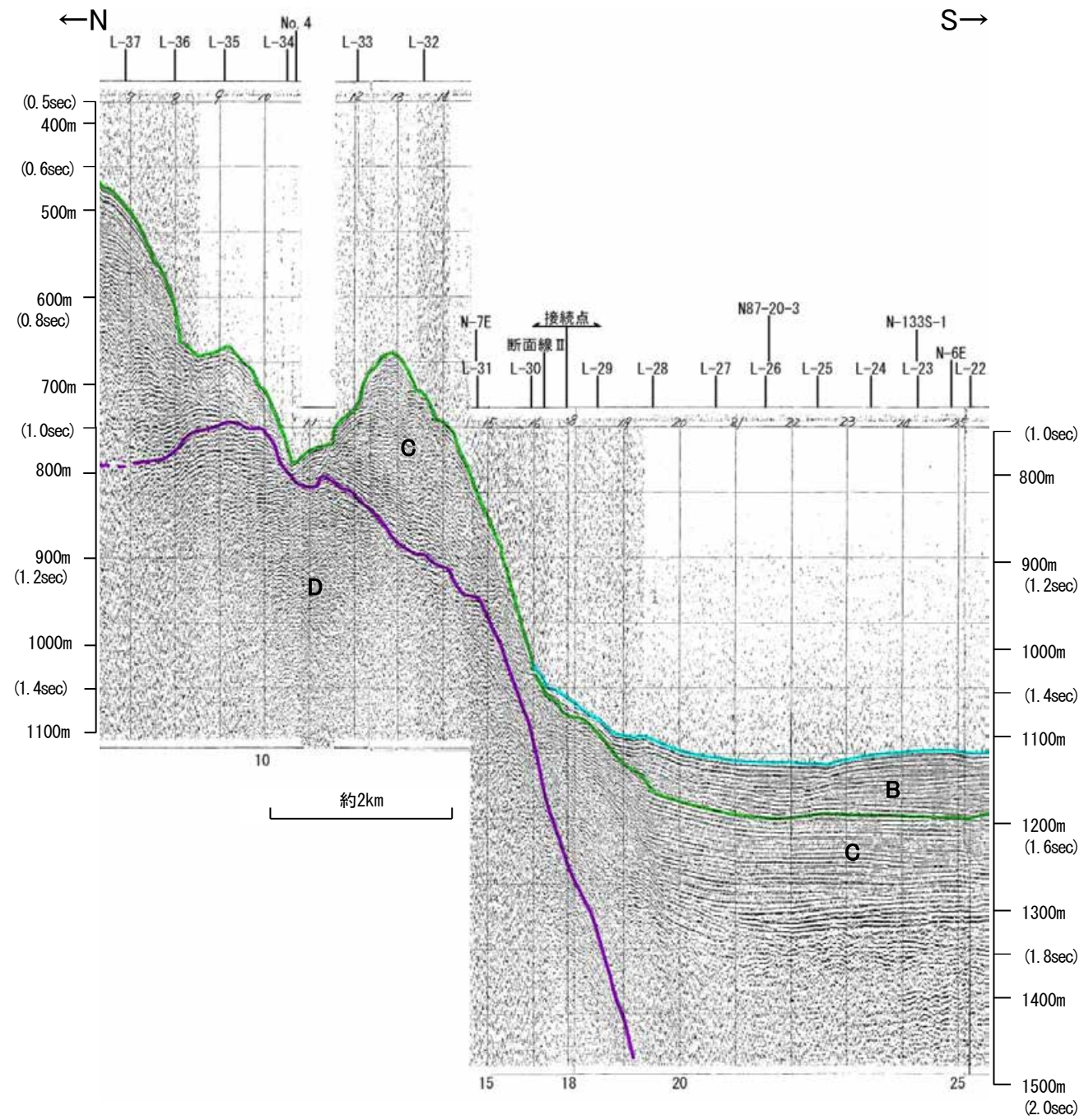
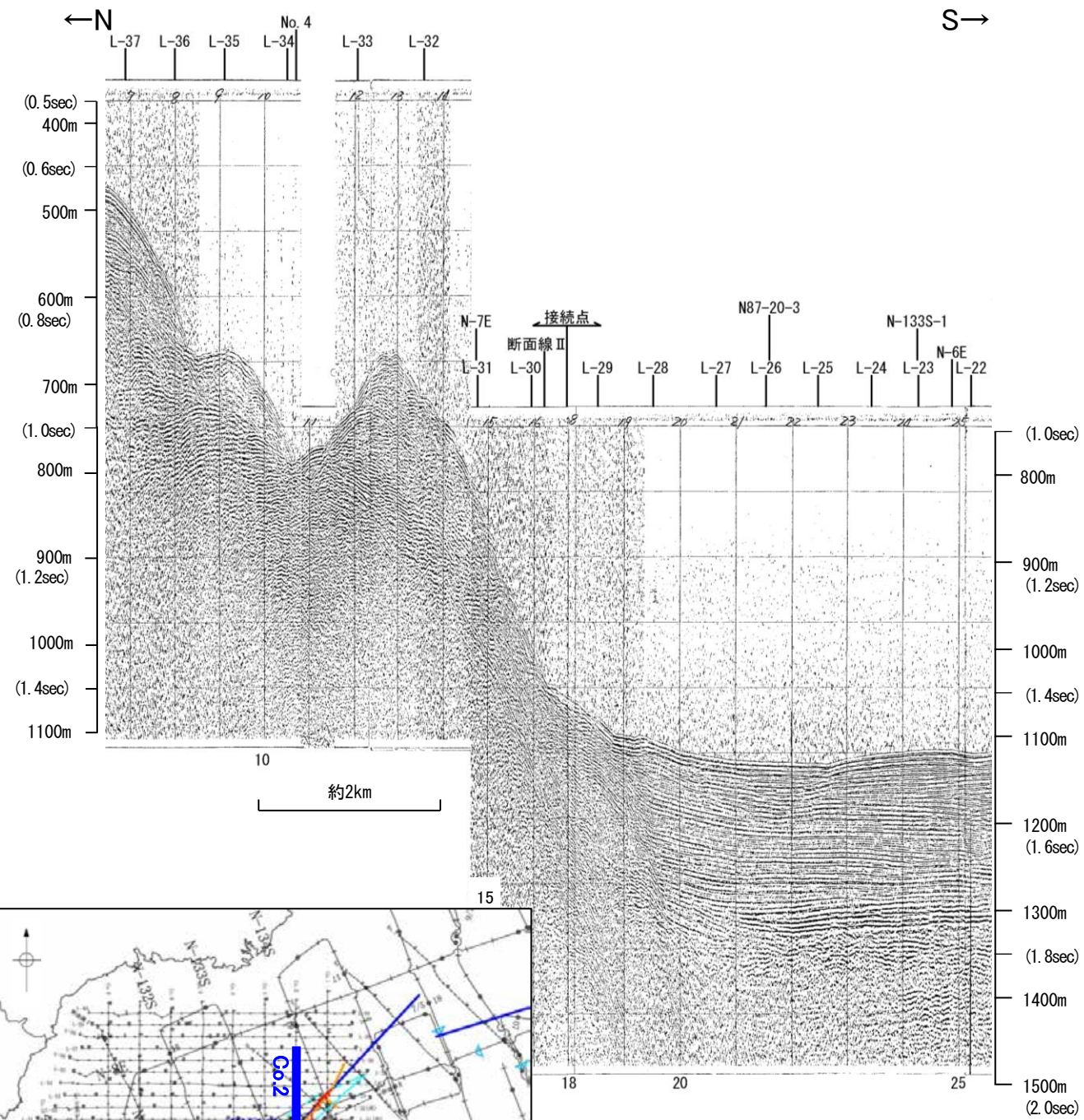


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	B層
	後期	
	更新世	前期
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	
古第三紀		
先第三紀		



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー Co.2

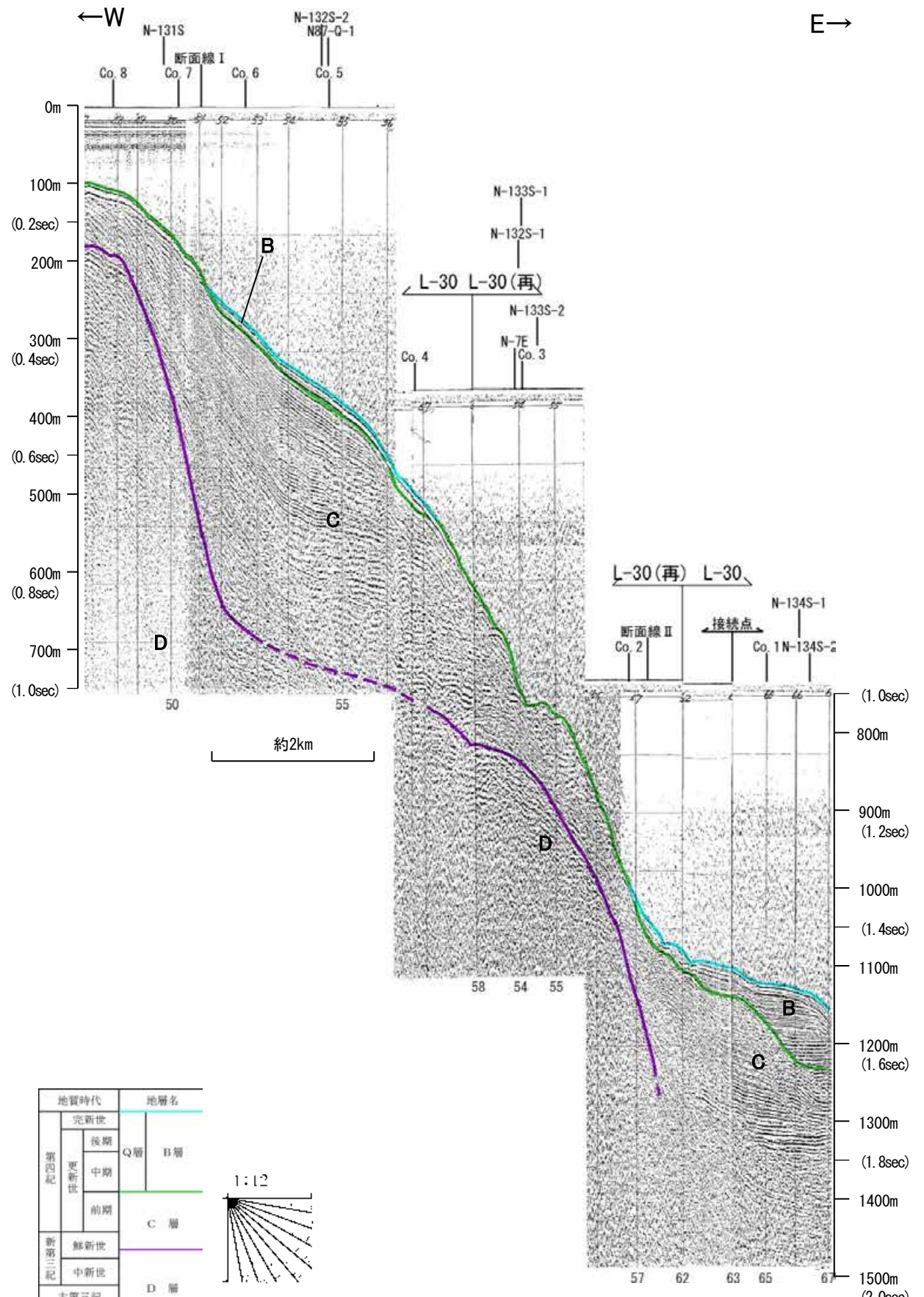
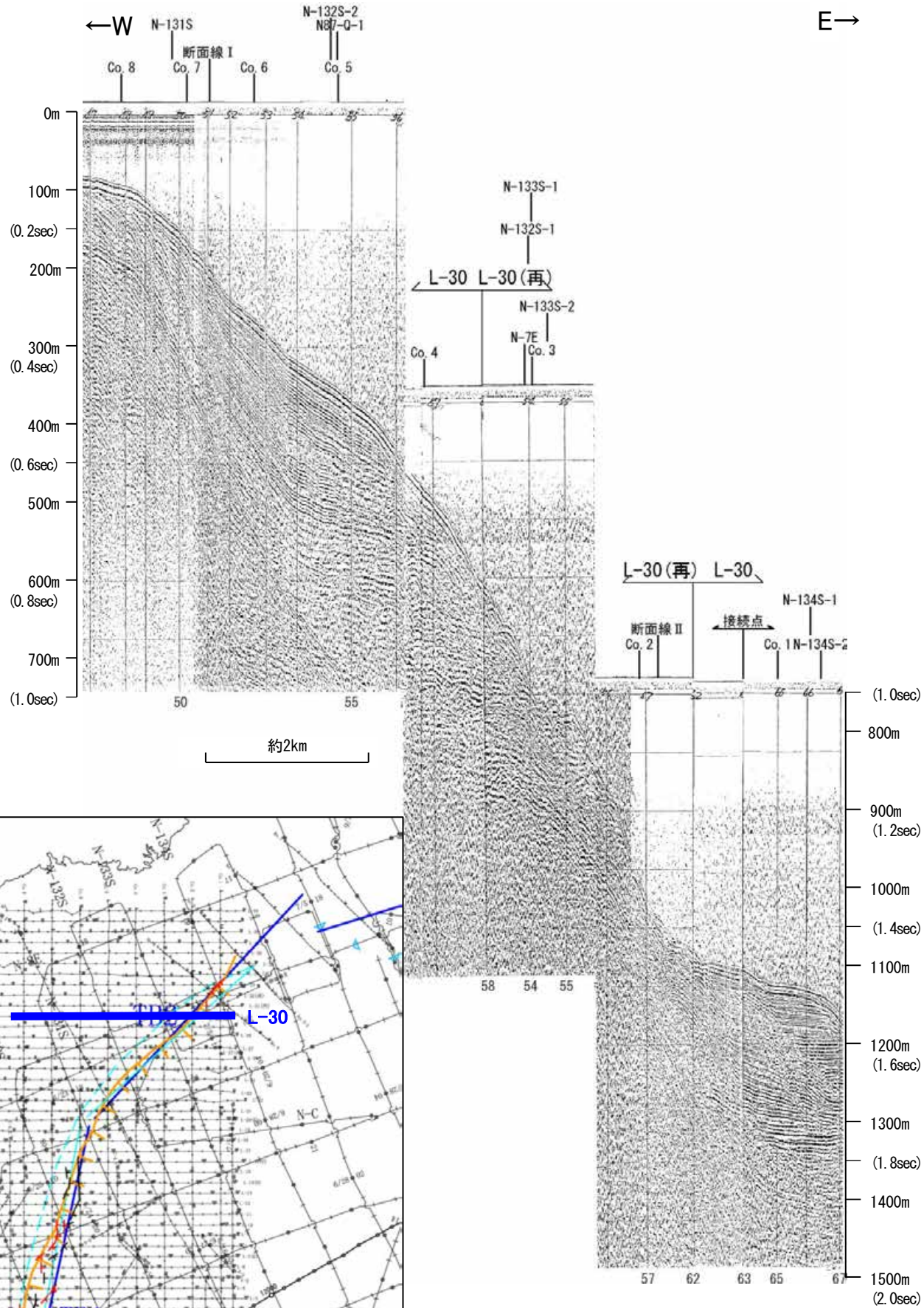


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
更新世	前期	C層	
	鮮新世	D層	
中新世			
古第三紀			
先第三紀			

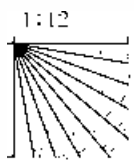
1:12

・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-30

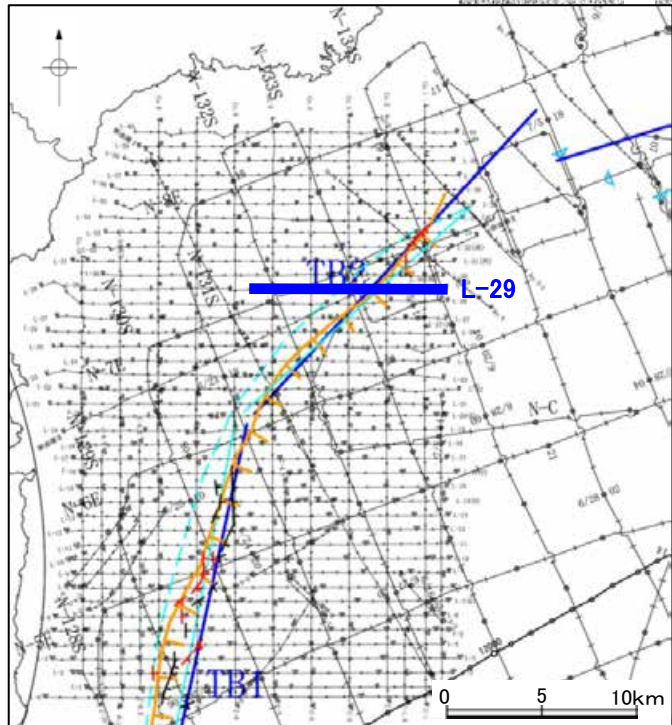
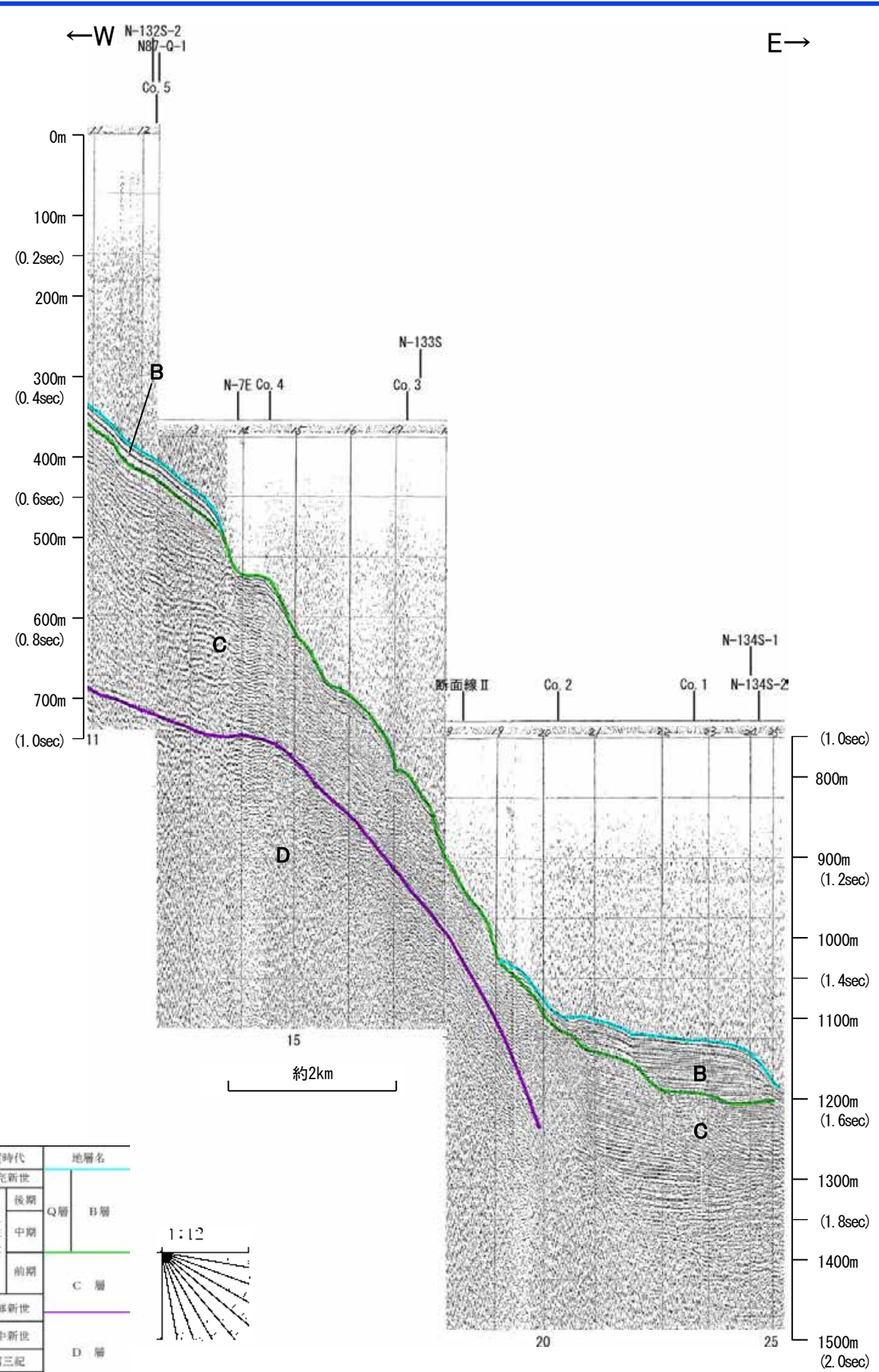
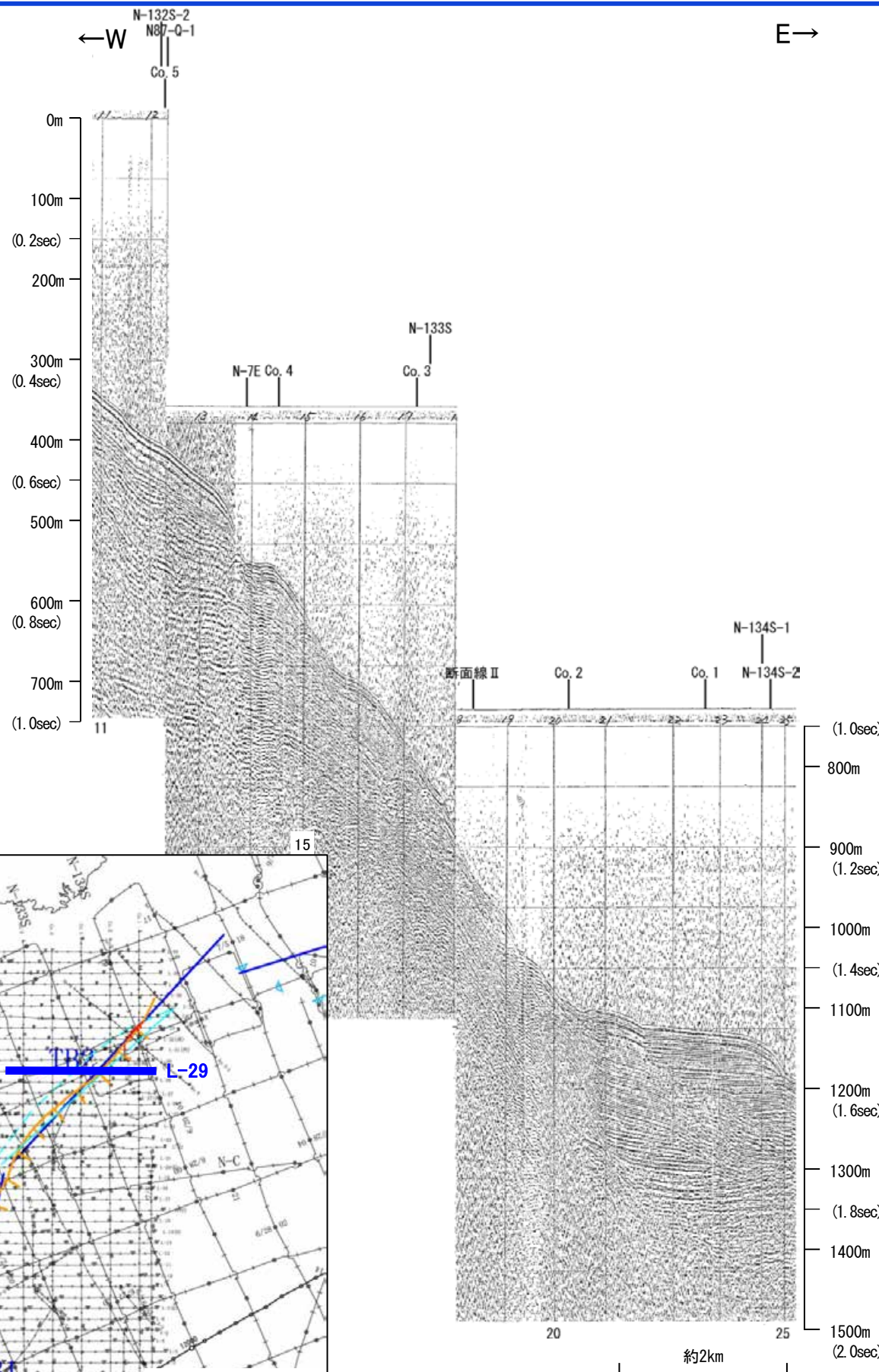


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	Q層 B層
	更新世	Q層 C層
	中世	C層
第三紀	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

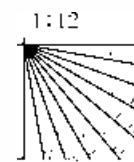


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-29

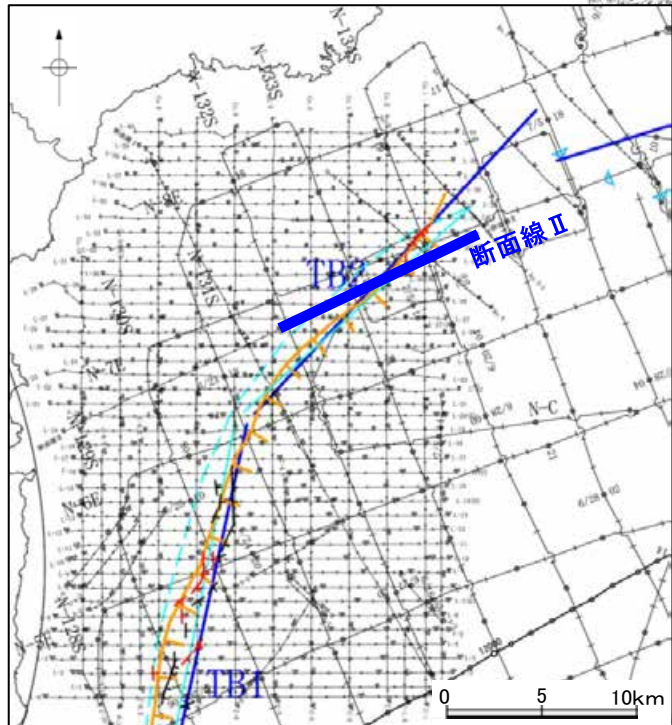
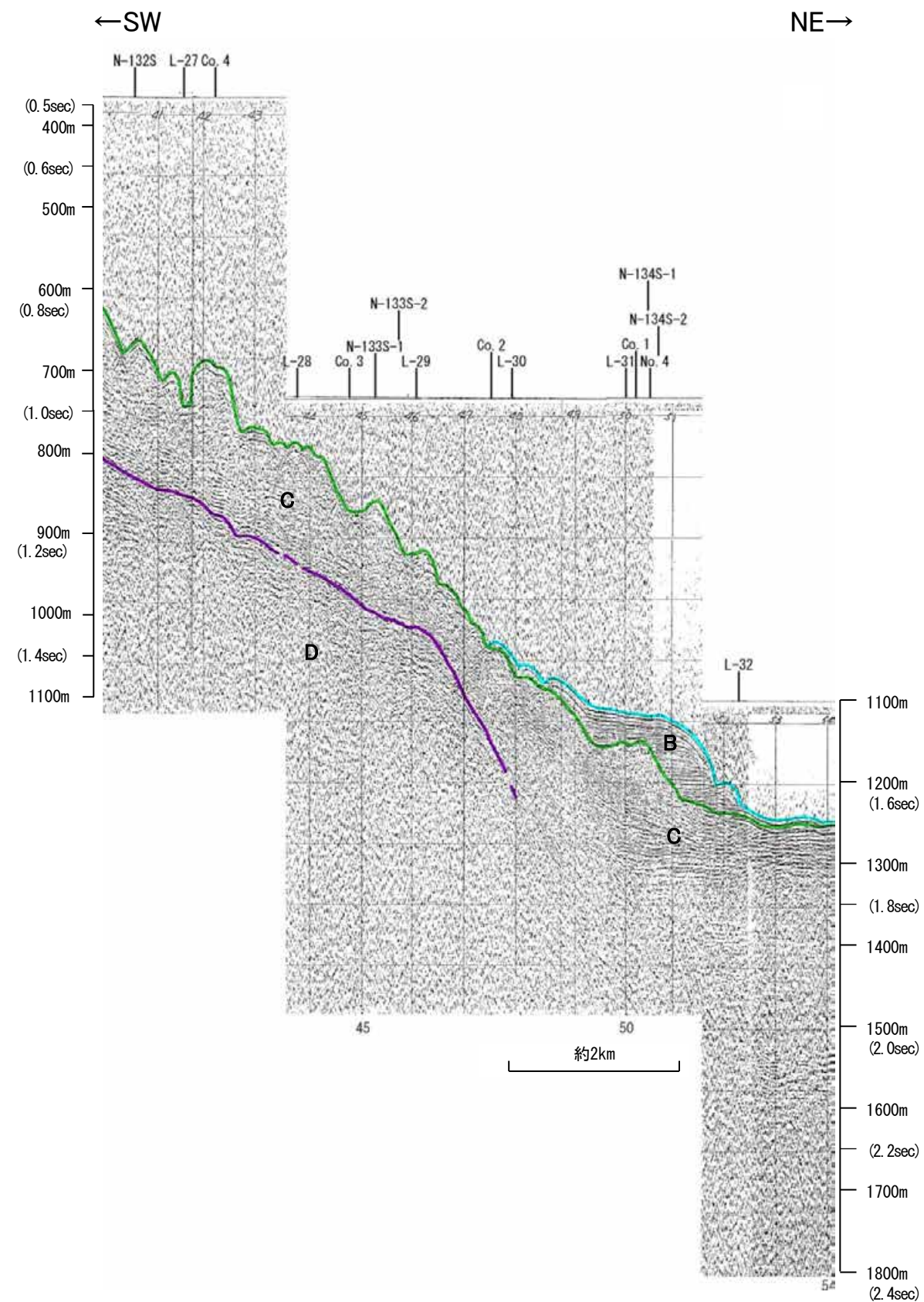
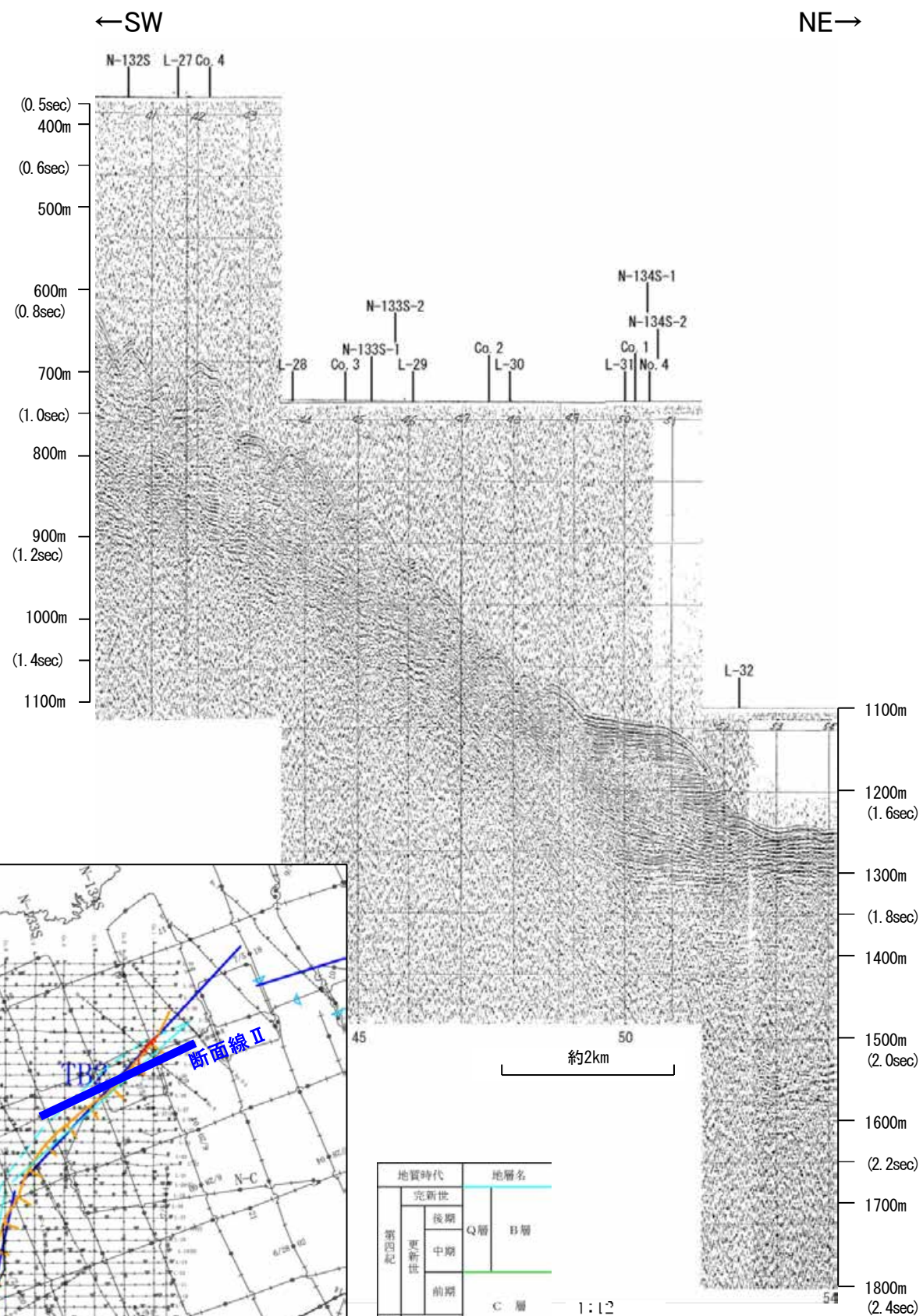


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期		C層
第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			

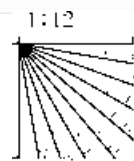


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー 断面線Ⅱ

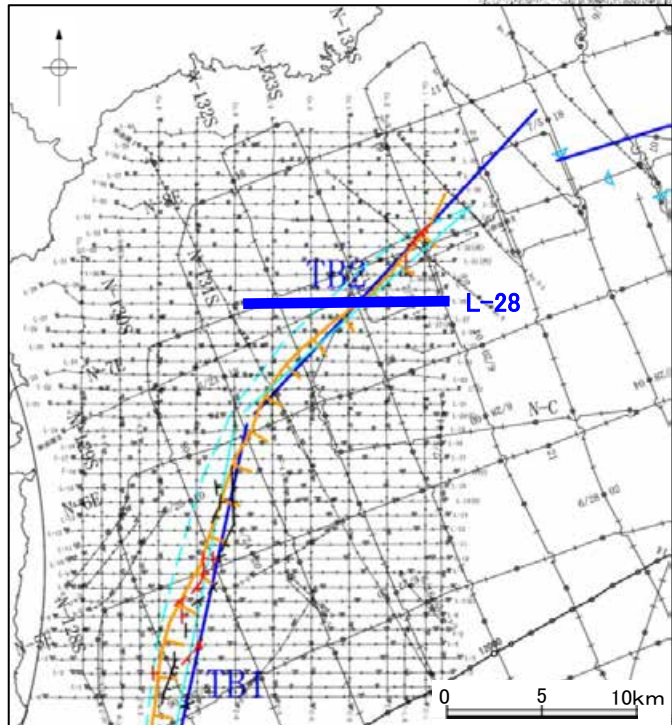
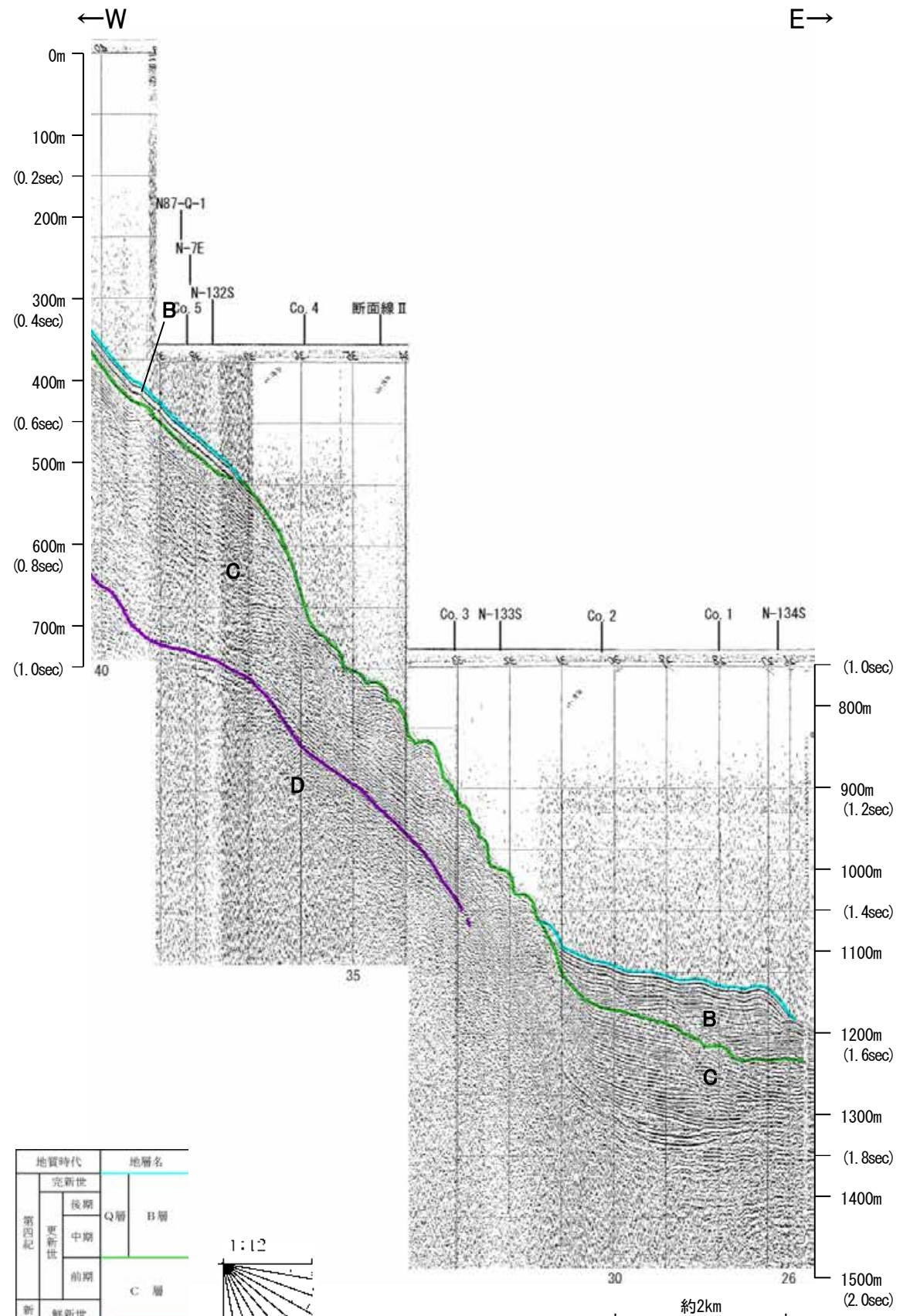
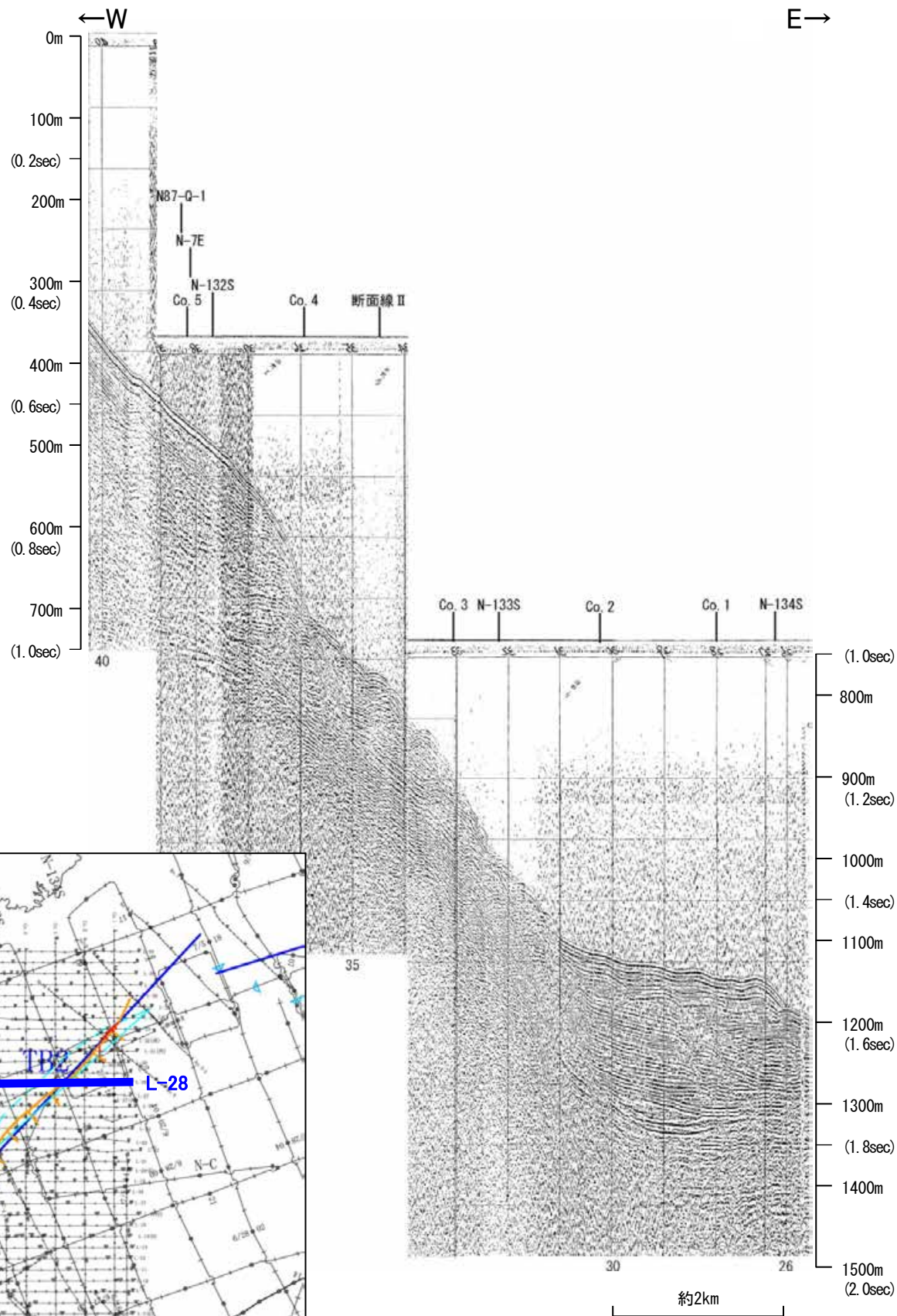


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	Q層 砂層
	後期	
	中期	
更新世	前期	C層
	鮮新世	D層
中新世		
古第三紀		
先第三紀		

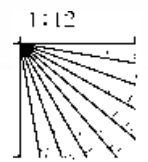


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-28

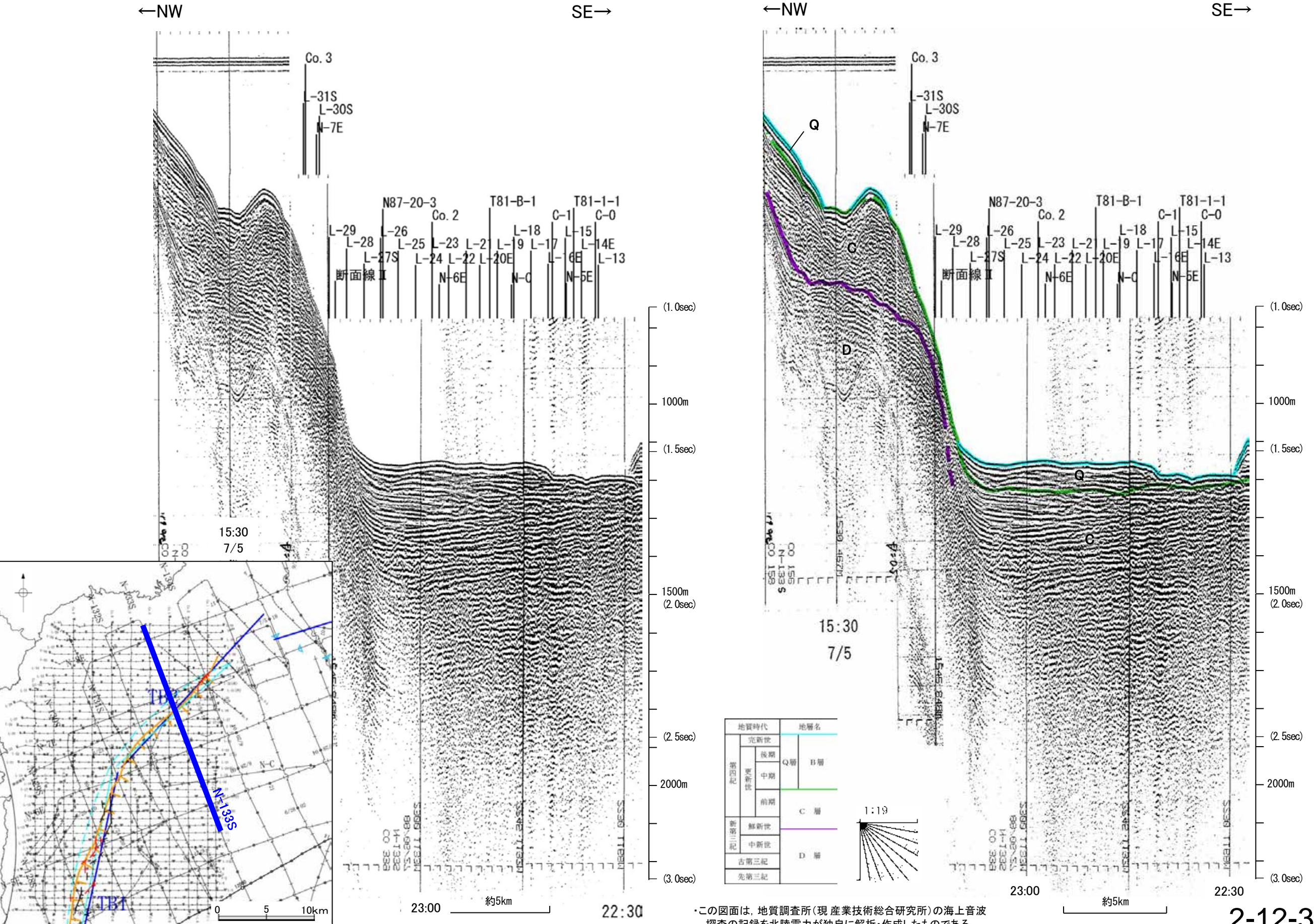


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	B層
	後期	
	更新世	Q層
	中期	C層
前期		
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	
古第三紀		
先第三紀		



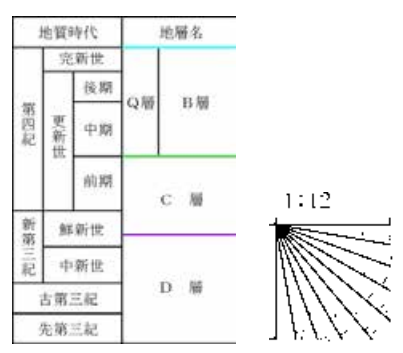
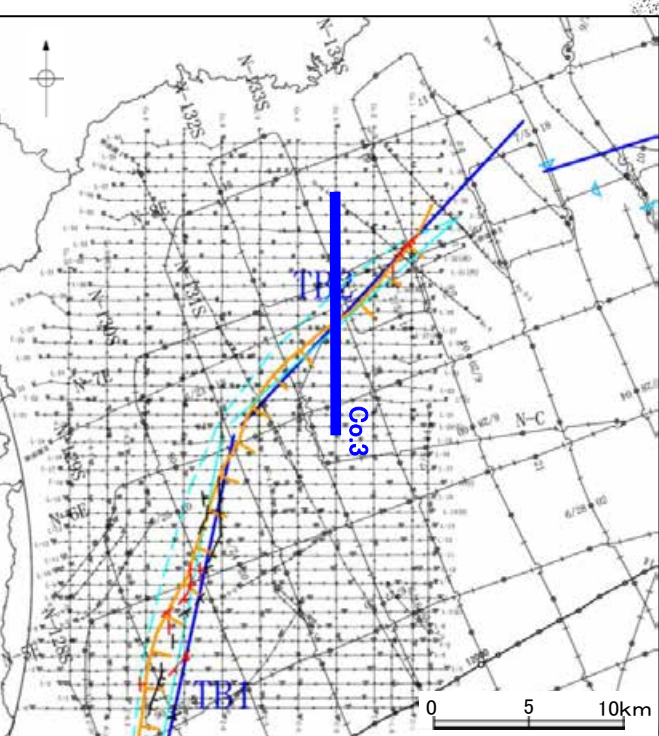
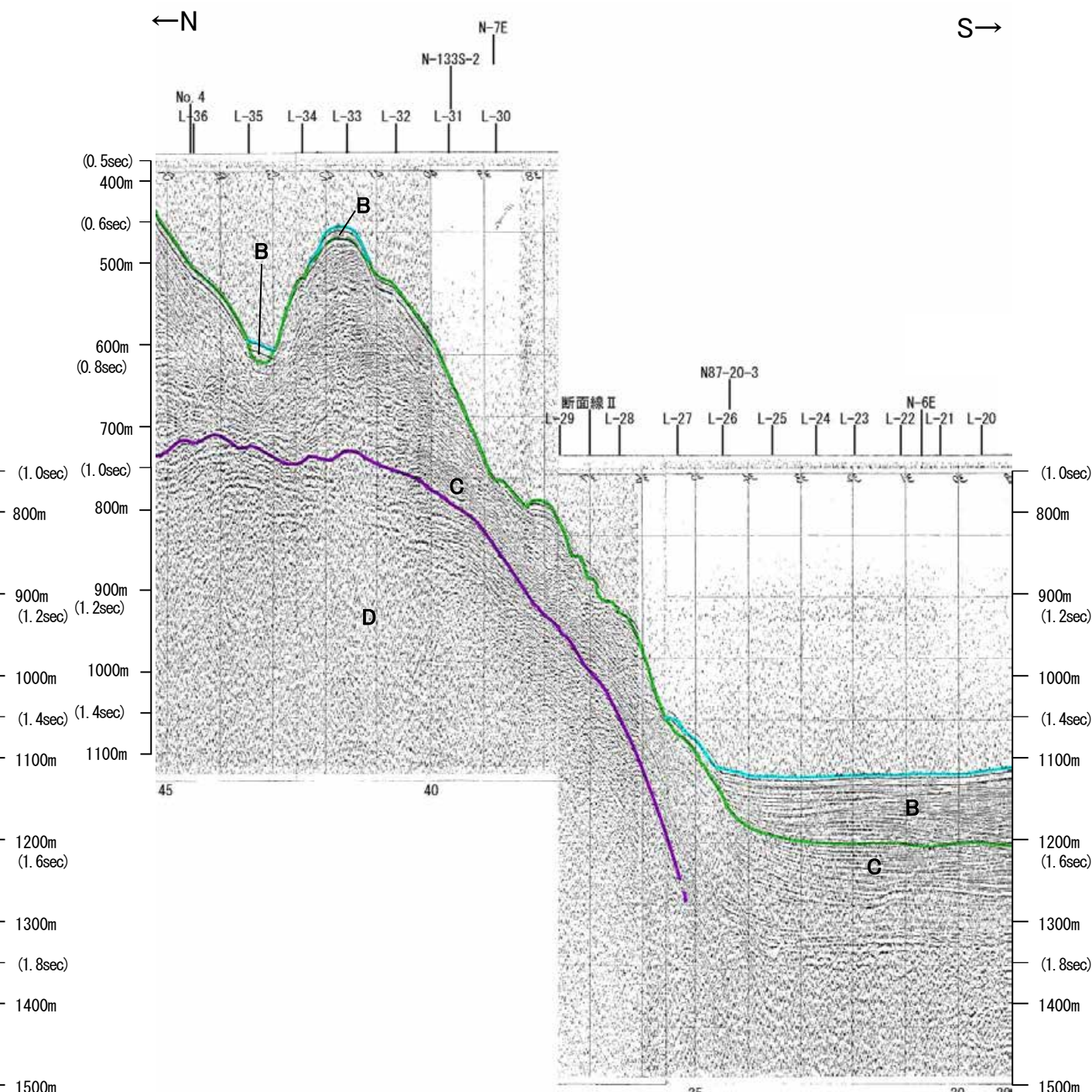
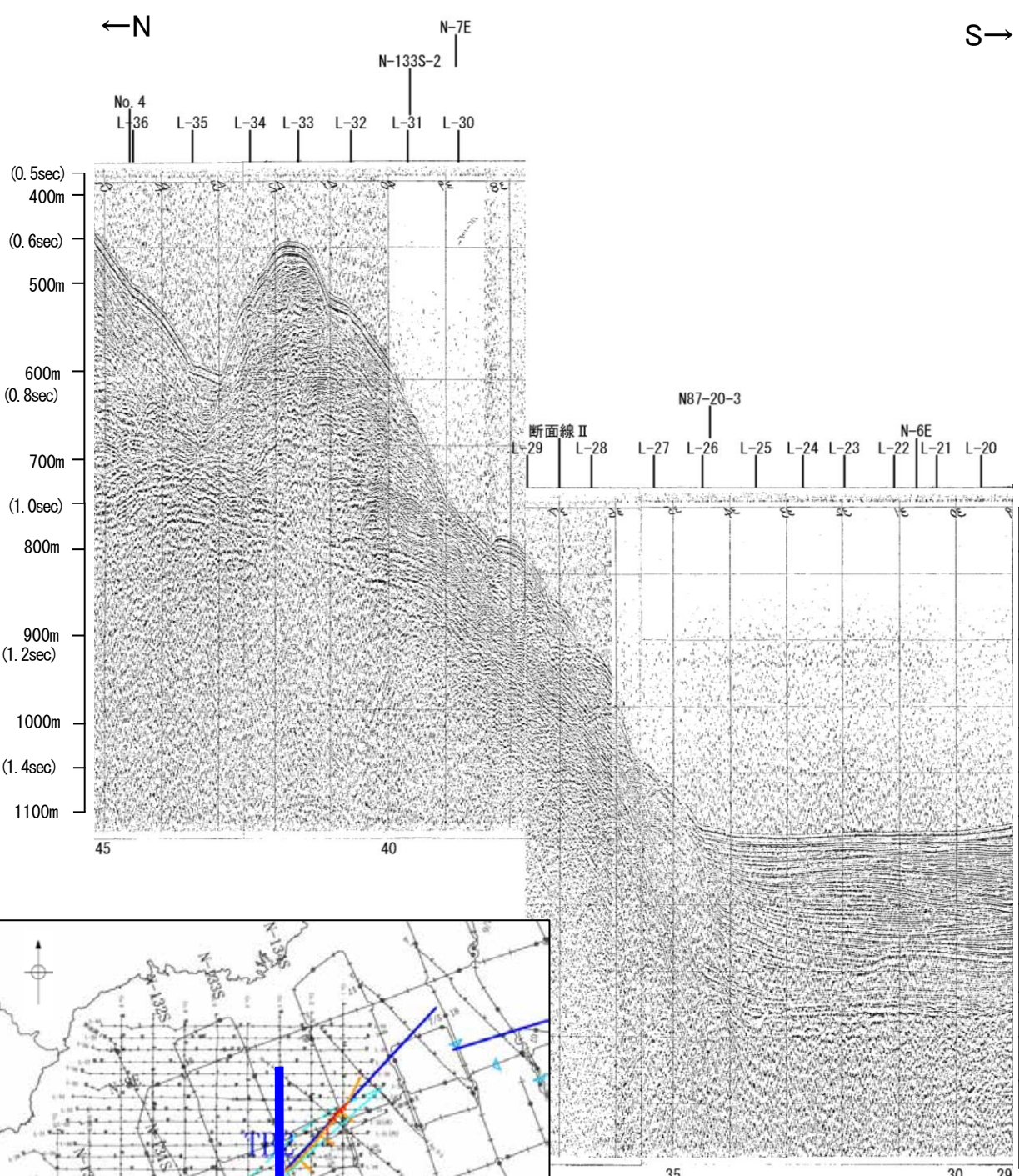
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-133S



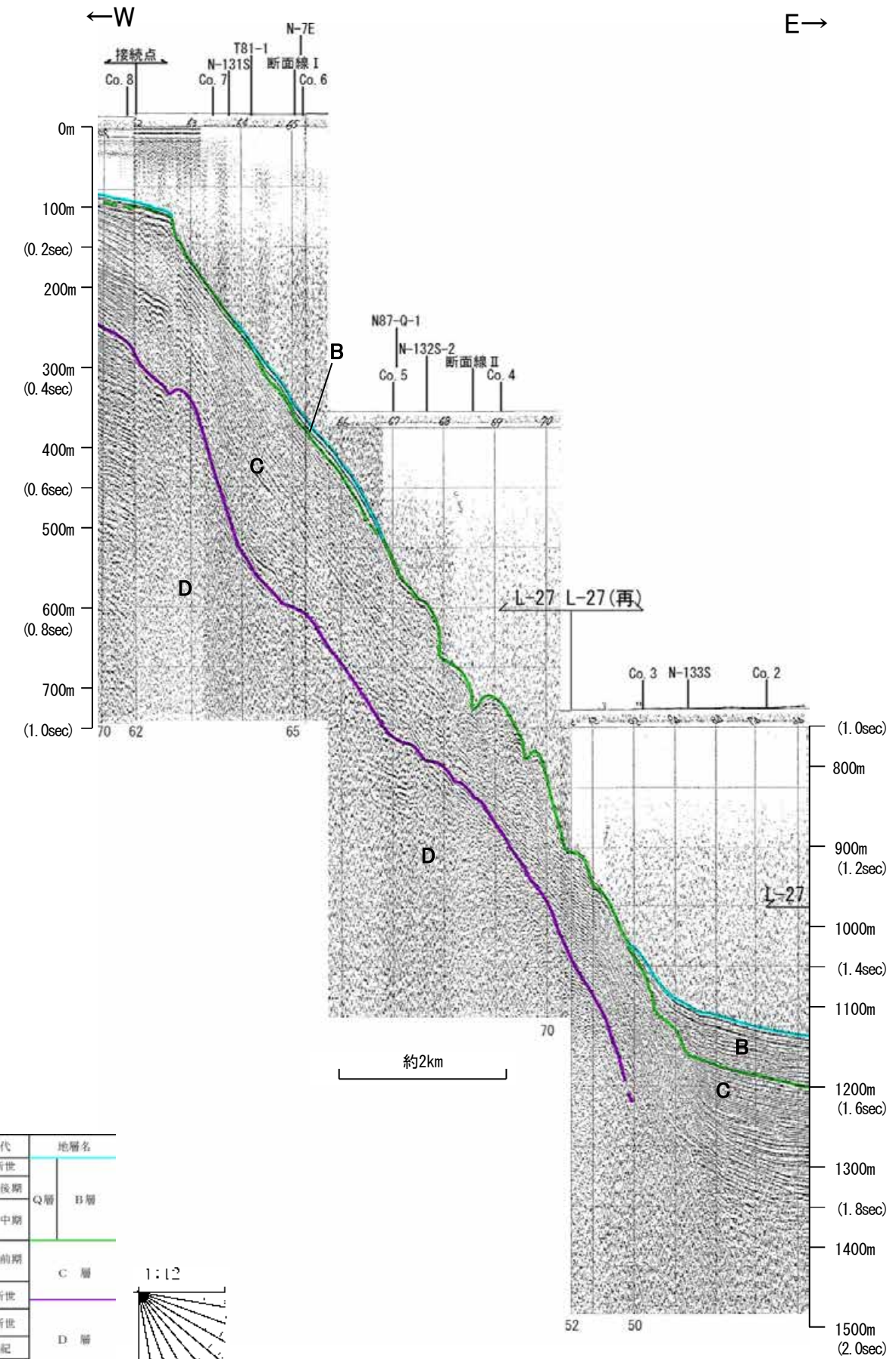
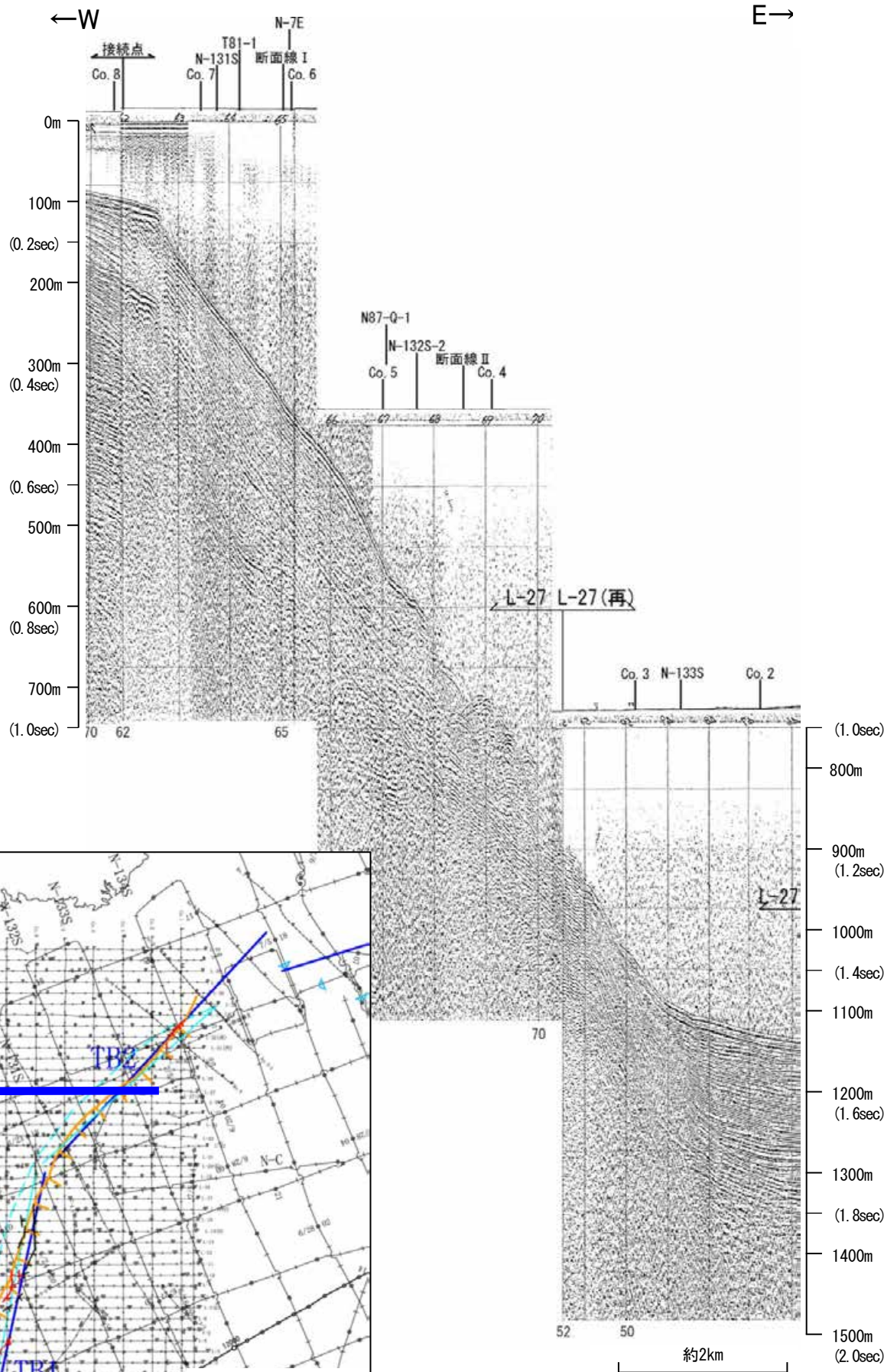
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー Co.3

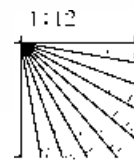


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-27

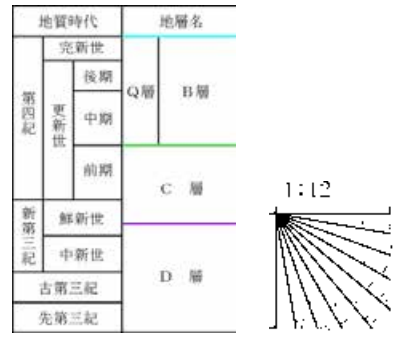
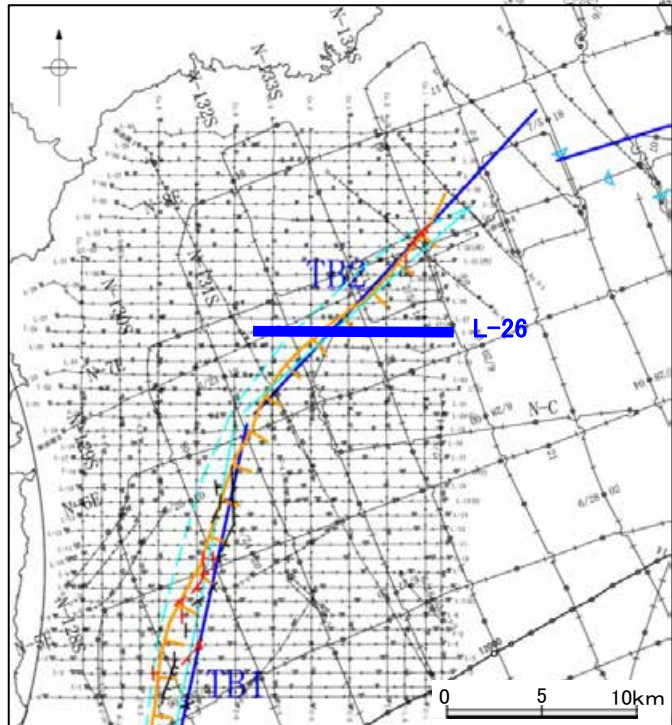
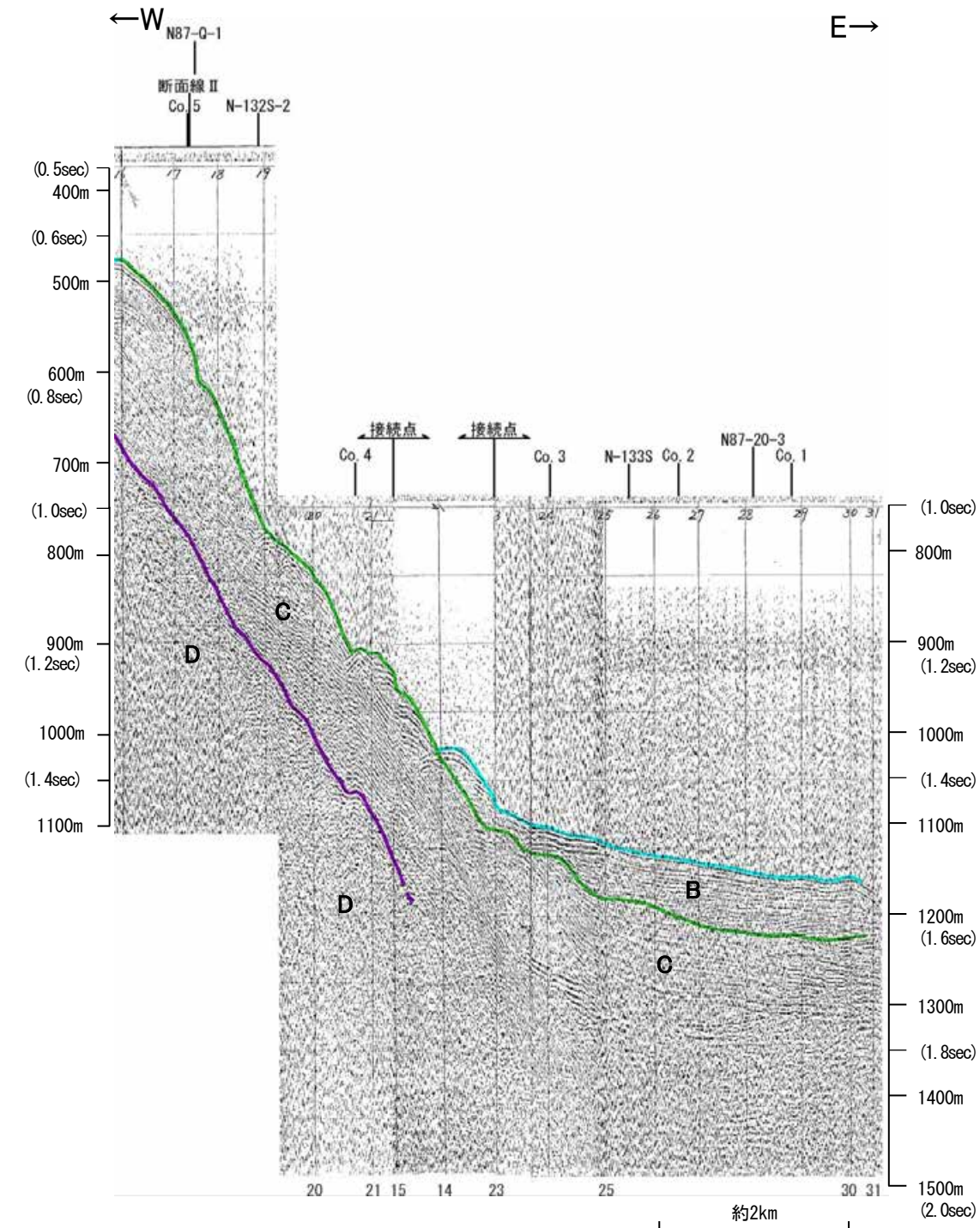
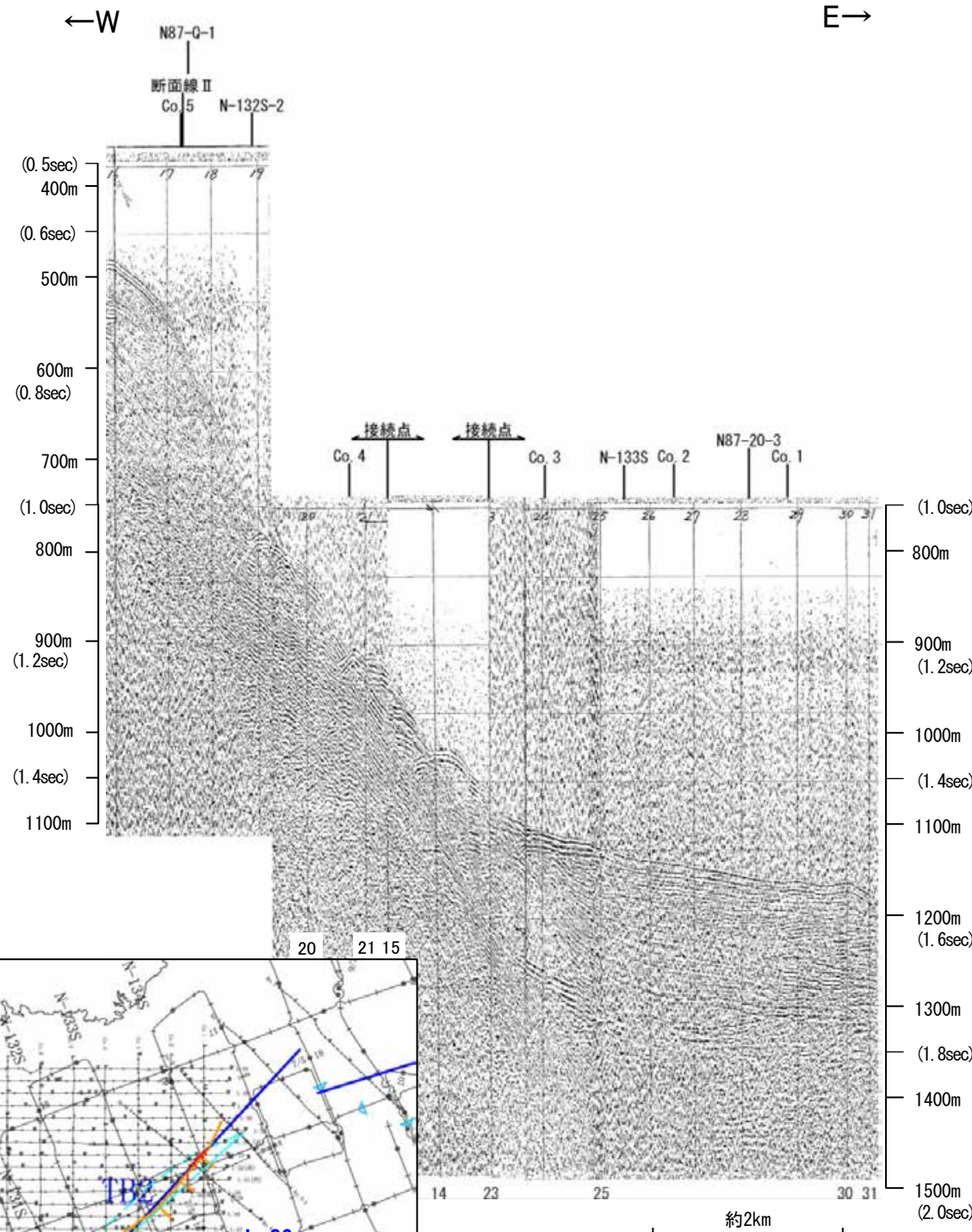


地質時代	地層名
第四紀	完新世
更新世	後期
	中期
	前期
新第三紀	鮮新世
古第三紀	中新世
	先第三紀



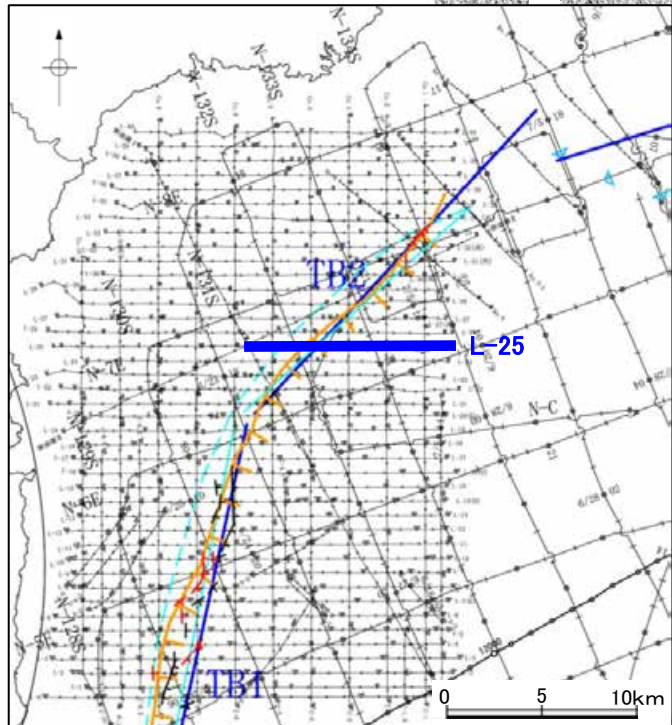
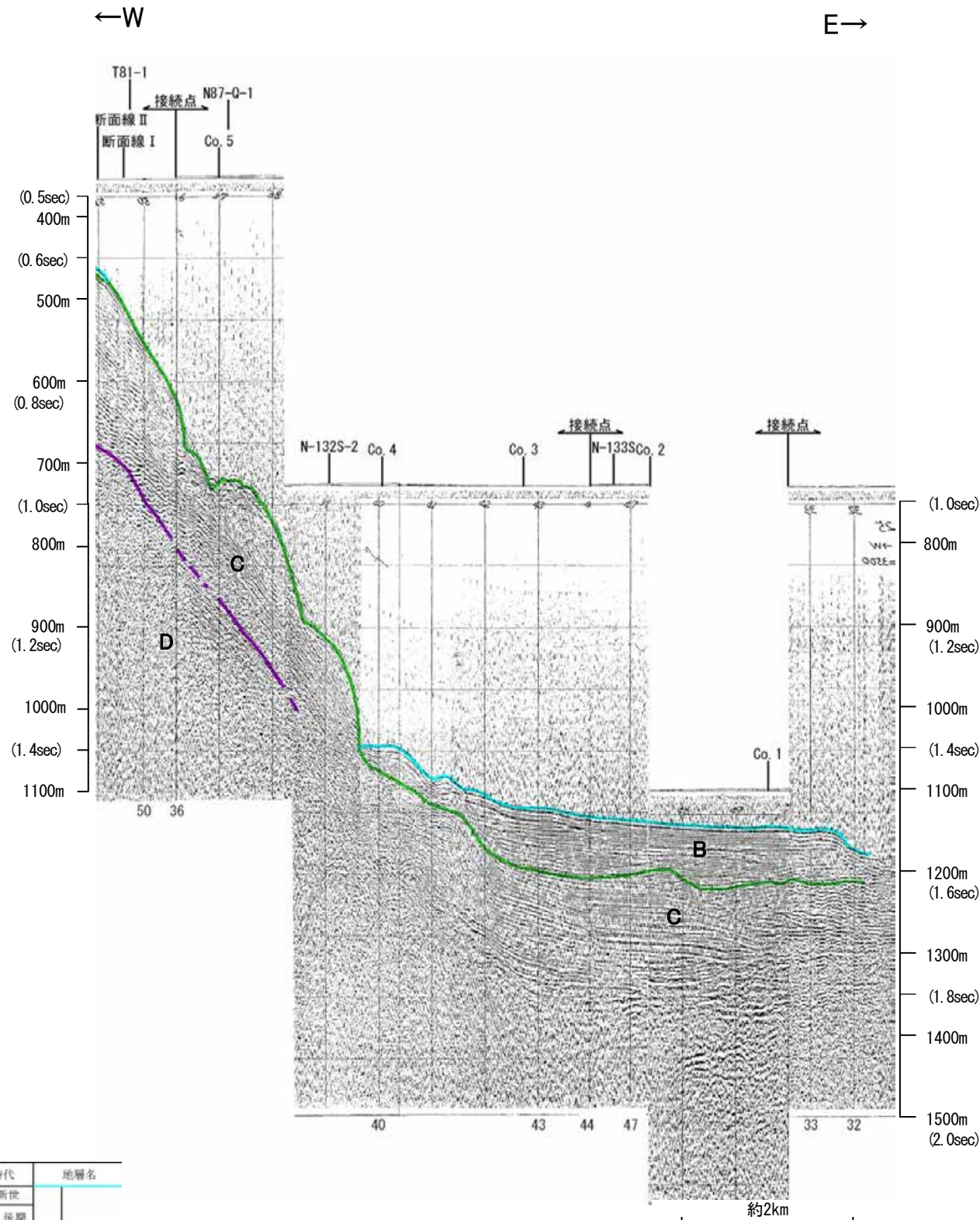
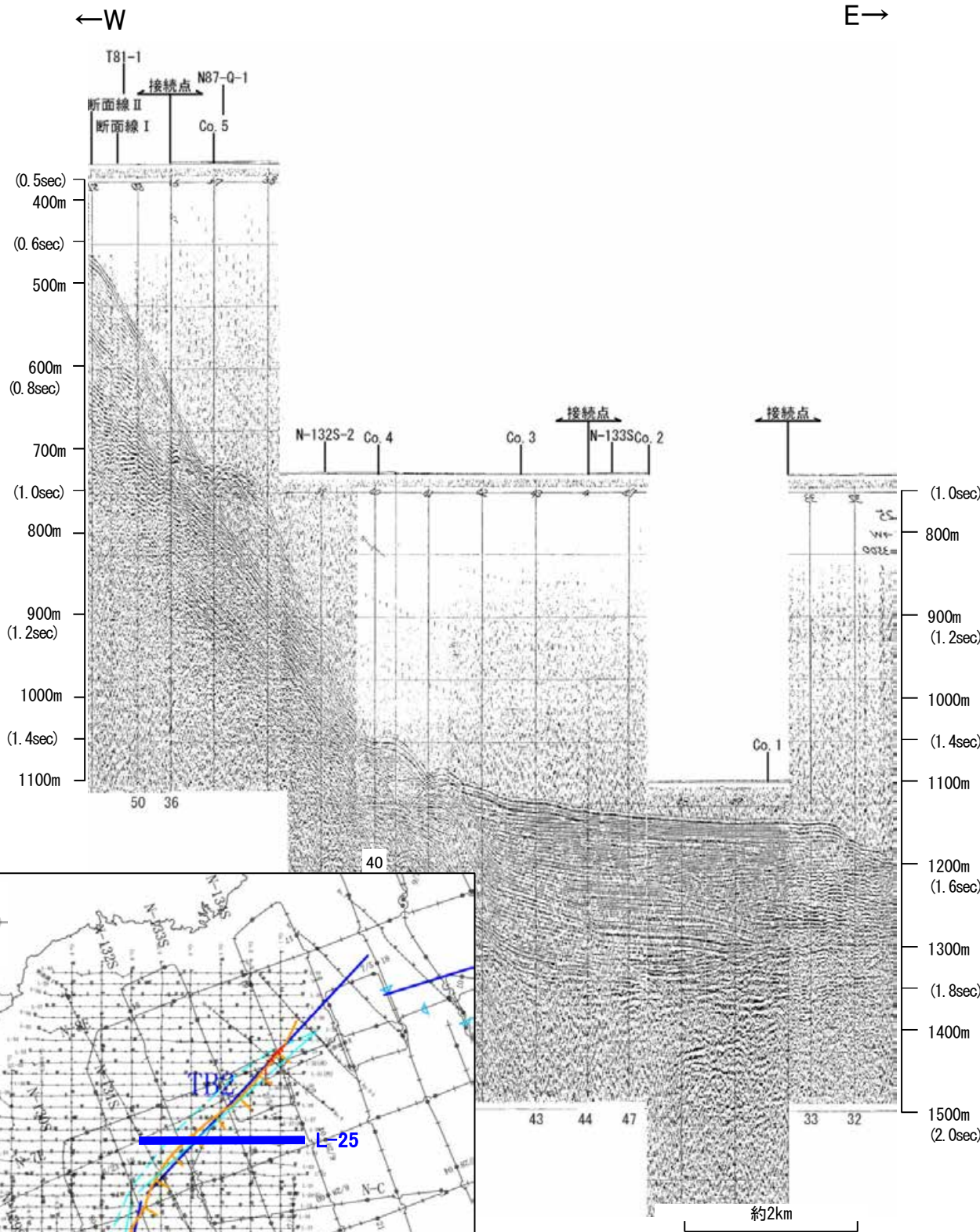
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-26

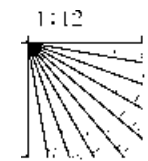


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-25

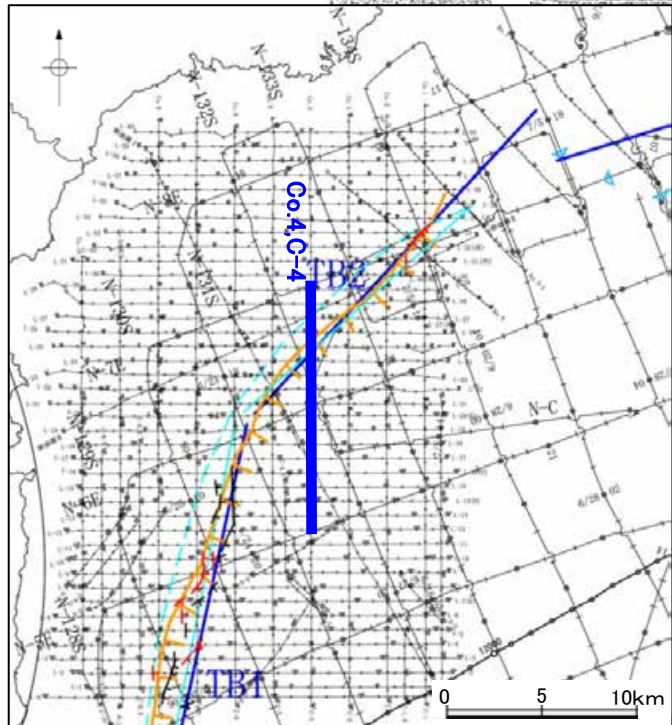
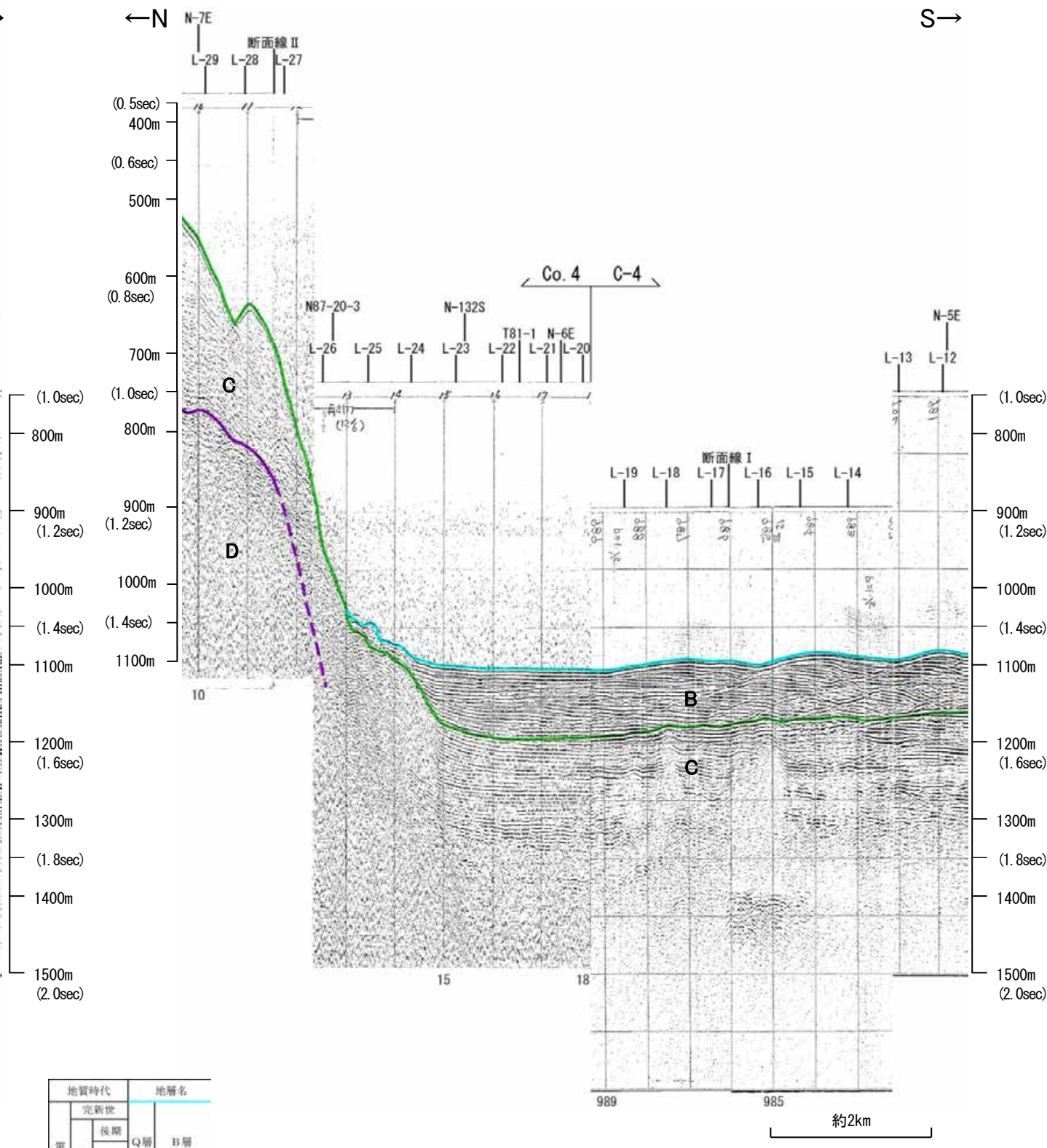
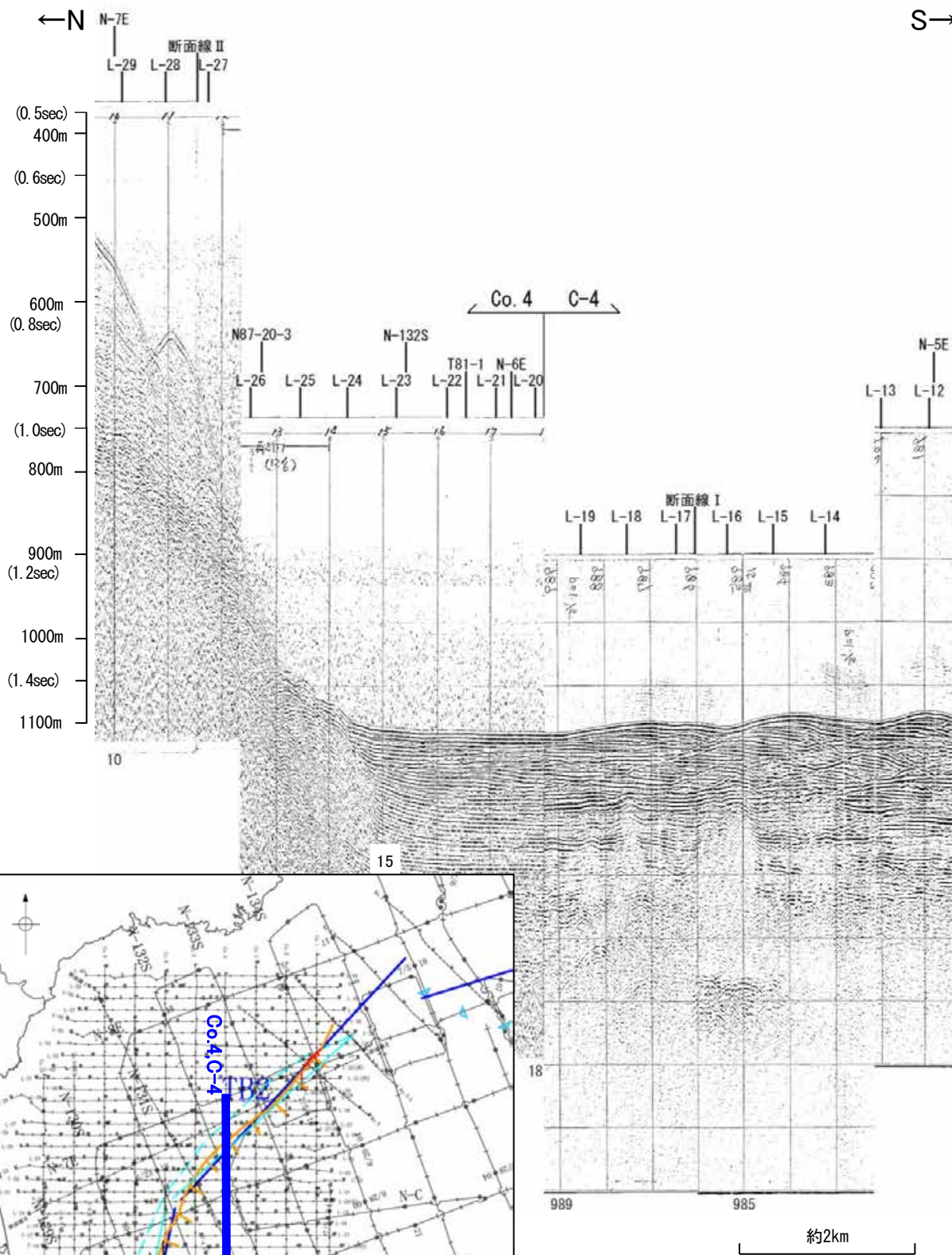


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期		C層
新第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			

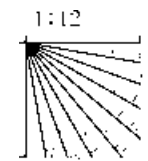


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー Co.4,C-4

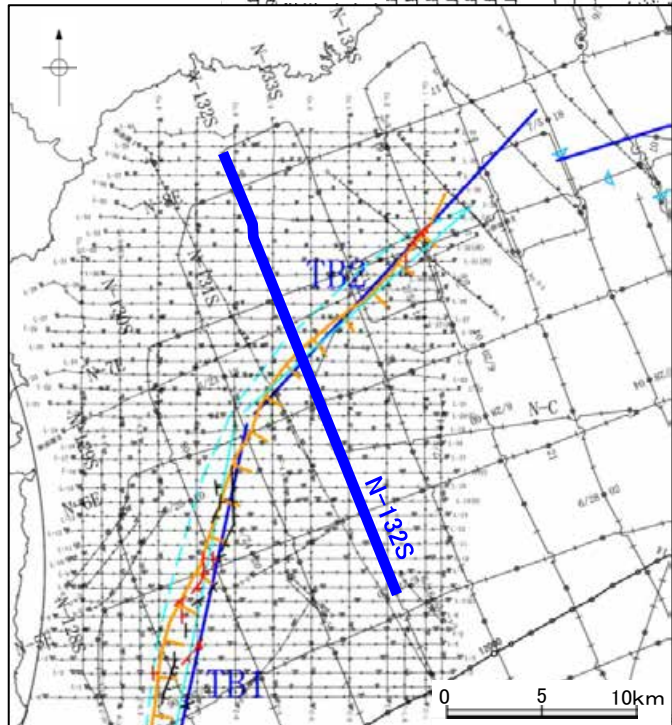
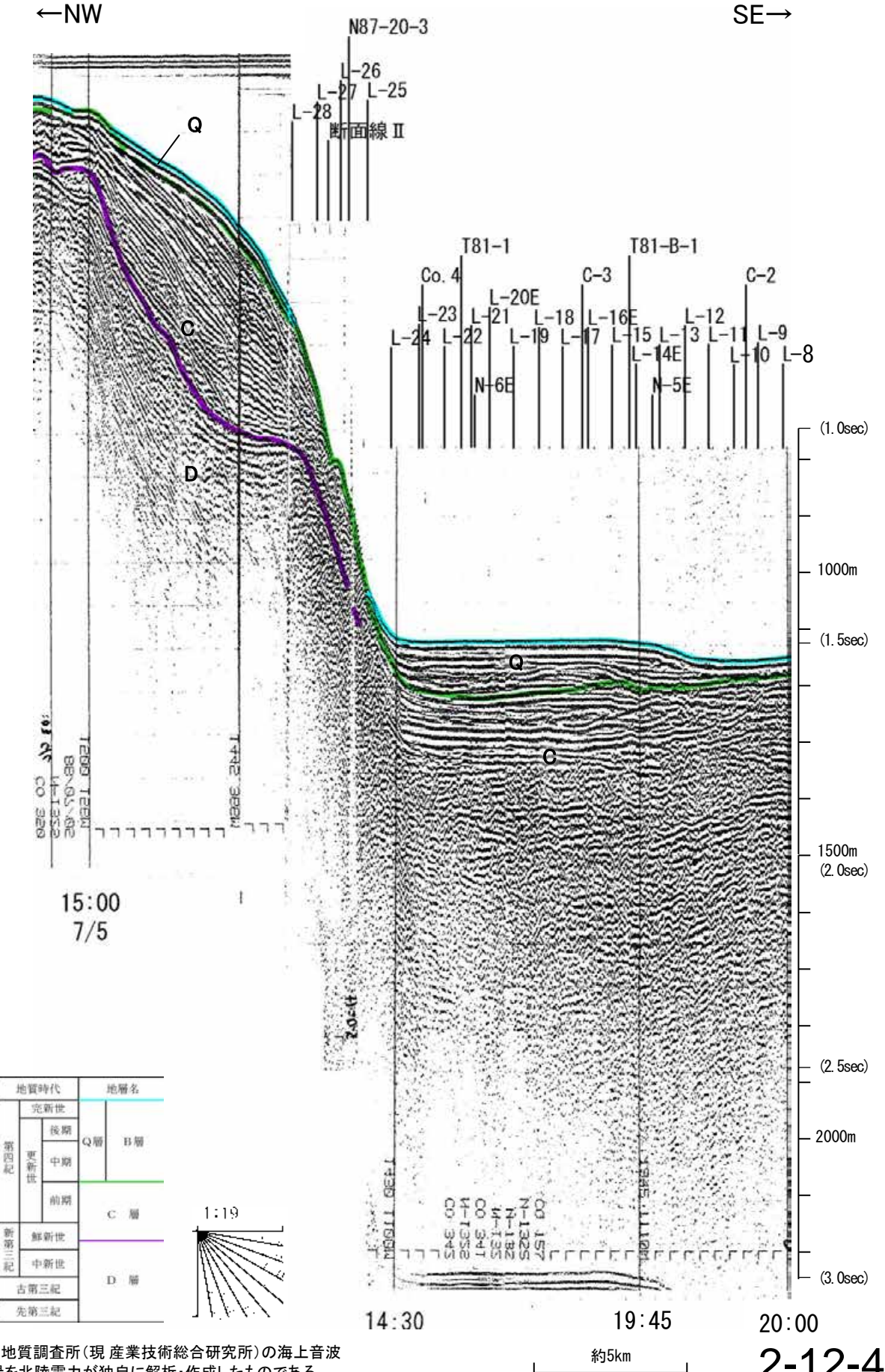
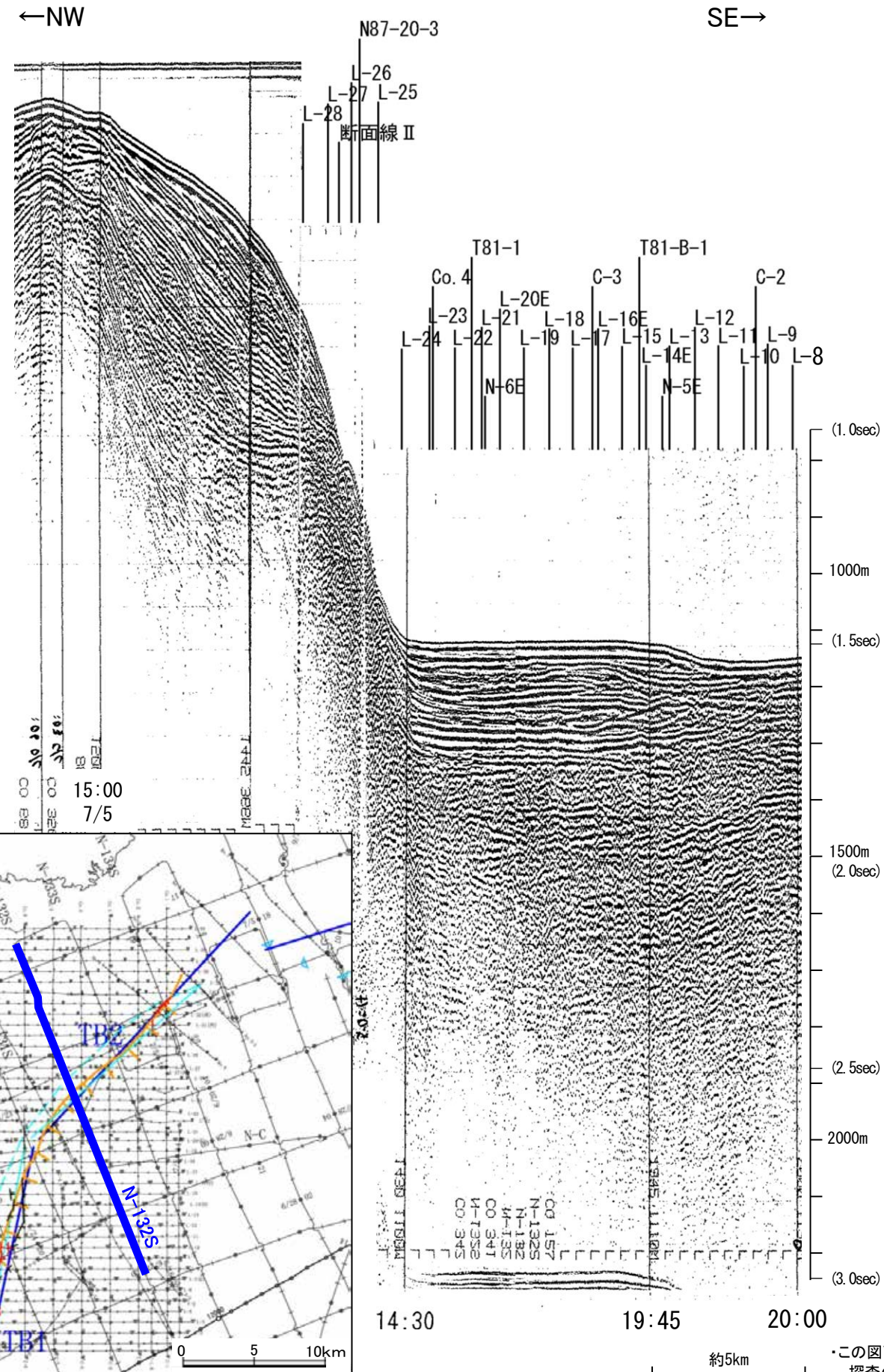


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	
更新世	前期	C層
	鮮新世	D層
中新世		
古第三紀		
先第三紀		

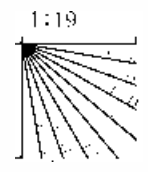


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-132S

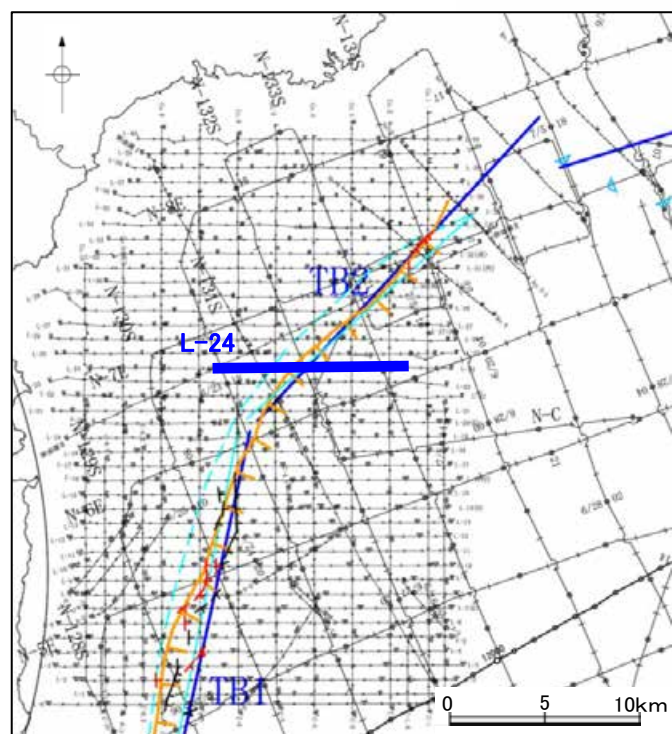
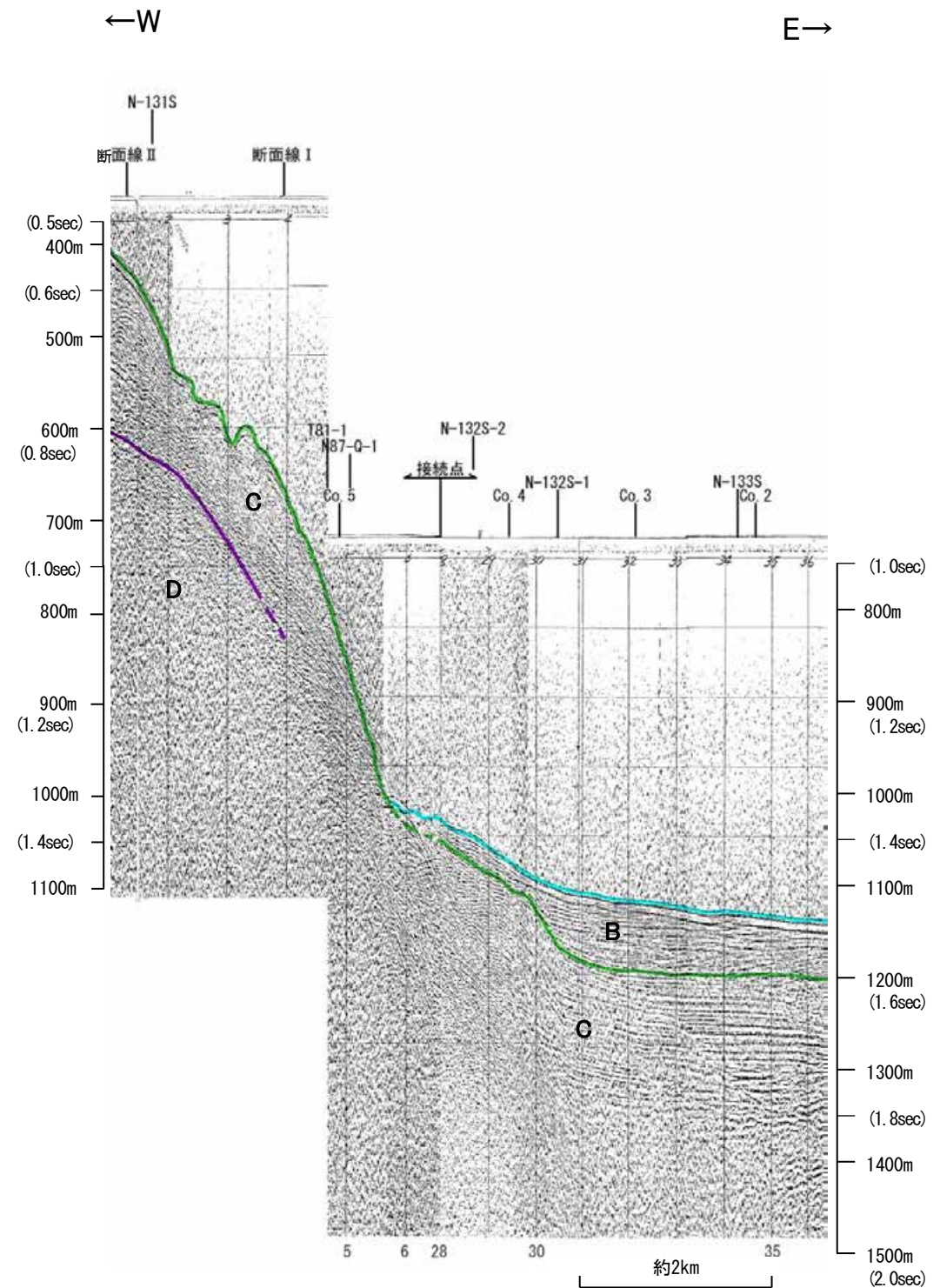
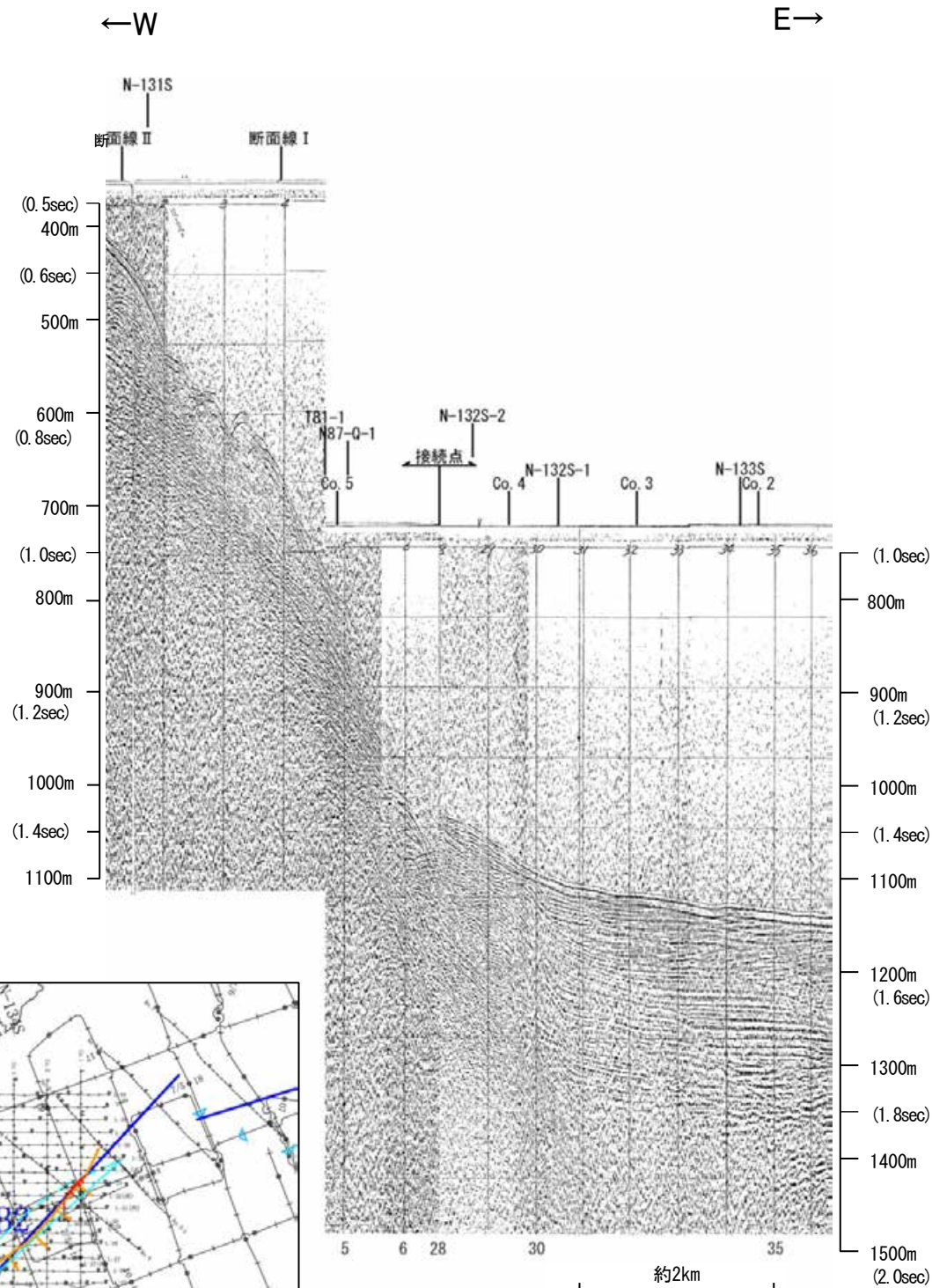


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	Q層	B層
	中期		
	前期	C層	
第三紀	鮮新世		
	中新世		
古第三紀		D層	
先第三紀			

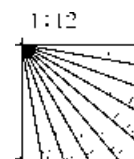


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-24

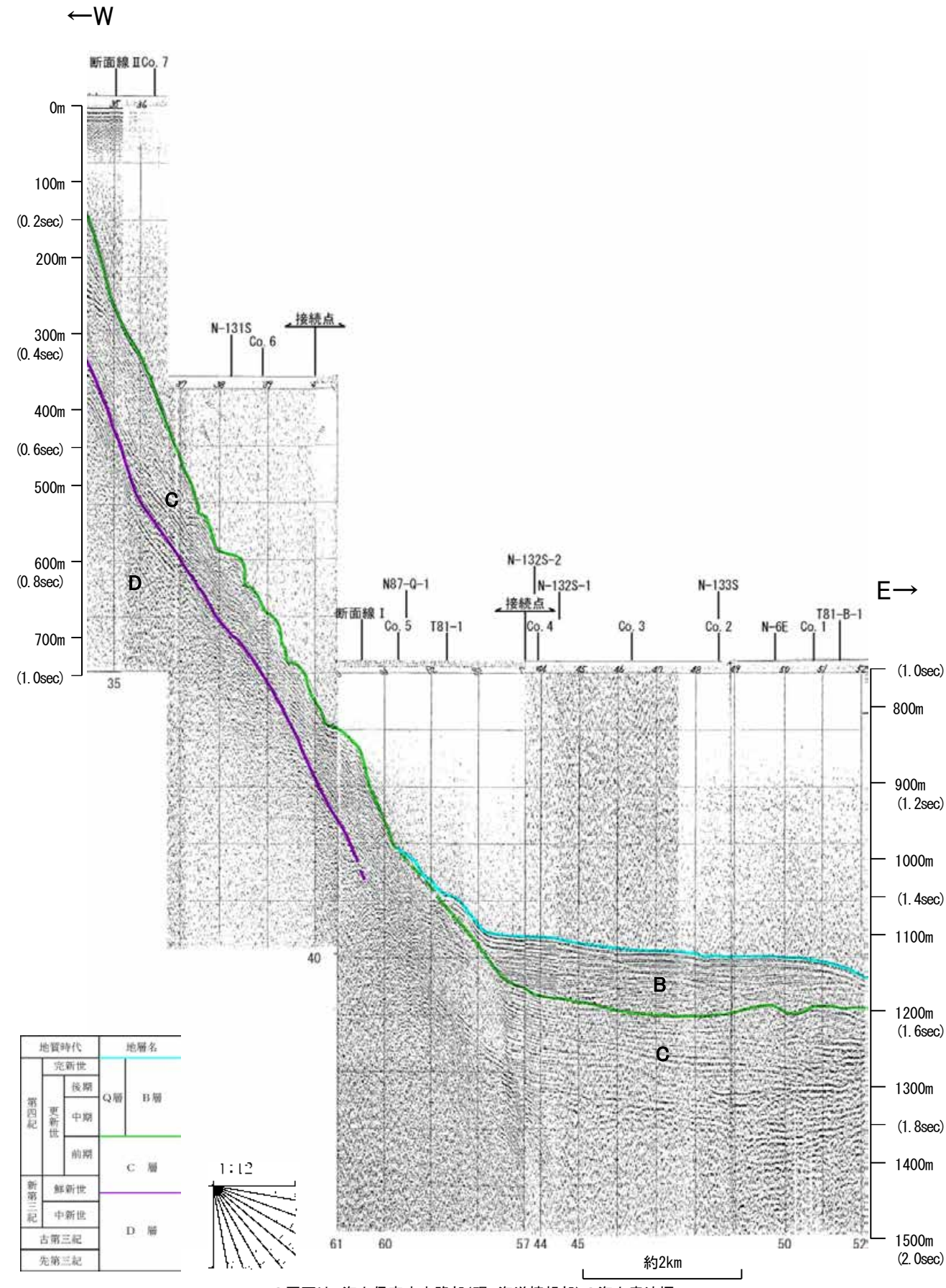
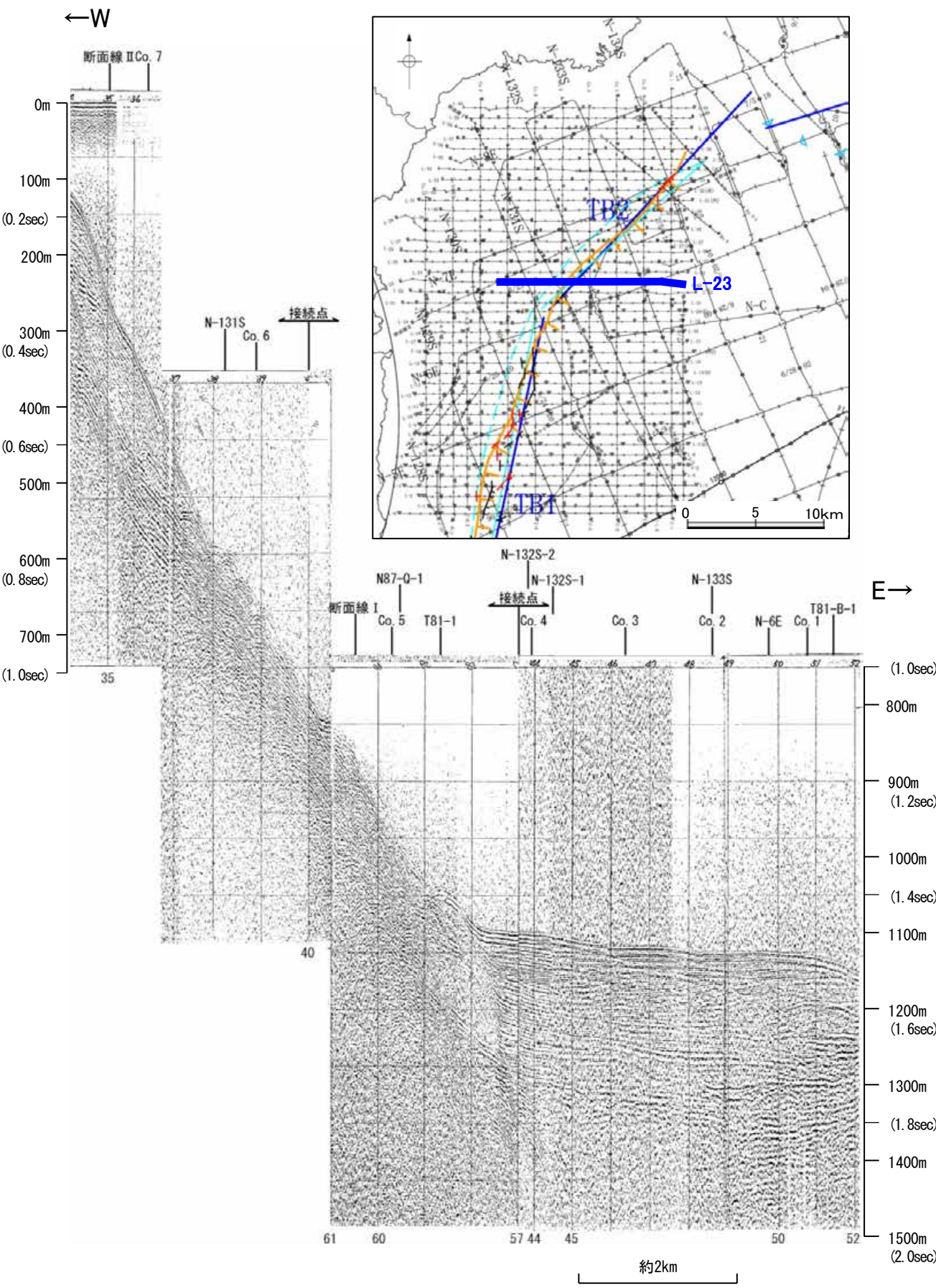


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期	C層	
新第三紀	鮮新世		
	中新世	D層	
古第三紀			
先第三紀			



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

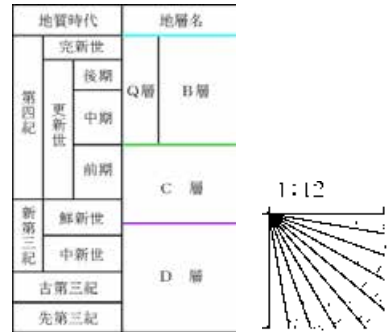
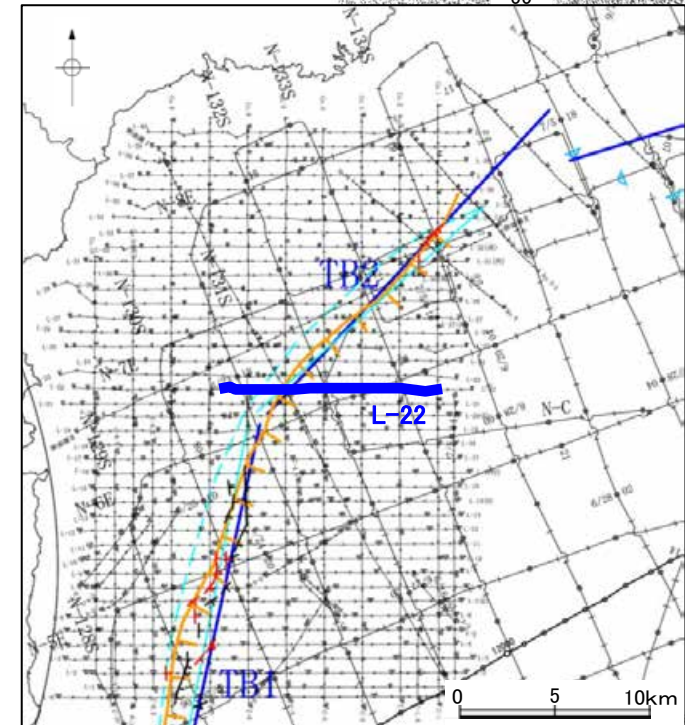
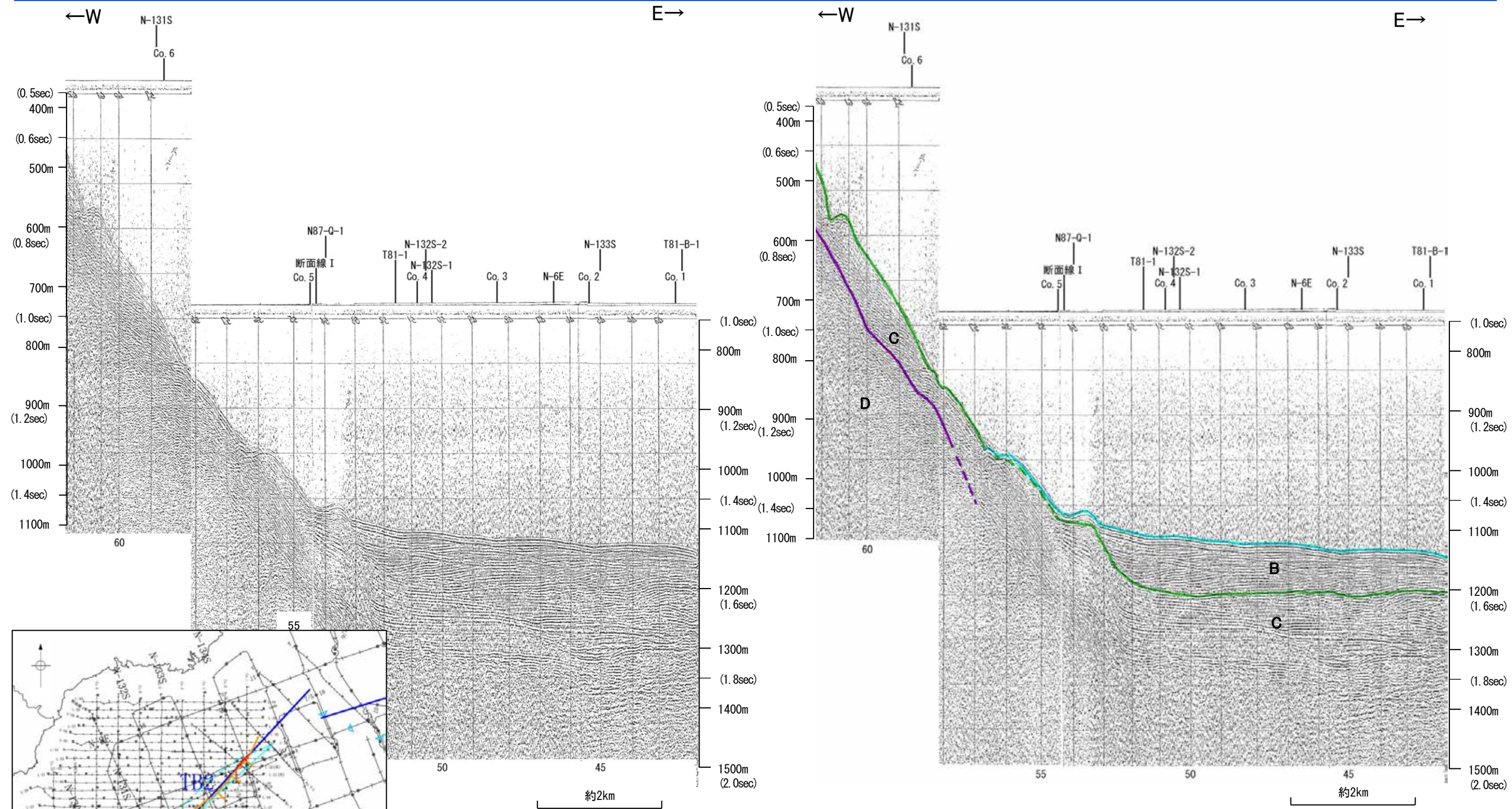
海上保安庁スパーカー L-23



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期		C層
第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			

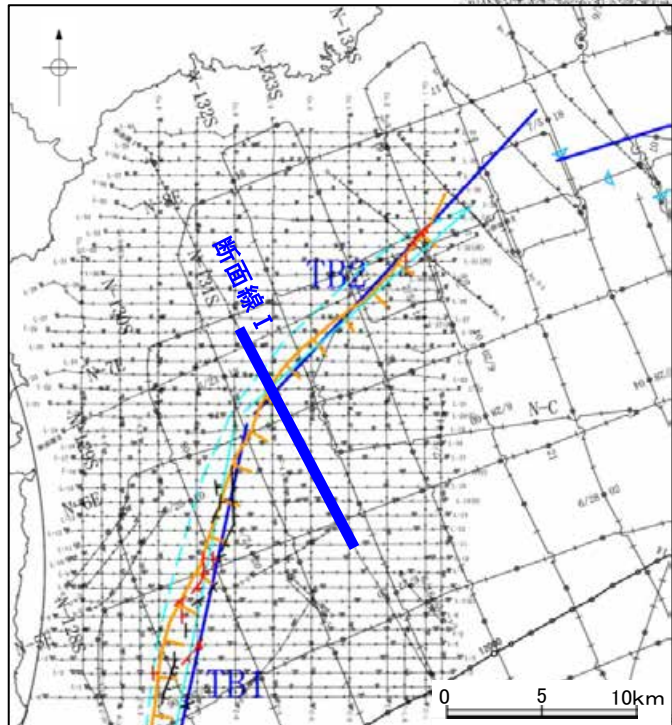
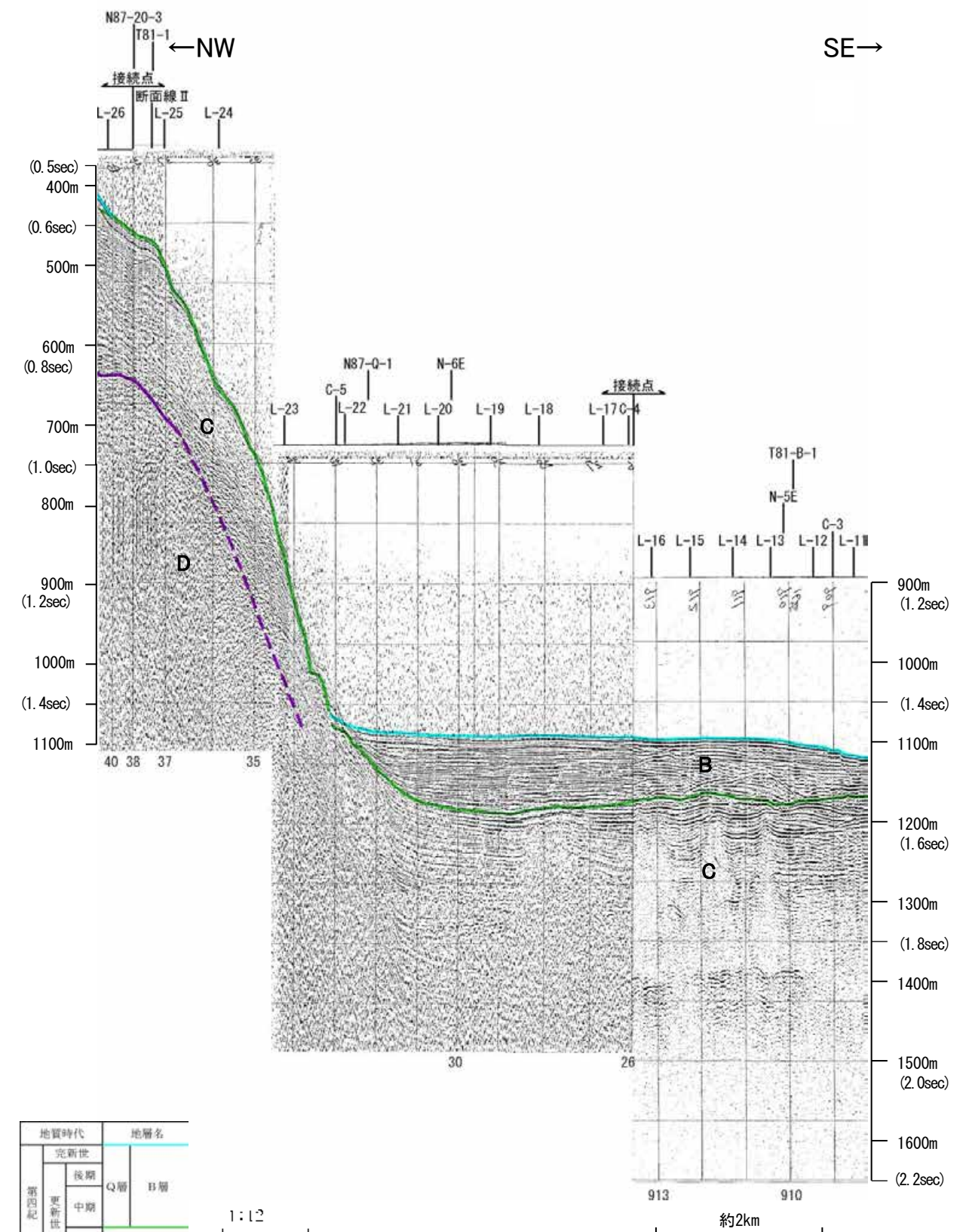
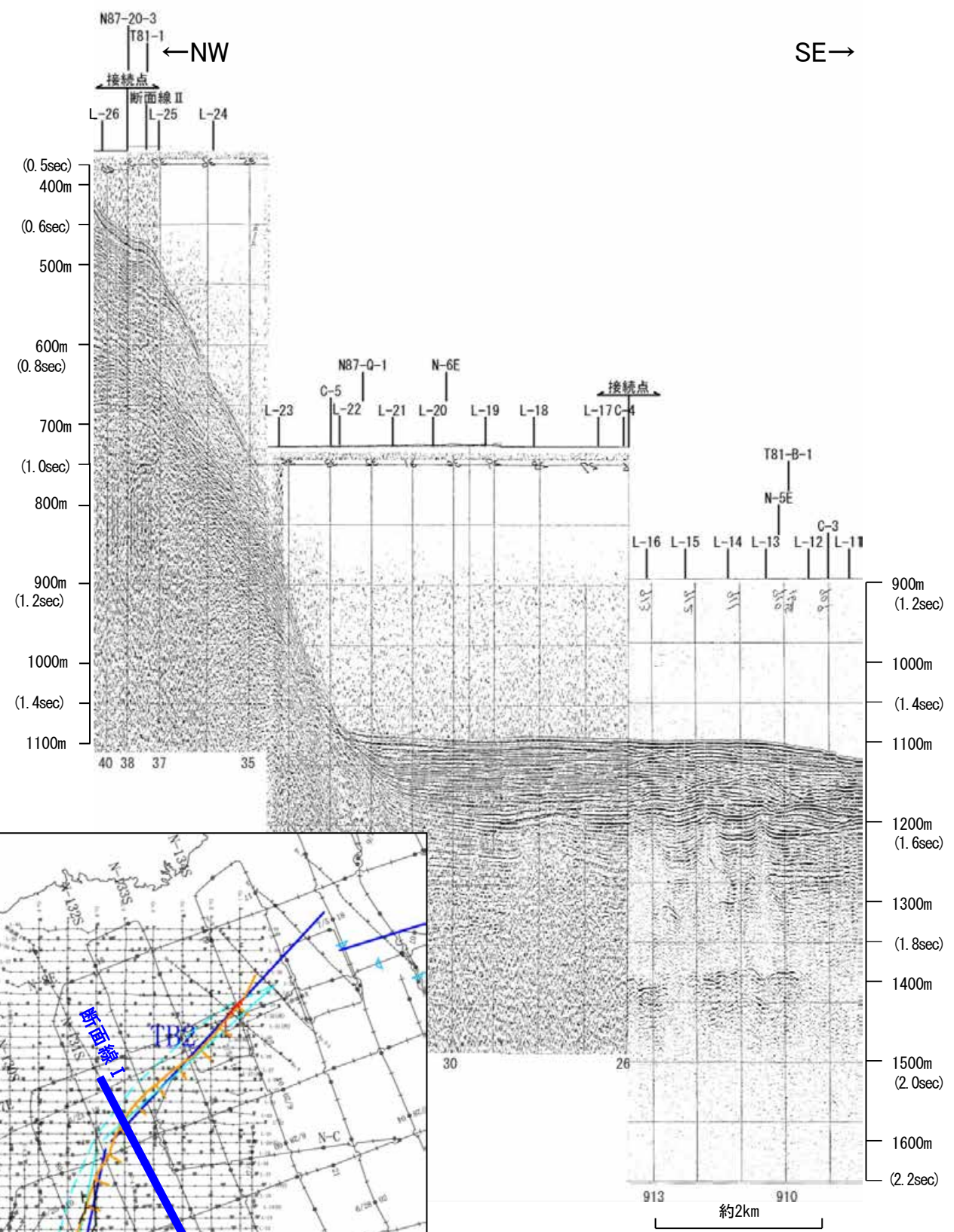
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-22

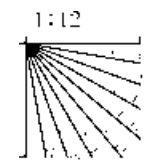


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー 断面線 I

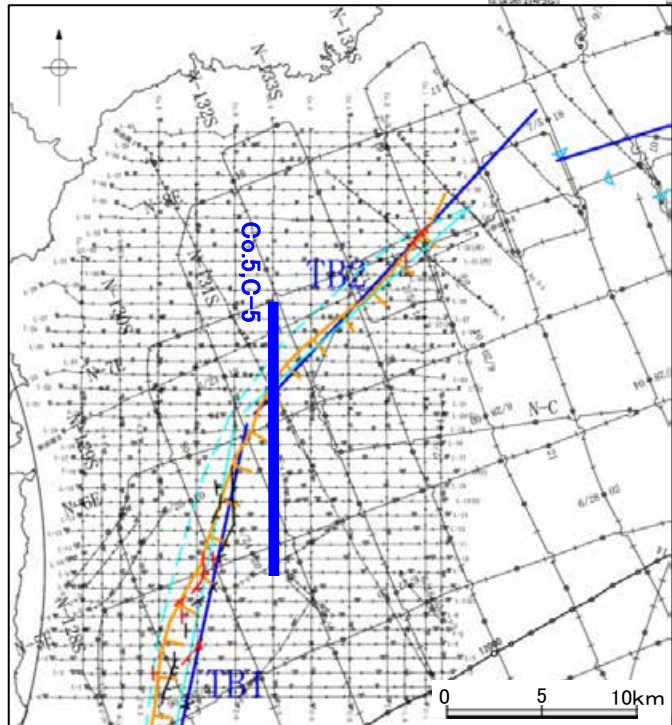
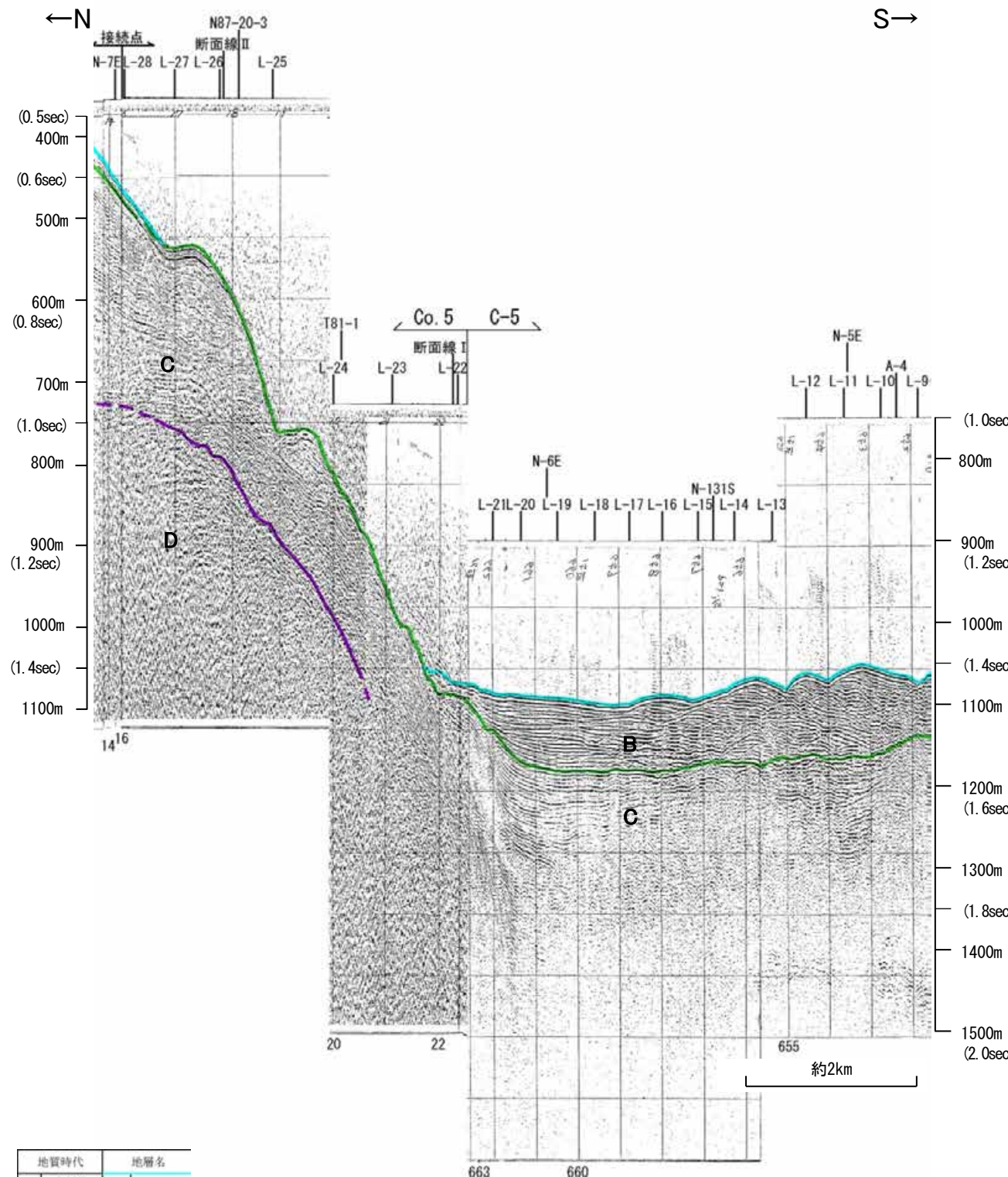
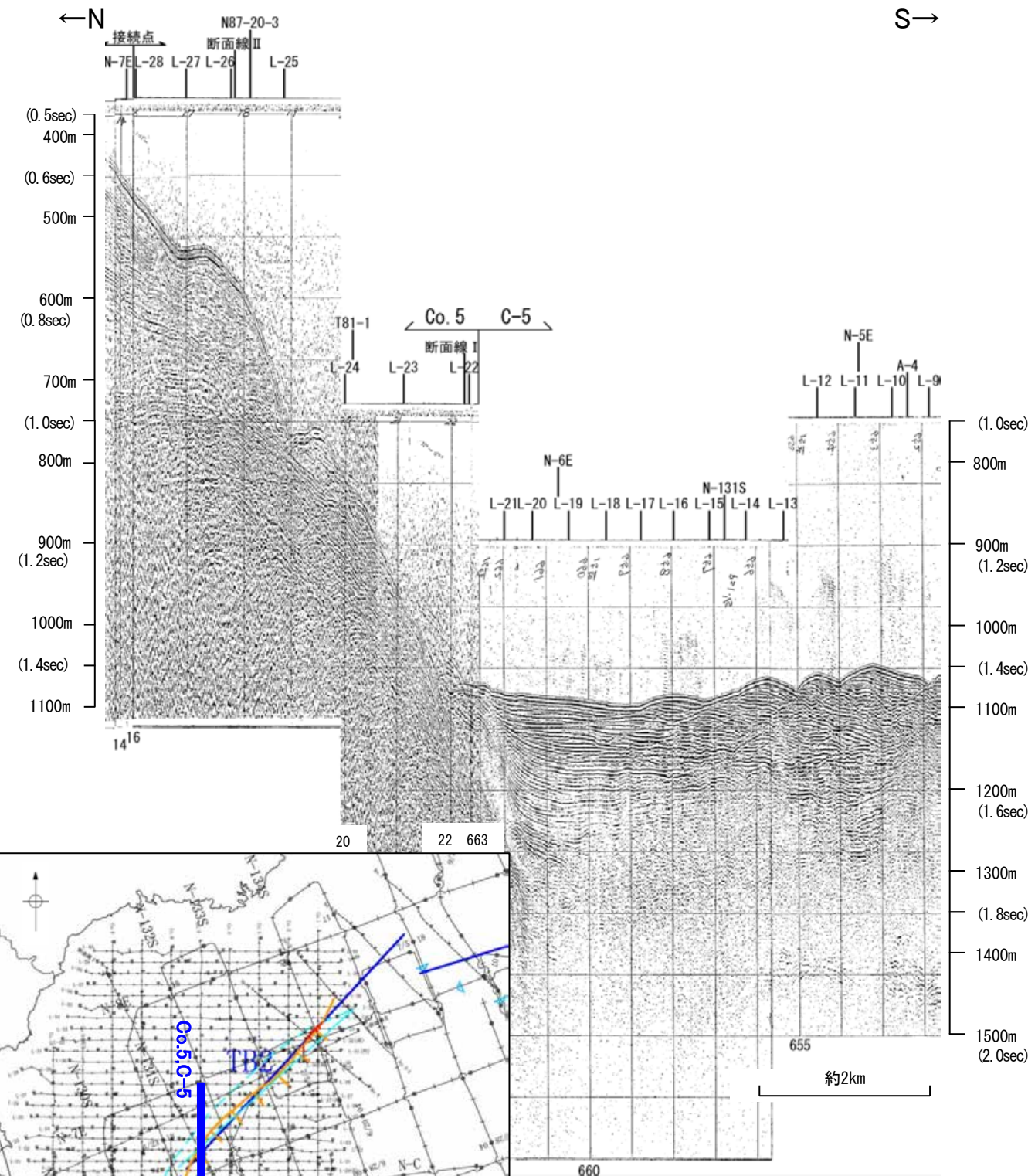


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	B層
	後期	
	更新世	Q層
	中期	C層
前期		
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	
古第三紀		
先第三紀		

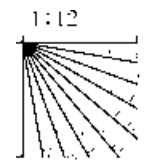


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー Co.5,C-5

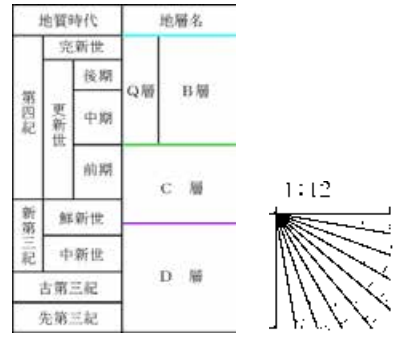
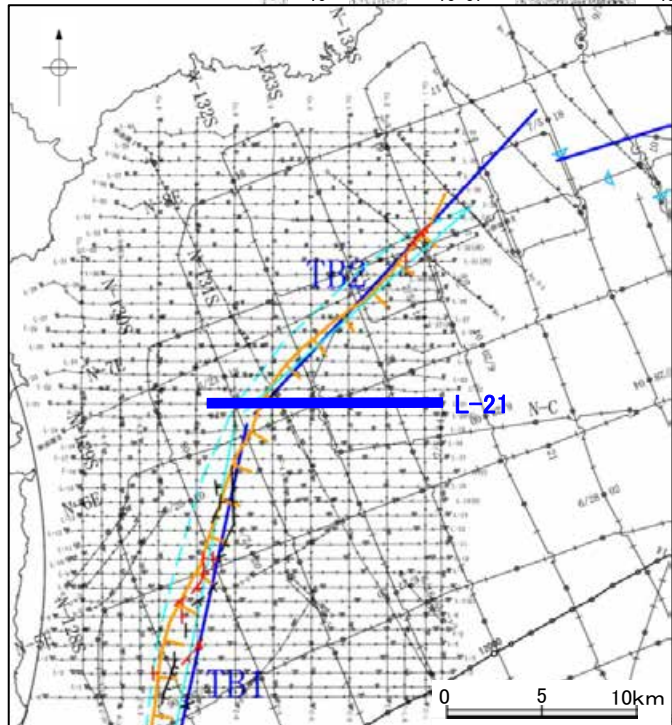
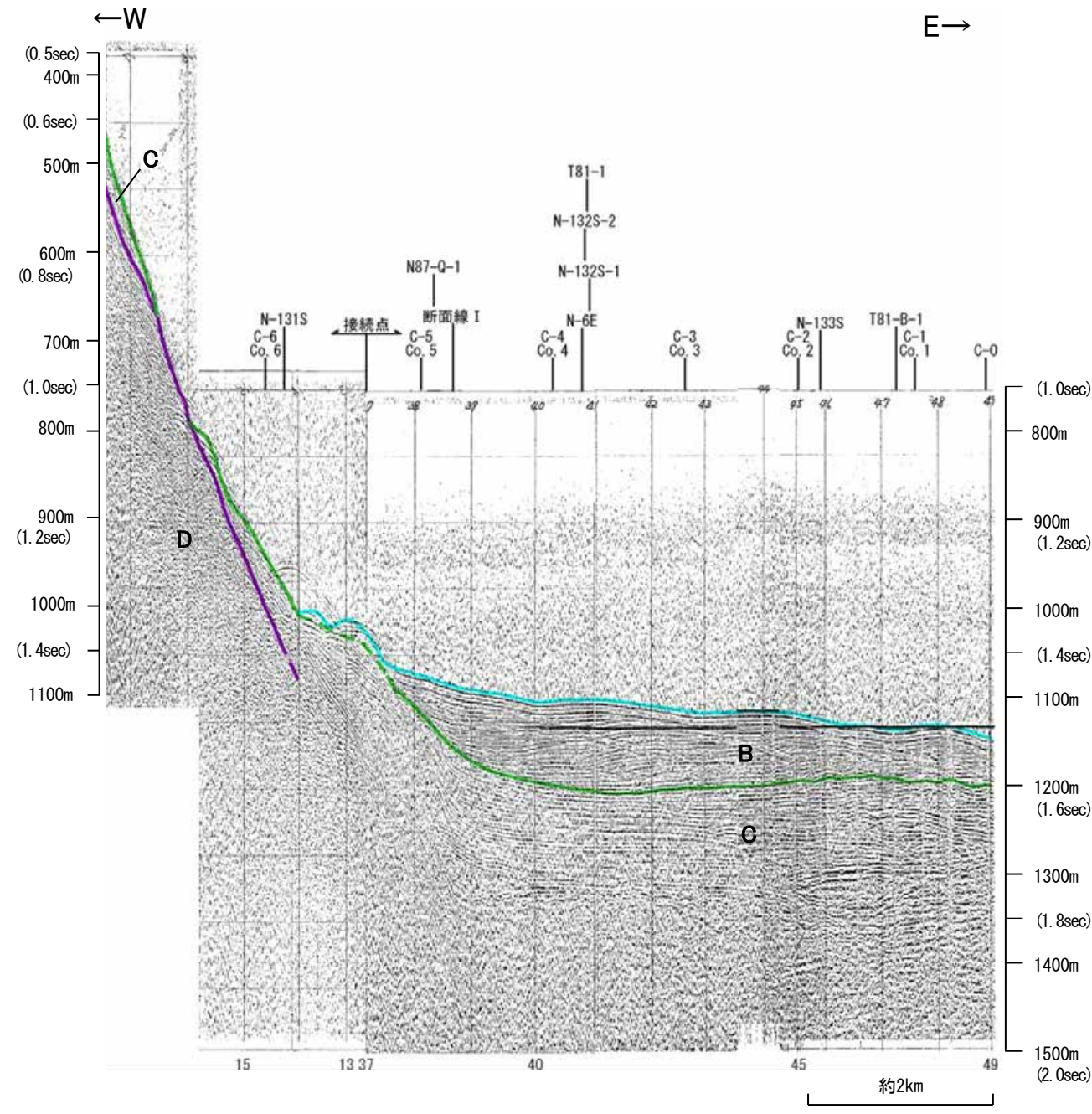
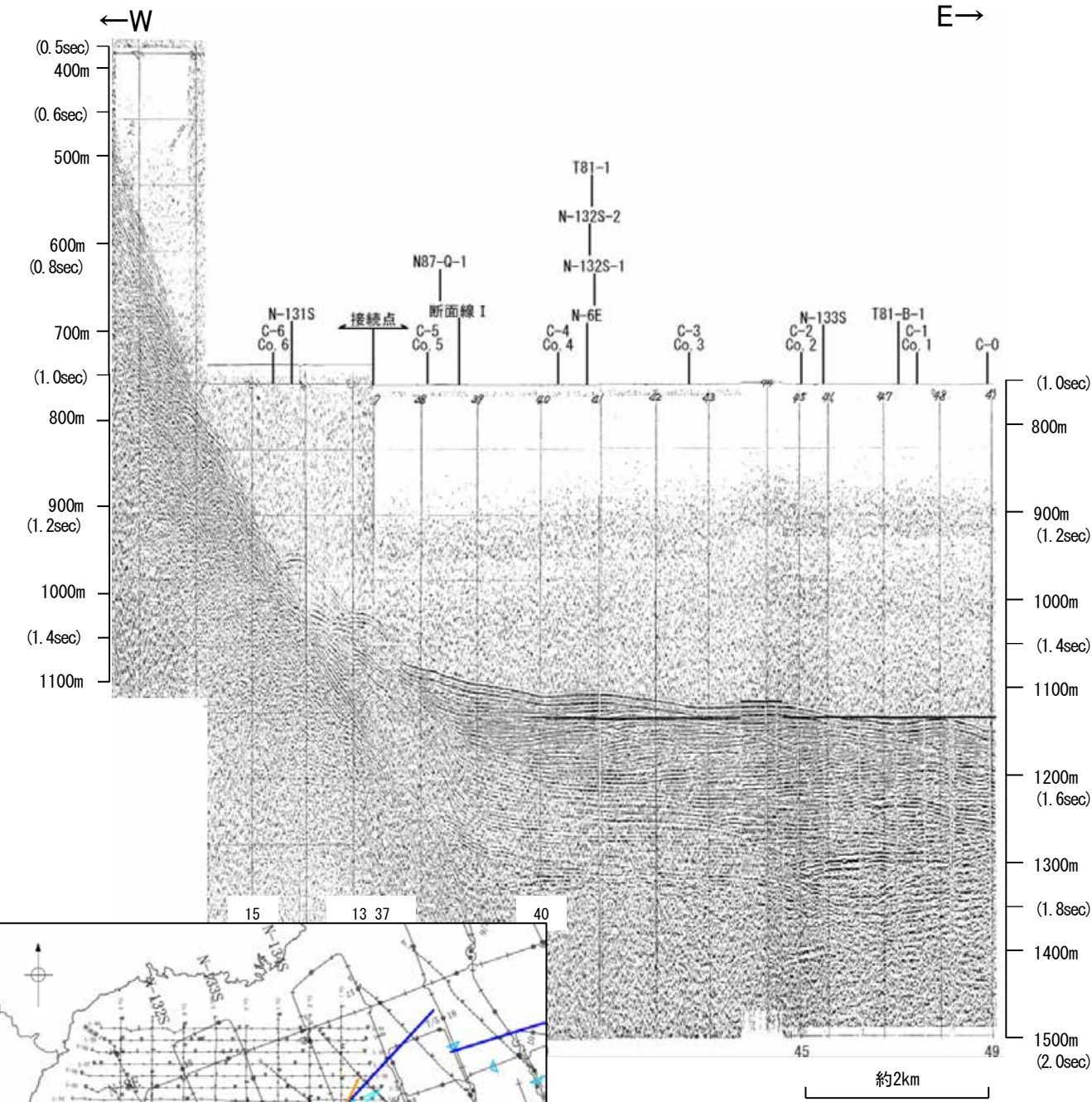


地質時代	地層名		
第四紀	完新世	Q層 B層	
	後期		
	更新世	中期	C層
	前期		
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			



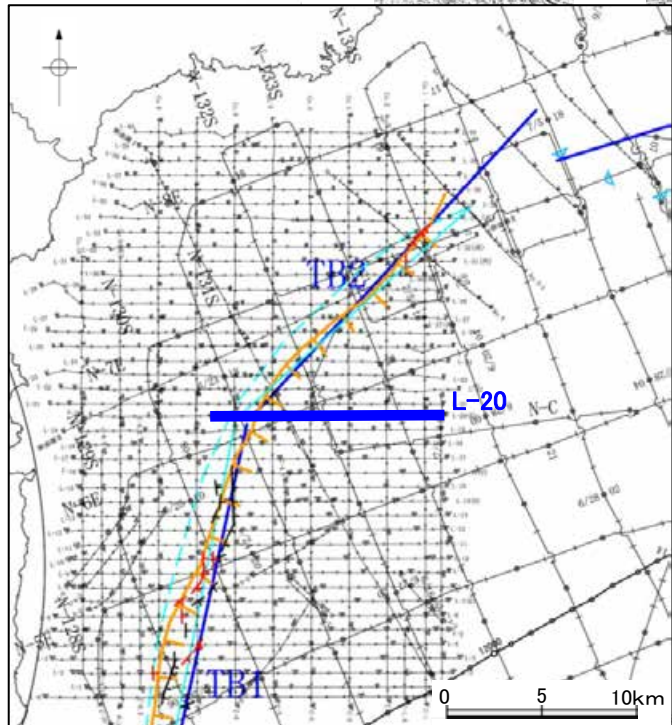
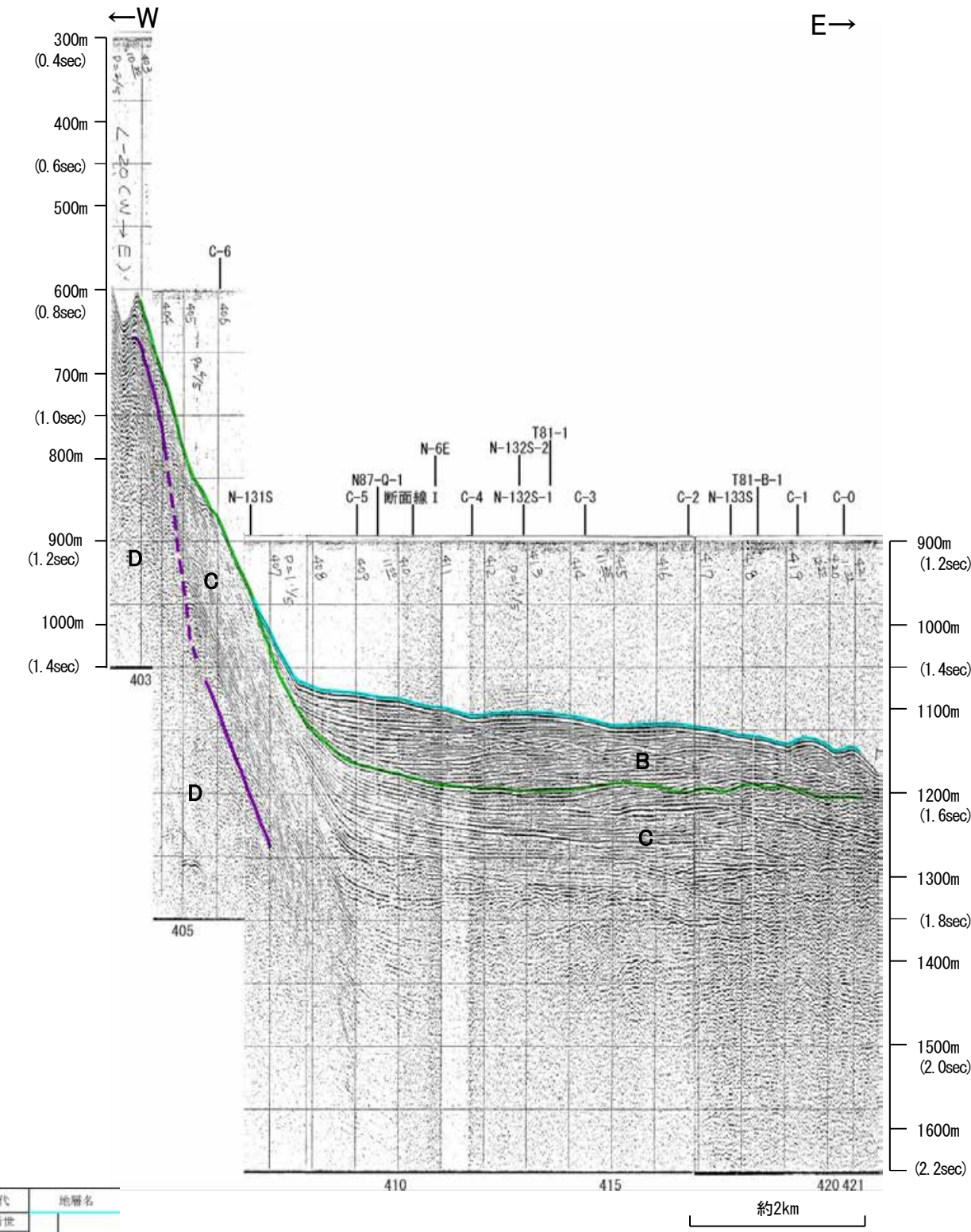
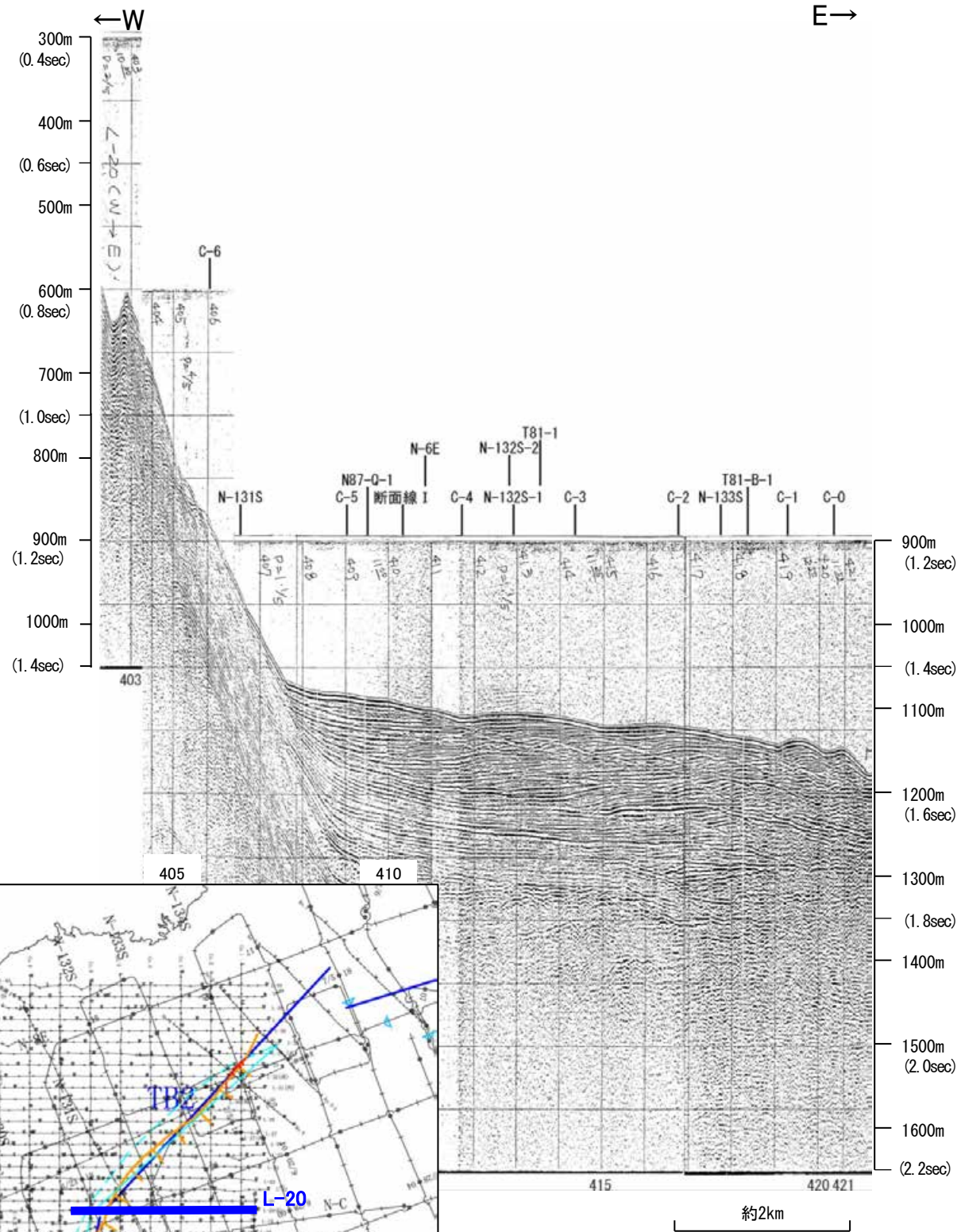
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-21

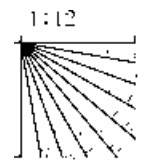


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-20

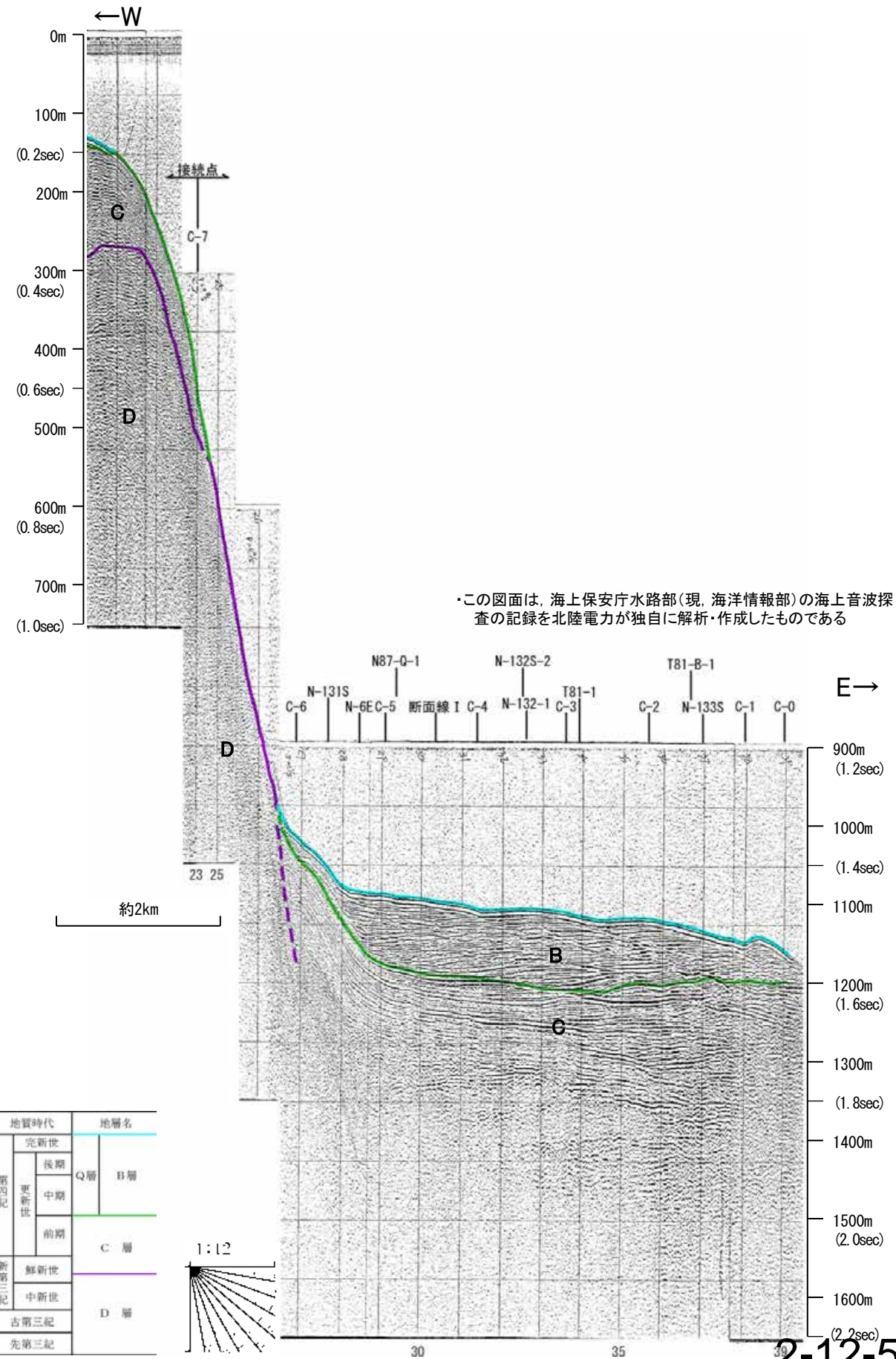
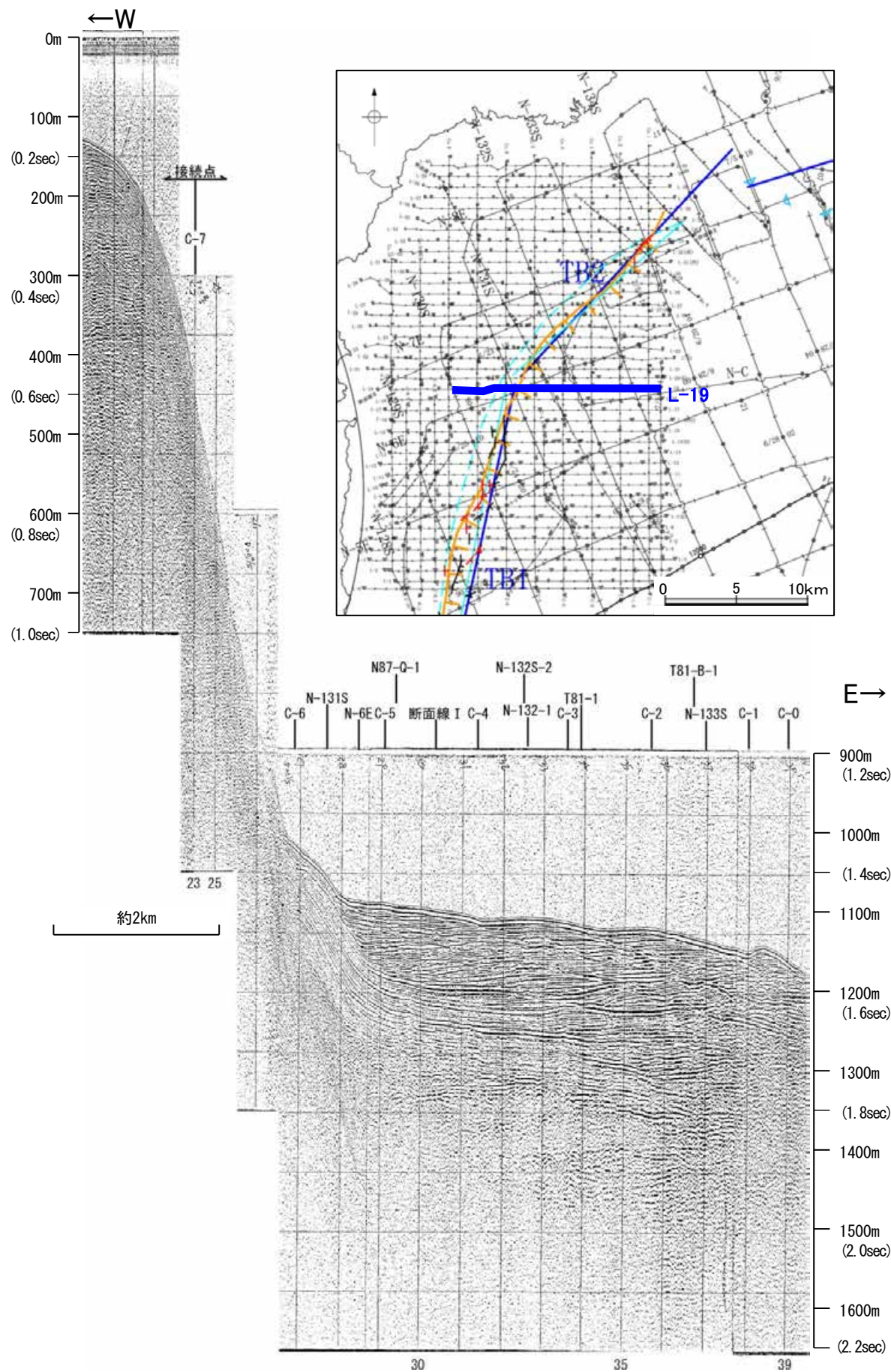


地質時代	地層名		
第四紀	完新世	Q層 B層	
	後期		
	更新世	中期	C層
	前期		
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			

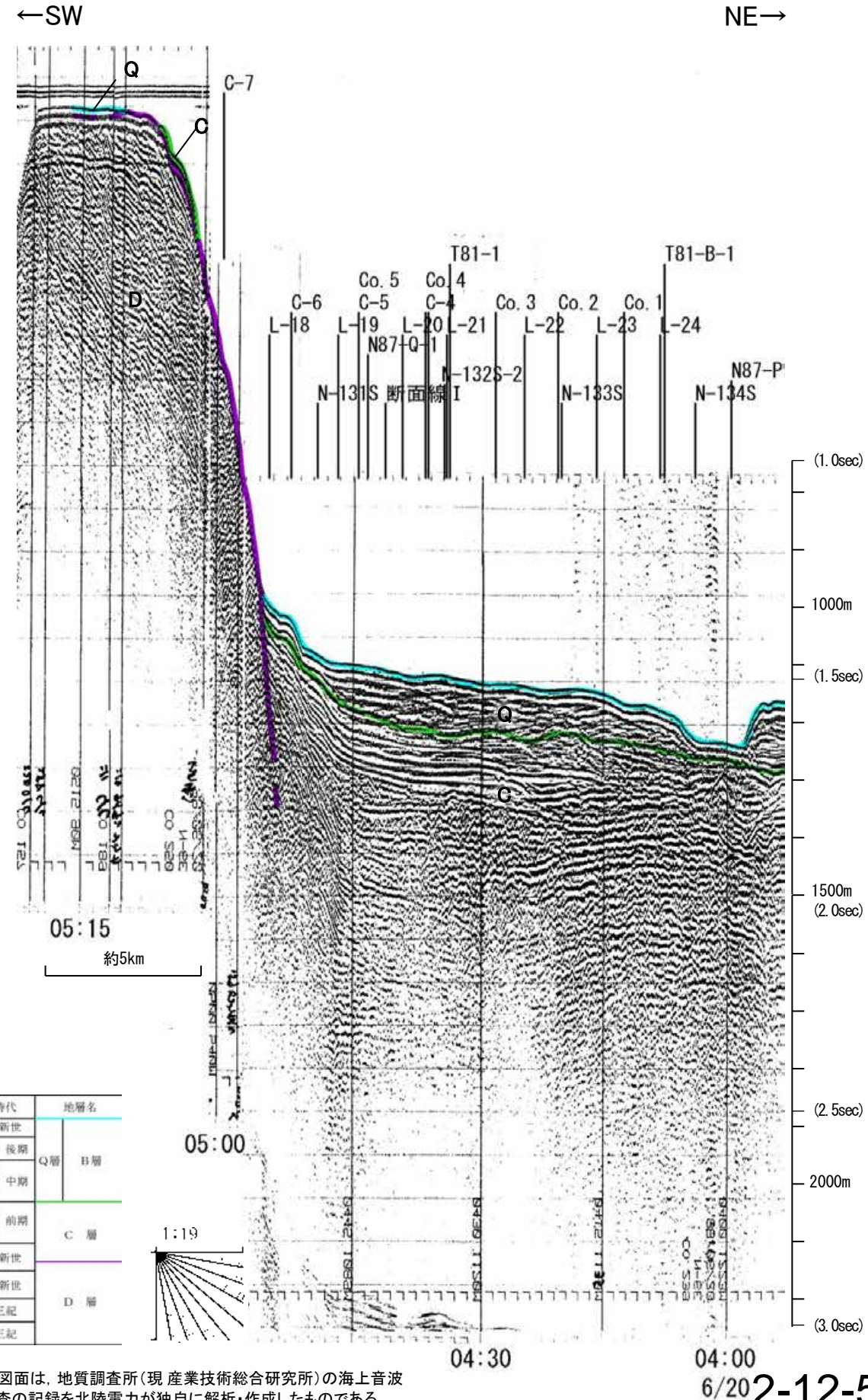
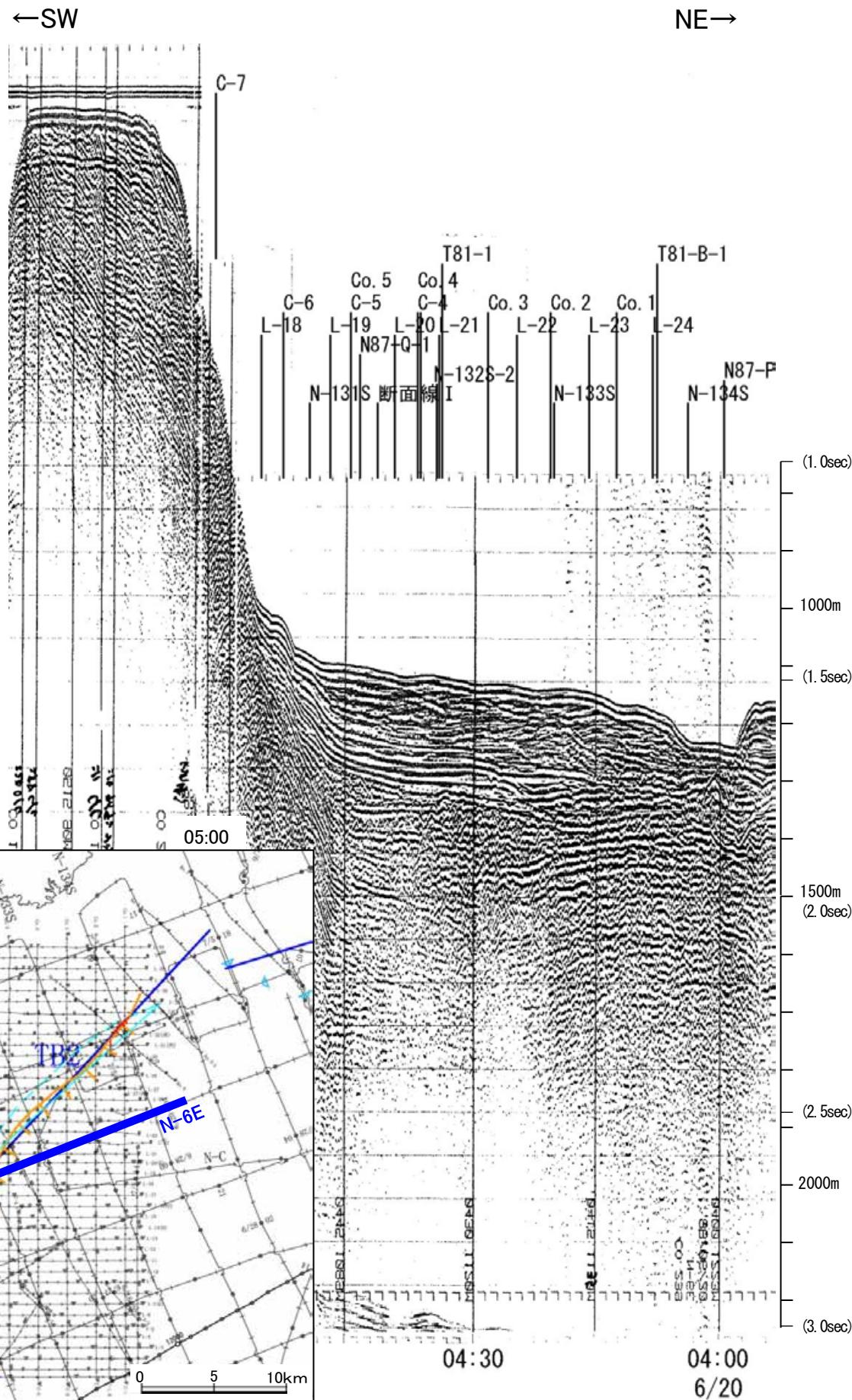


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-19

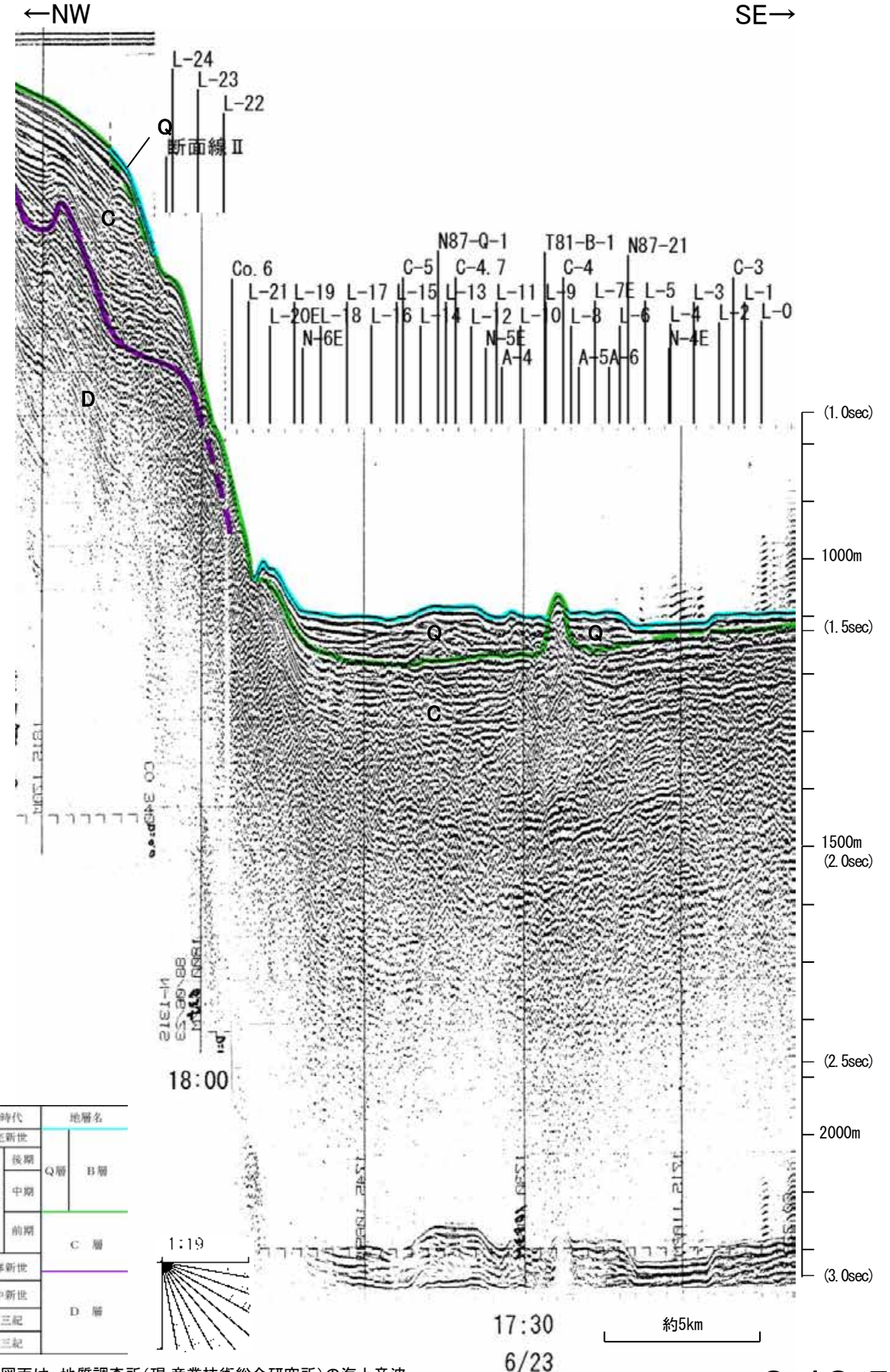
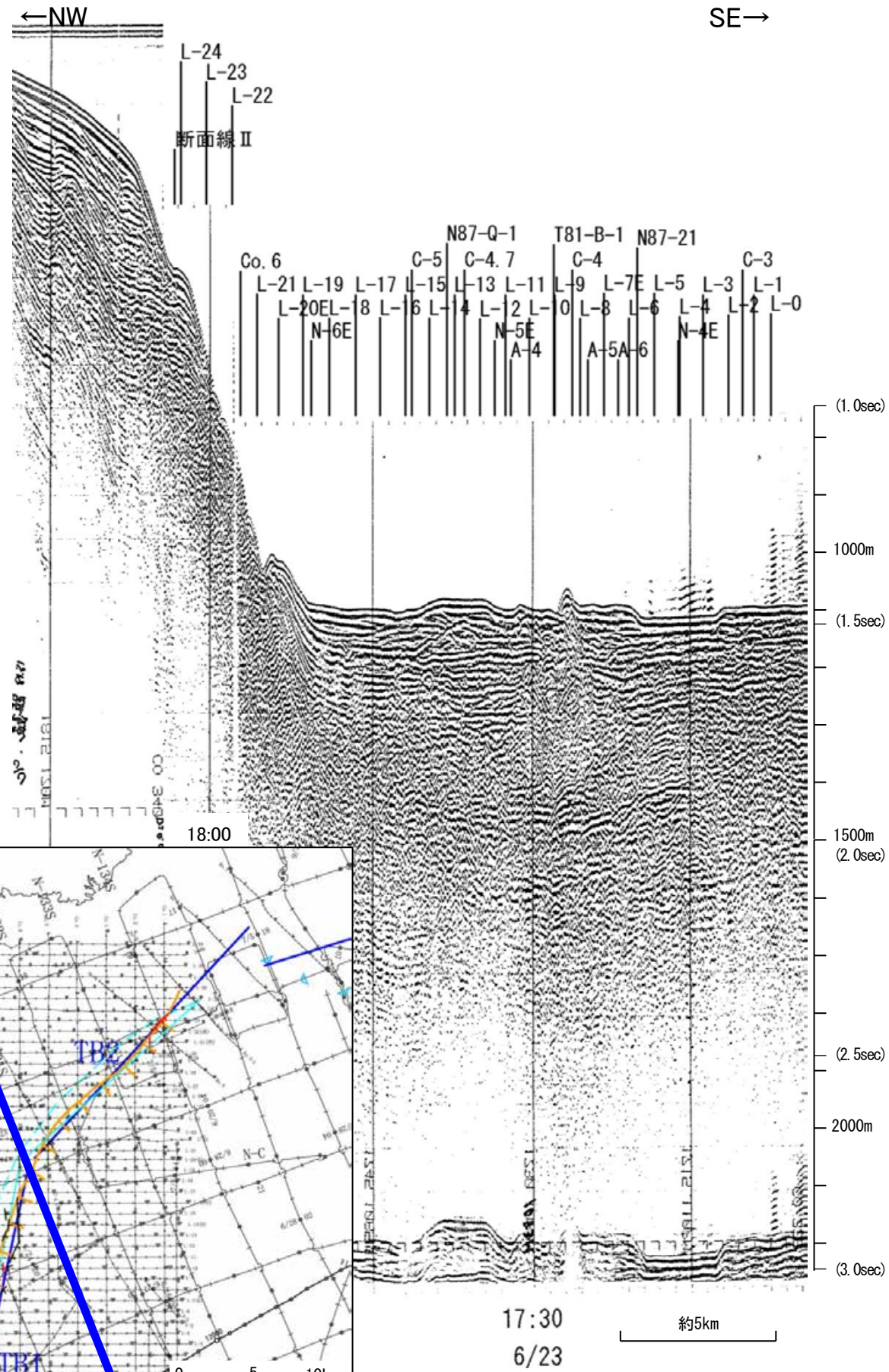


地質調査所エアガン N-6E



この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

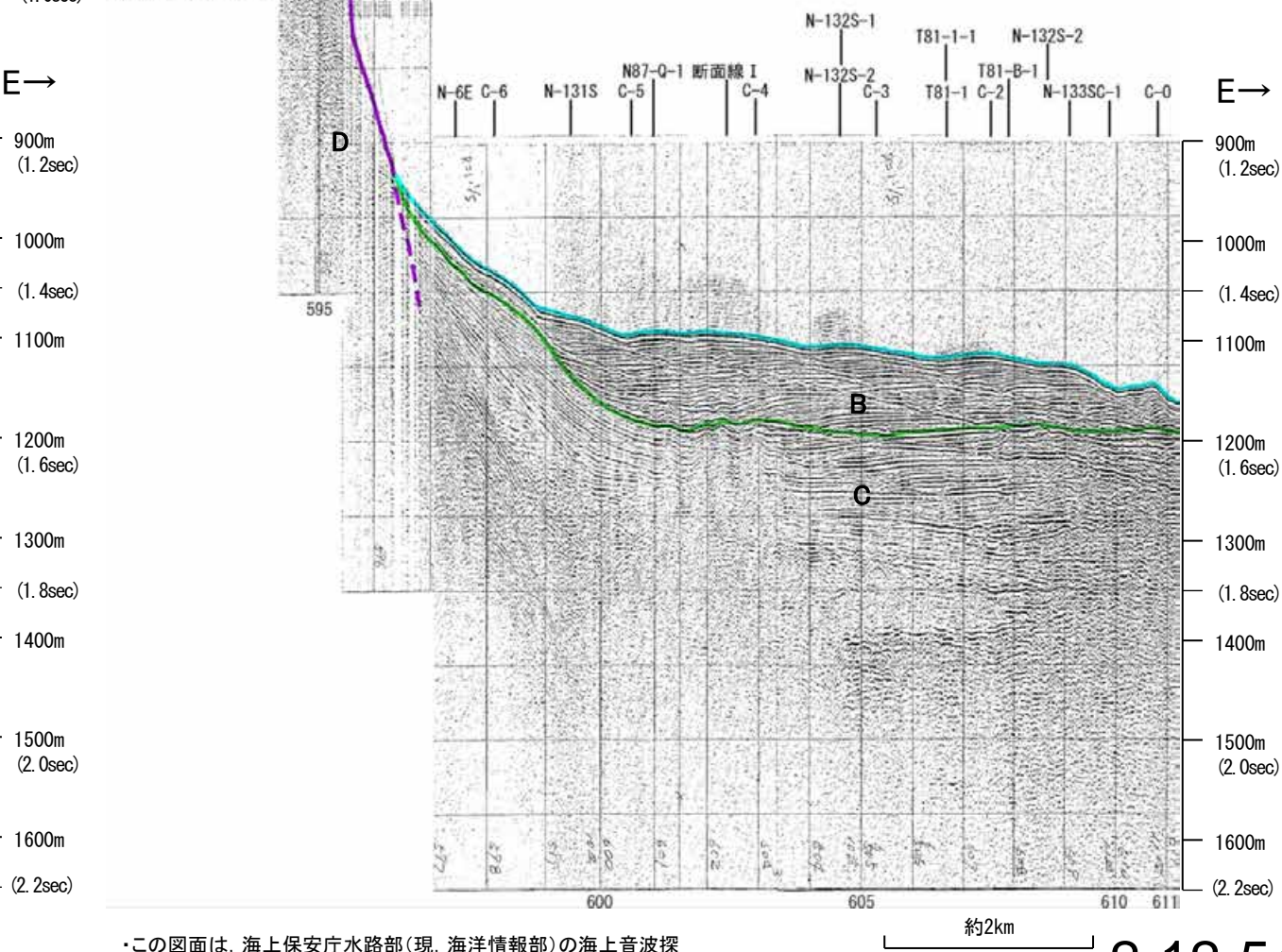
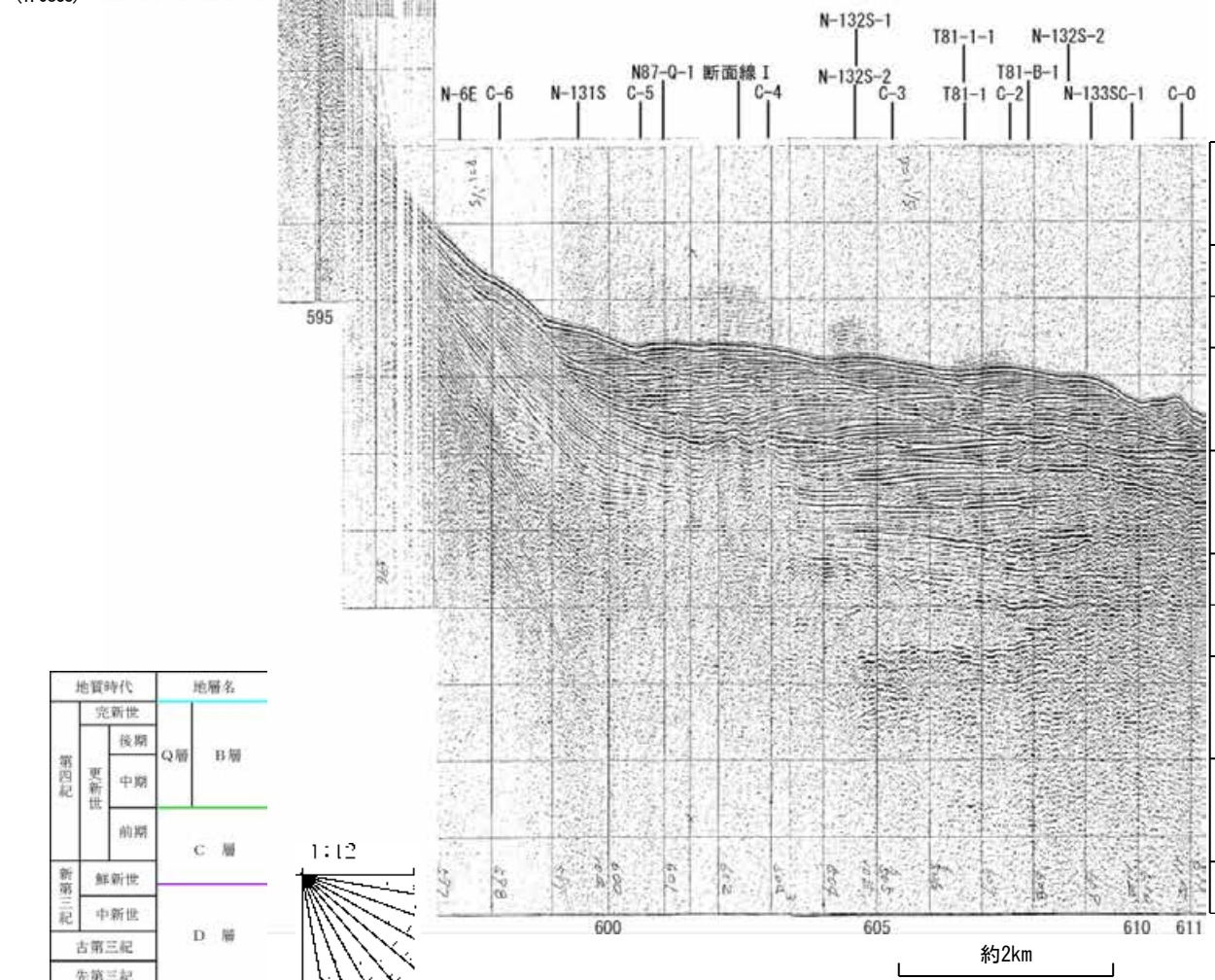
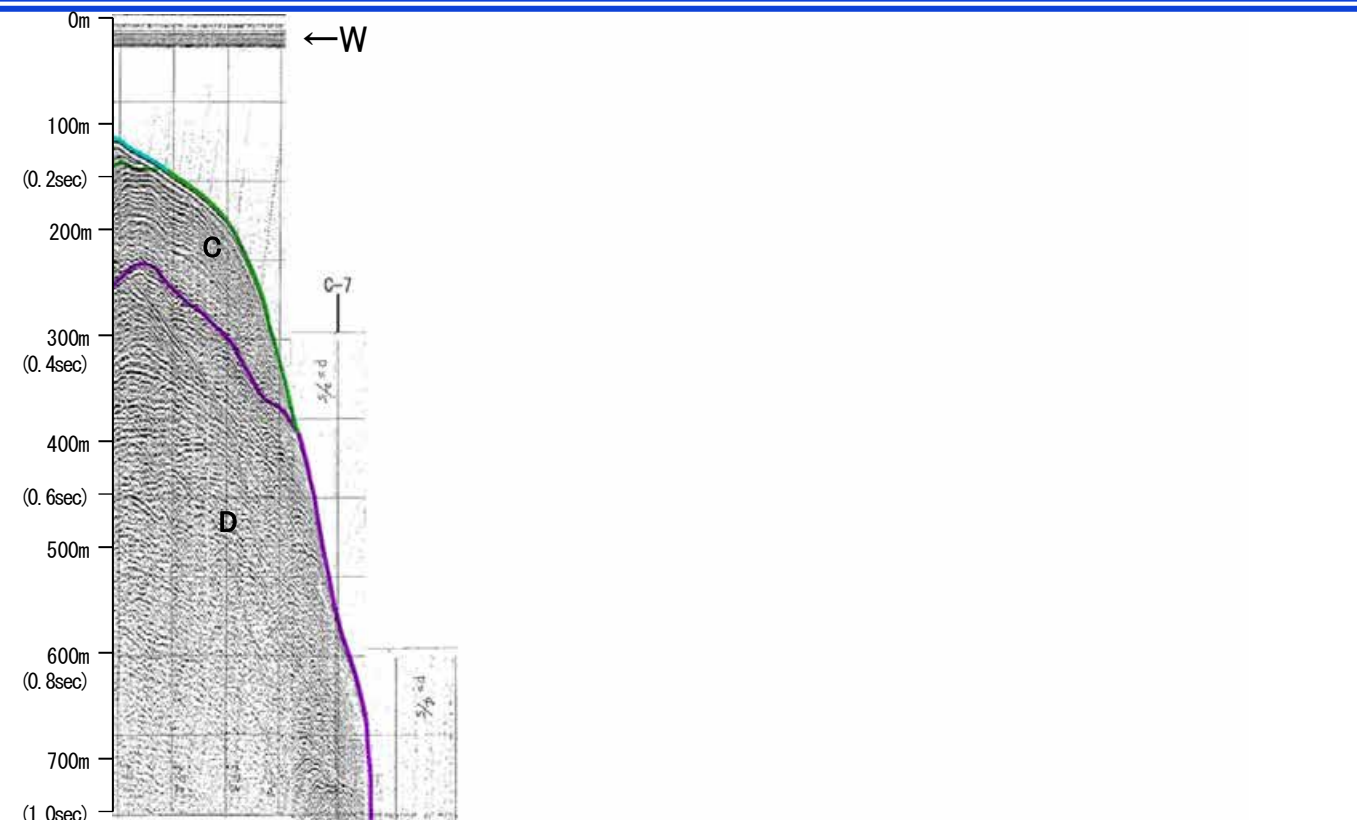
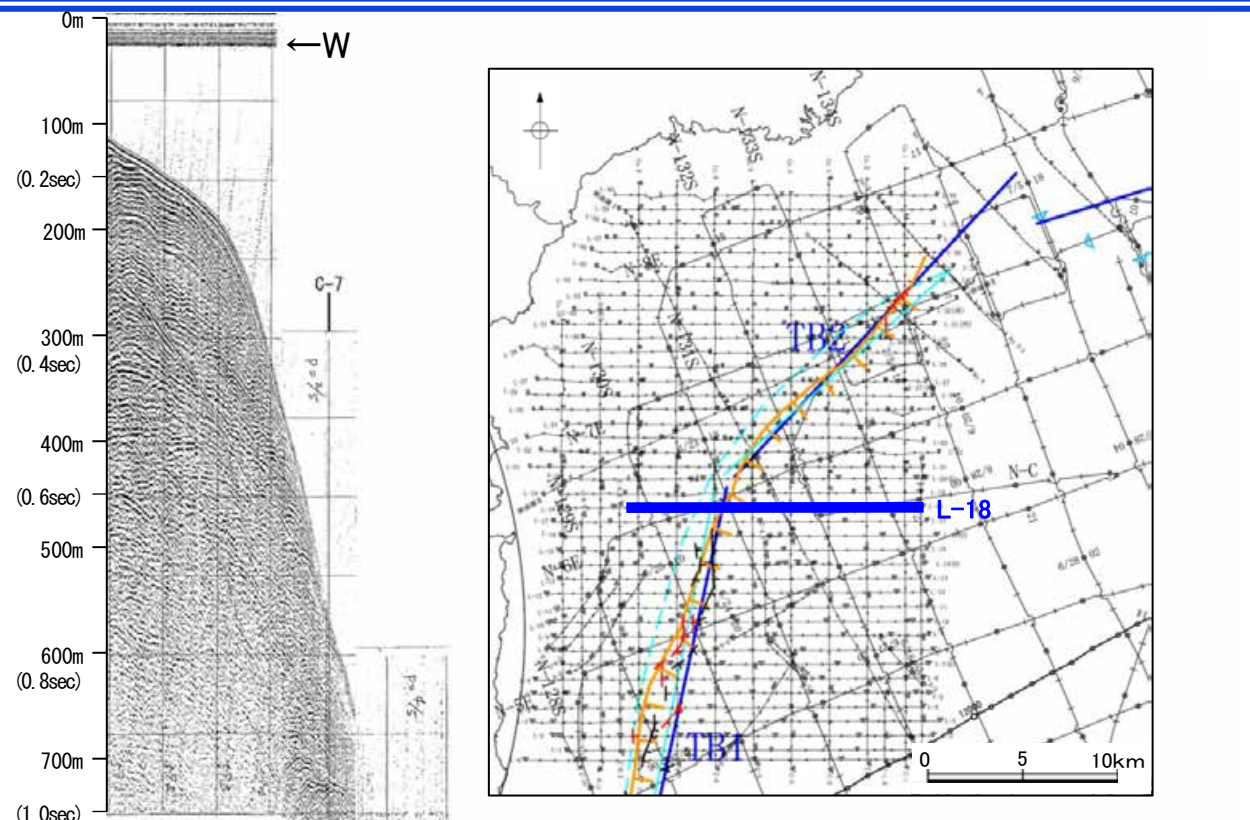
地質調査所エアガン N-131S



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
第四紀	前期	C層	
	鮮新世		
第三紀	中新世		
	古第三紀	D層	
先第三紀			

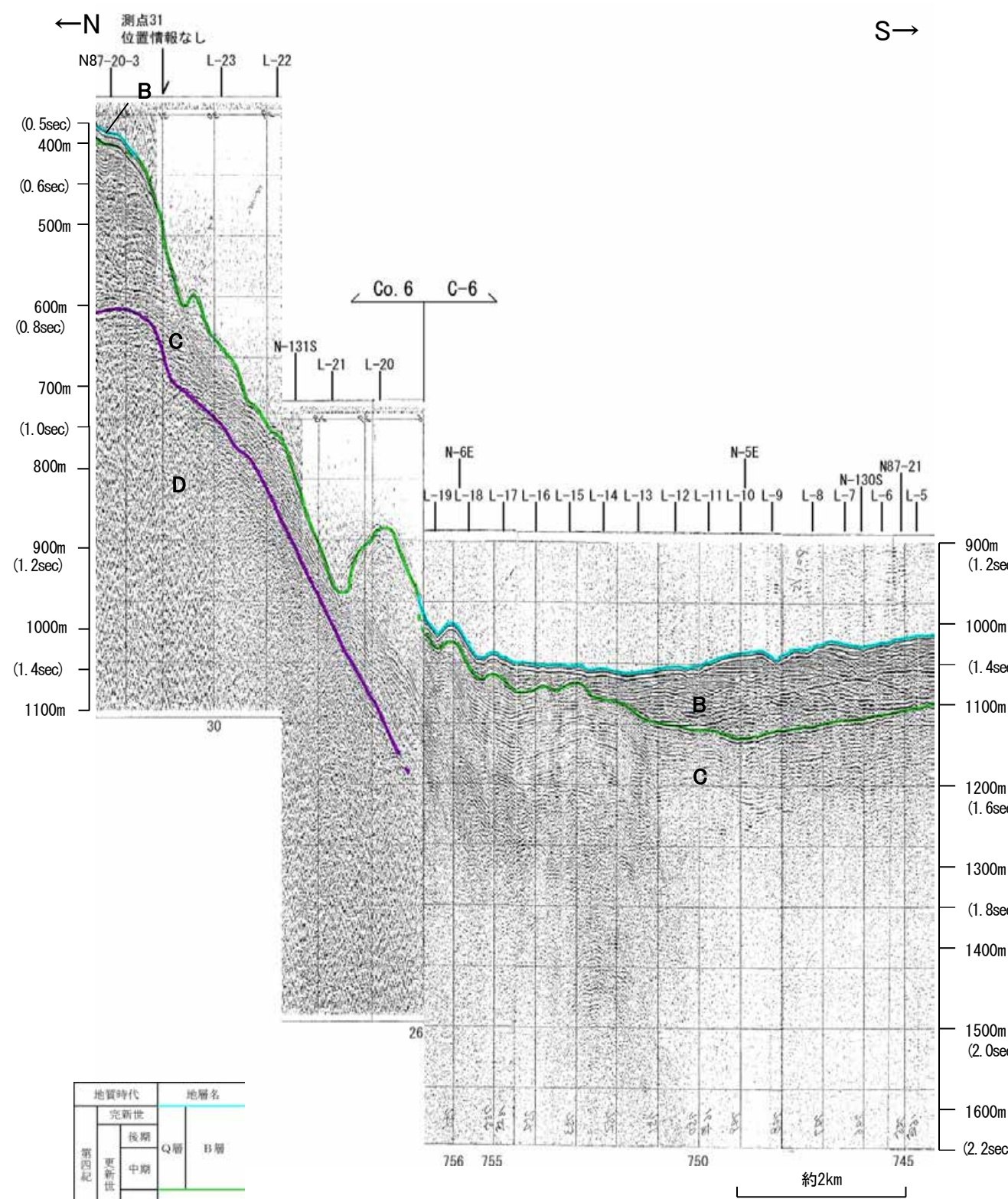
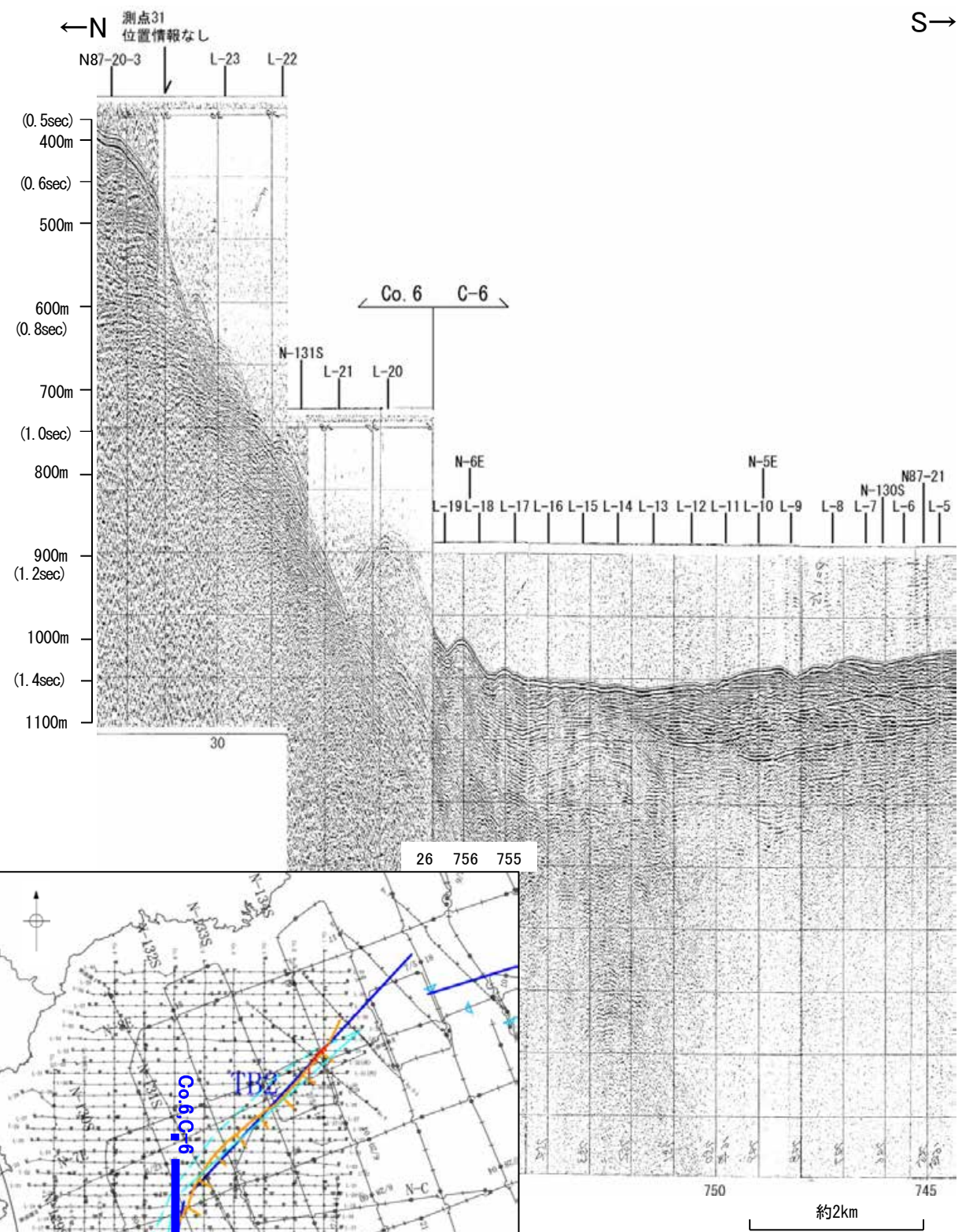
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-18



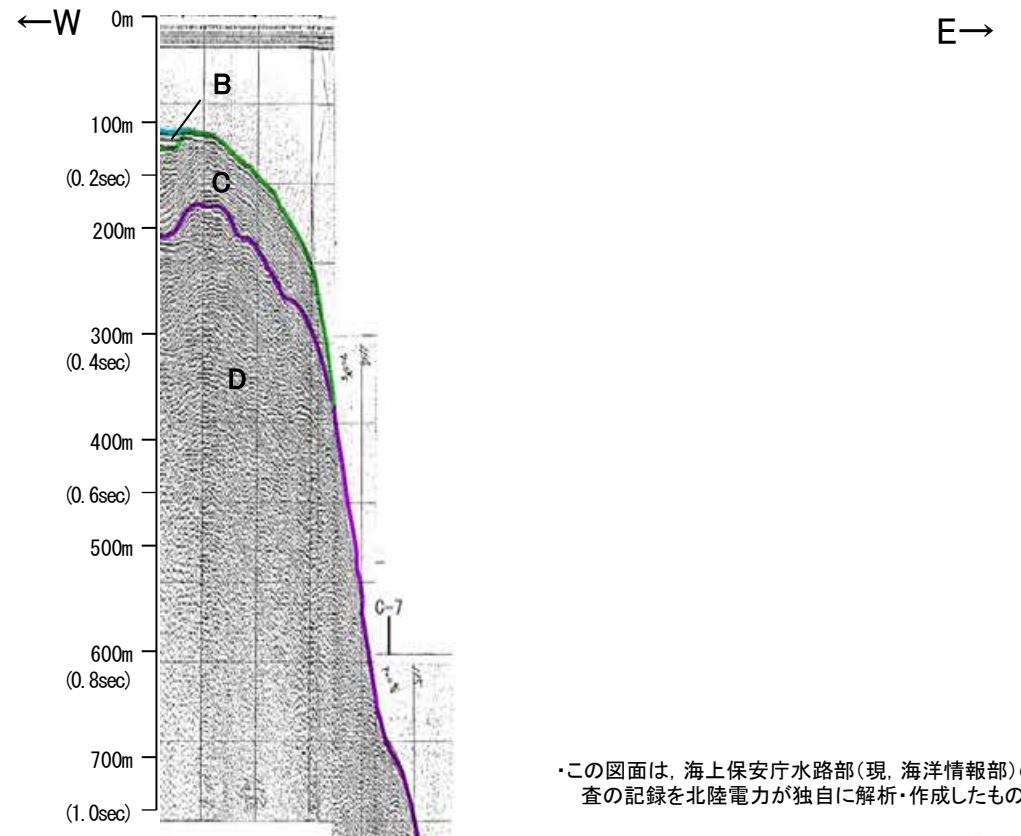
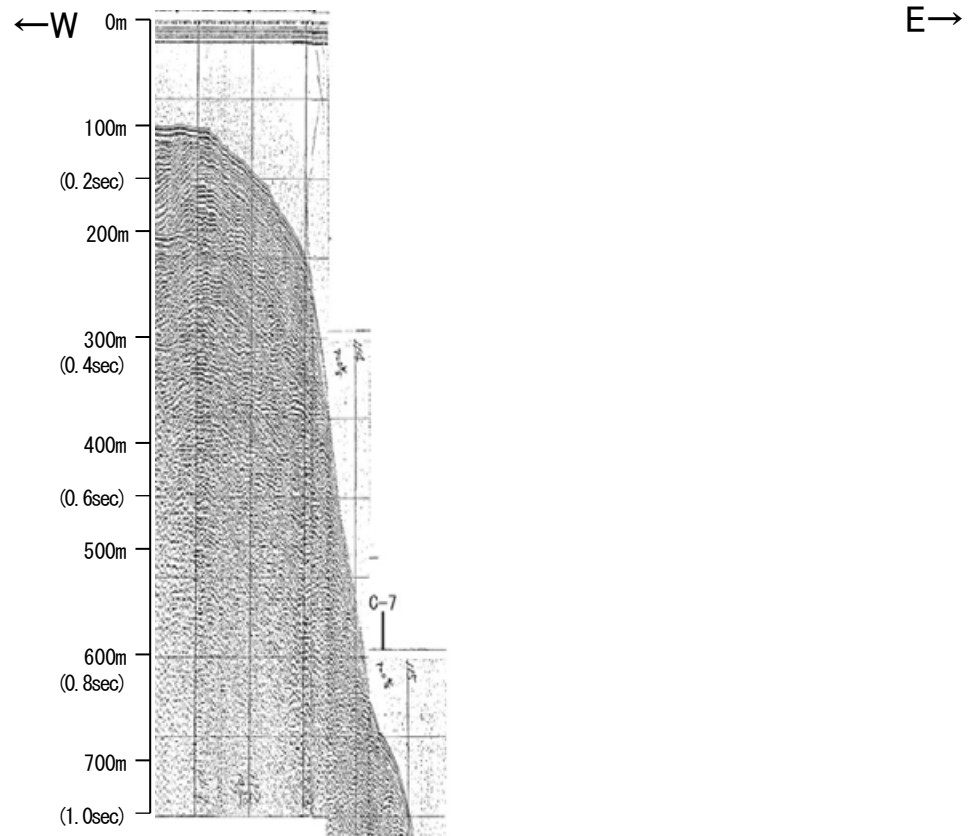
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー Co.6,C-6

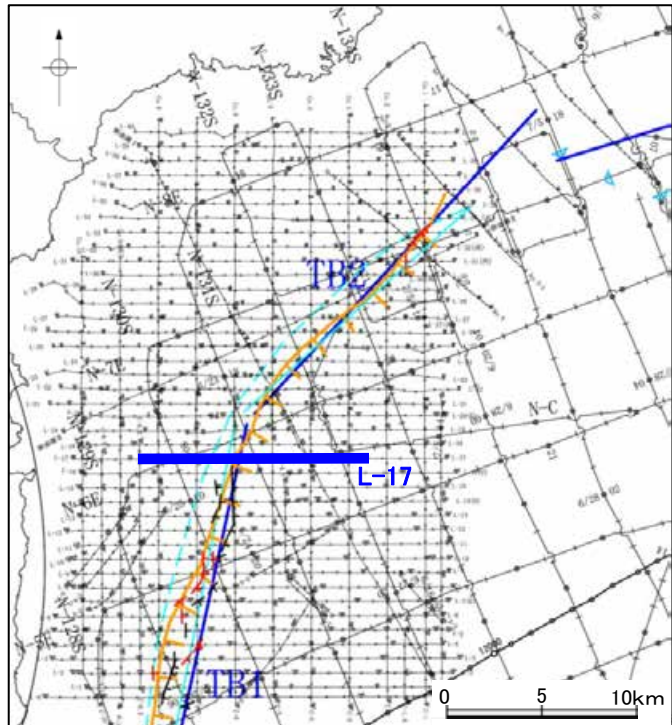
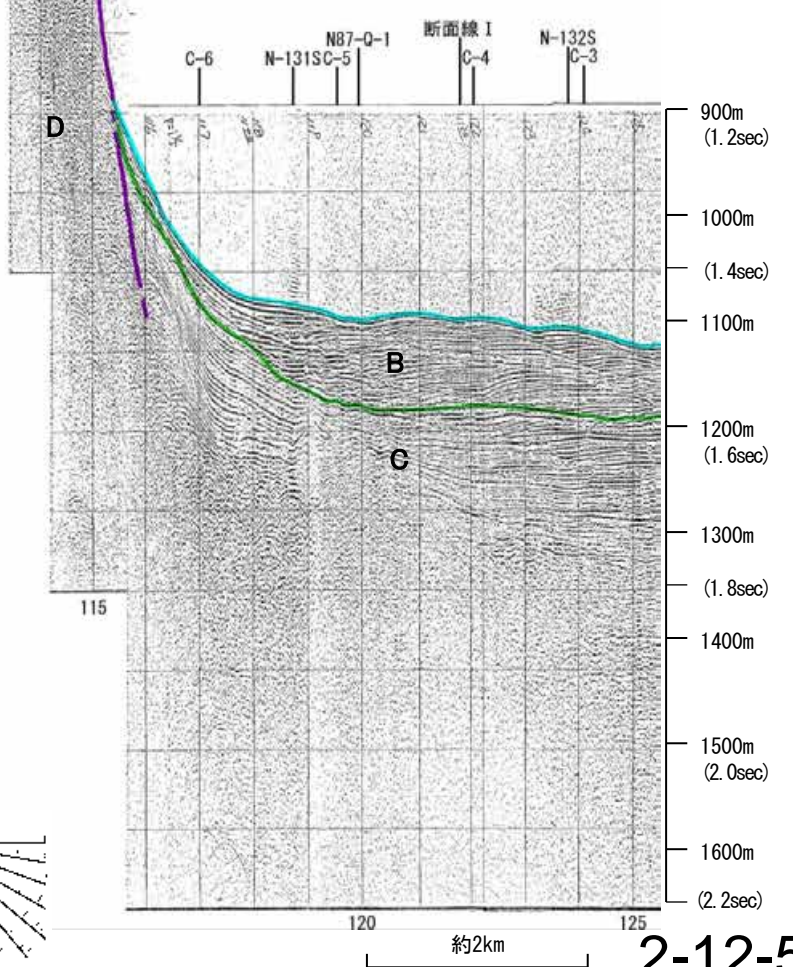
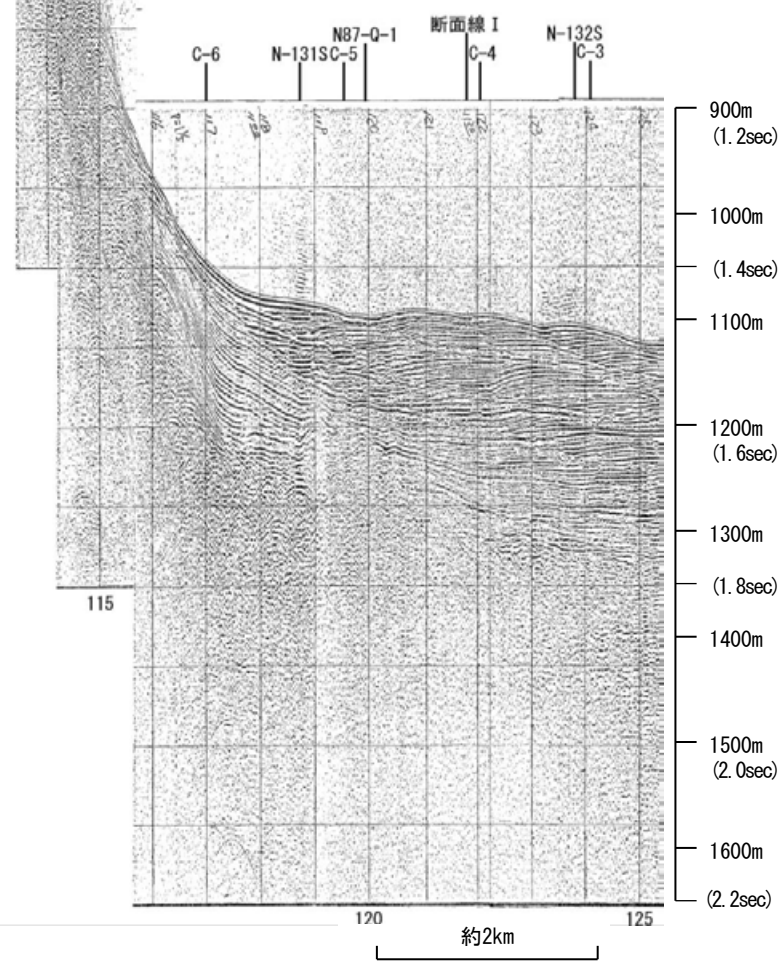


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

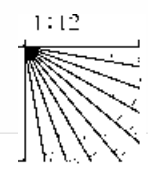
海上保安庁スパーカー L-17



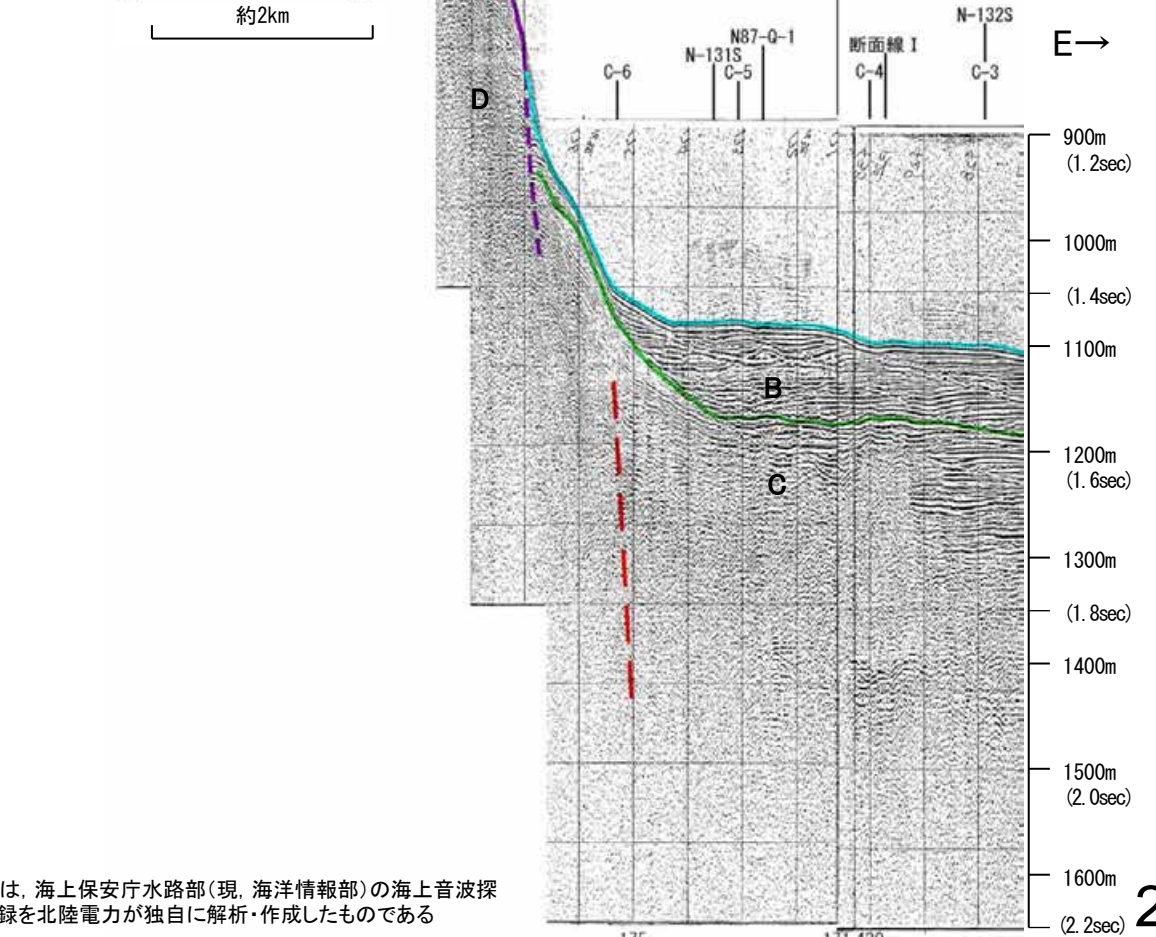
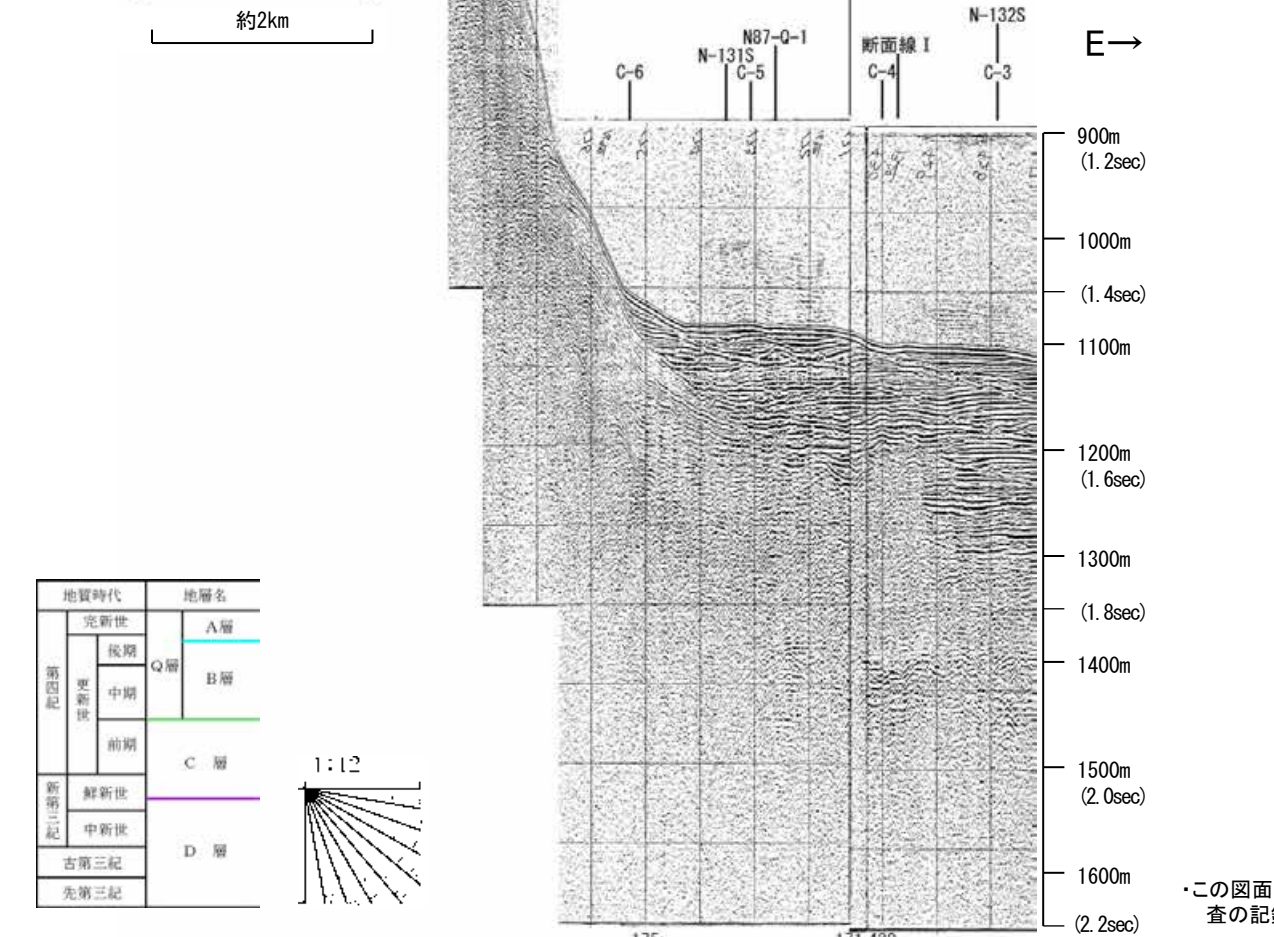
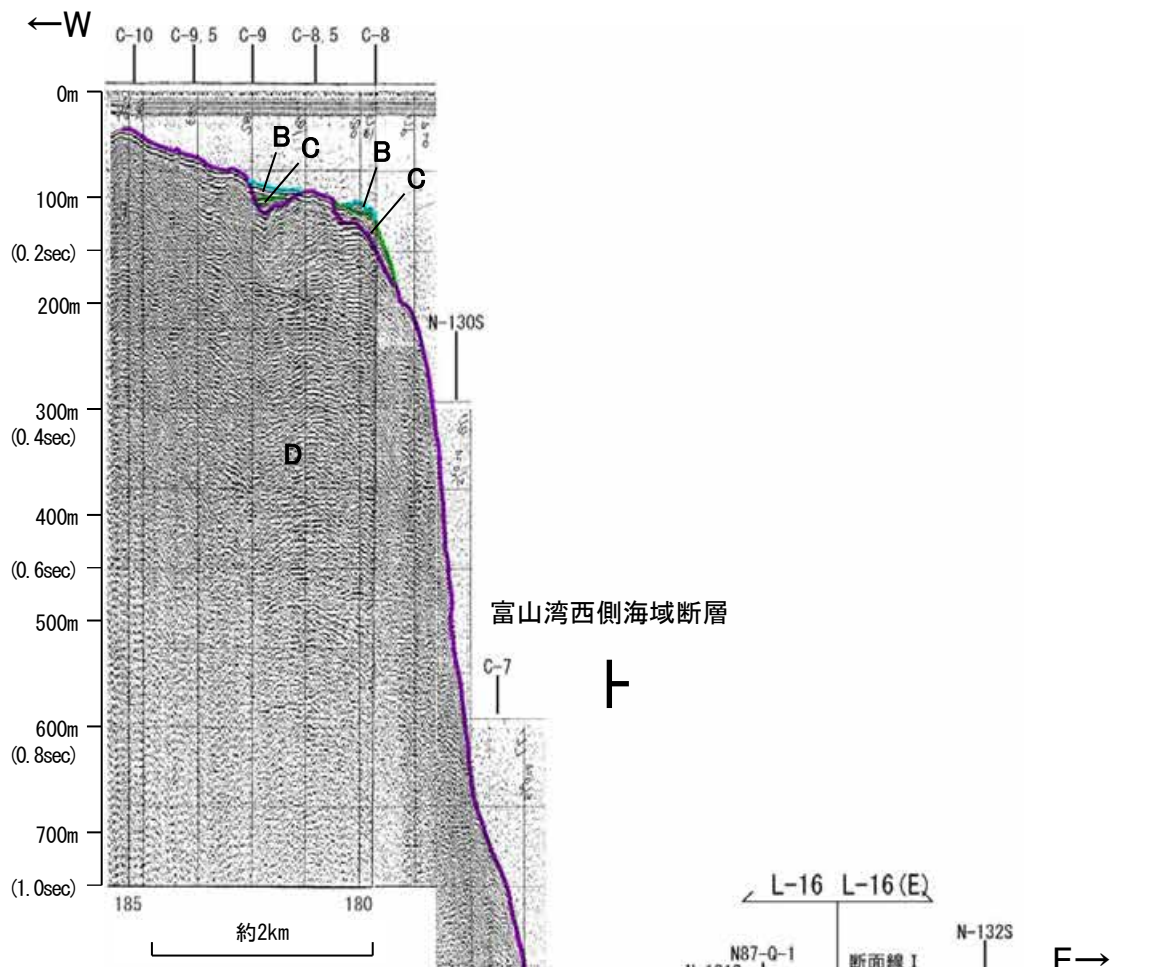
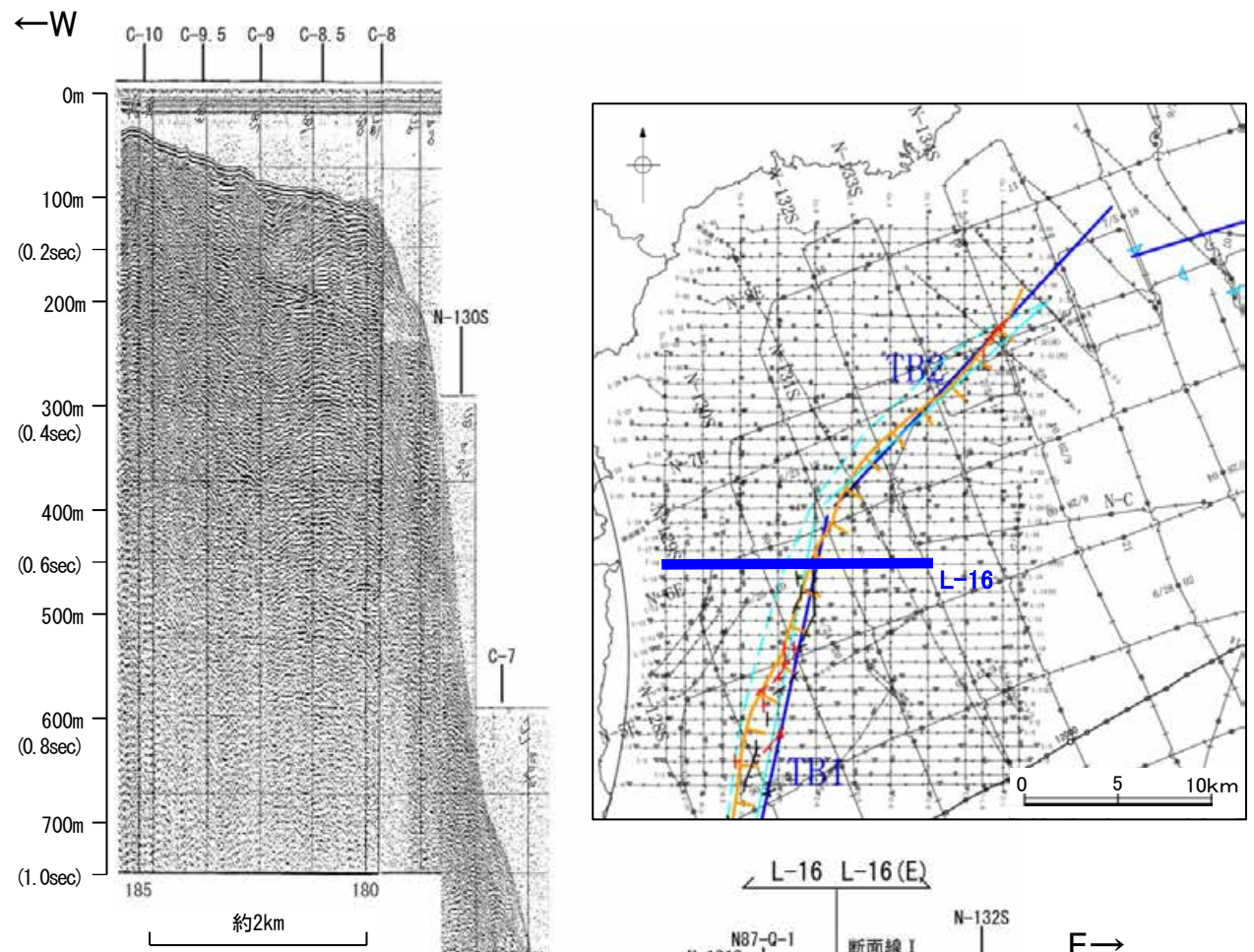
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
更新世	前期	C層	D層
新第三紀	鮮新世		
古第三紀	中新世		
先第三紀			



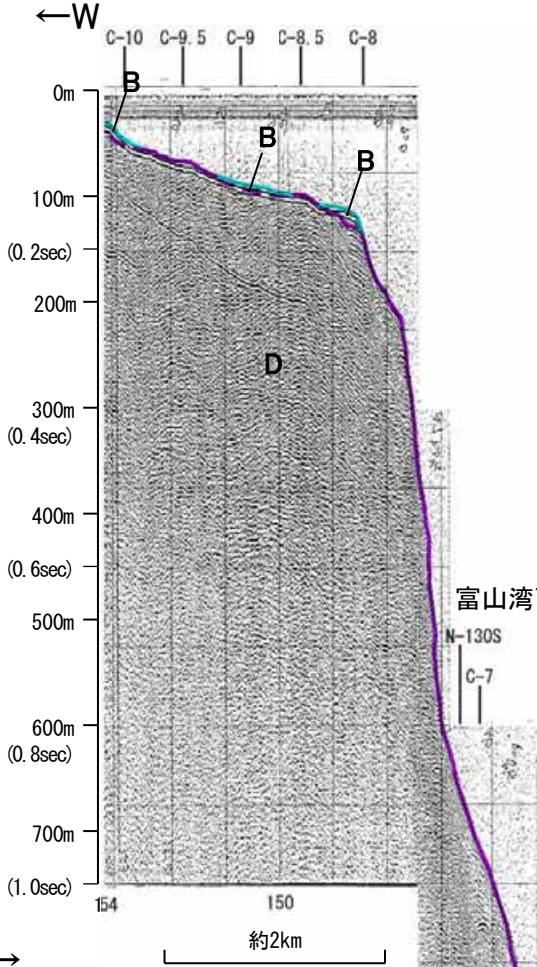
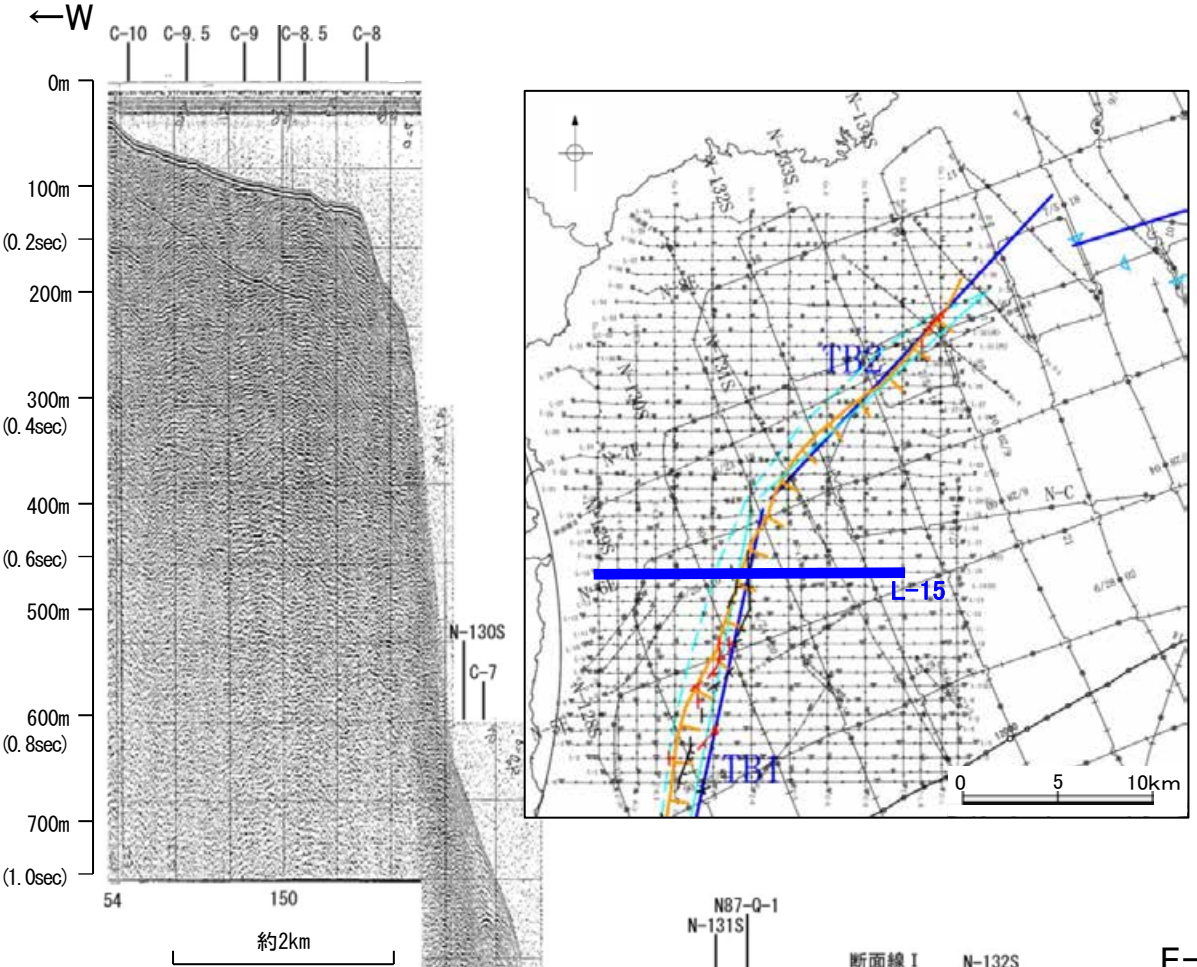
海上保安庁スパーカー L-16



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	Q層 B層
	中期	
	前期	C層
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	
古第三紀		
先第三紀		

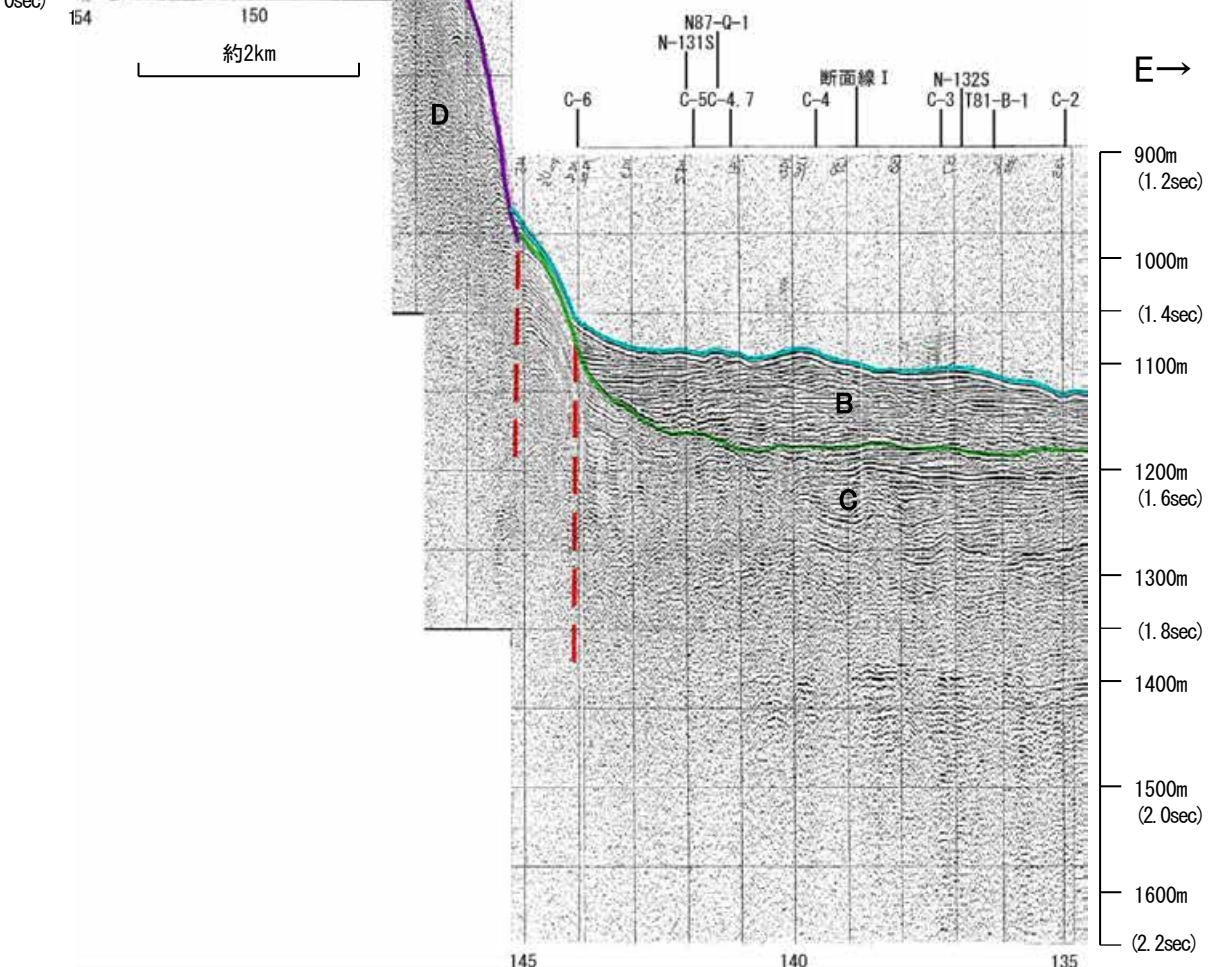
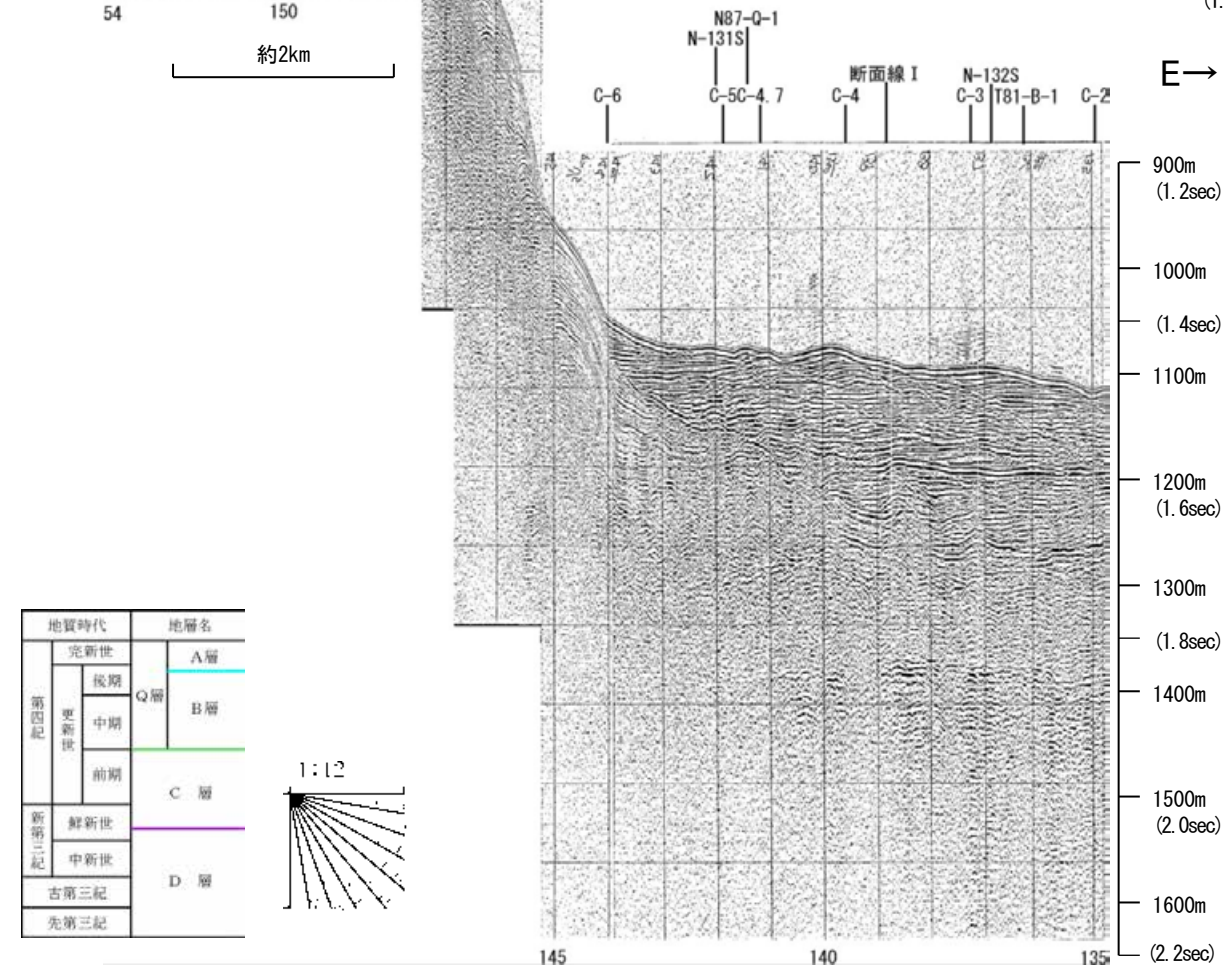
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-15

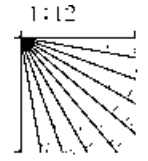


富山湾西側海域断層
トト

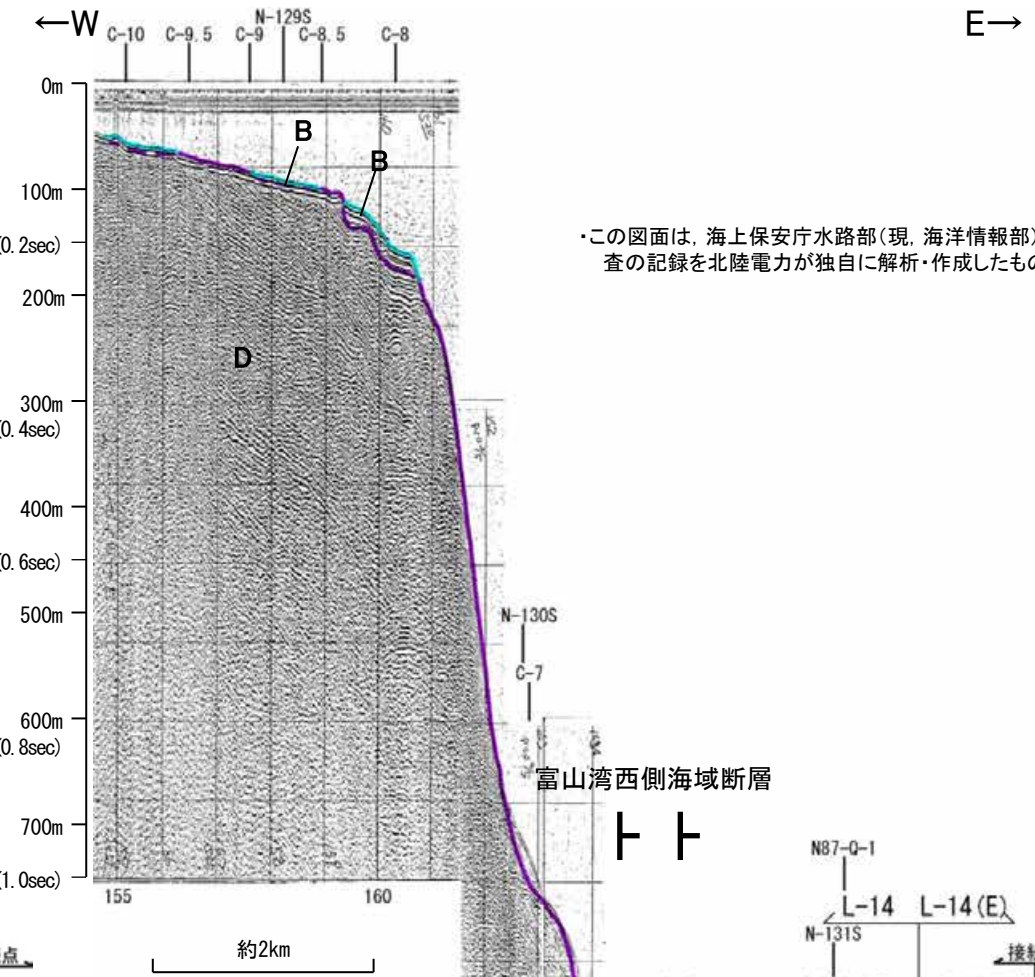
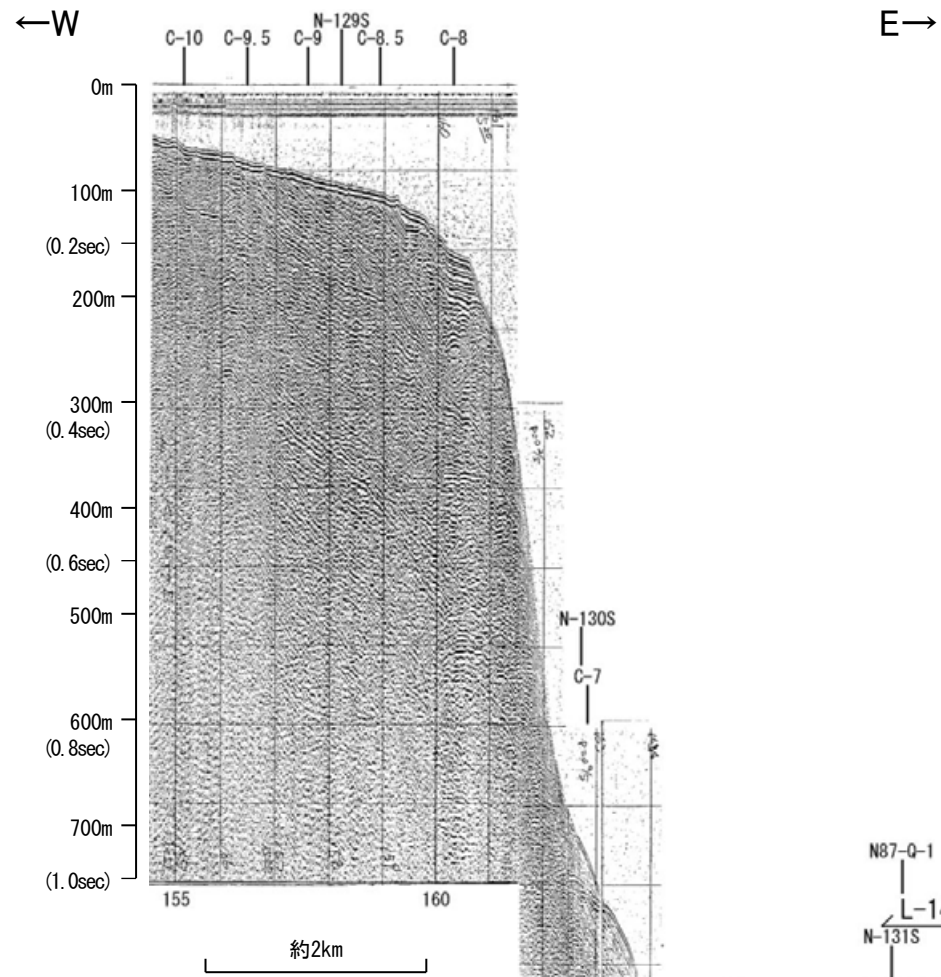
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	Q層
	中期	
	前期	B層
新第三紀	鮮新世	C層
	中新世	
古第三紀	D層	
先第三紀		



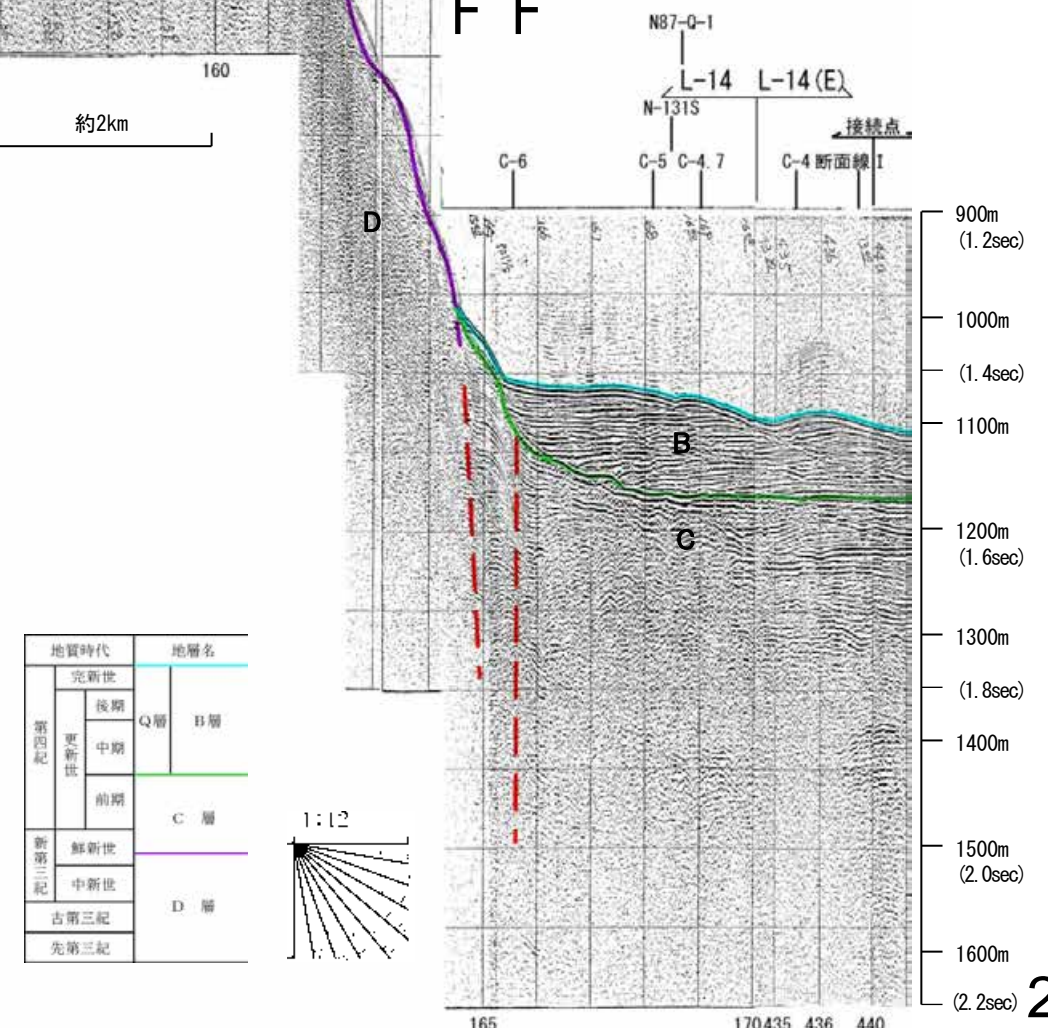
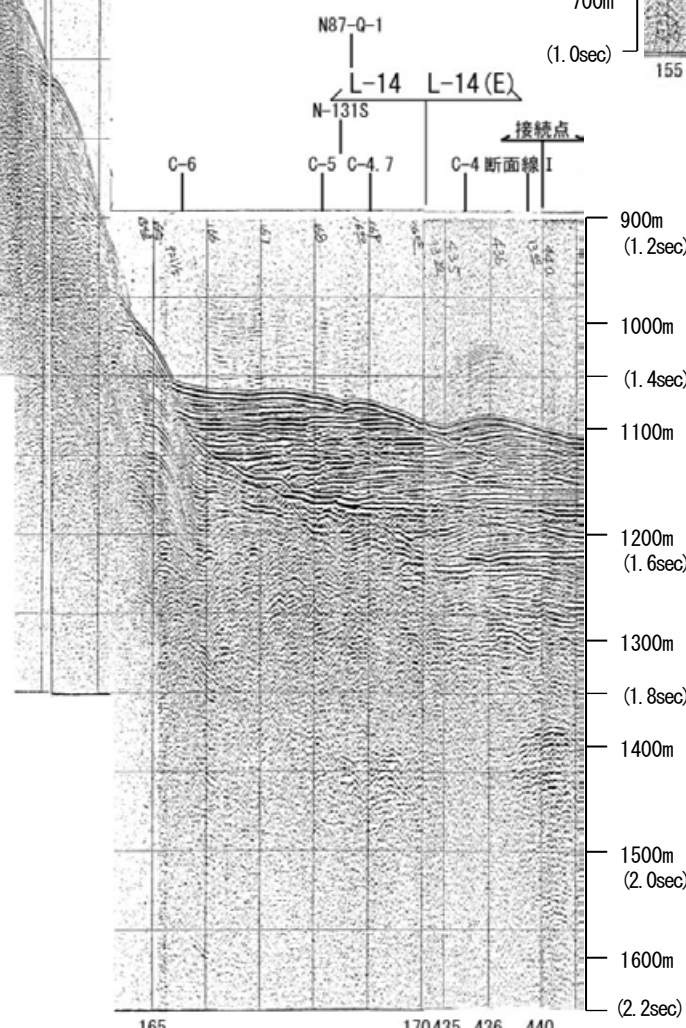
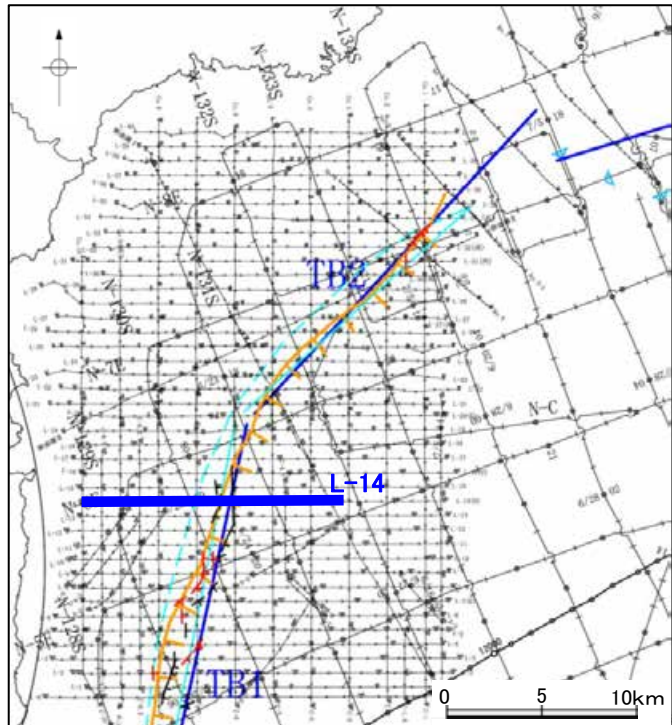
海上保安庁スパーカー L-14



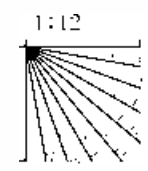
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

富山湾西側海域断層

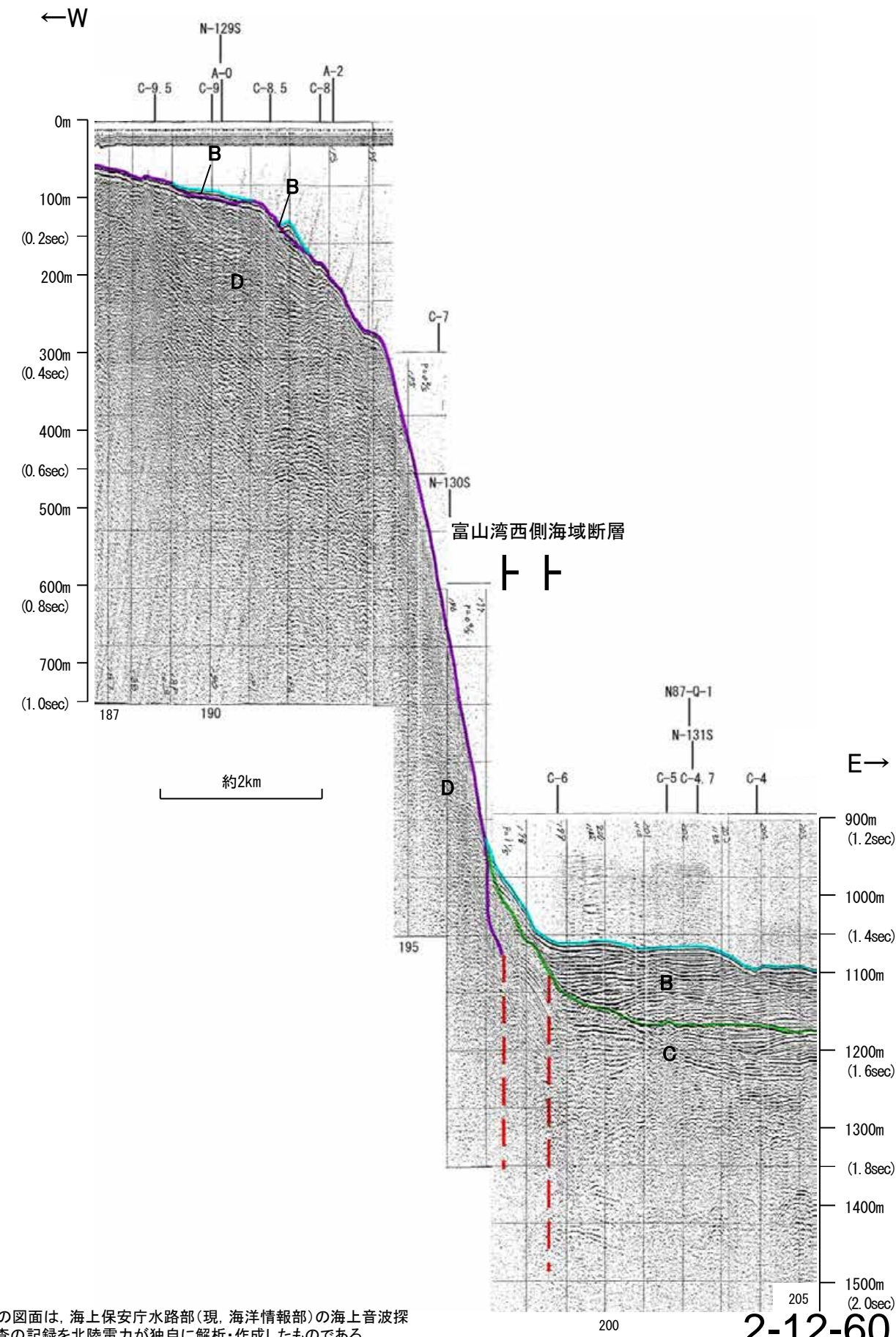
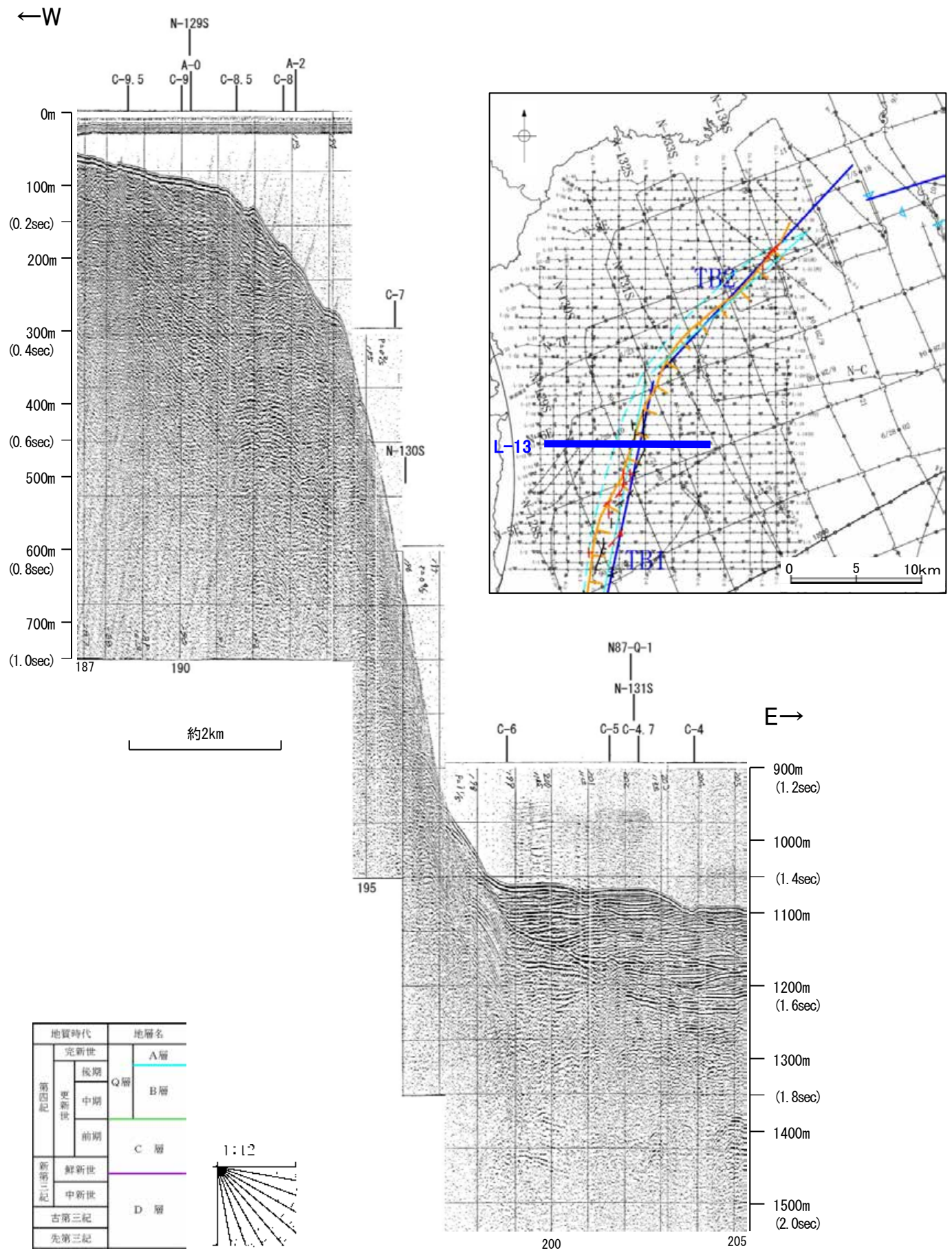
トト



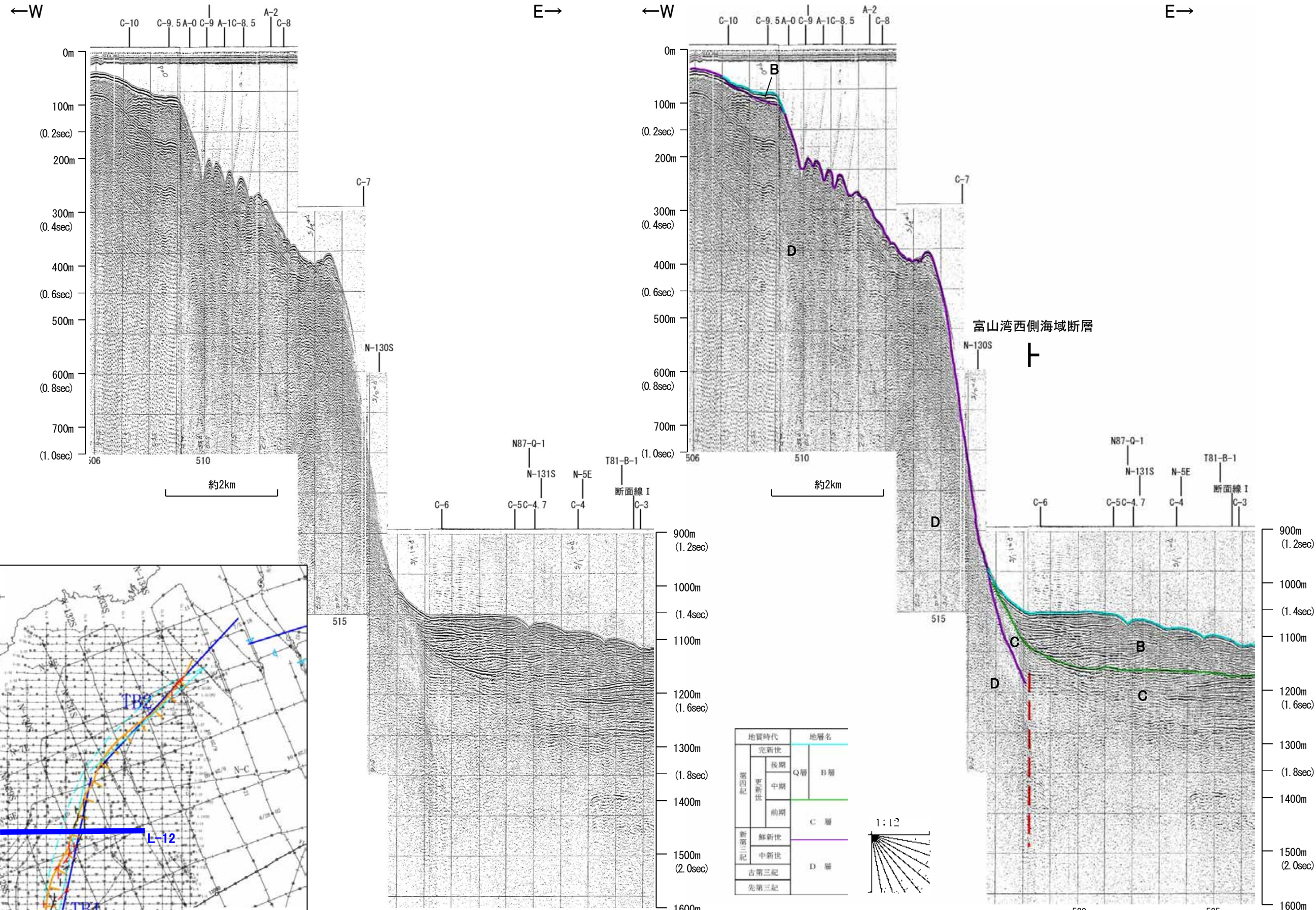
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	更新世	中期	
	前期	C層	
第三紀	新第三紀	D層	
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			



海上保安庁スパーカー L-13

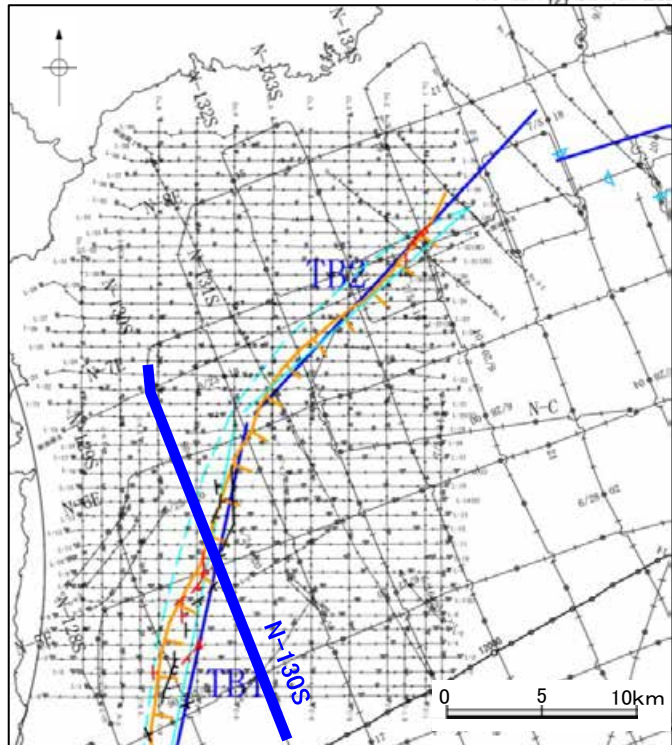
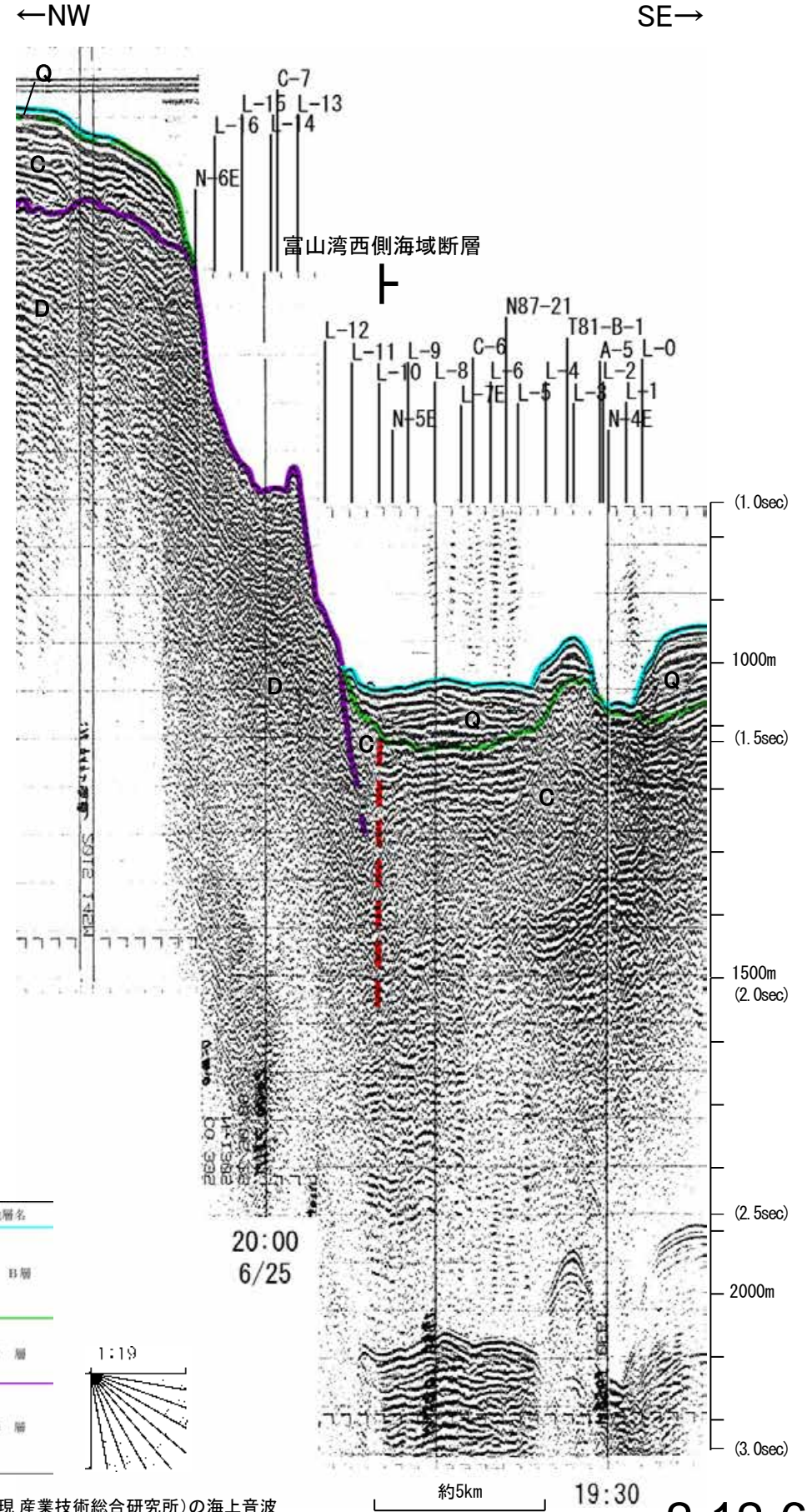
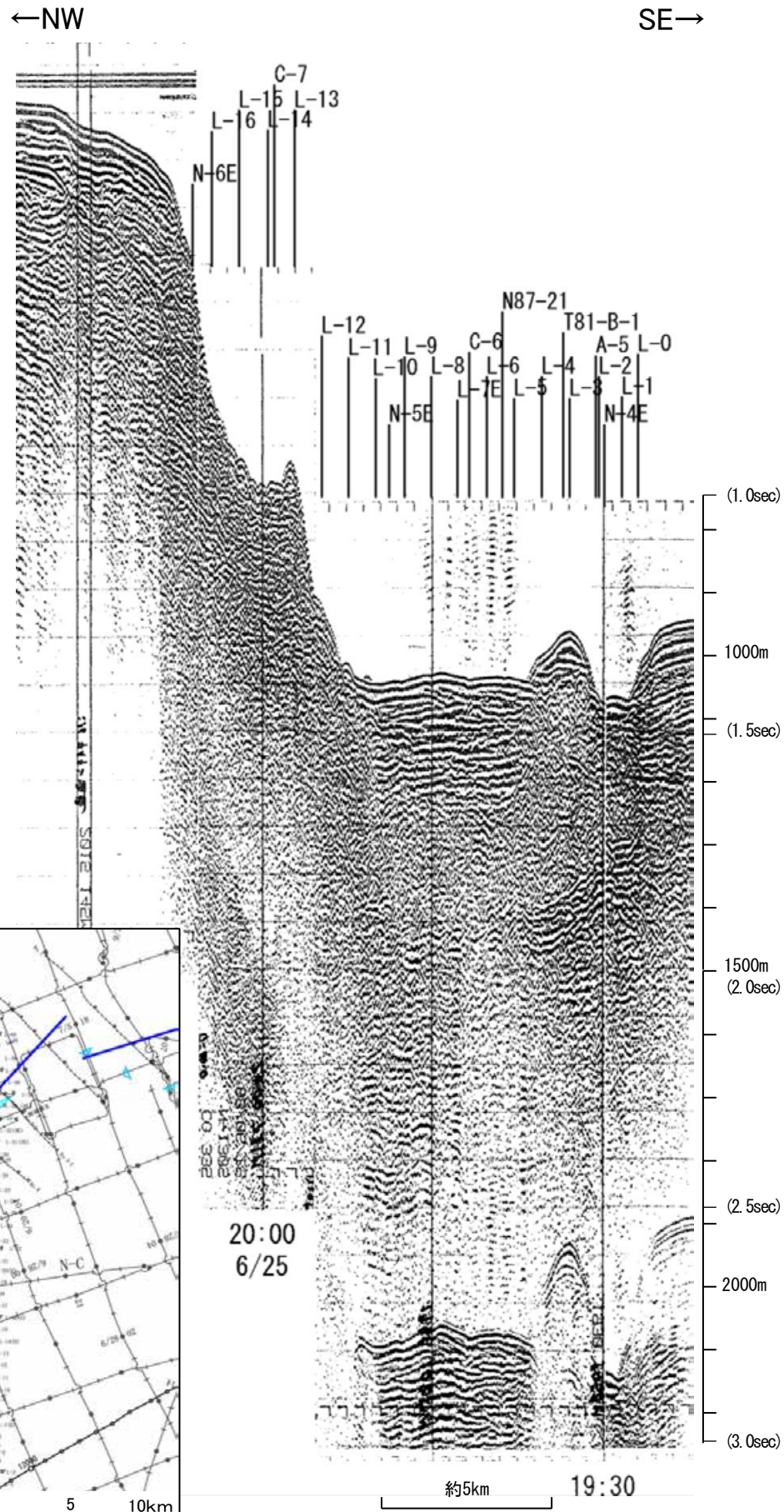


海上保安庁スパーカー L-12

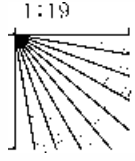


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-130S

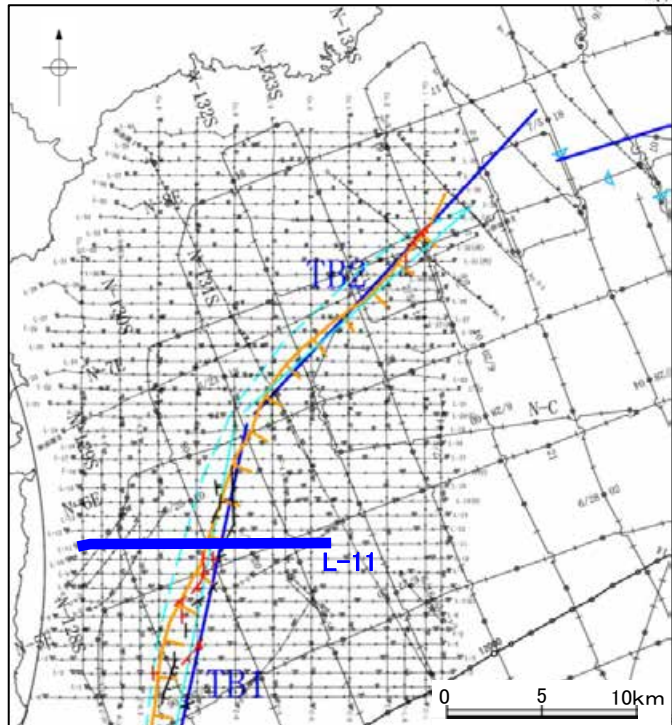
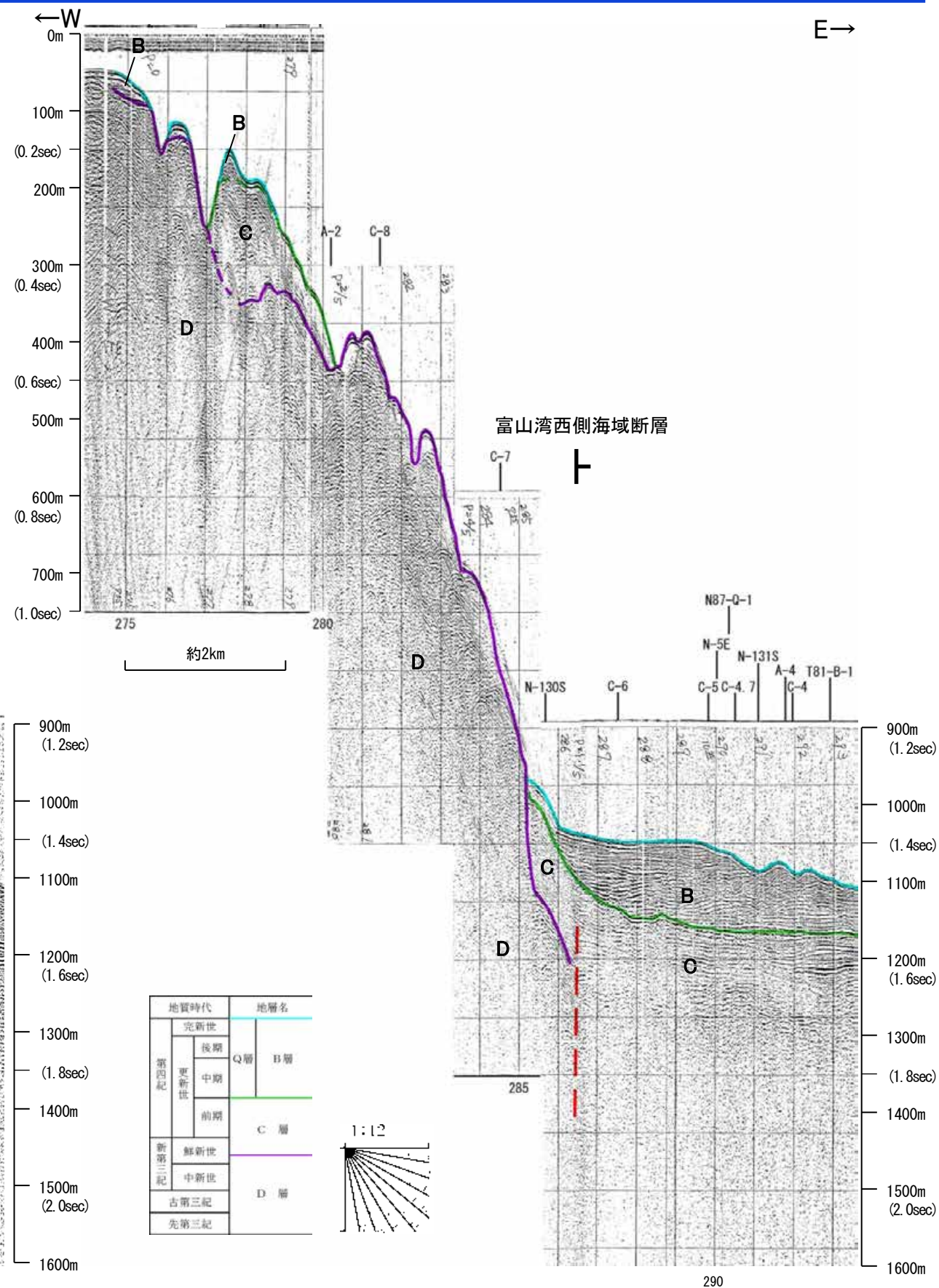
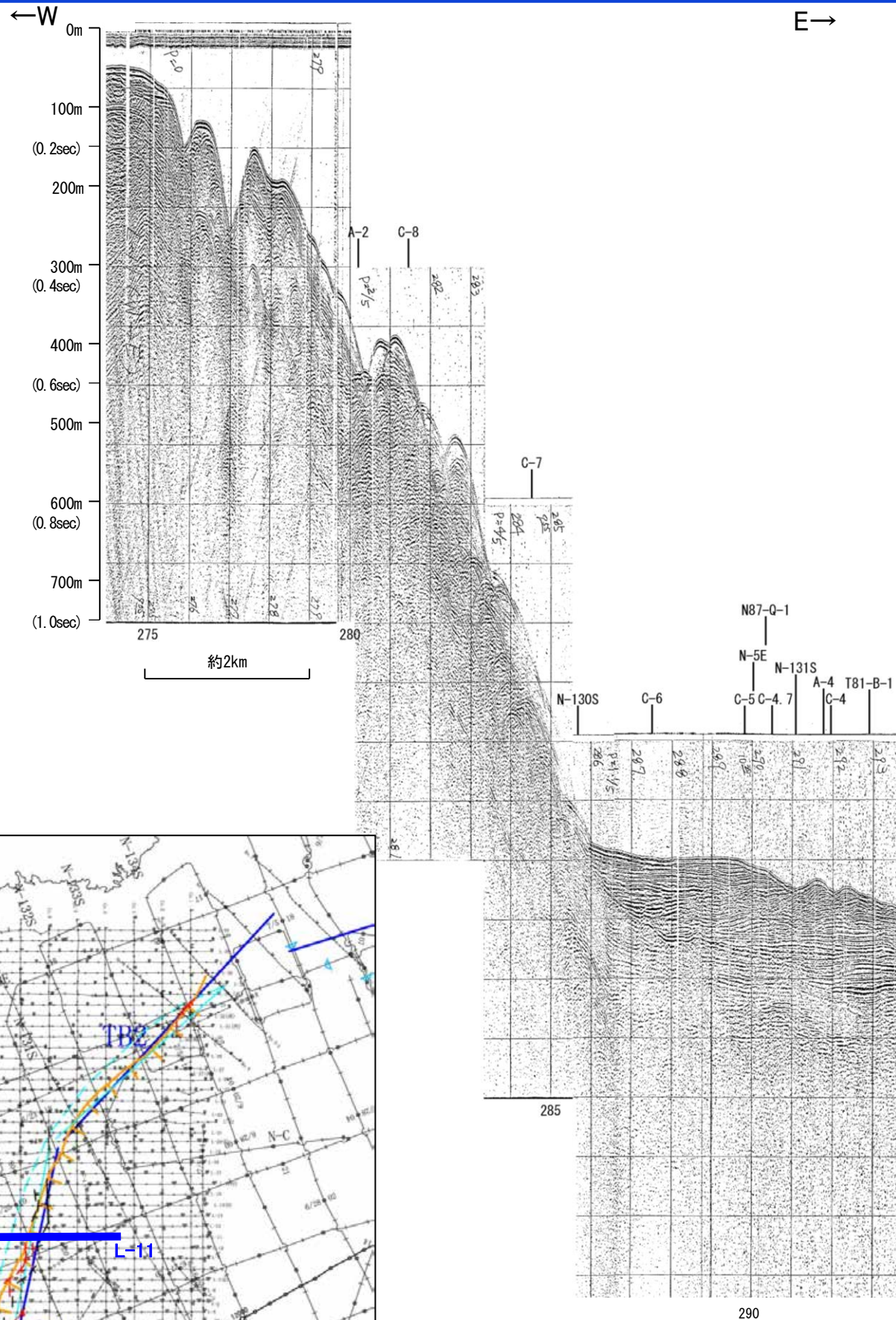


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
新第三紀	鮮新世	C層	
	中新世		
古第三紀		D層	
先第三紀			

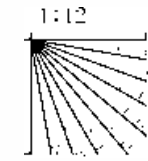


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-11

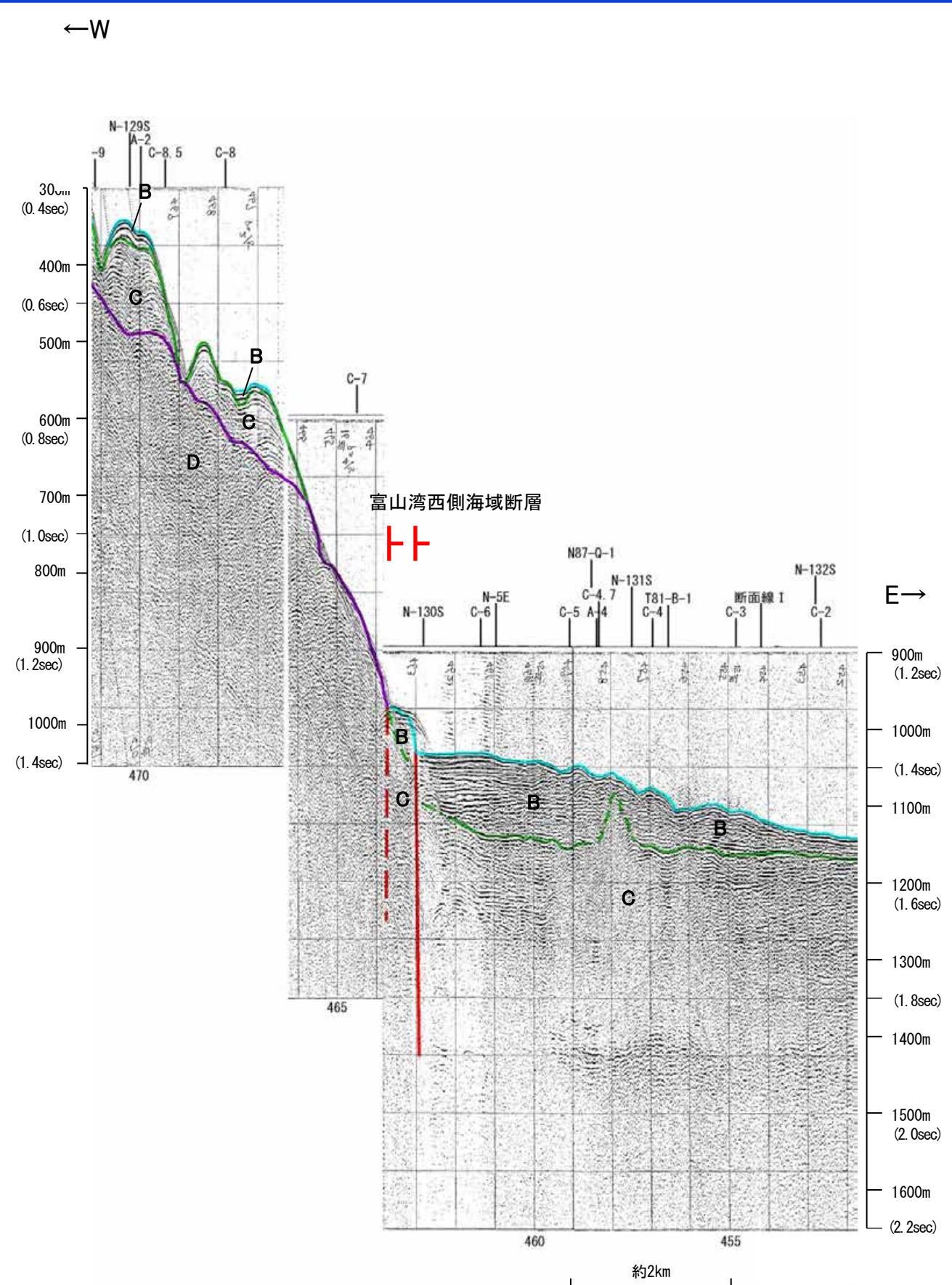
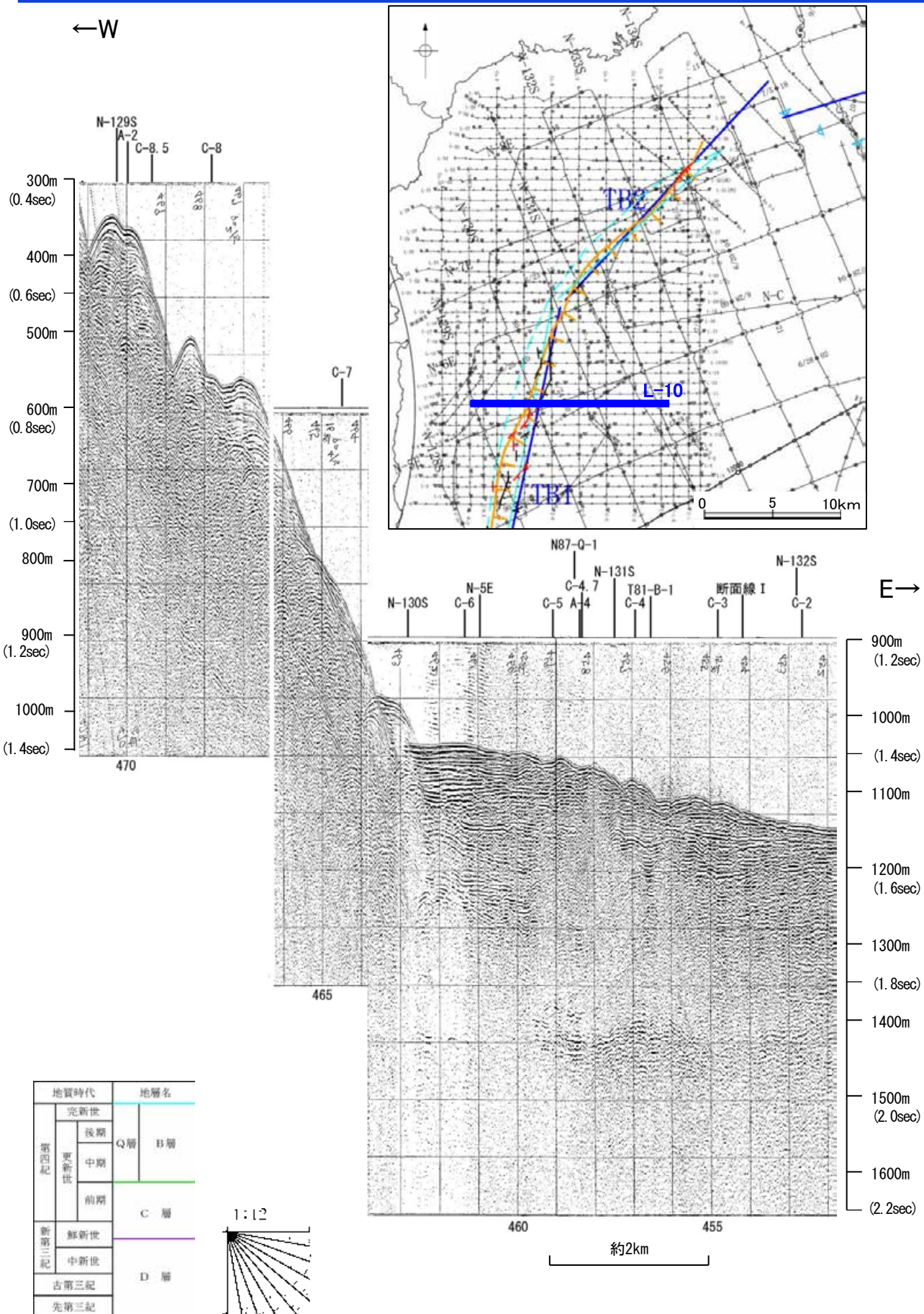


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
更新世	前期	C層	
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			



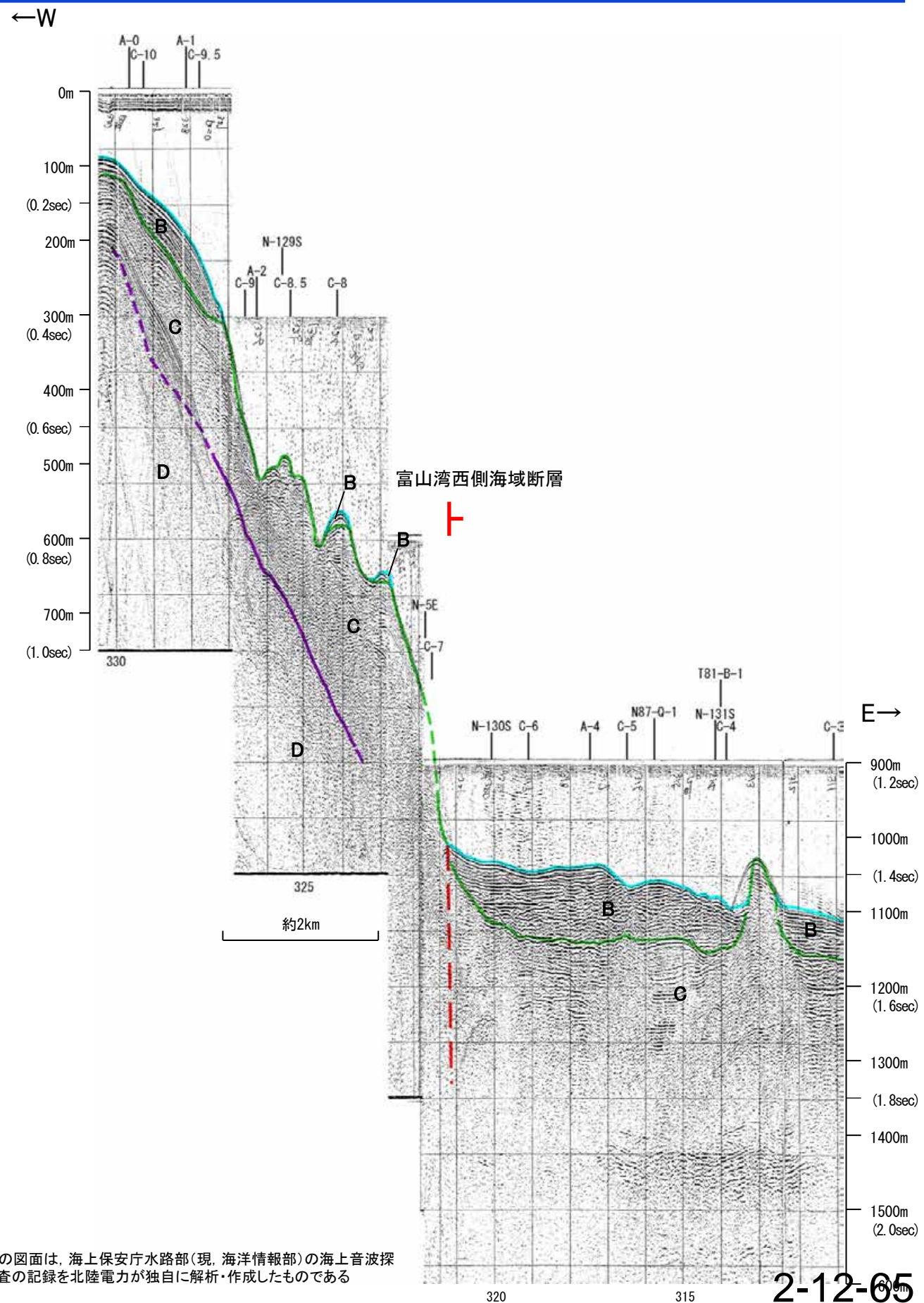
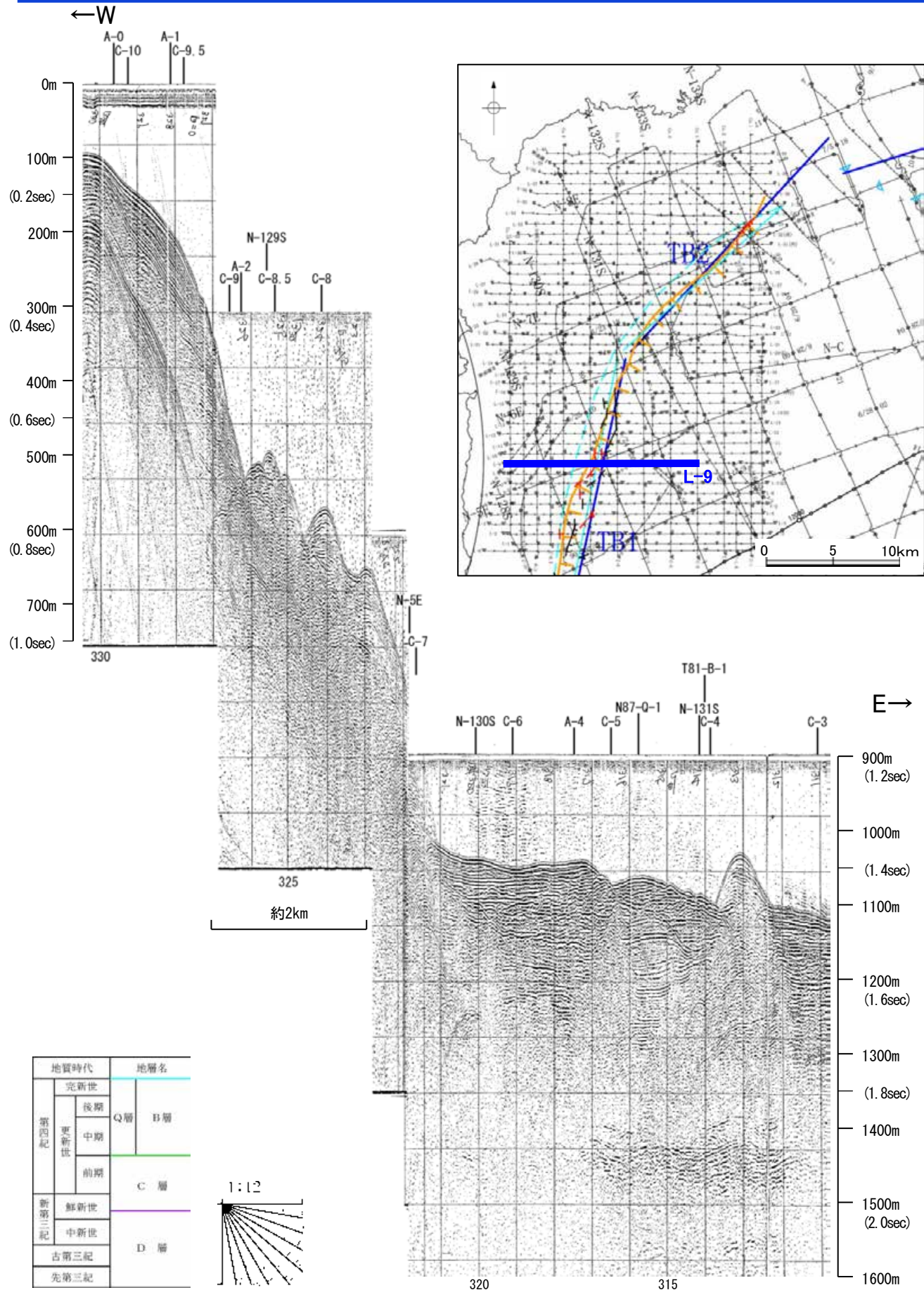
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-10

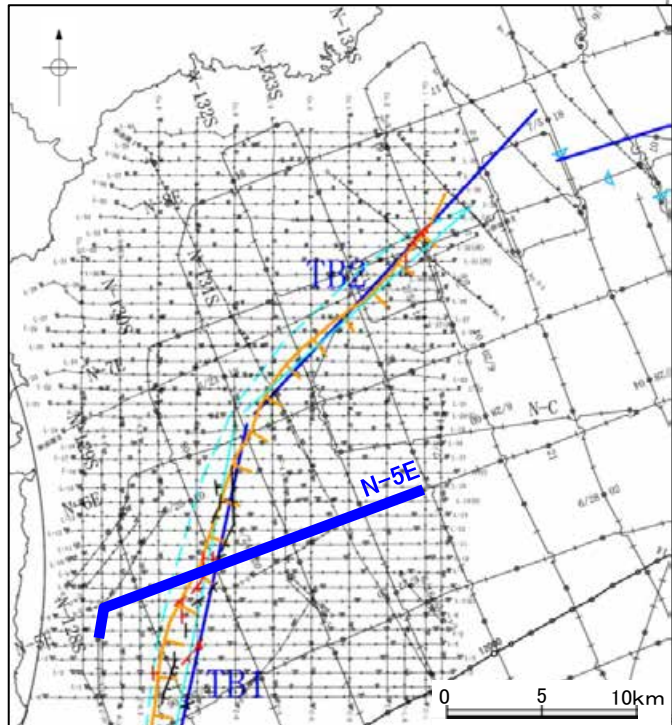
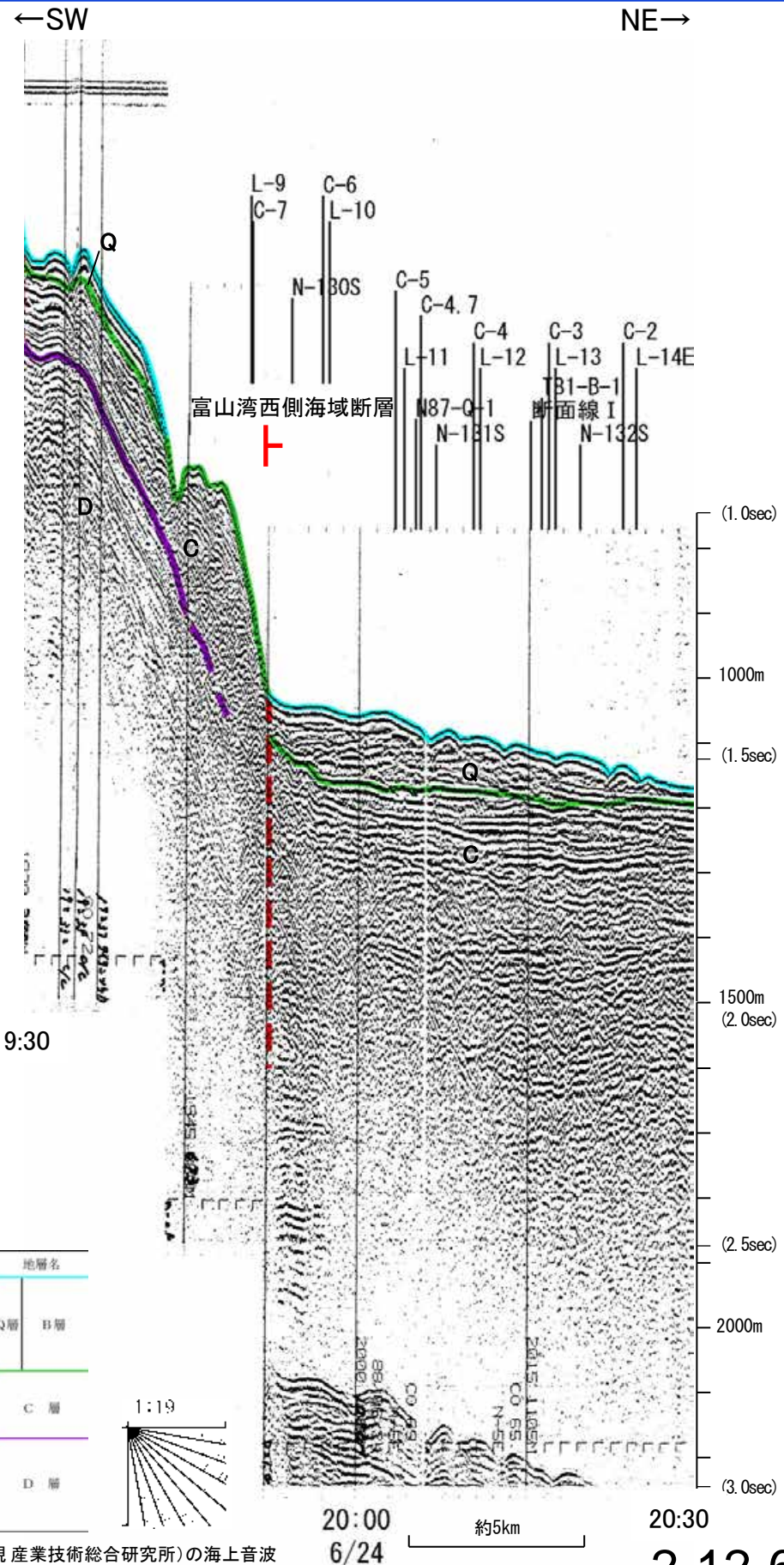
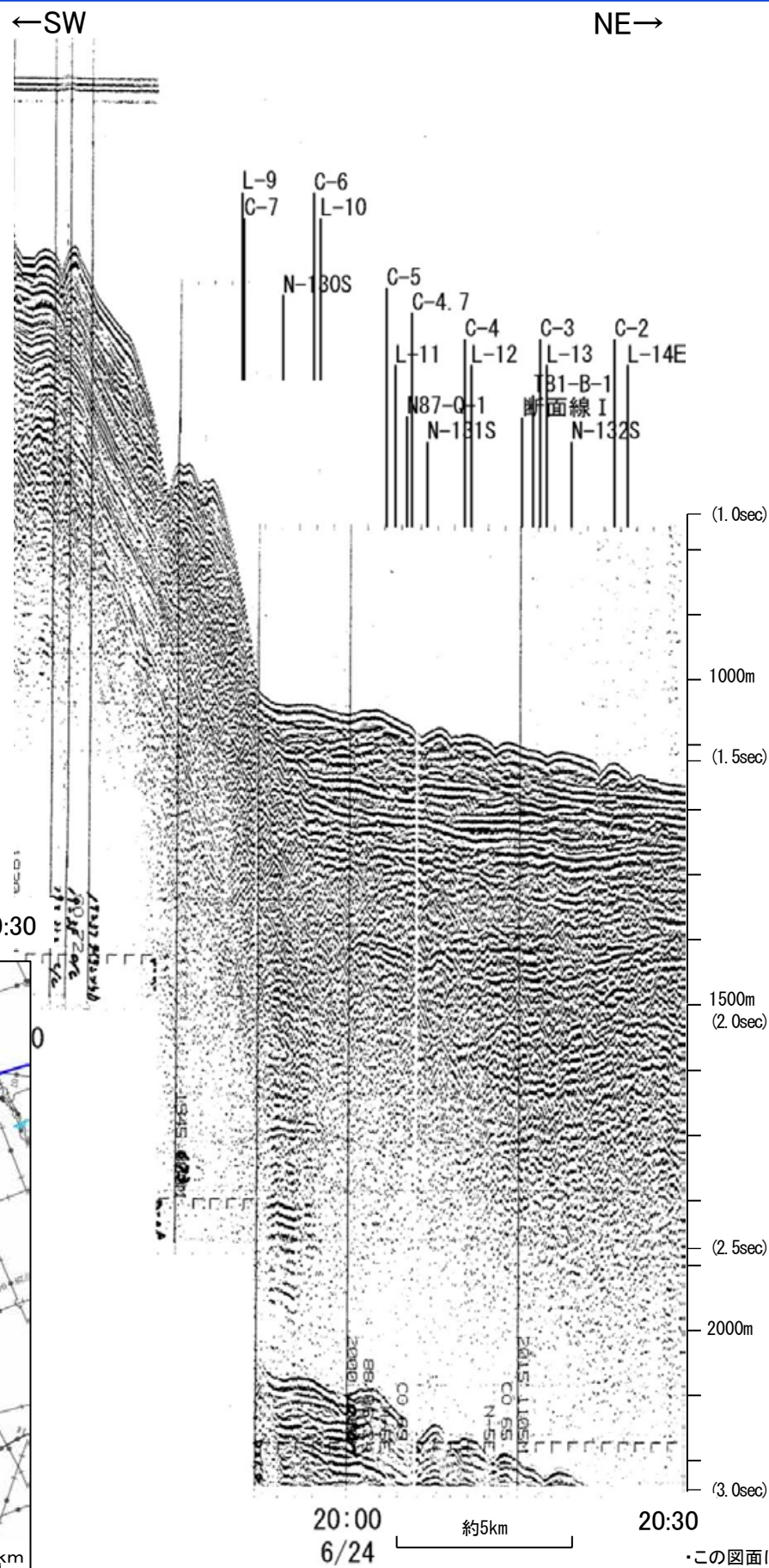


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

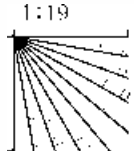
海上保安庁スパーカー L-9



地質調査所エアガン N-5E

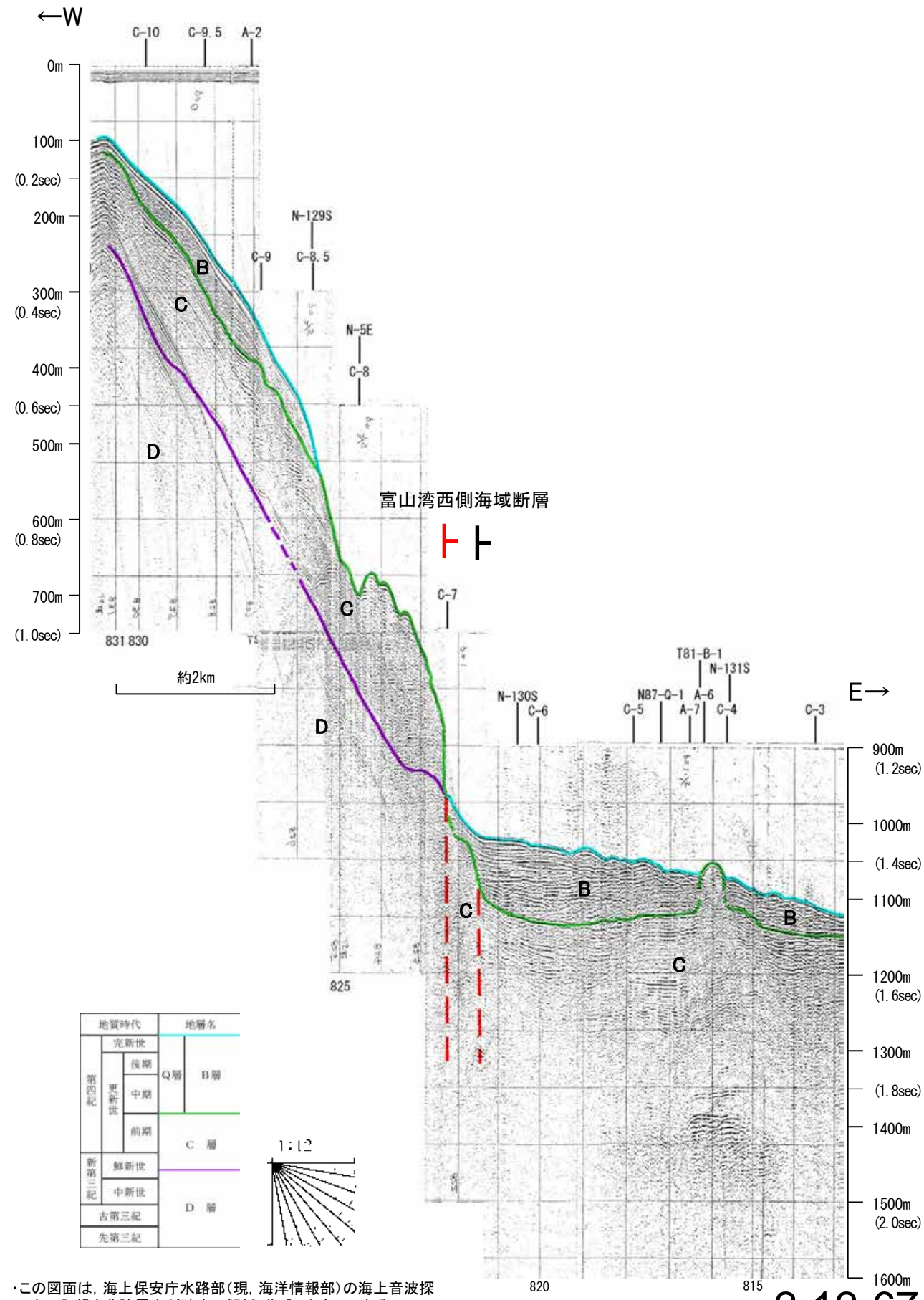
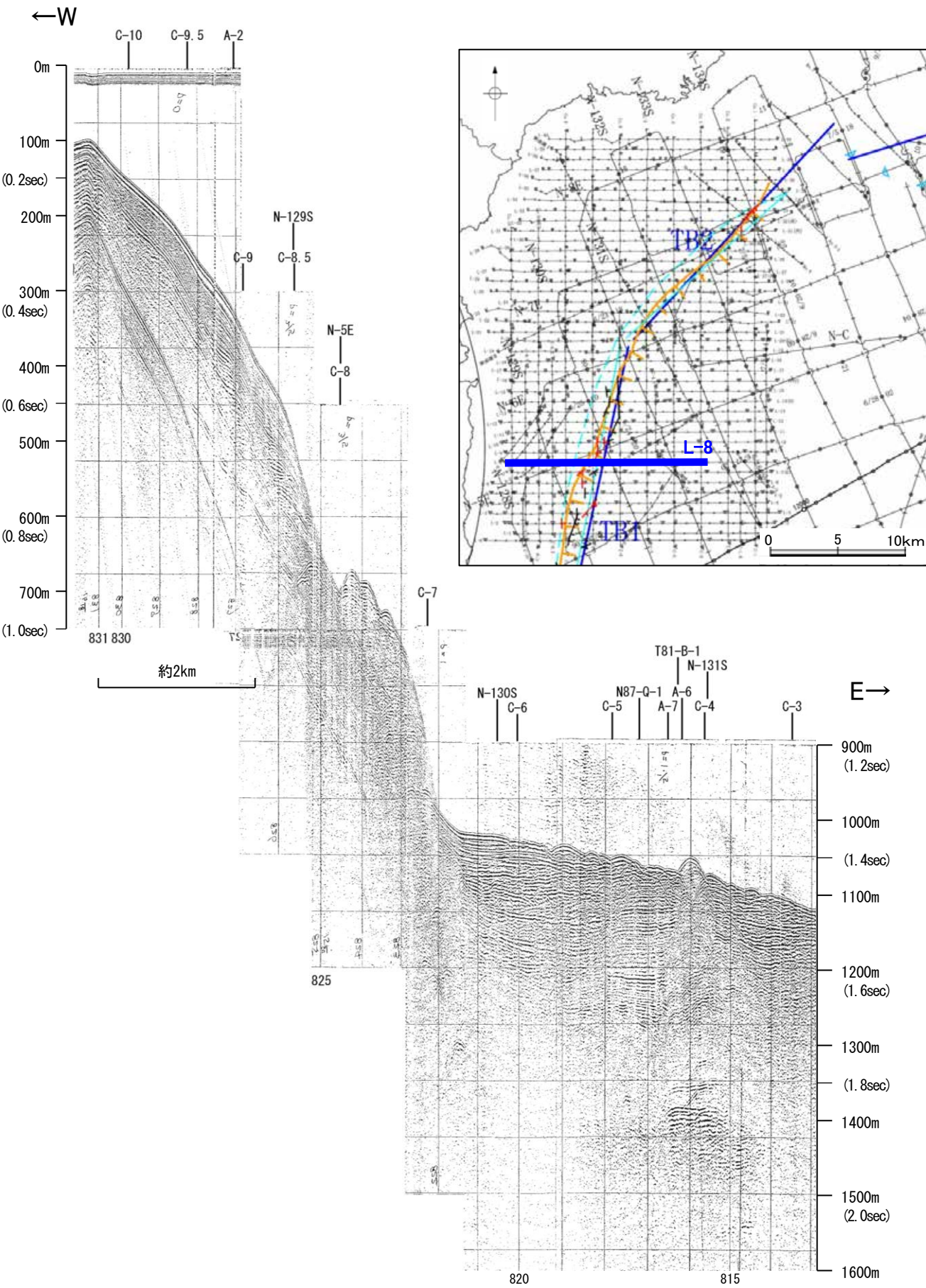


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
新第四紀	前期	C層	
	鮮新世		
第三紀	中新世		
	古第三紀	D層	
先第三紀			



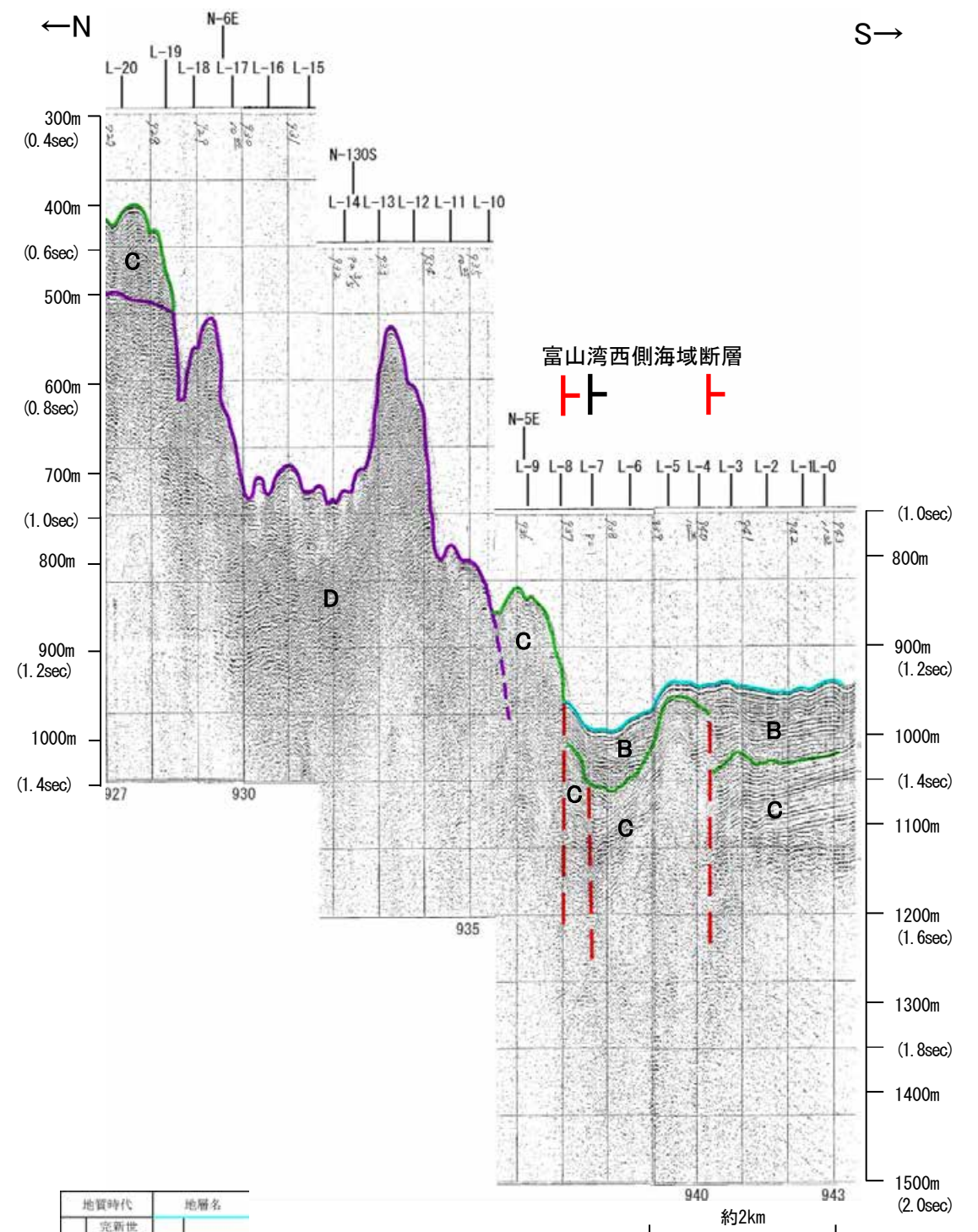
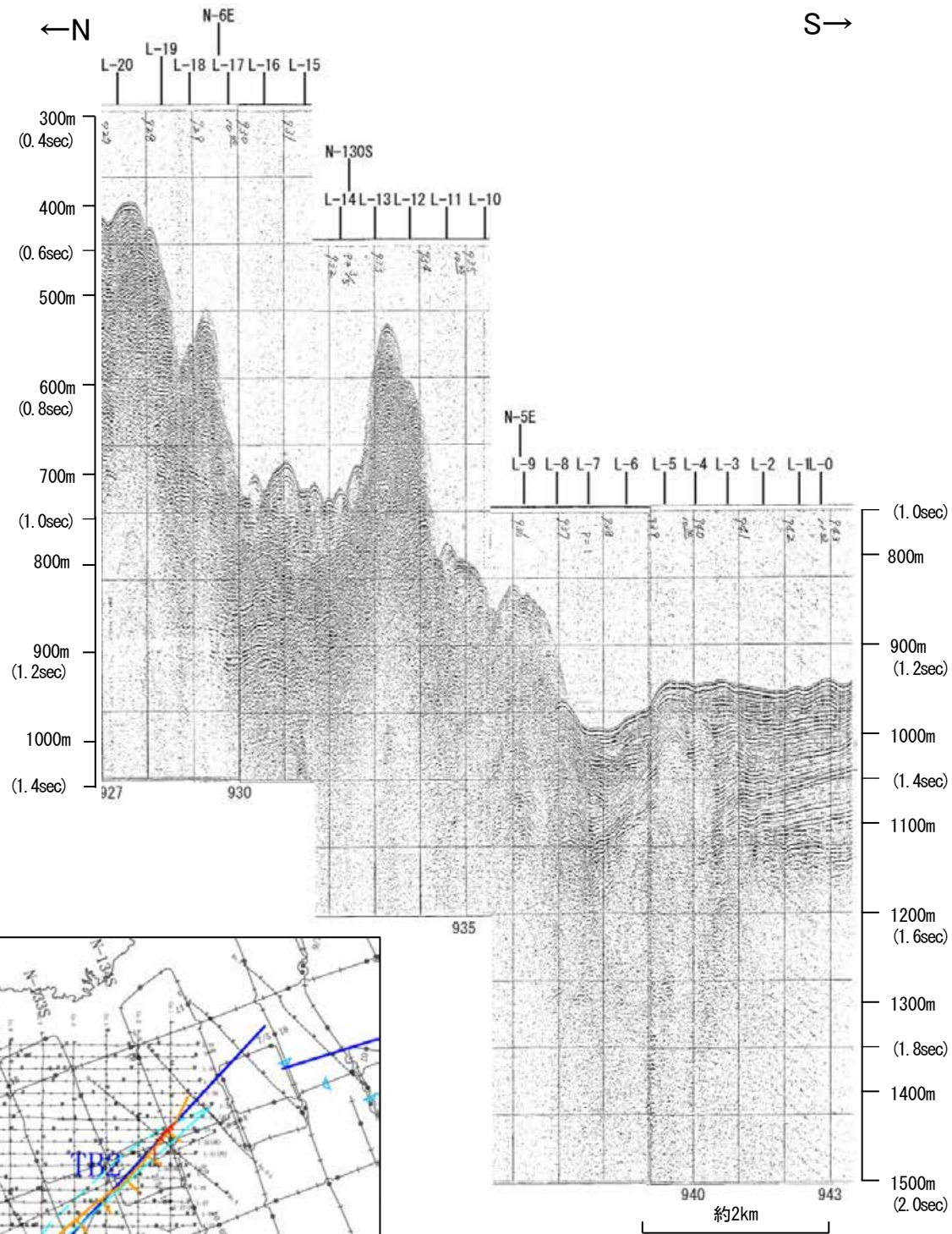
この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-8

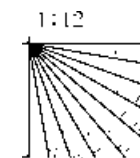


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー C-7

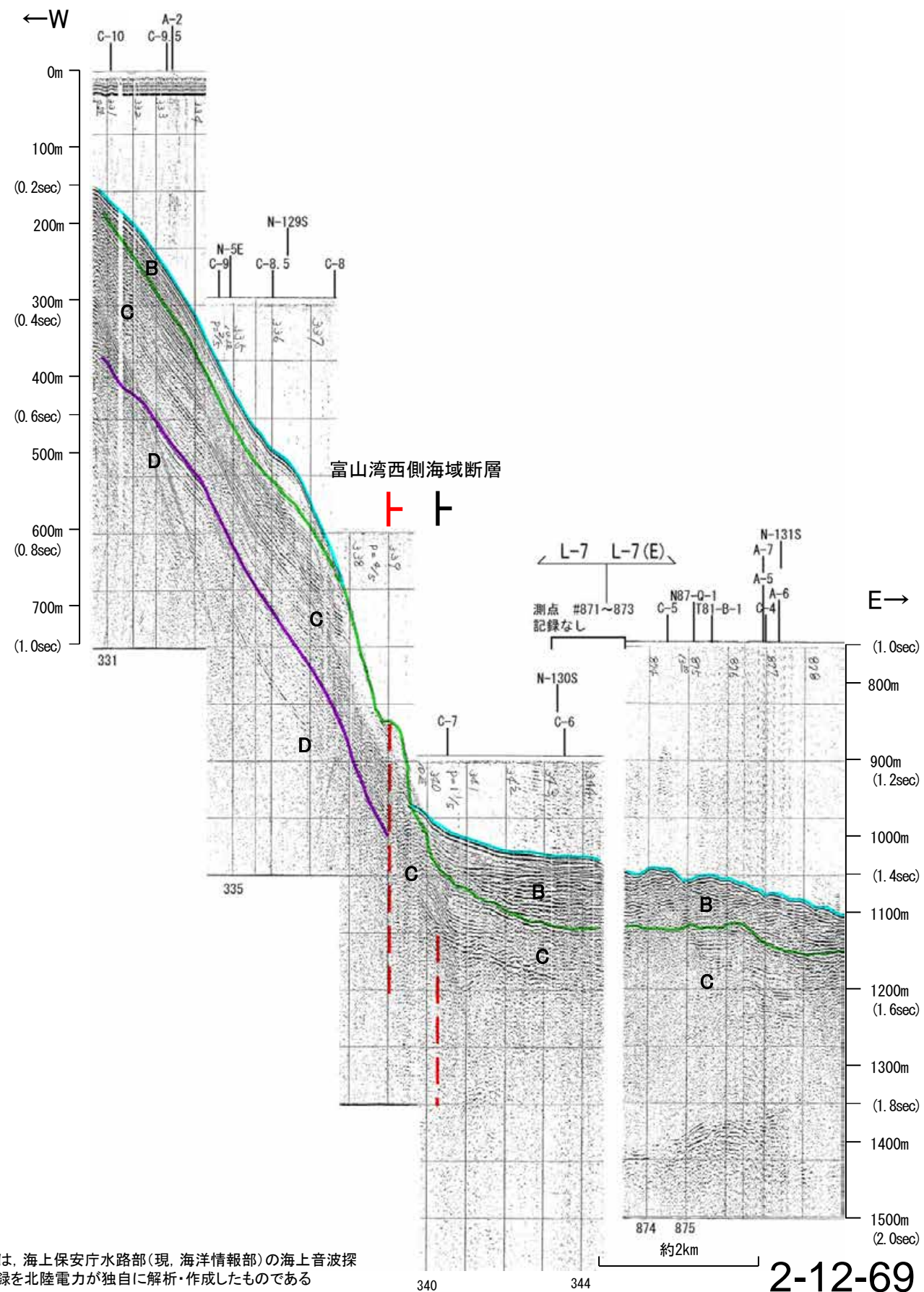
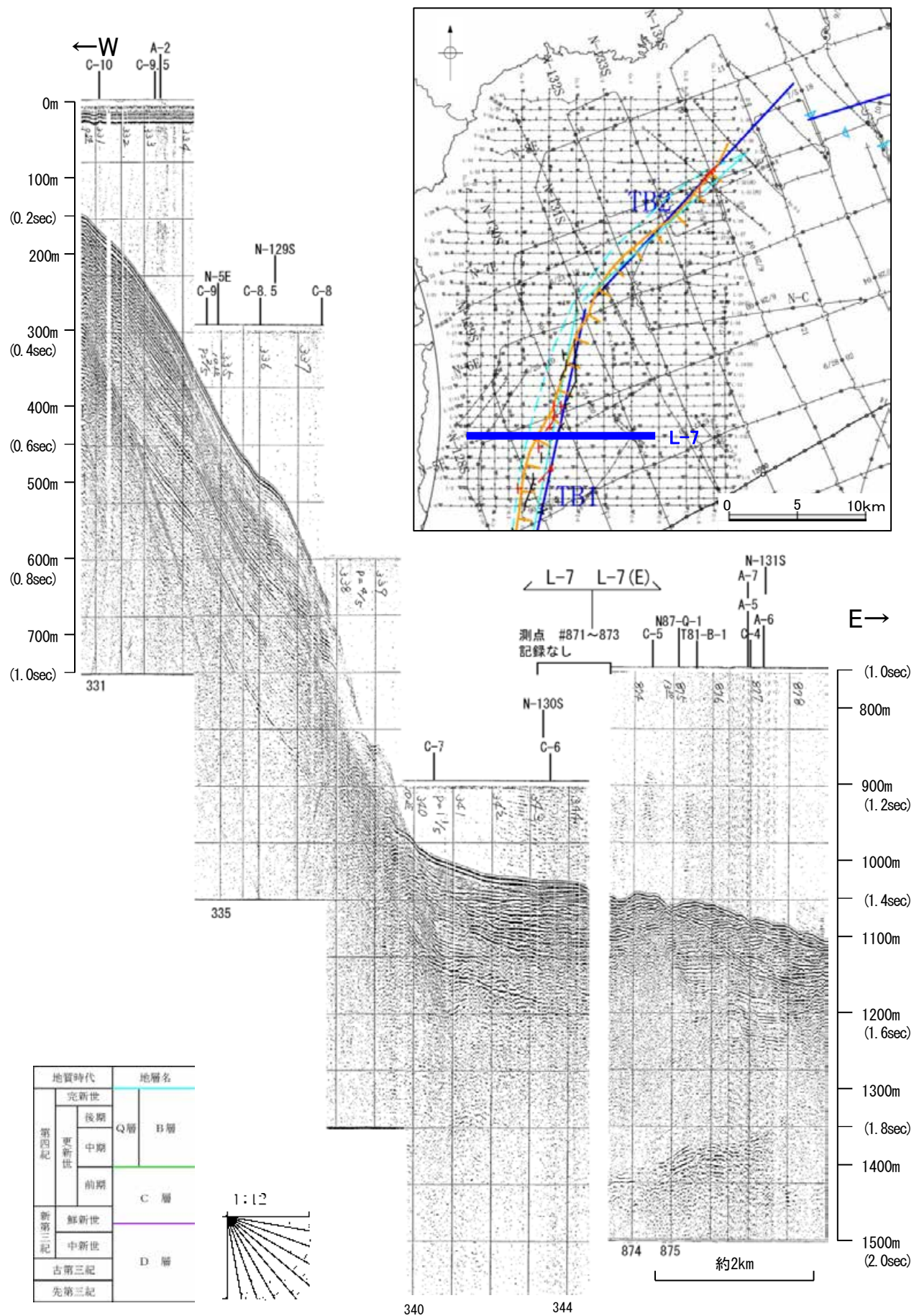


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期	C層	
第三紀	新第三紀		
	中新世		
古第三紀		D層	
先第三紀			

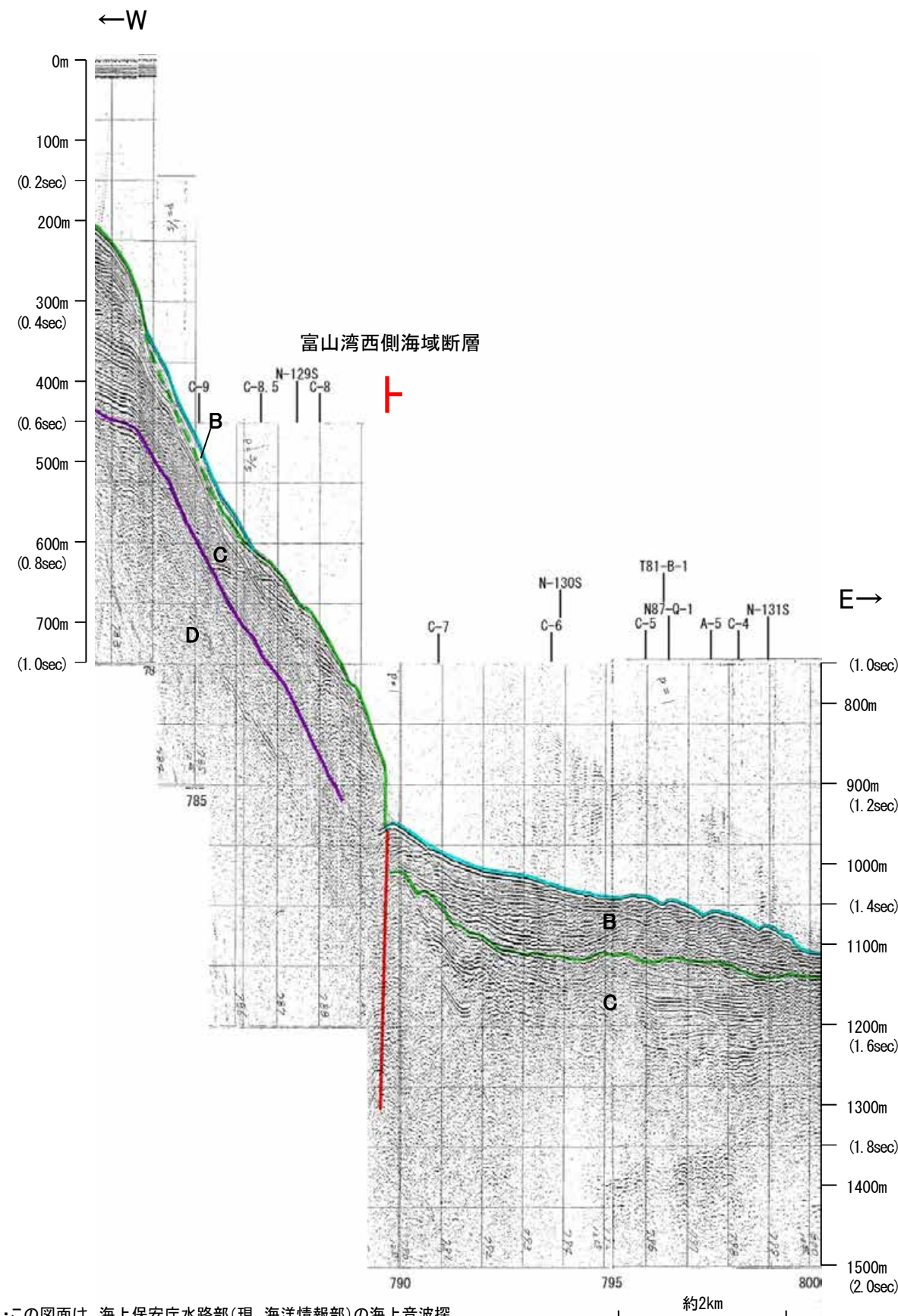
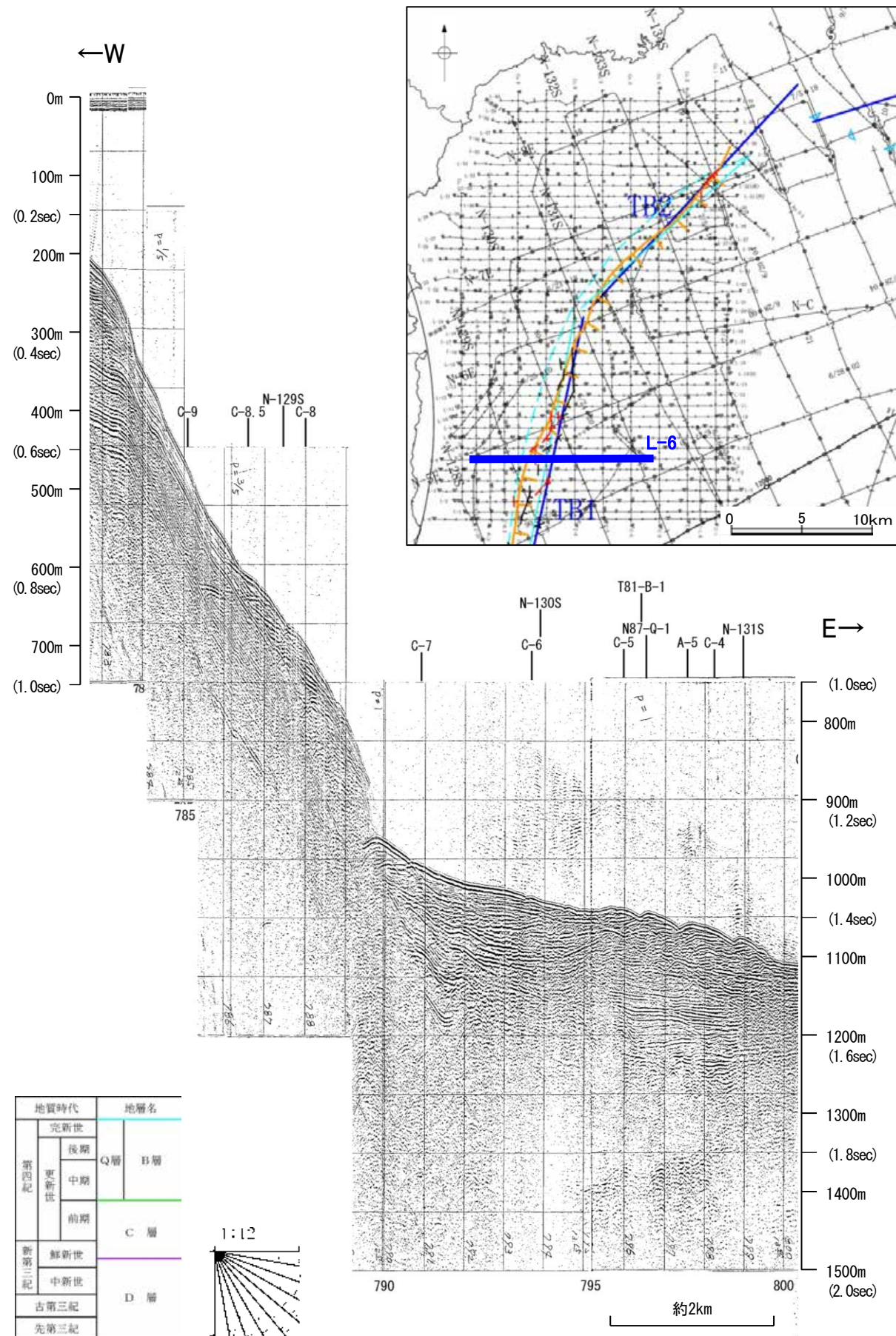


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-7

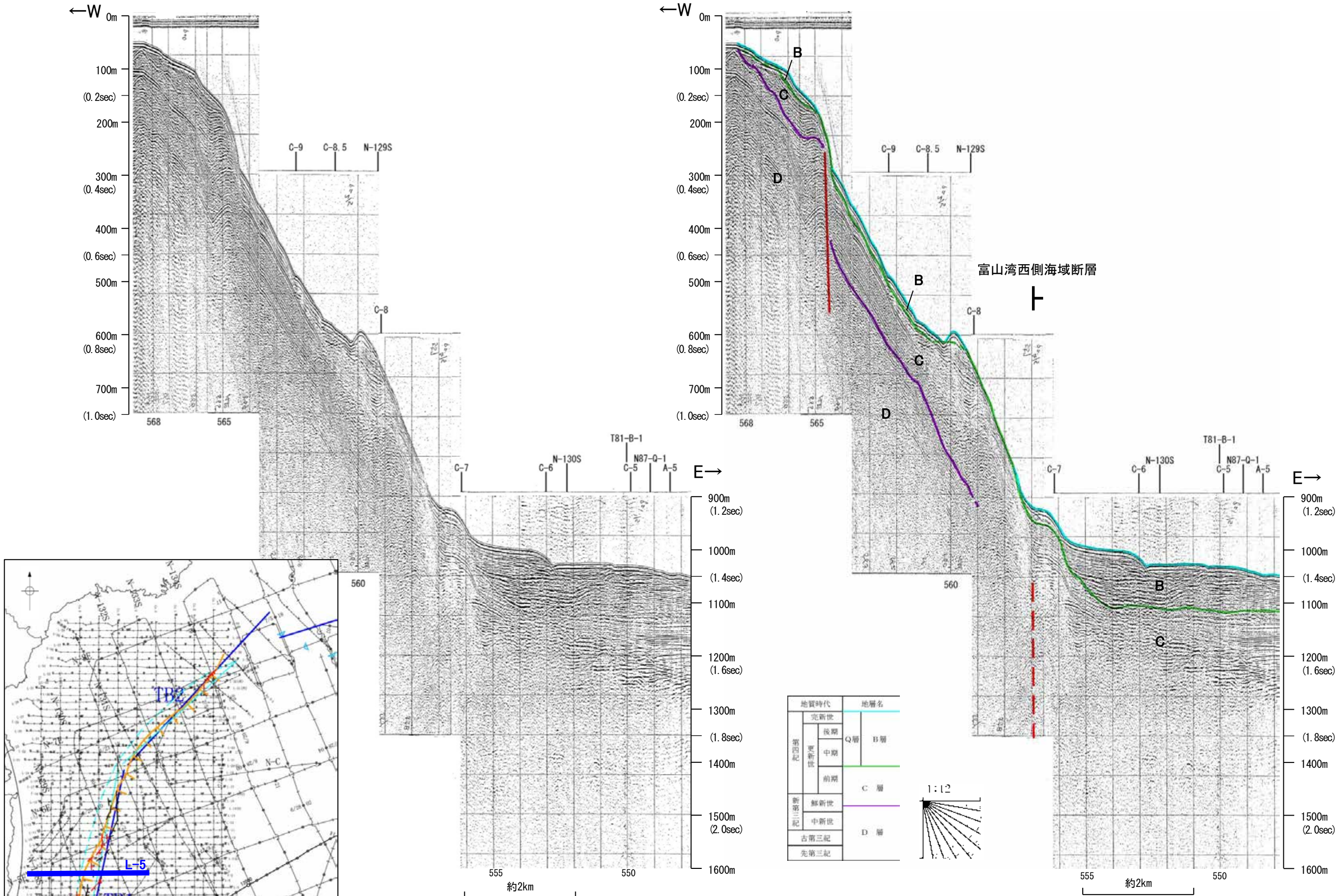


海上保安庁スパーカー L-6



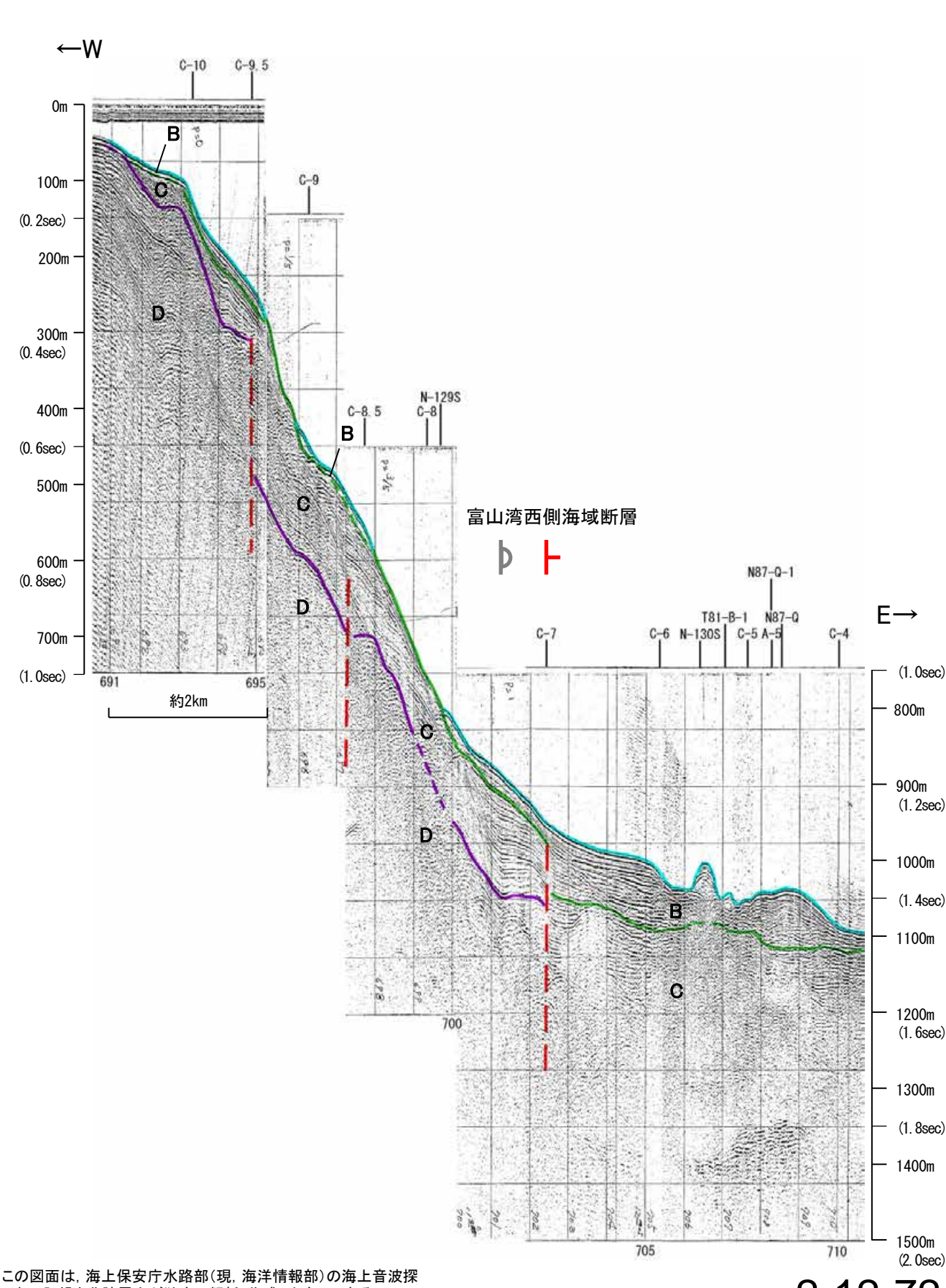
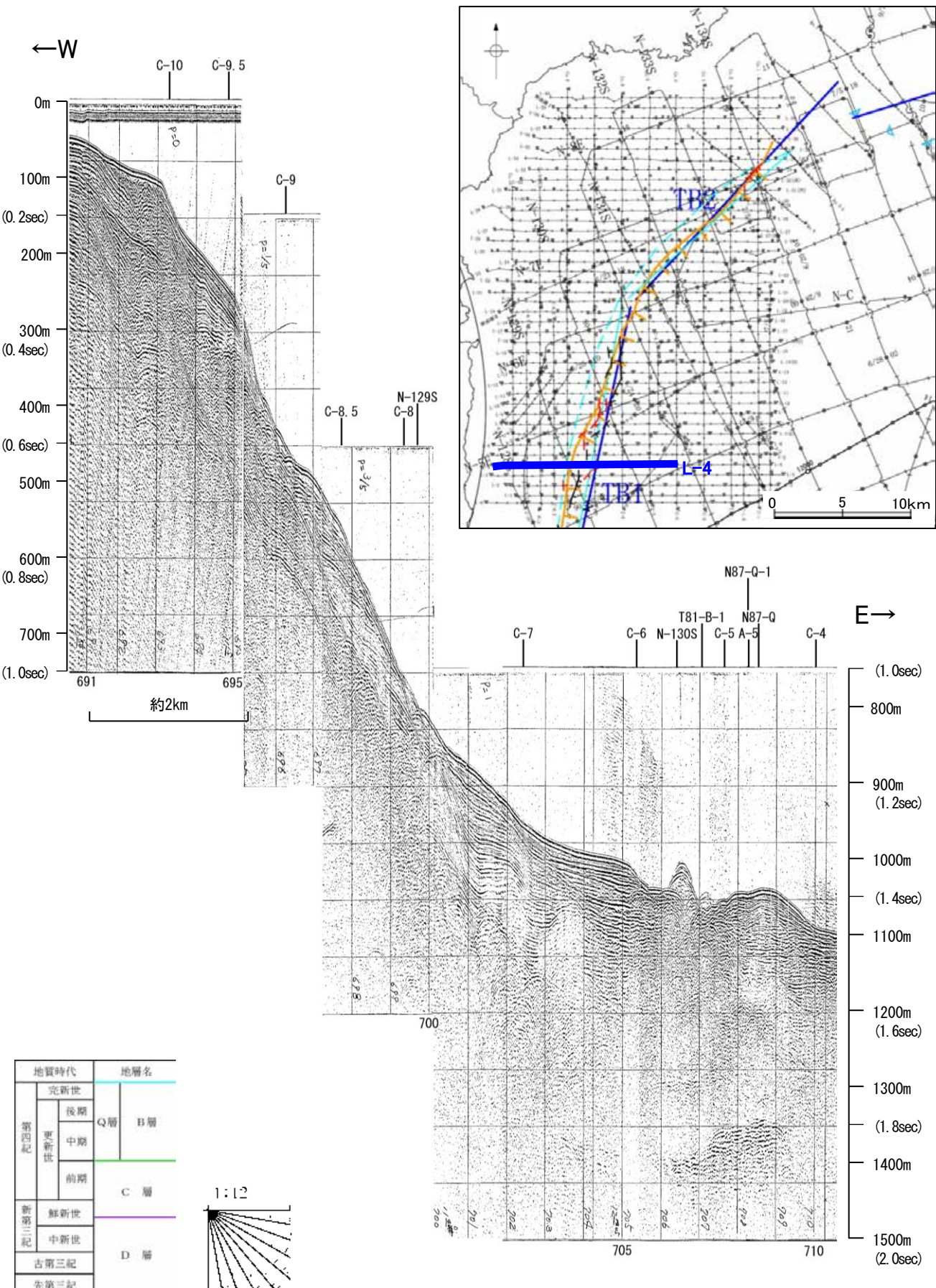
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-5



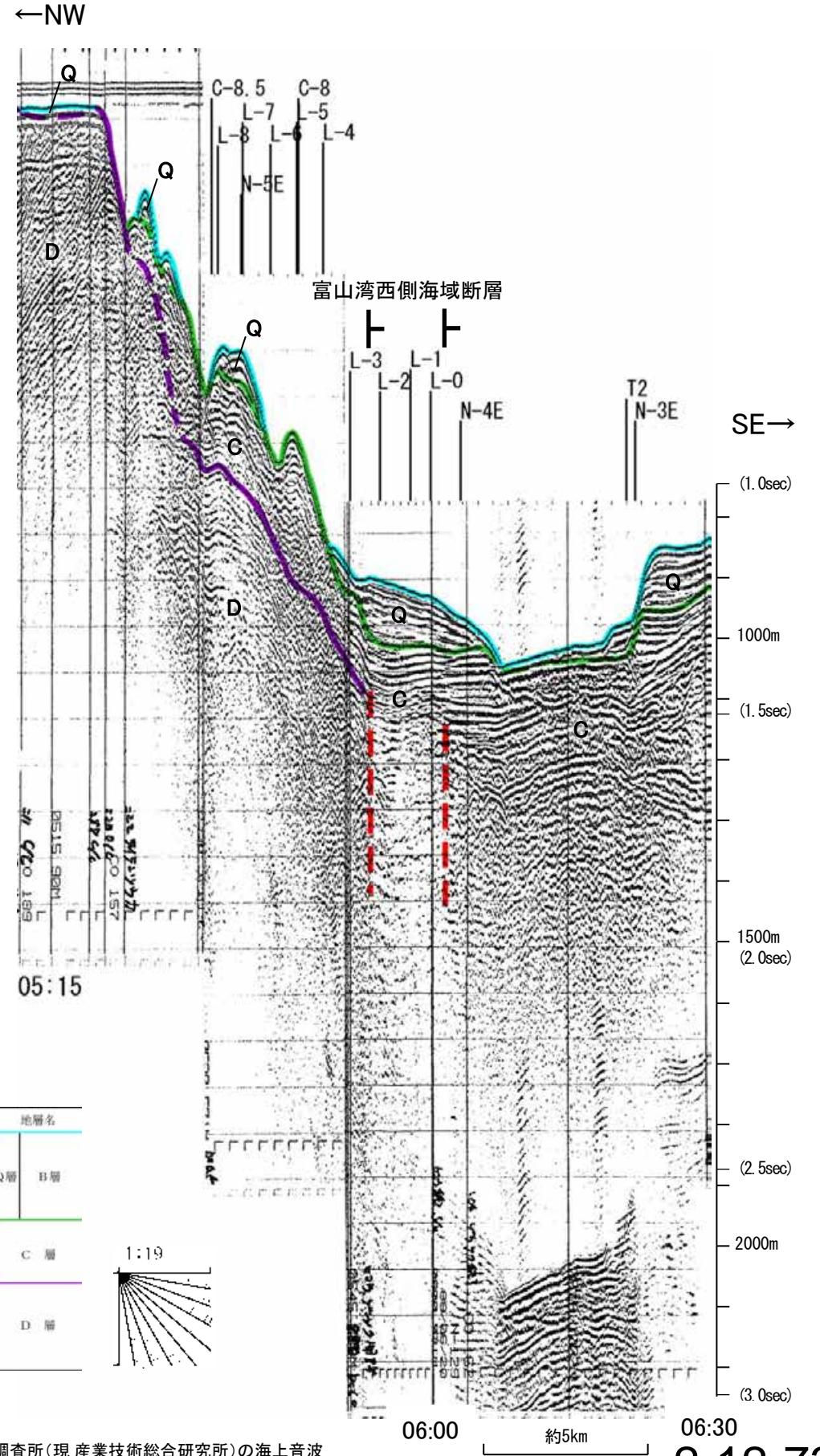
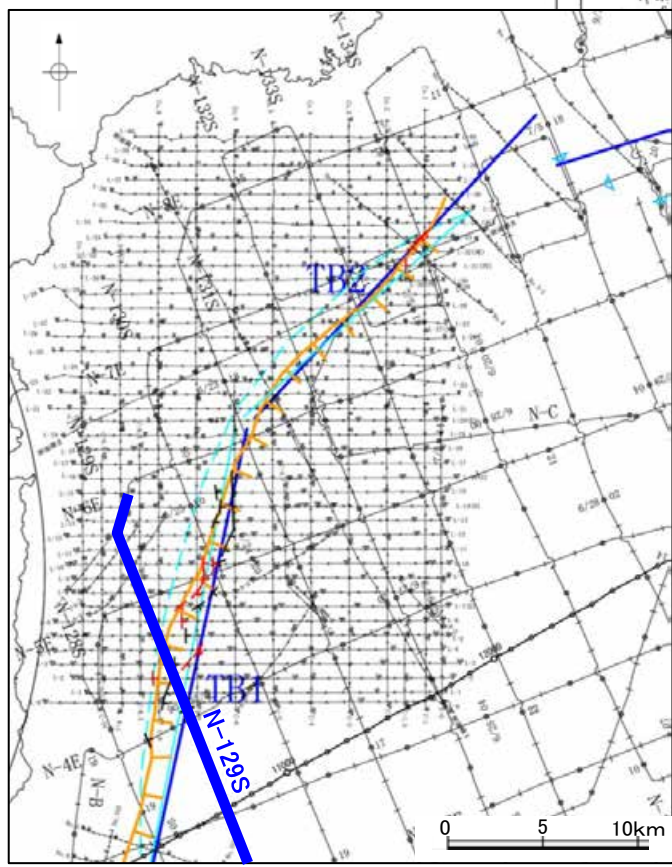
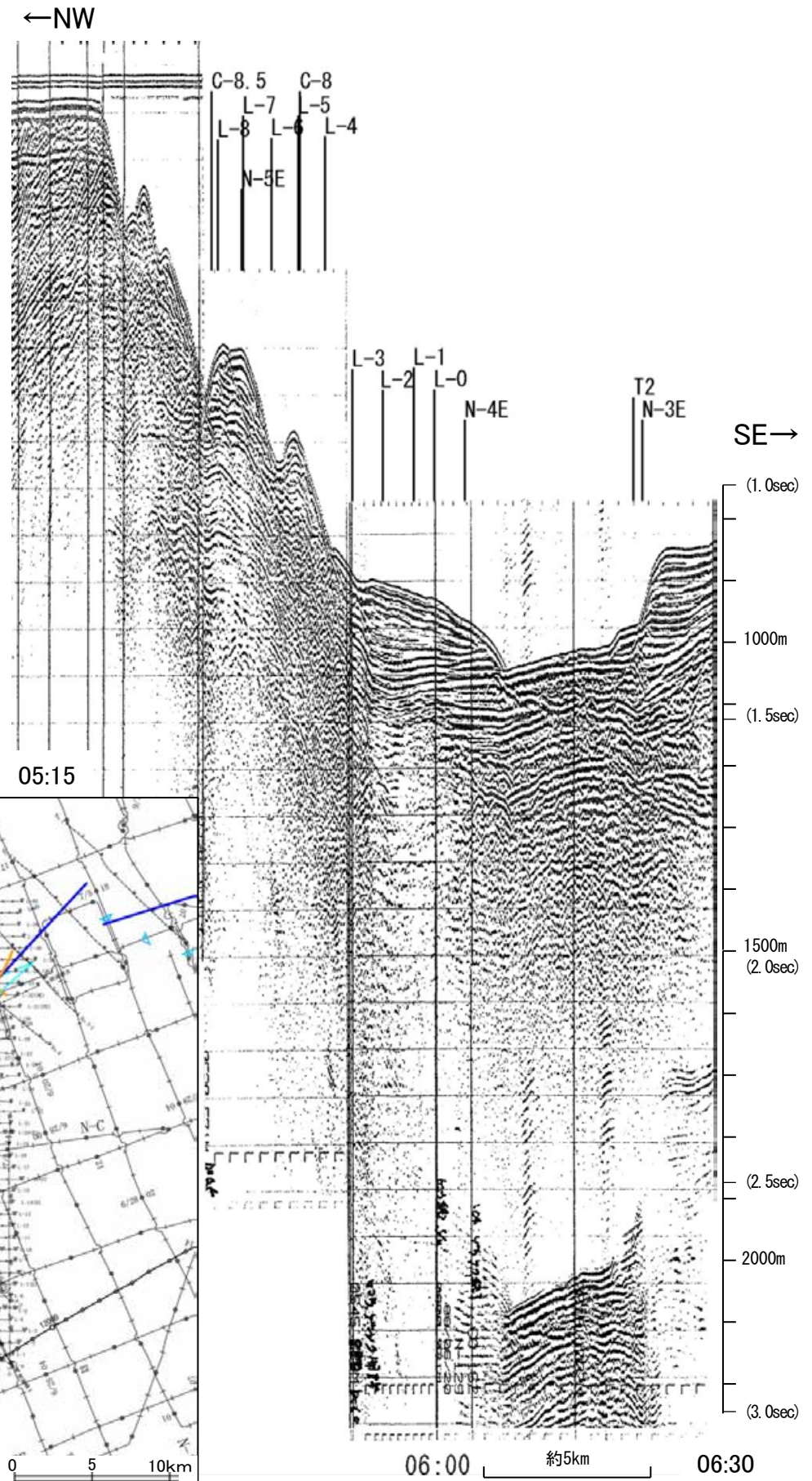
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-4



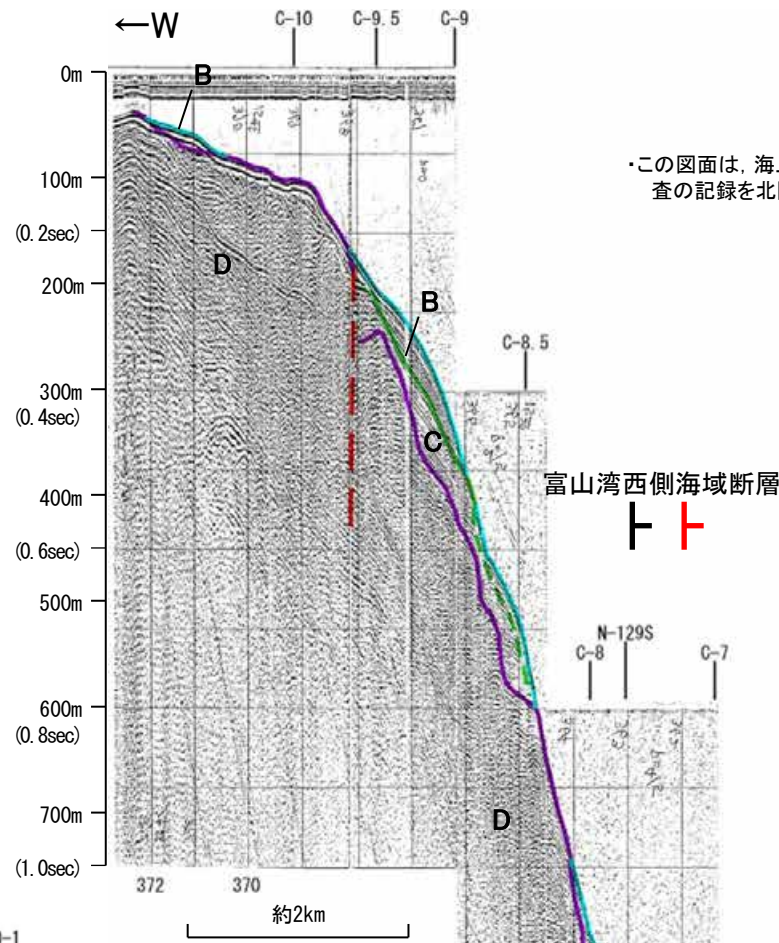
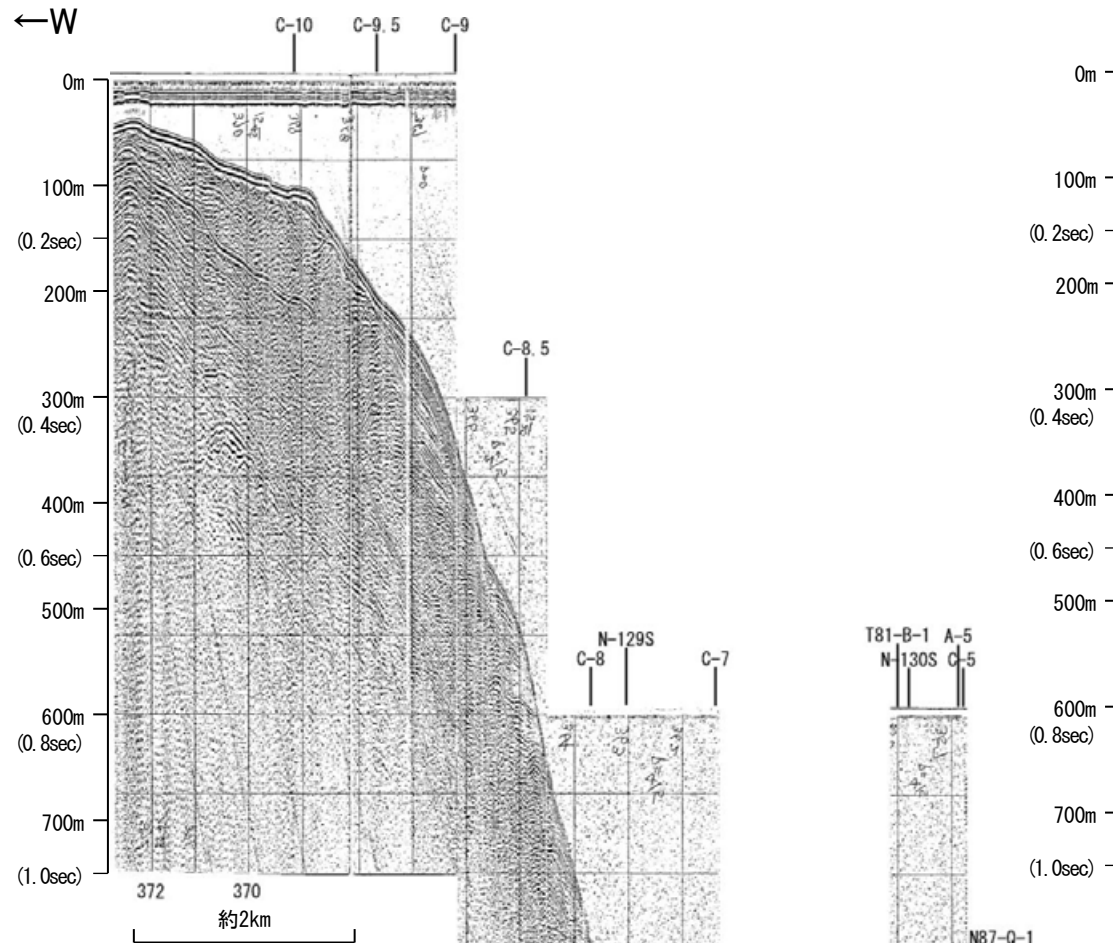
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-129S

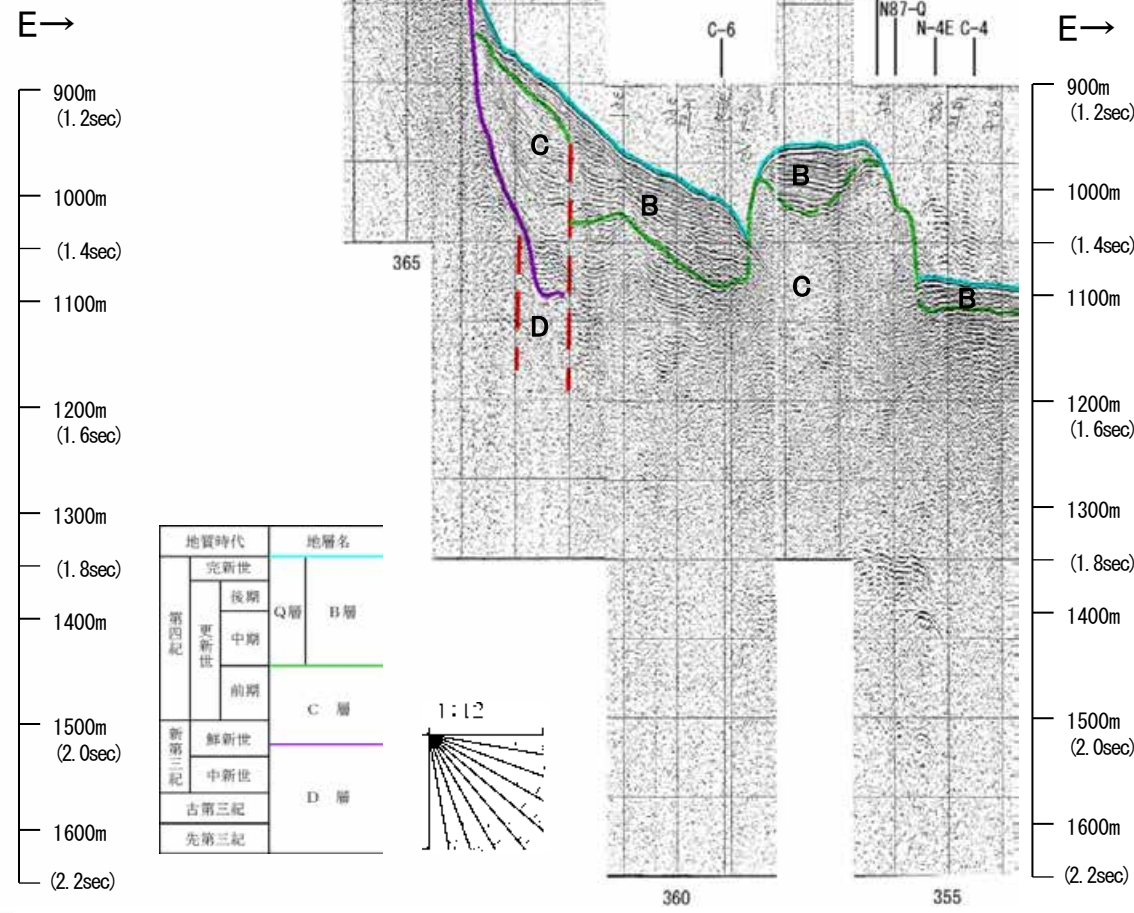
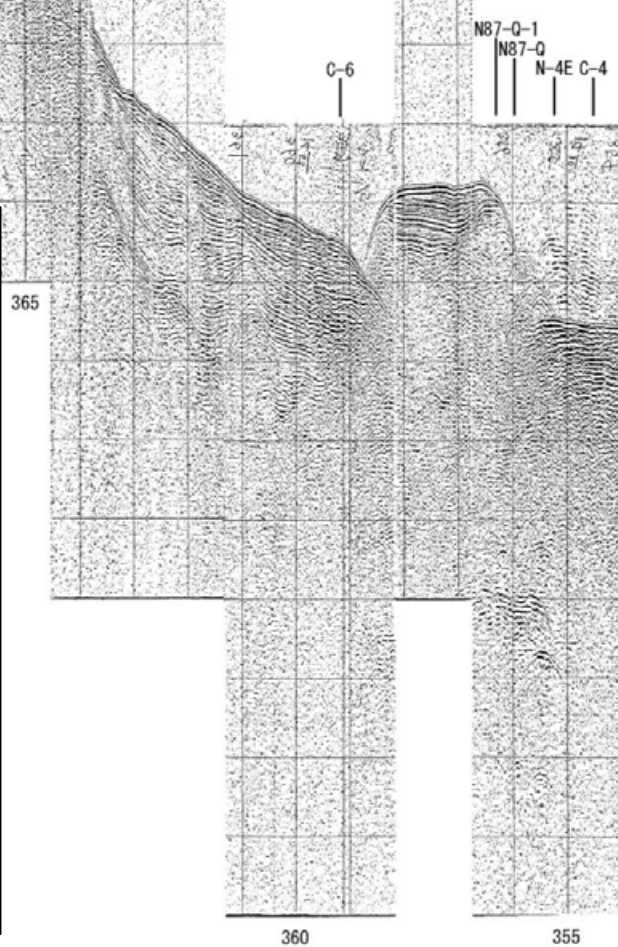


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

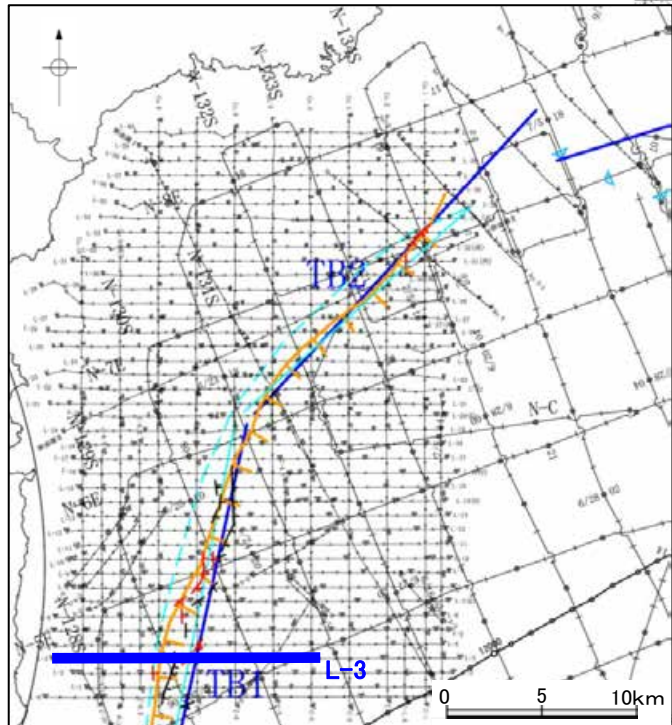
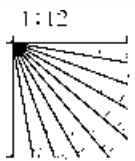
海上保安庁スパーカー L-3



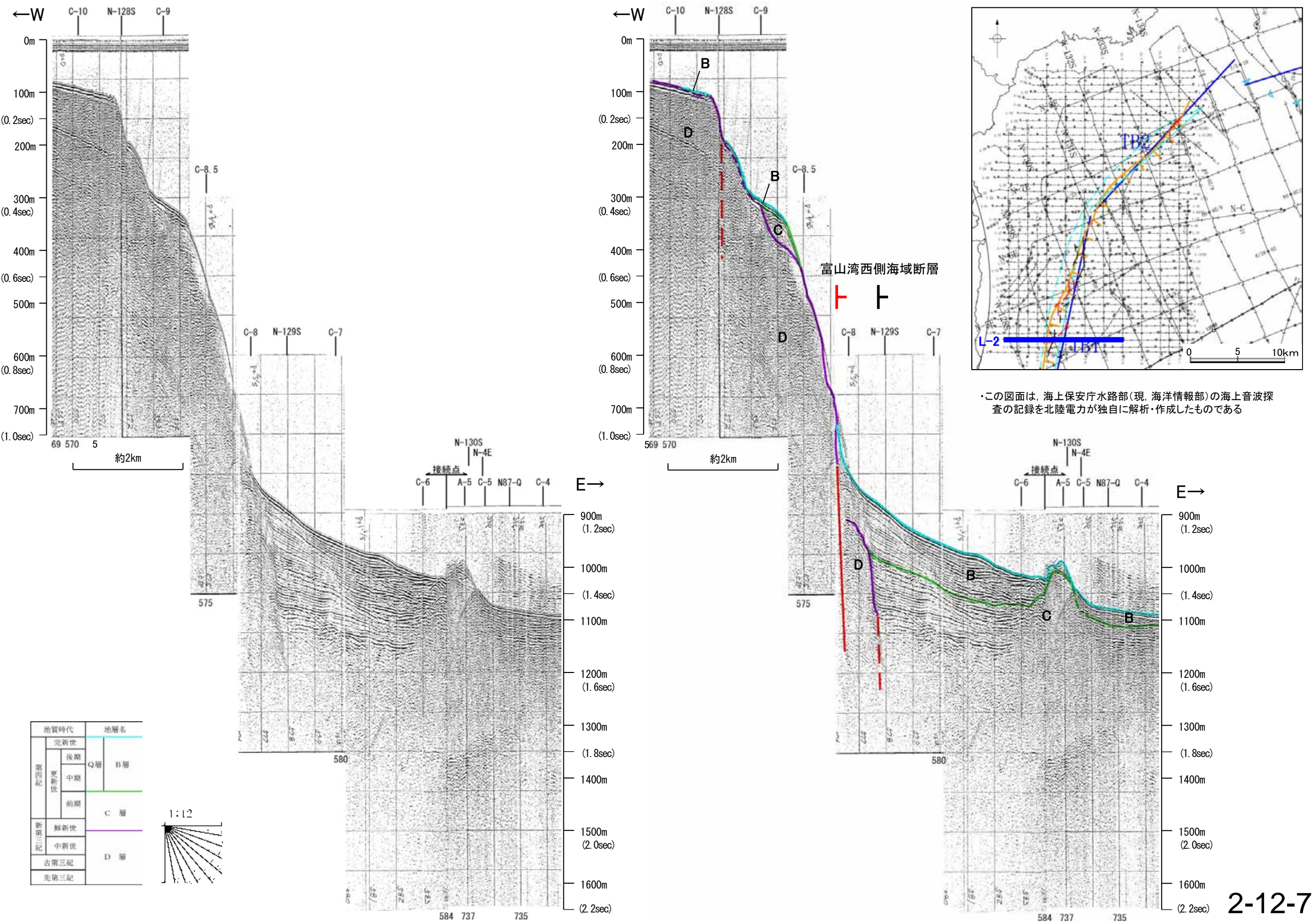
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	B層
	後期	
	更新世	Q層
新第三紀	中新世	C層
	鮮新世	
先第三紀	中新世	D層
	古第三紀	
先第三紀		

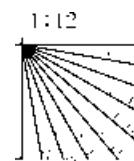


海上保安庁スパーカー L-2

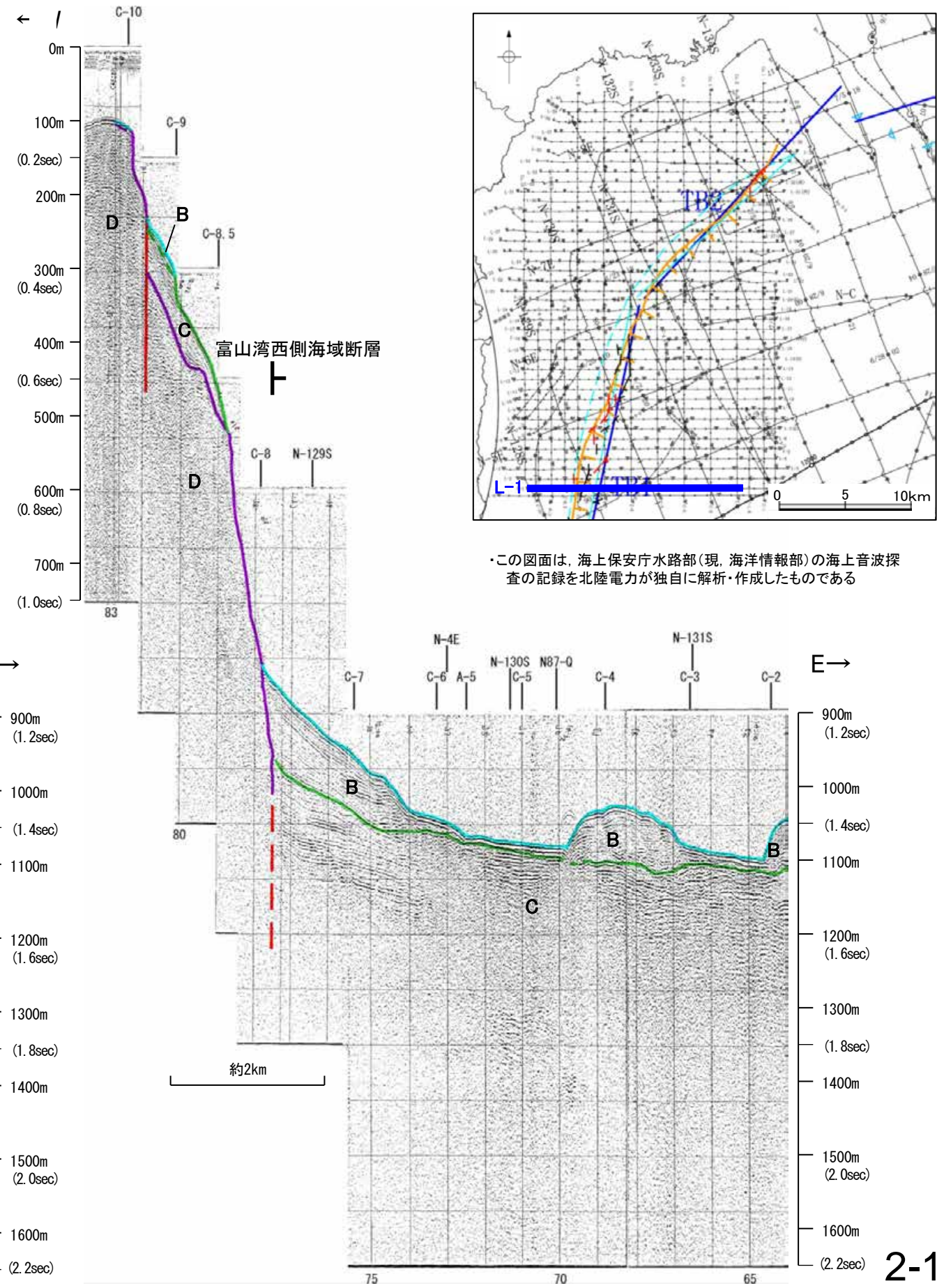
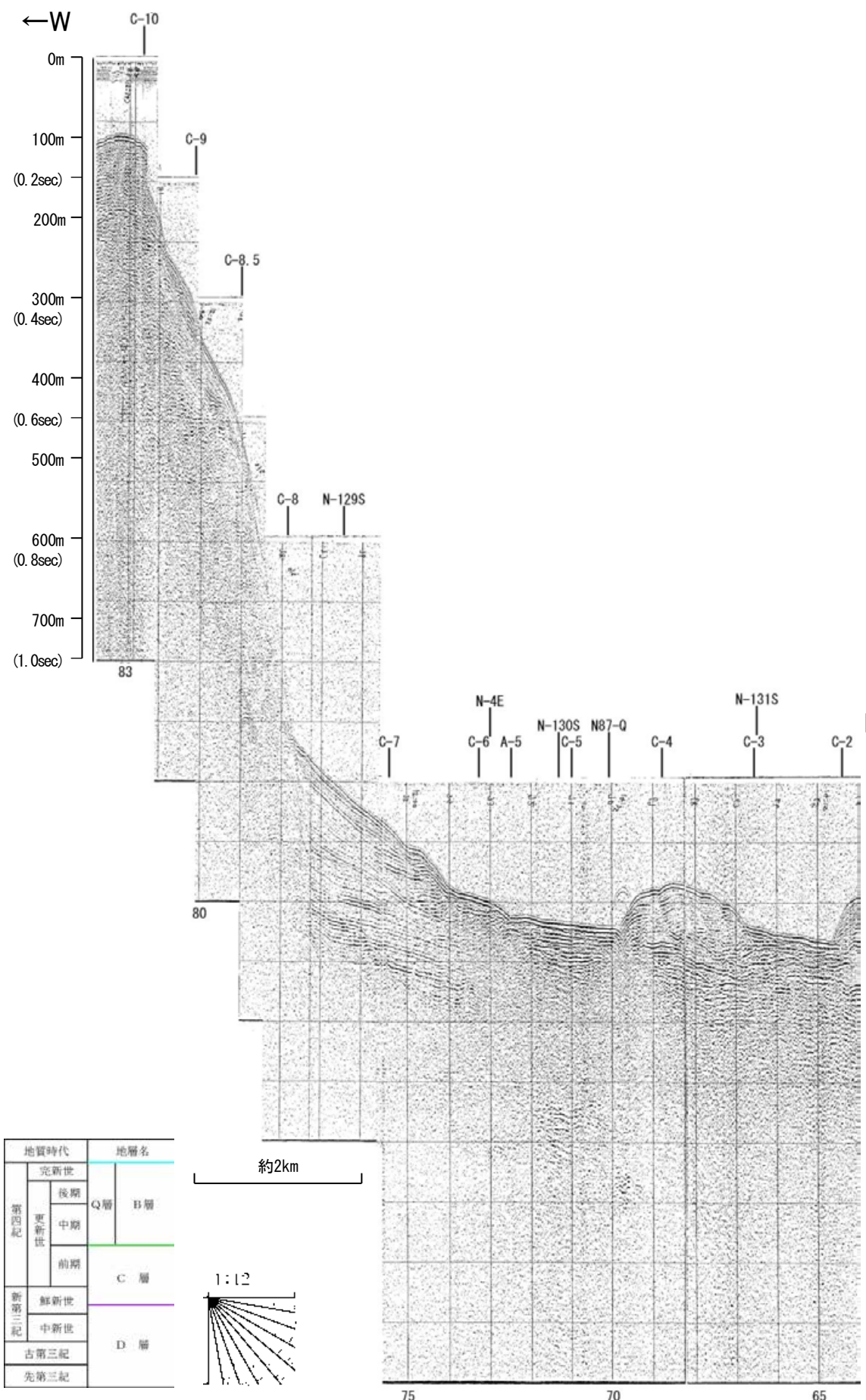


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

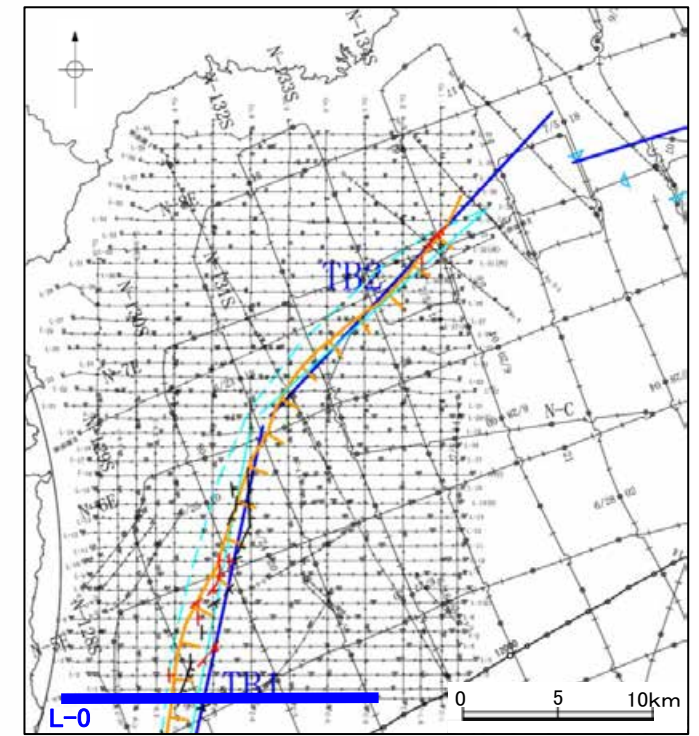
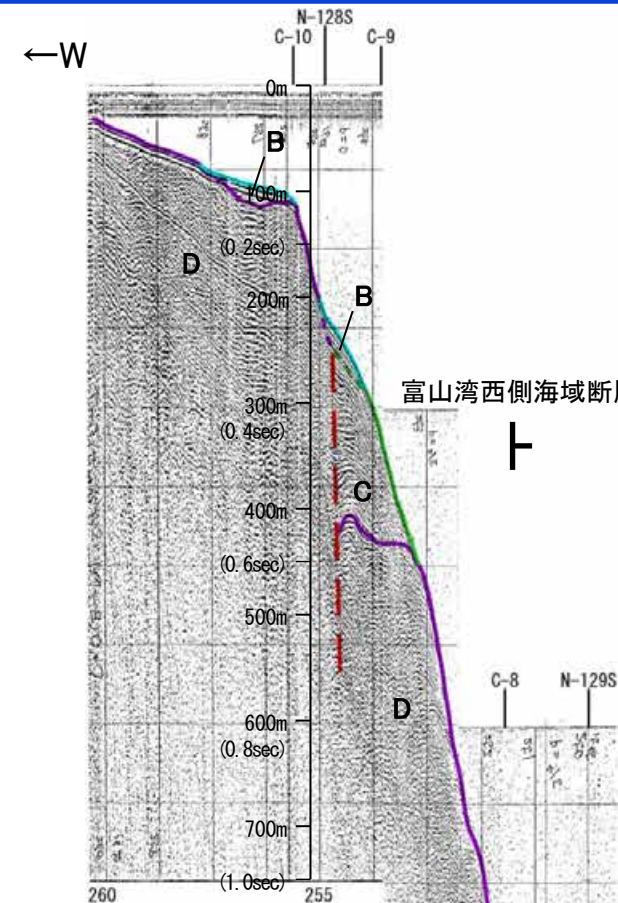
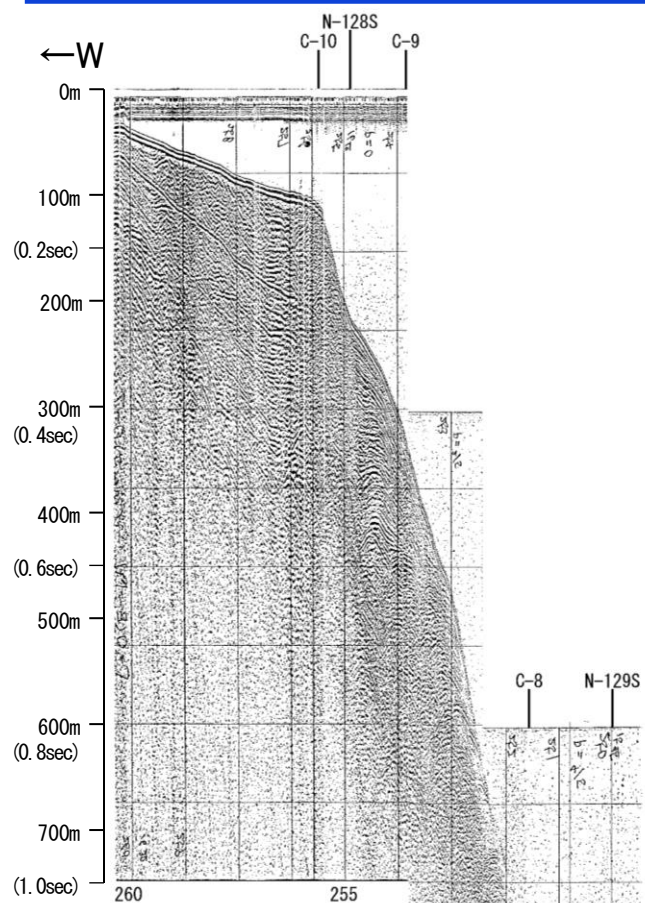
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	Q層 B層
	後期	
	更新世	前期
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	
古第三紀		
先第三紀		



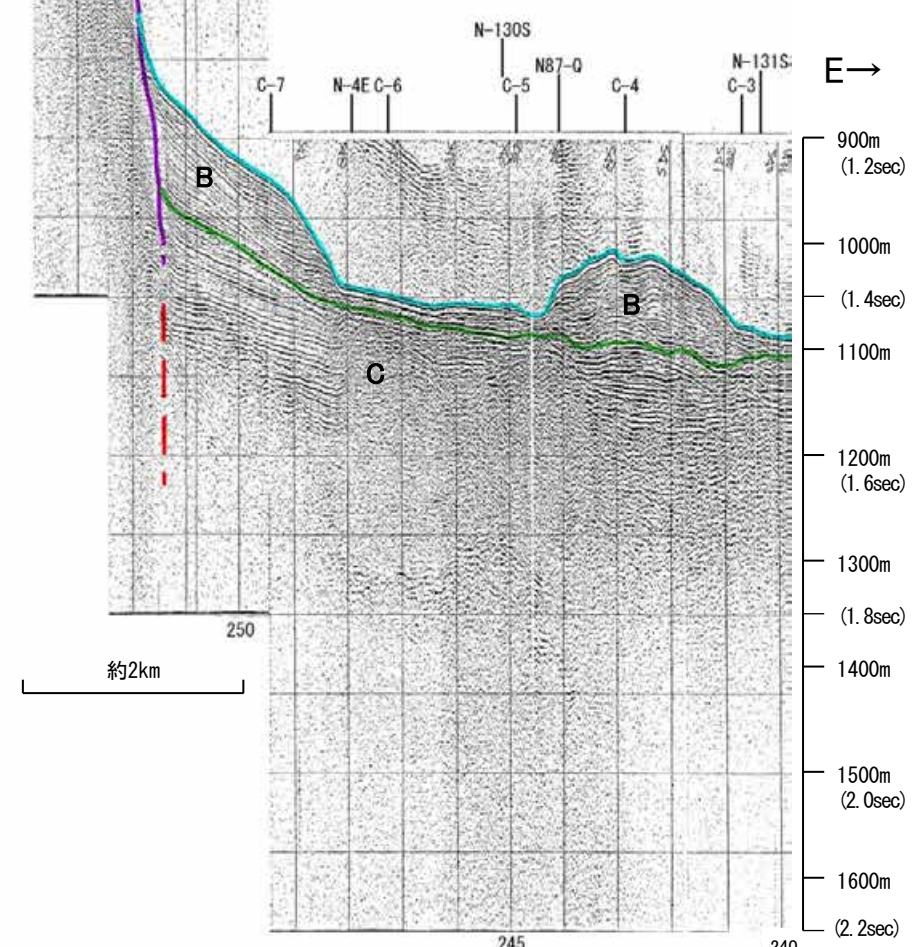
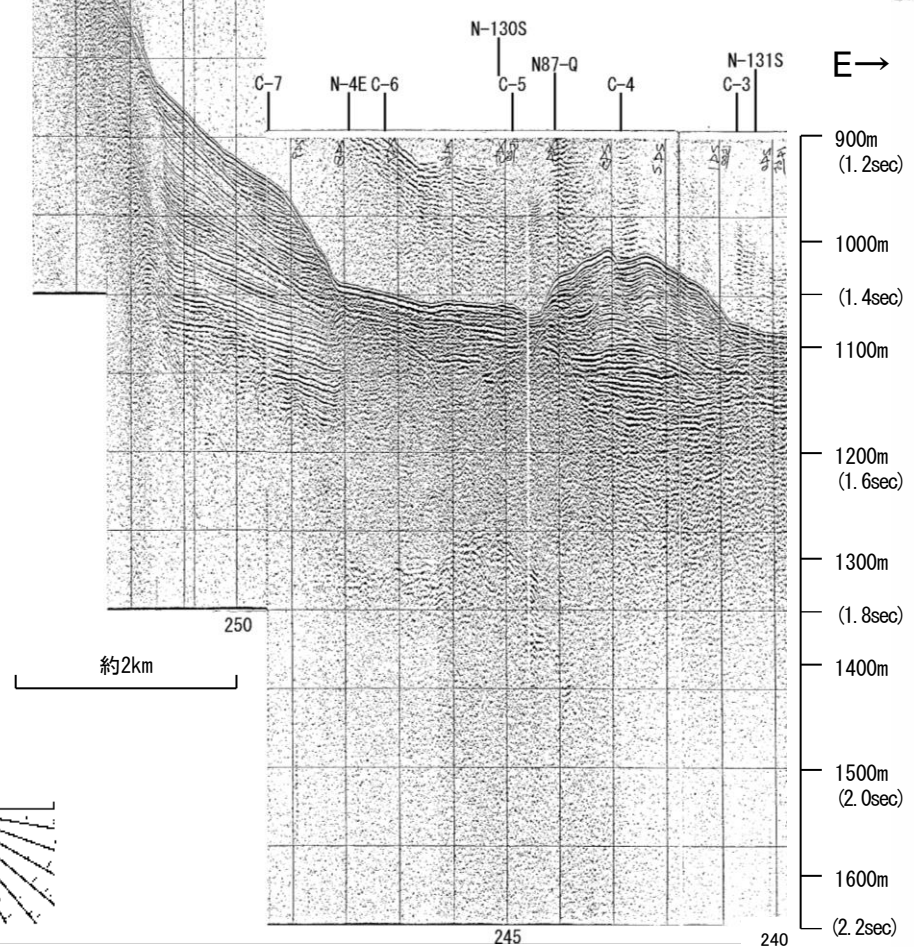
海上保安庁スパーカー L-1



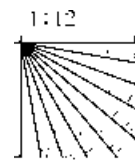
海上保安庁スパーカー L-0



・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	Q層
更新世	前期	C層
	中期	
第三紀	鮮新世	D層
	中新世	
古第三紀		
先第三紀		

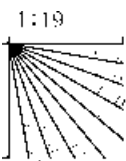


地質調査所エアガン N-4E

←SW NE→

←SW NE→

地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
前期		C層	
新第三紀	鮮新世		
	中新世		
古第三紀		D層	
先第三紀			



19:00

C-6 L-1 C-5 C-4 C-3 C-2 C-1C-0
L-0 L-2 L-3 L-4 L-5 L-6 L-7E
N-129S N-130S N-131S N-132S
断面線 I

(1.0sec)

1000m

(1.5sec)

1500m

(2.0sec)

(2.5sec)

2000m

(3.0sec)

19:30

約5km

20:00

富山湾西側海域断層

T

C-6 L-1 C-5 C-4 C-3 C-2 C-1C-0
L-0 L-2 L-3 L-4 L-5 L-6 L-7E
N-129S N-130S N-131S N-132S
断面線 I

(1.0sec)

1000m

(1.5sec)

1500m

(2.0sec)

(2.5sec)

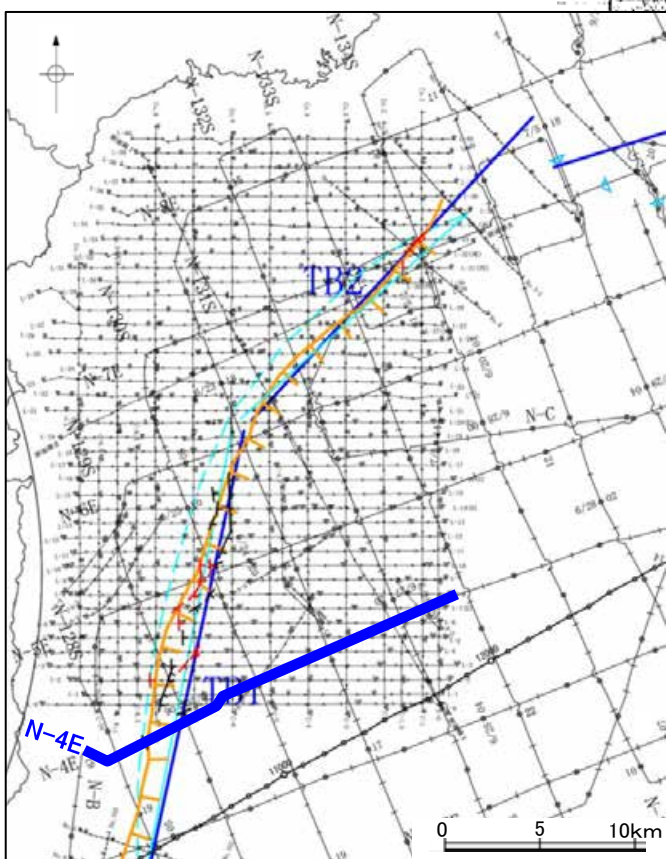
2000m

(3.0sec)

19:30

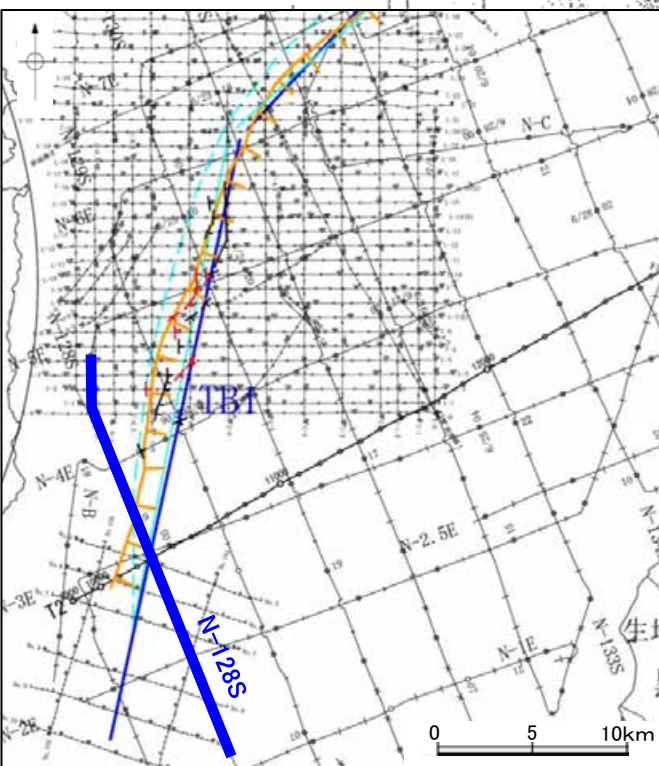
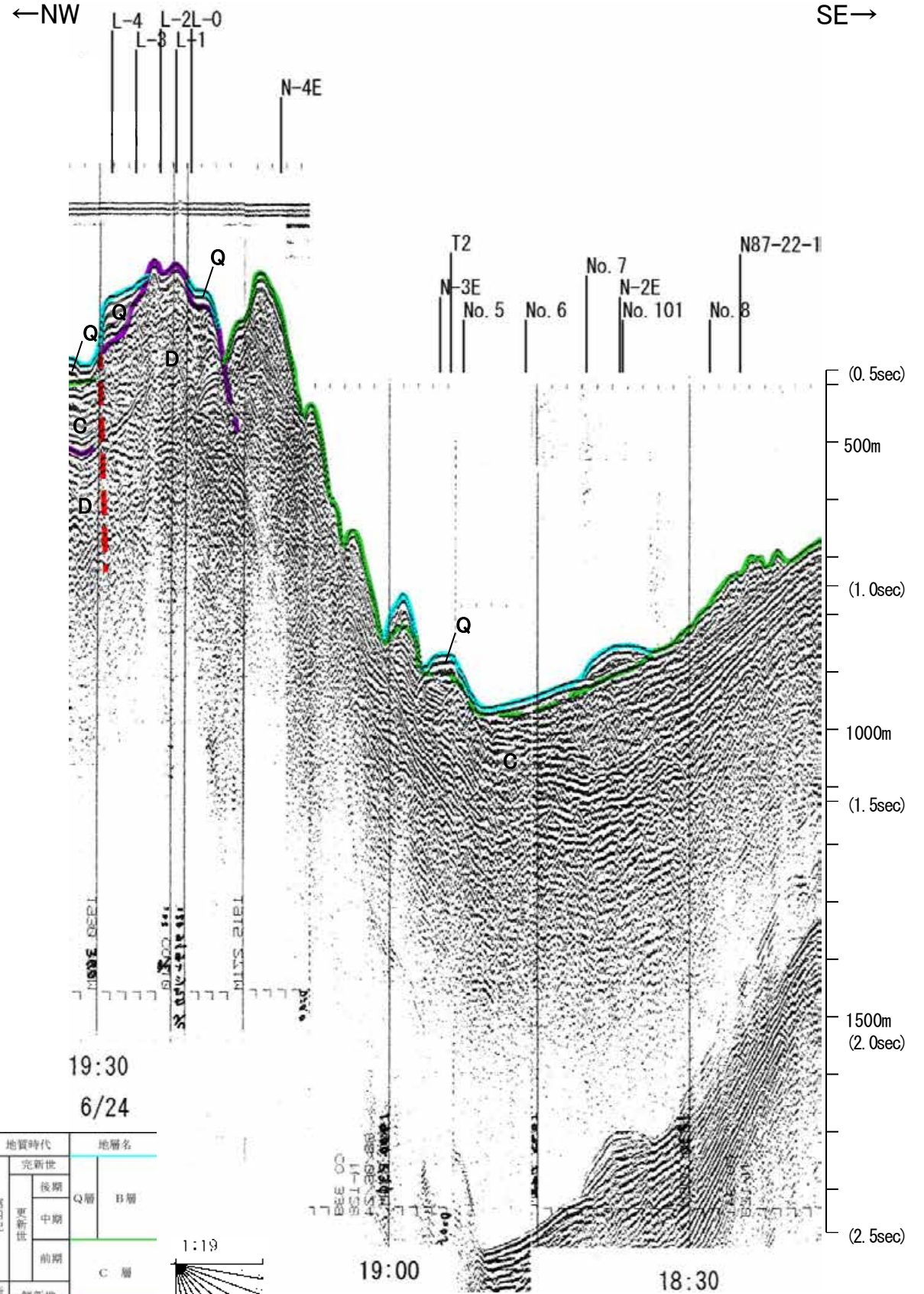
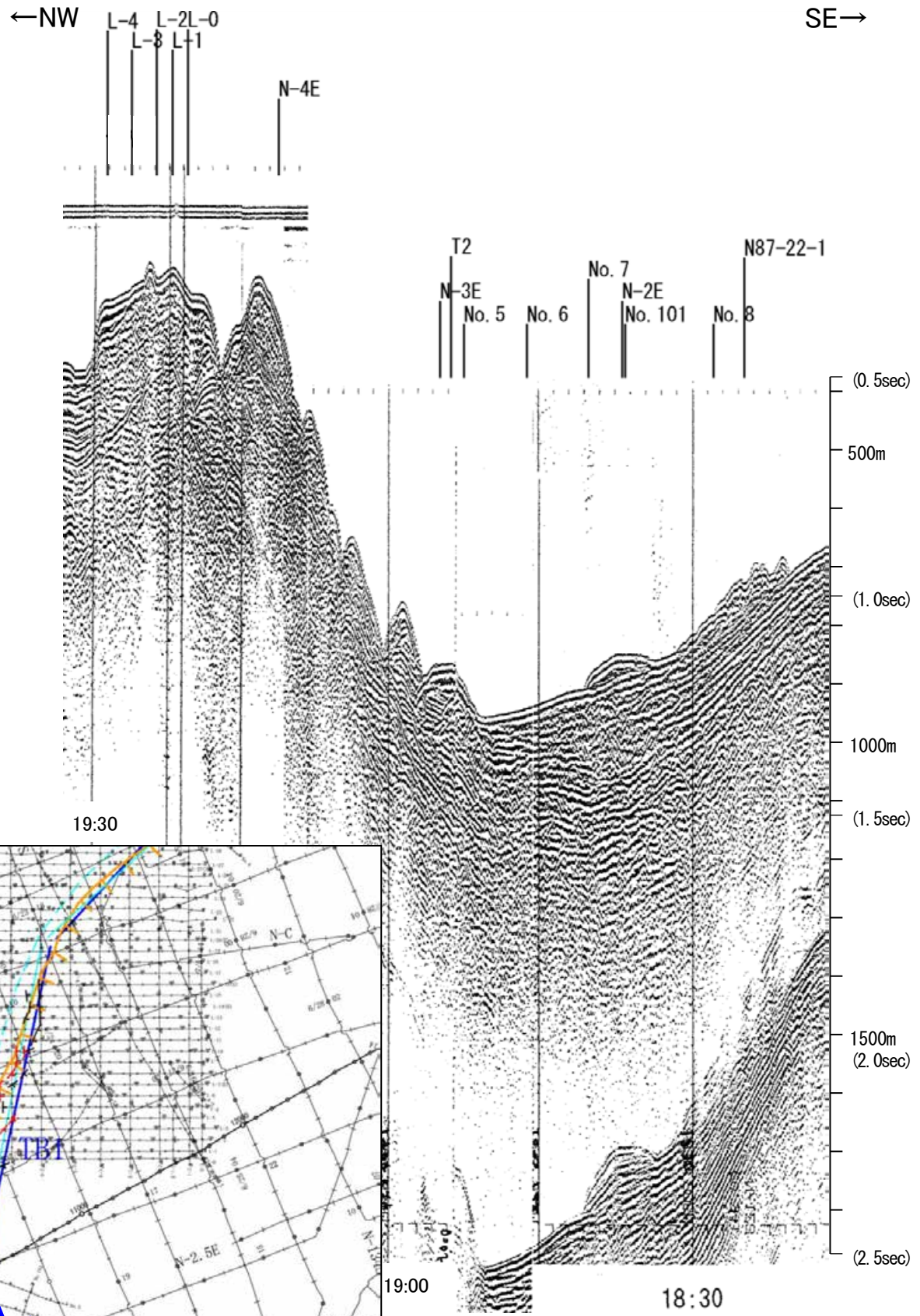
約5km

20:00

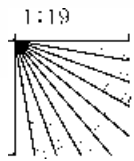


・この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-128S

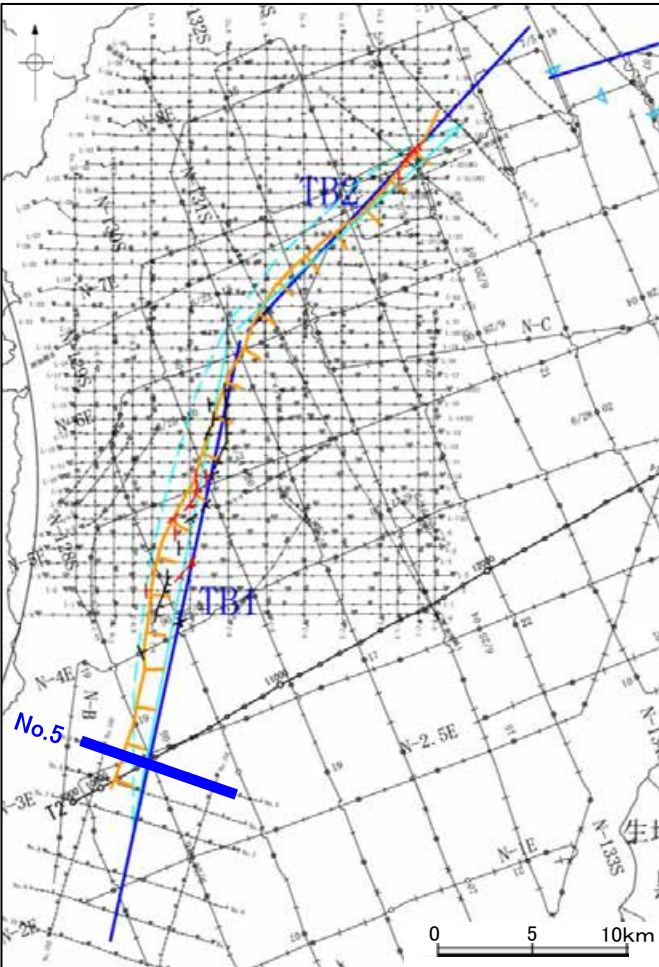
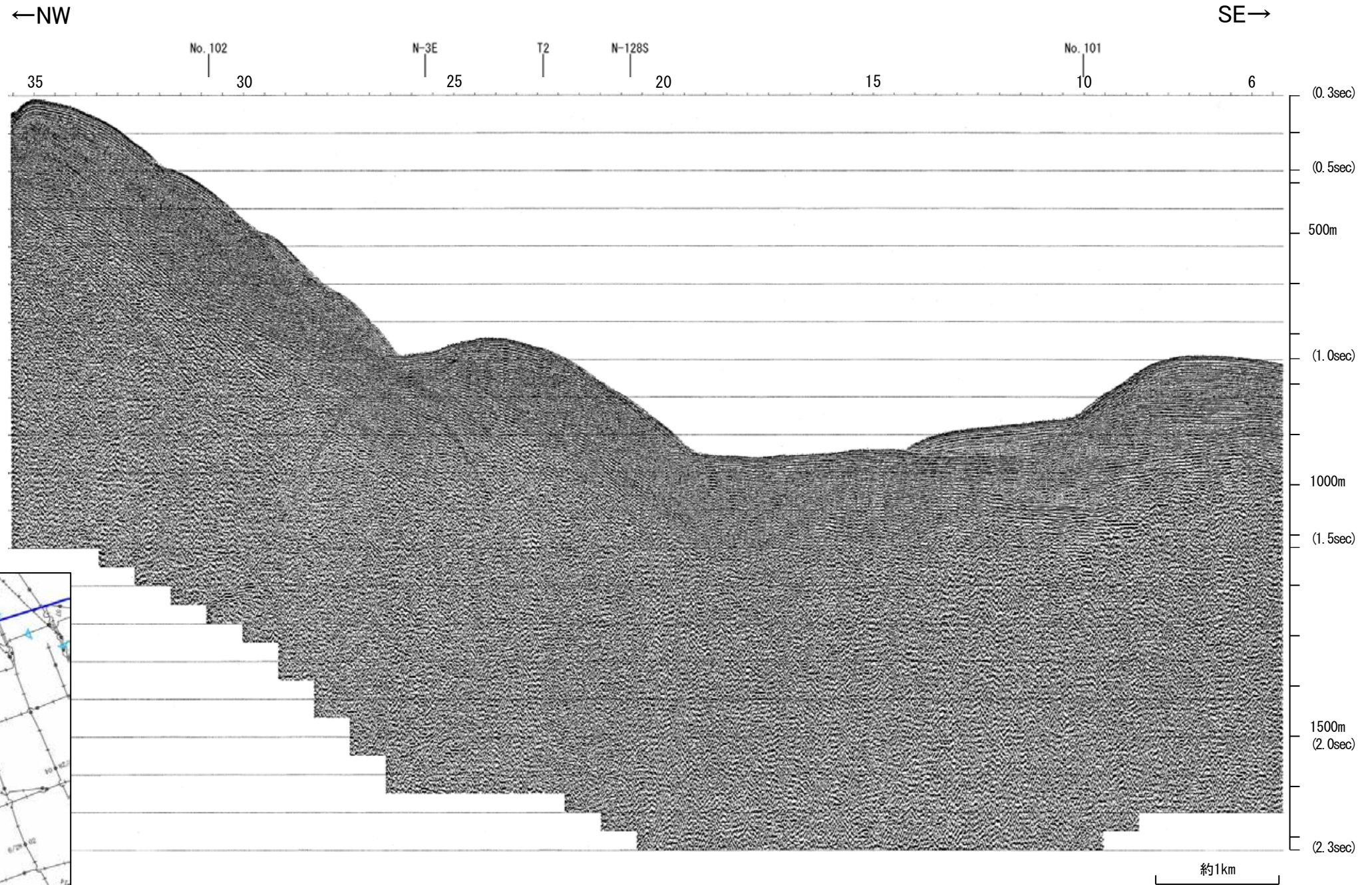


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	更新世	中期	
	前期	C層	
第三紀	鮮新世		
	中新世		
古第三紀		D層	
先第三紀			



この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

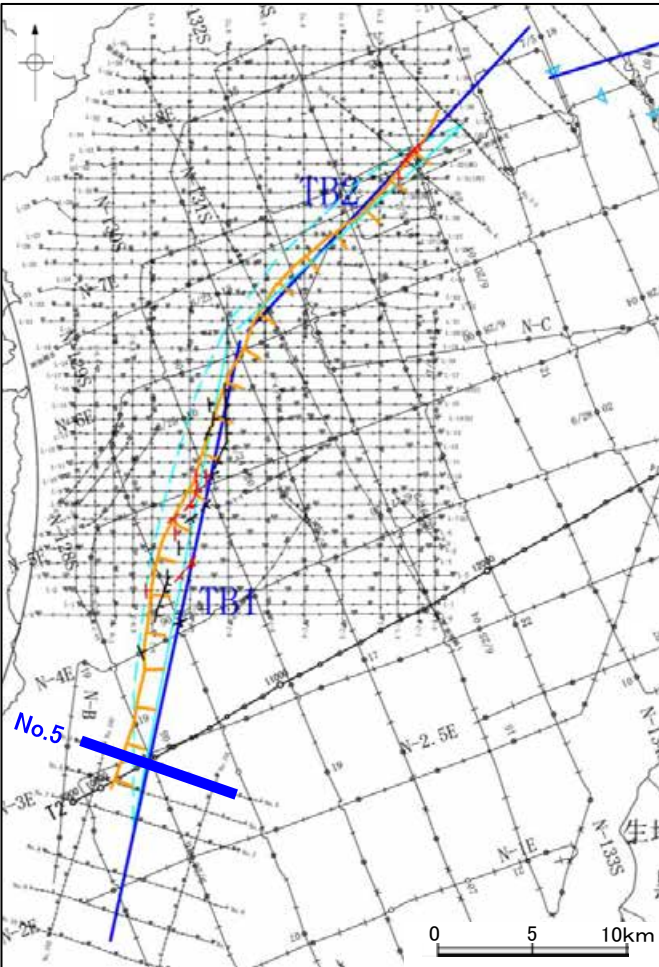
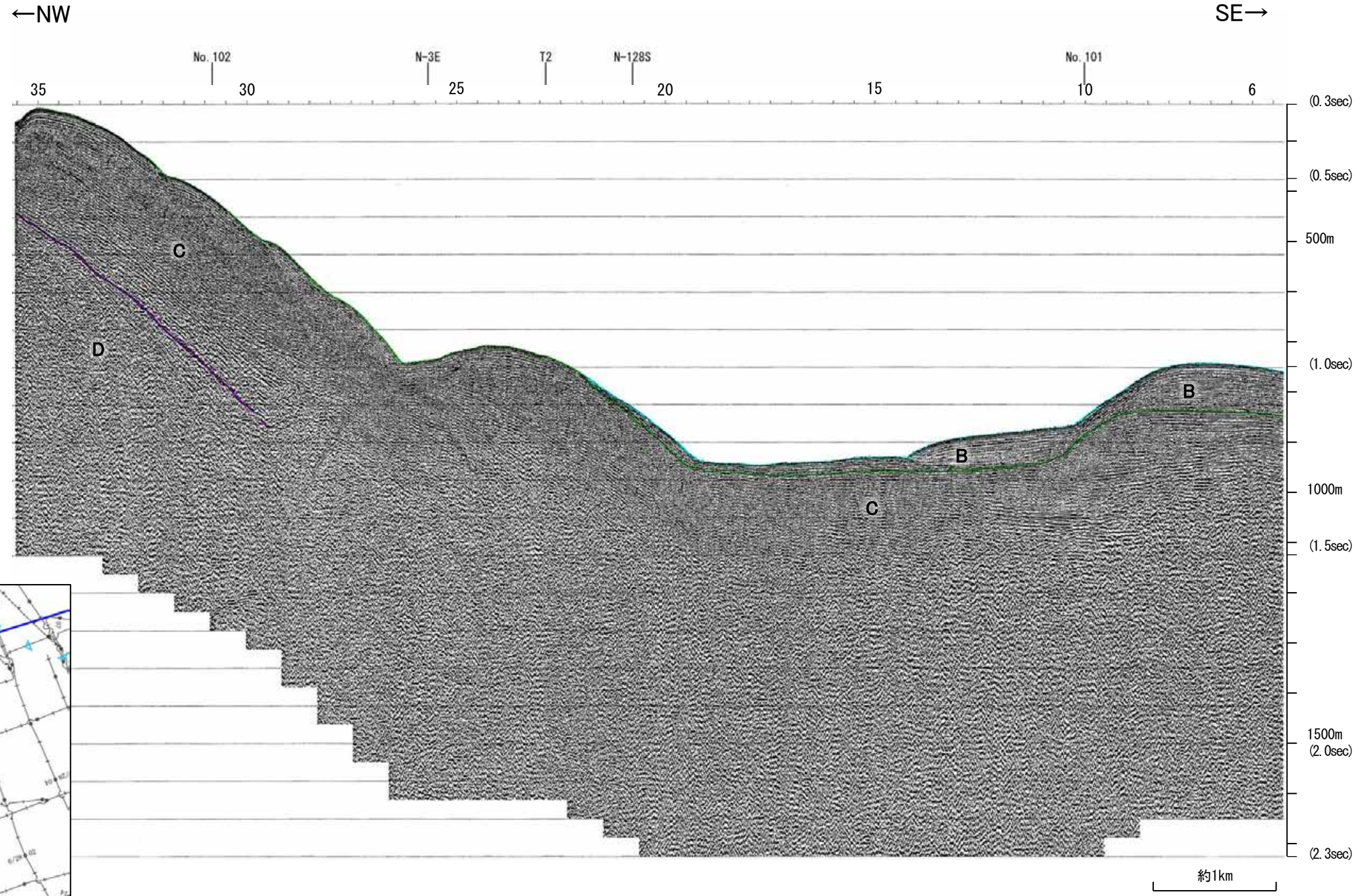
北陸電カスパーカー No.5



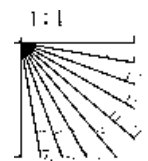
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	B層	
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期	C層	
	前期		
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			

1:1

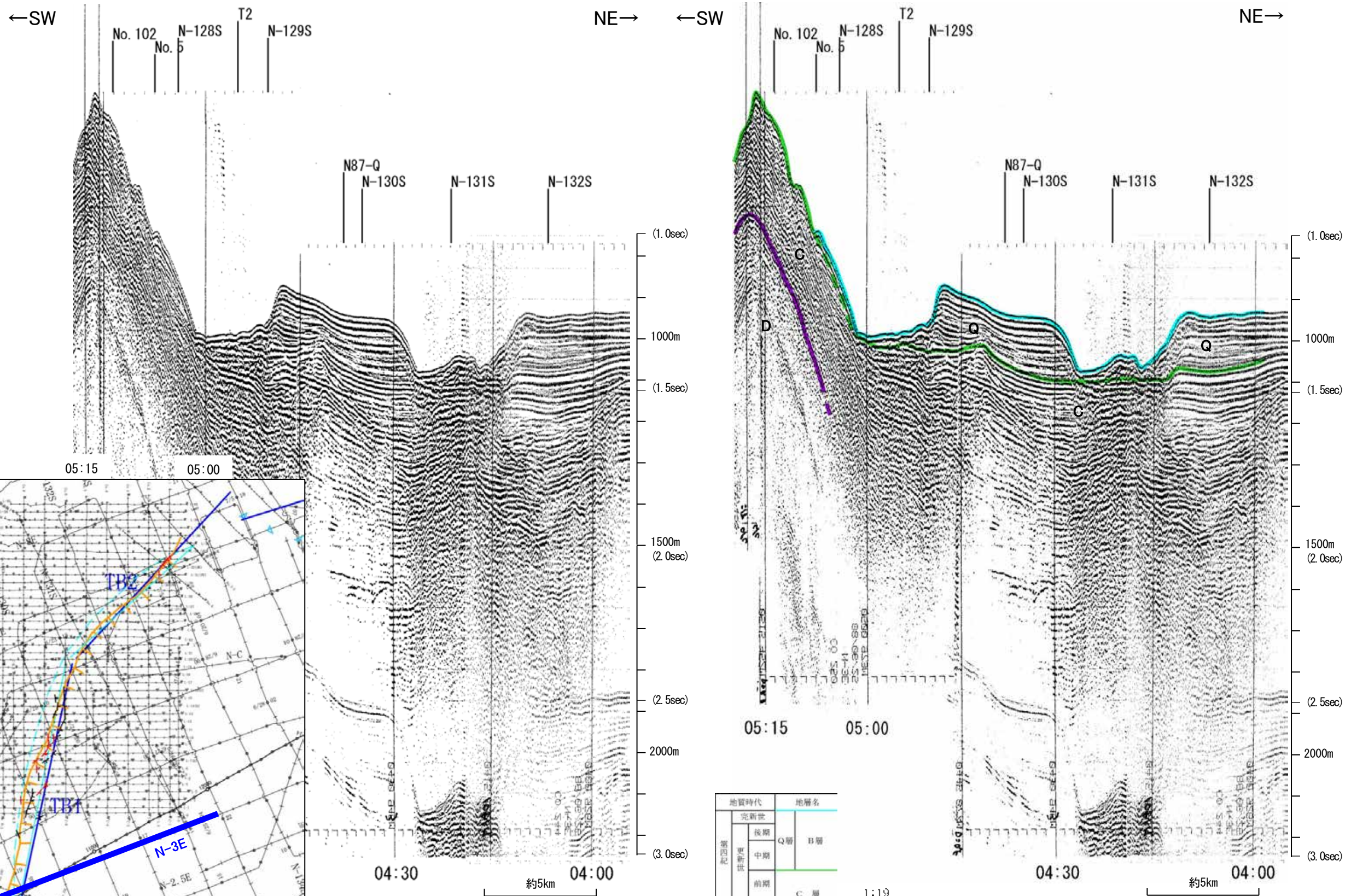
北陸電カスパーカー No.5



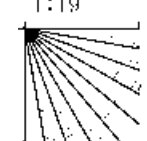
地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期		C層
第三紀	新第三紀		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			



地質調査所エアガン N-3E

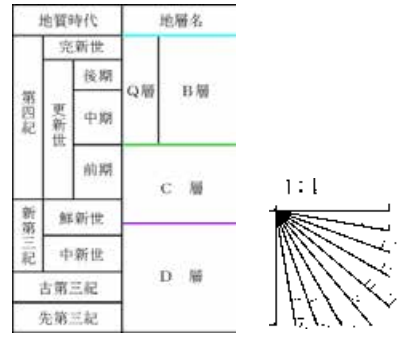
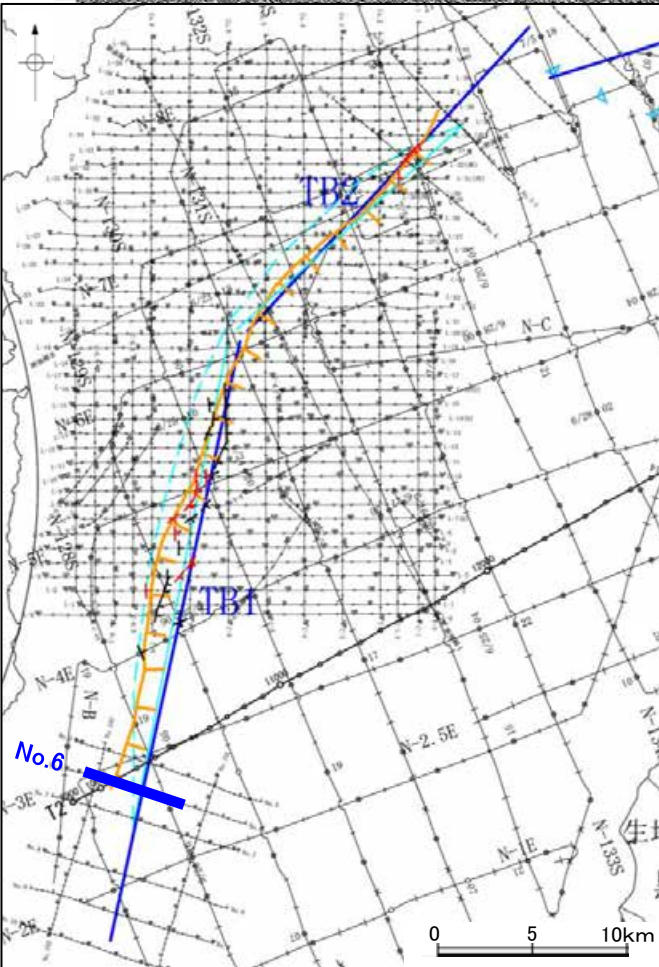
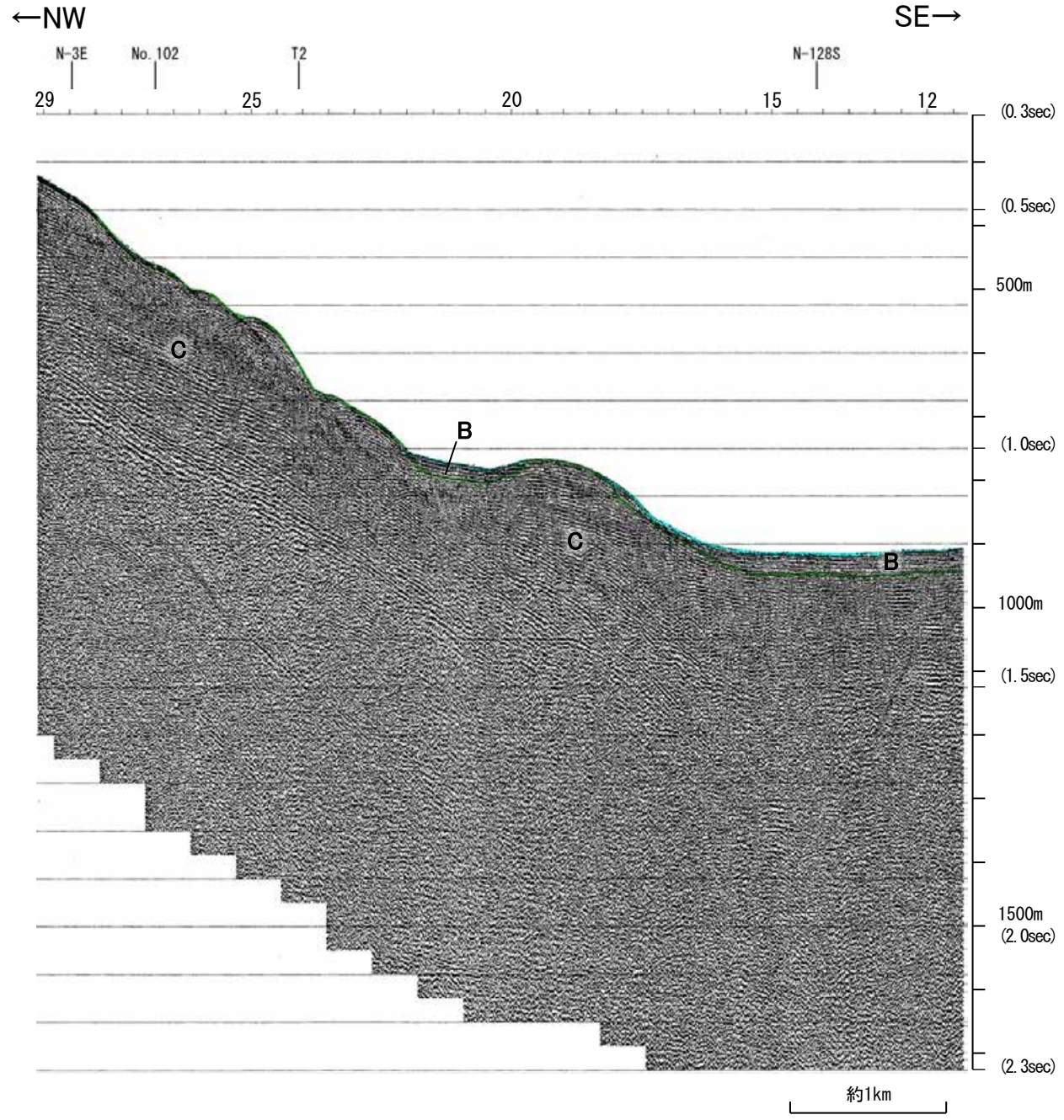
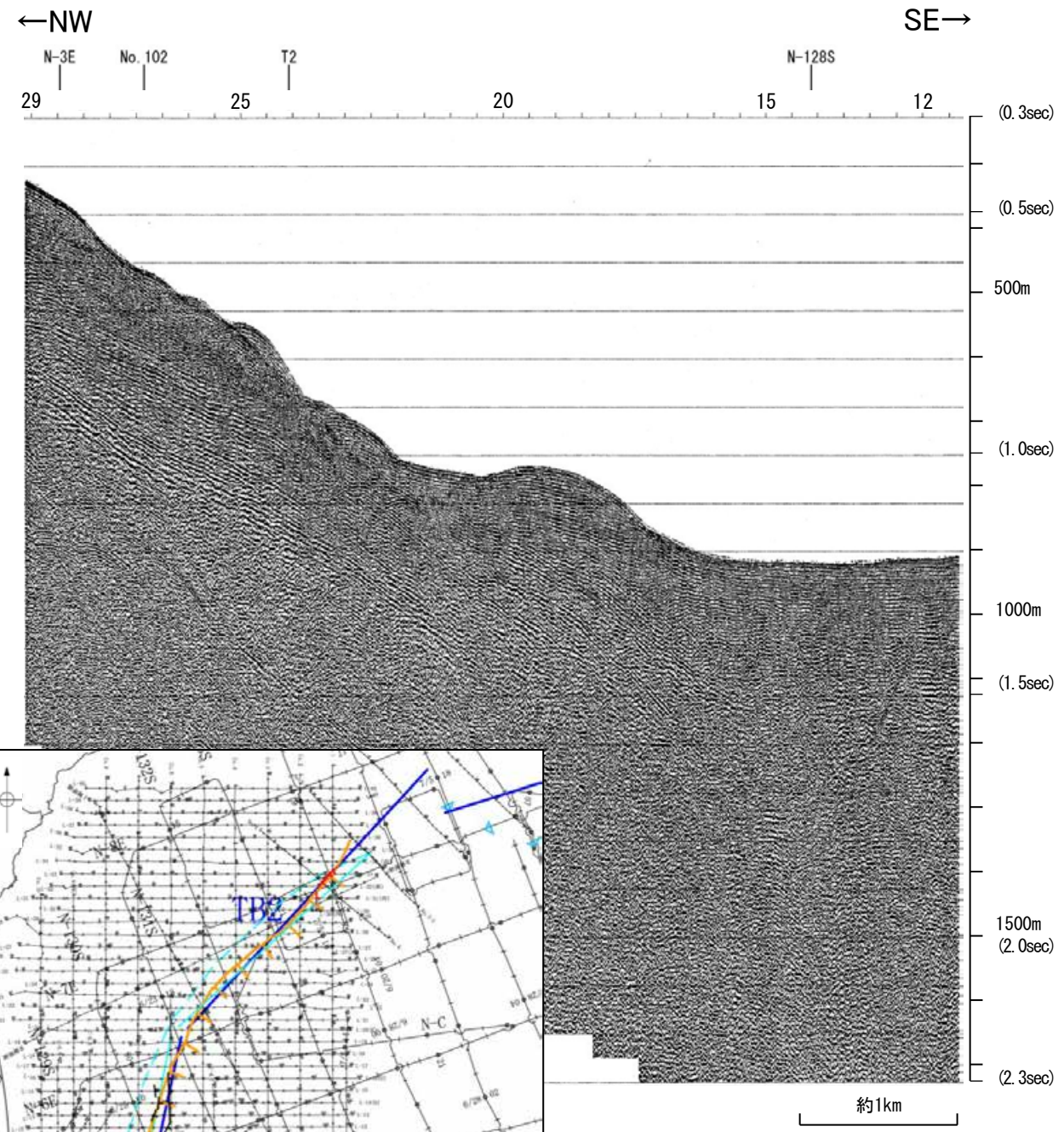


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	H層
	前期	C層	
第三紀	新第三紀		D層
	古第三紀		
先第三紀			

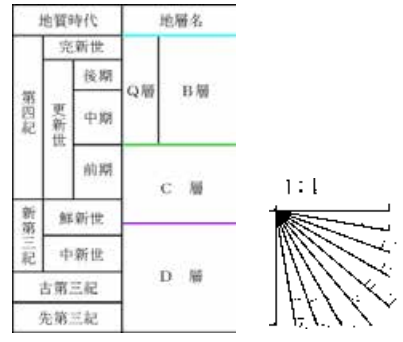
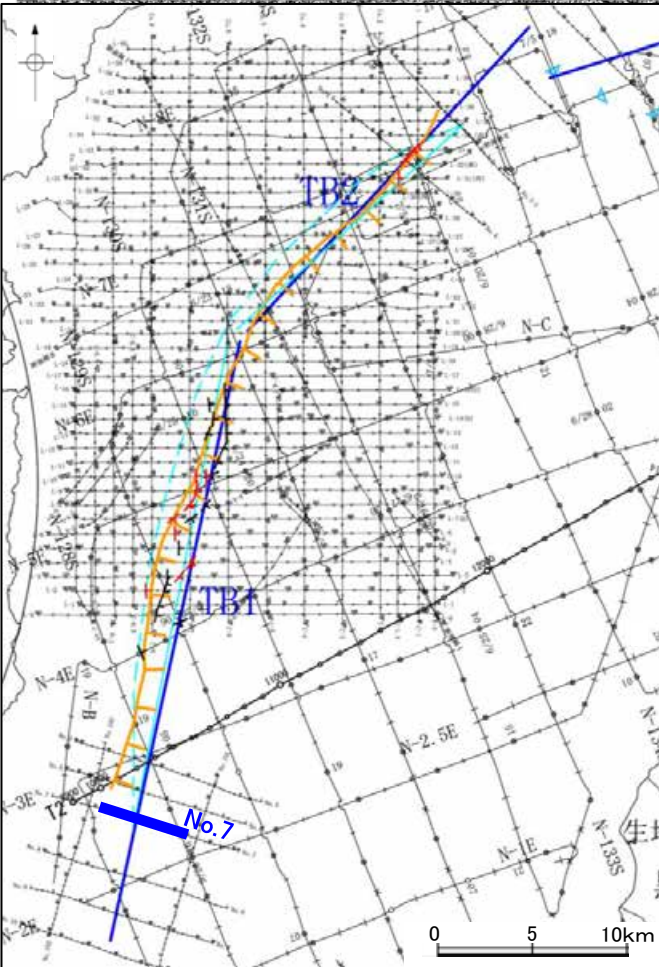
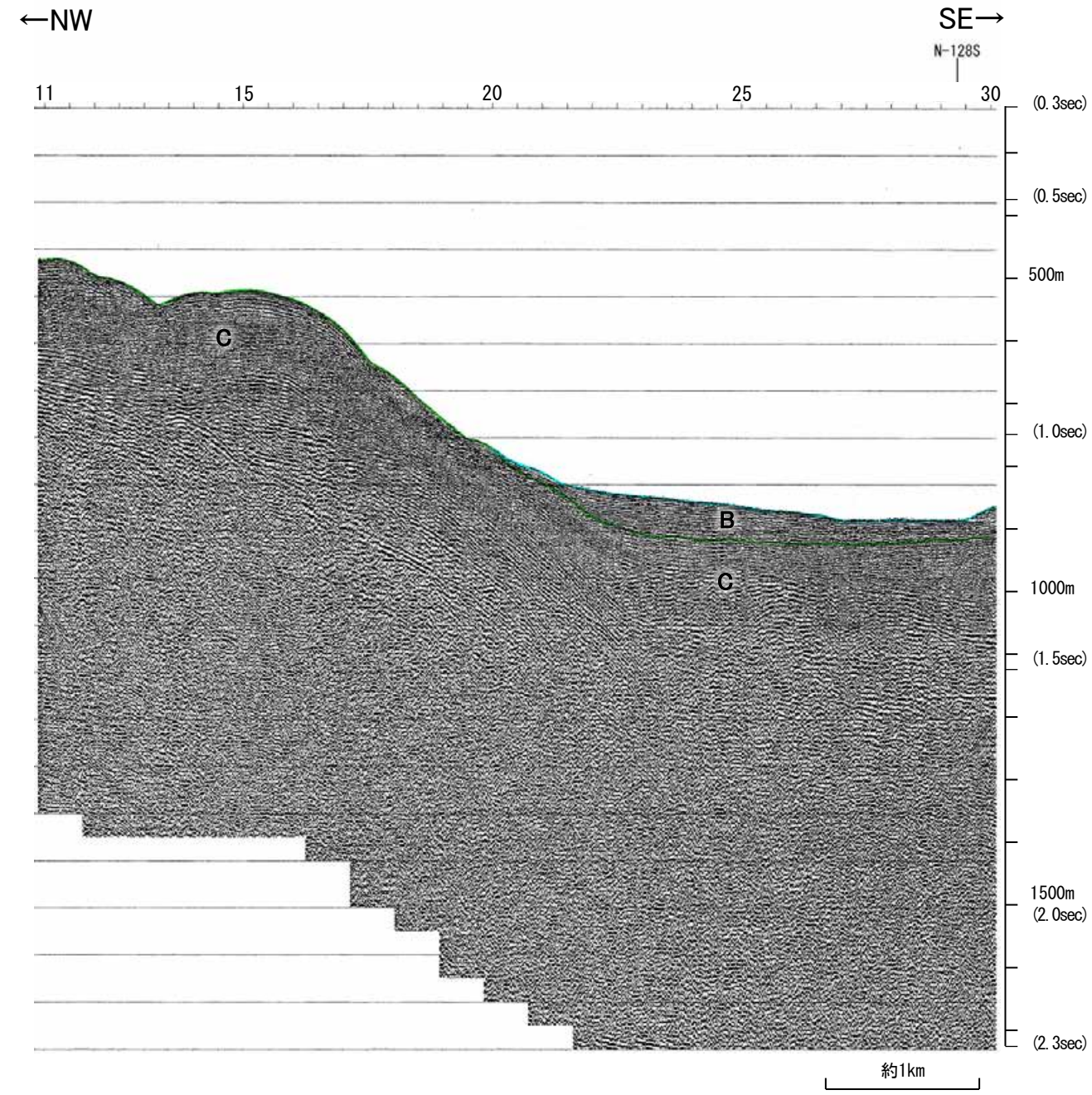
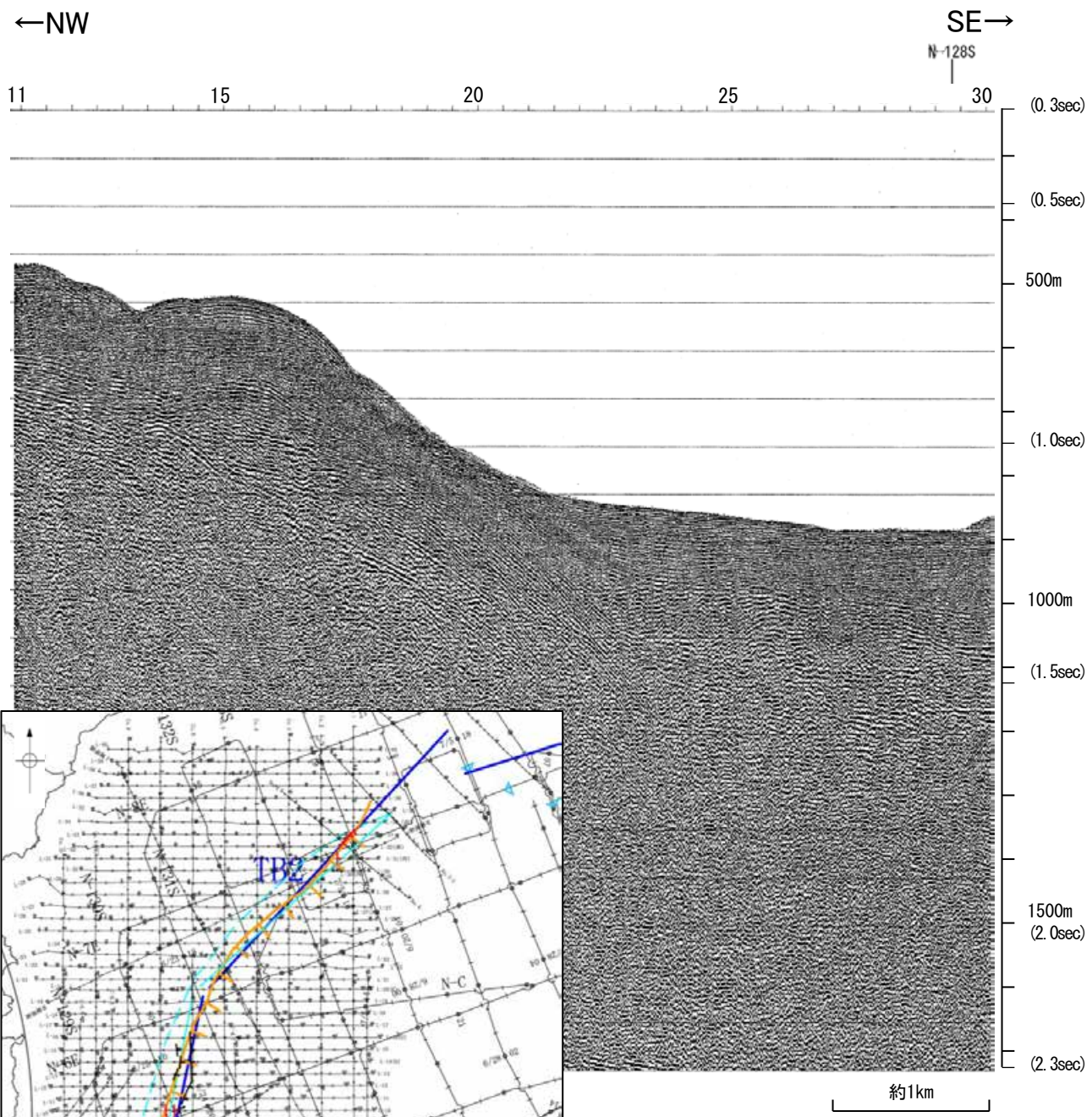


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

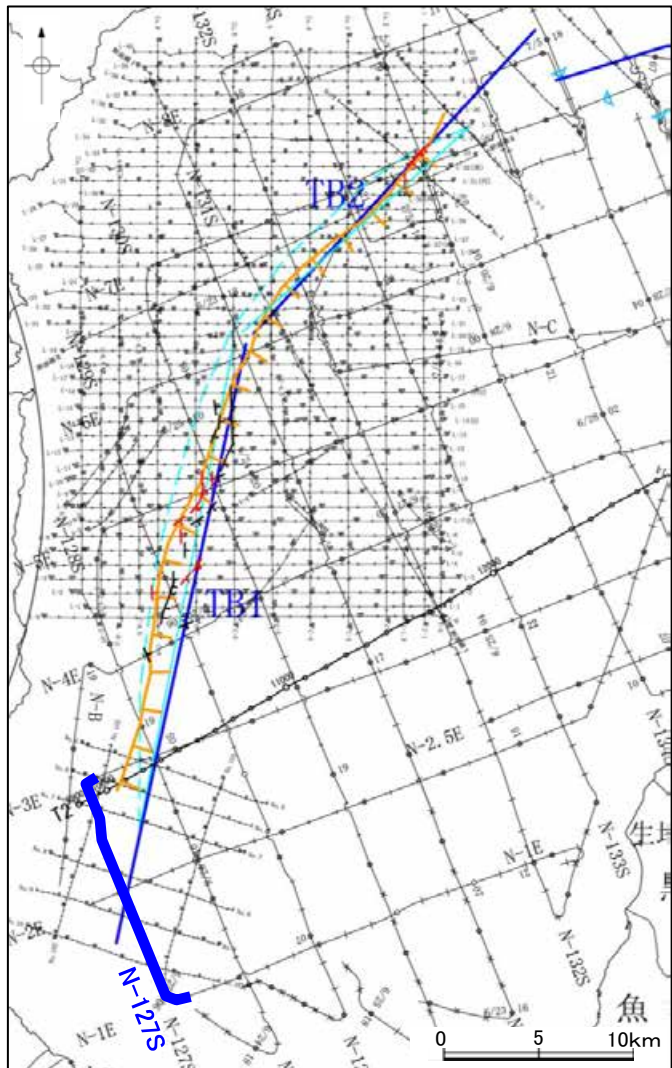
北陸電カスパーカー No.6



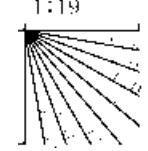
北陸電カスパーカー No.7



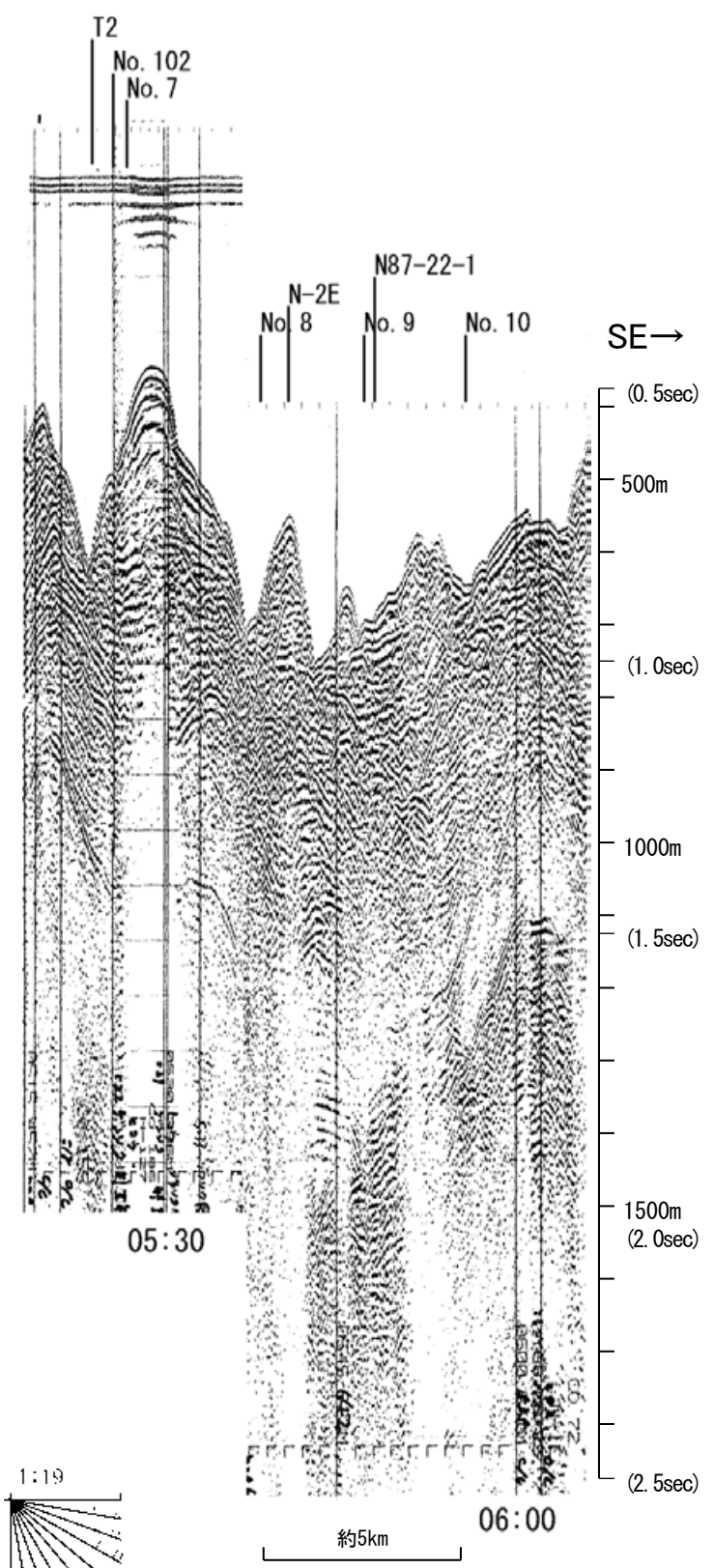
地質調査所エアガン N-127S



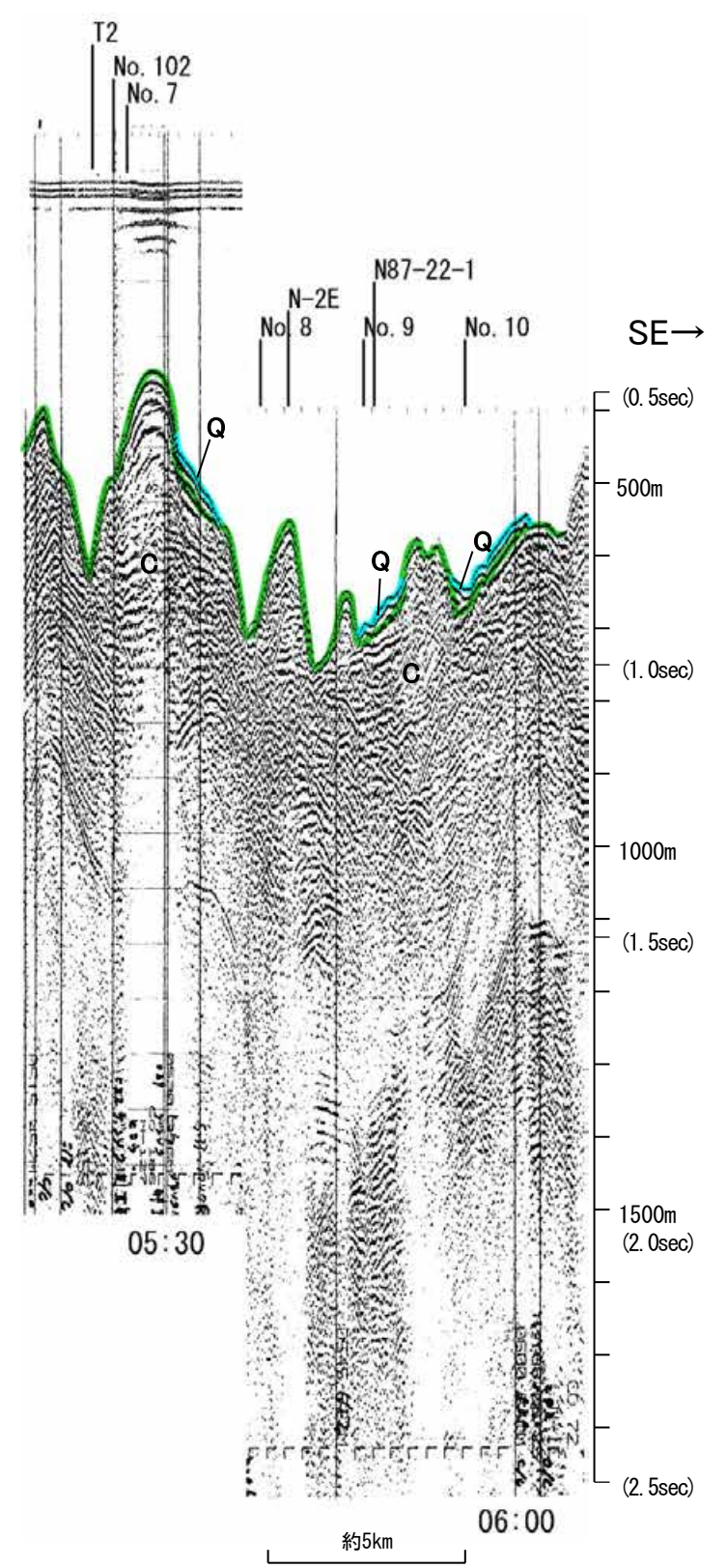
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	Q層 砂層
	後期	
	更新世	中期
	前期	C層
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	
古第三紀		
先第三紀		



←NW

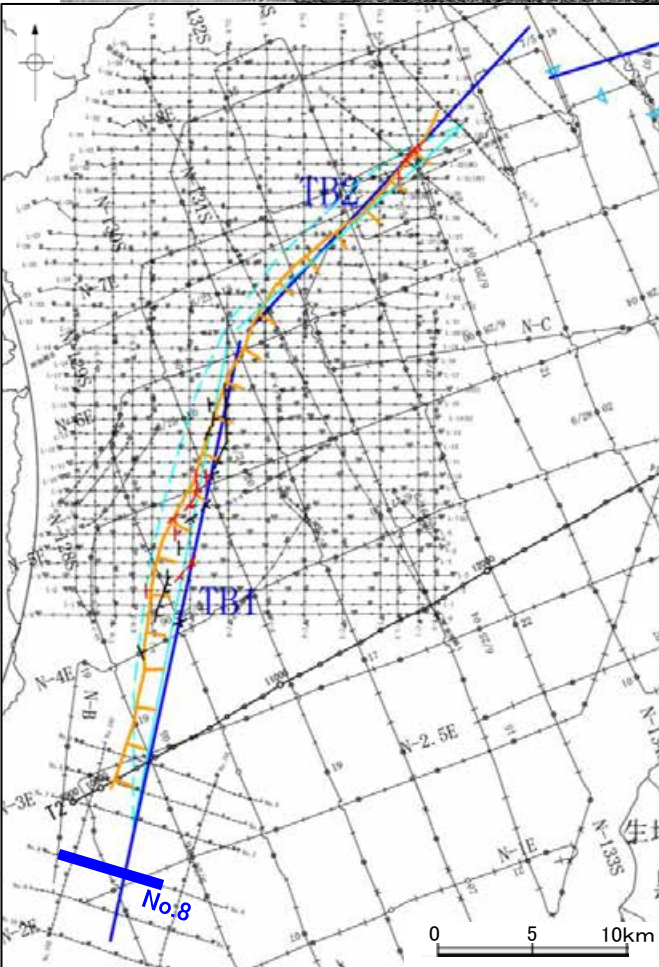
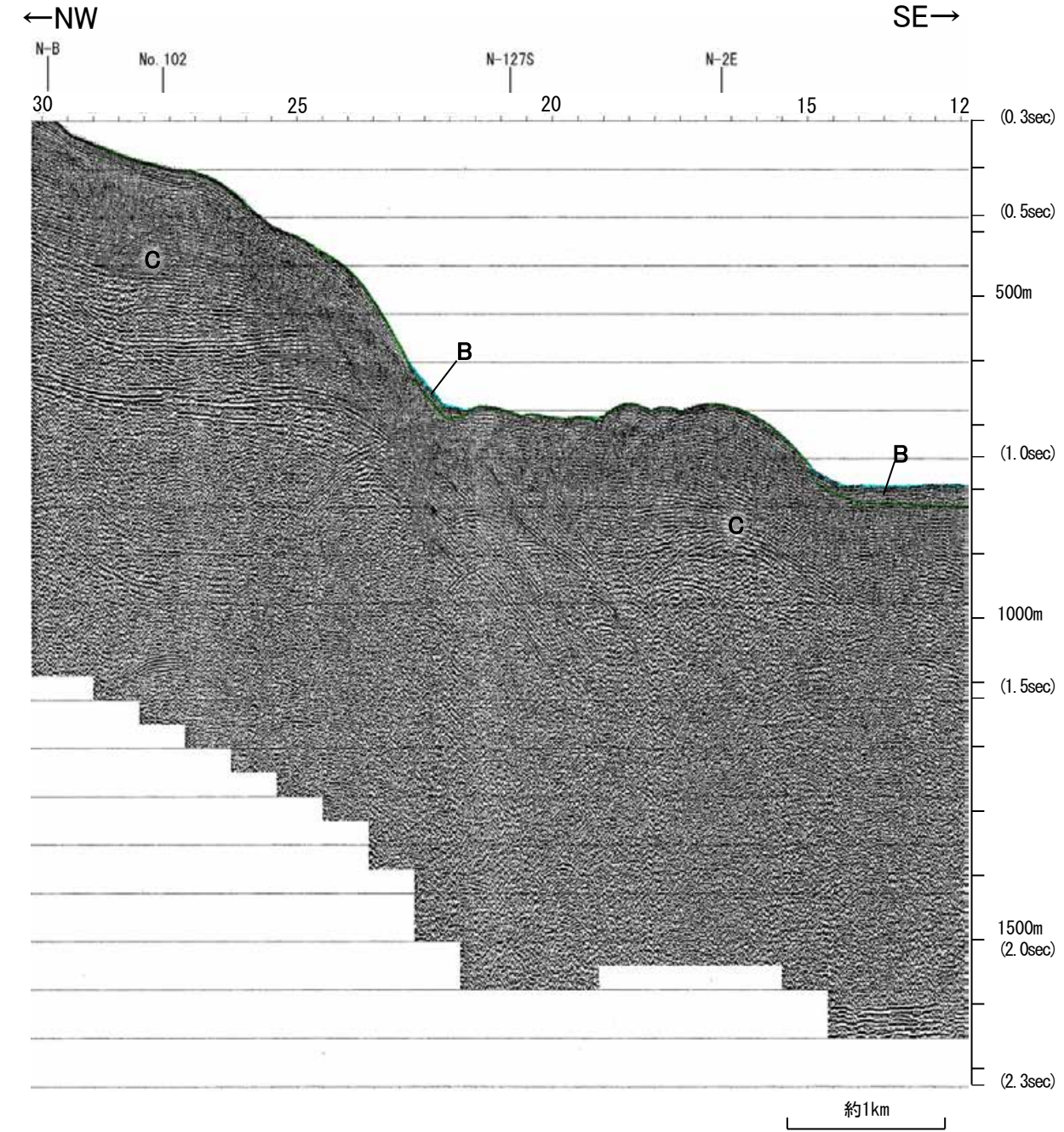
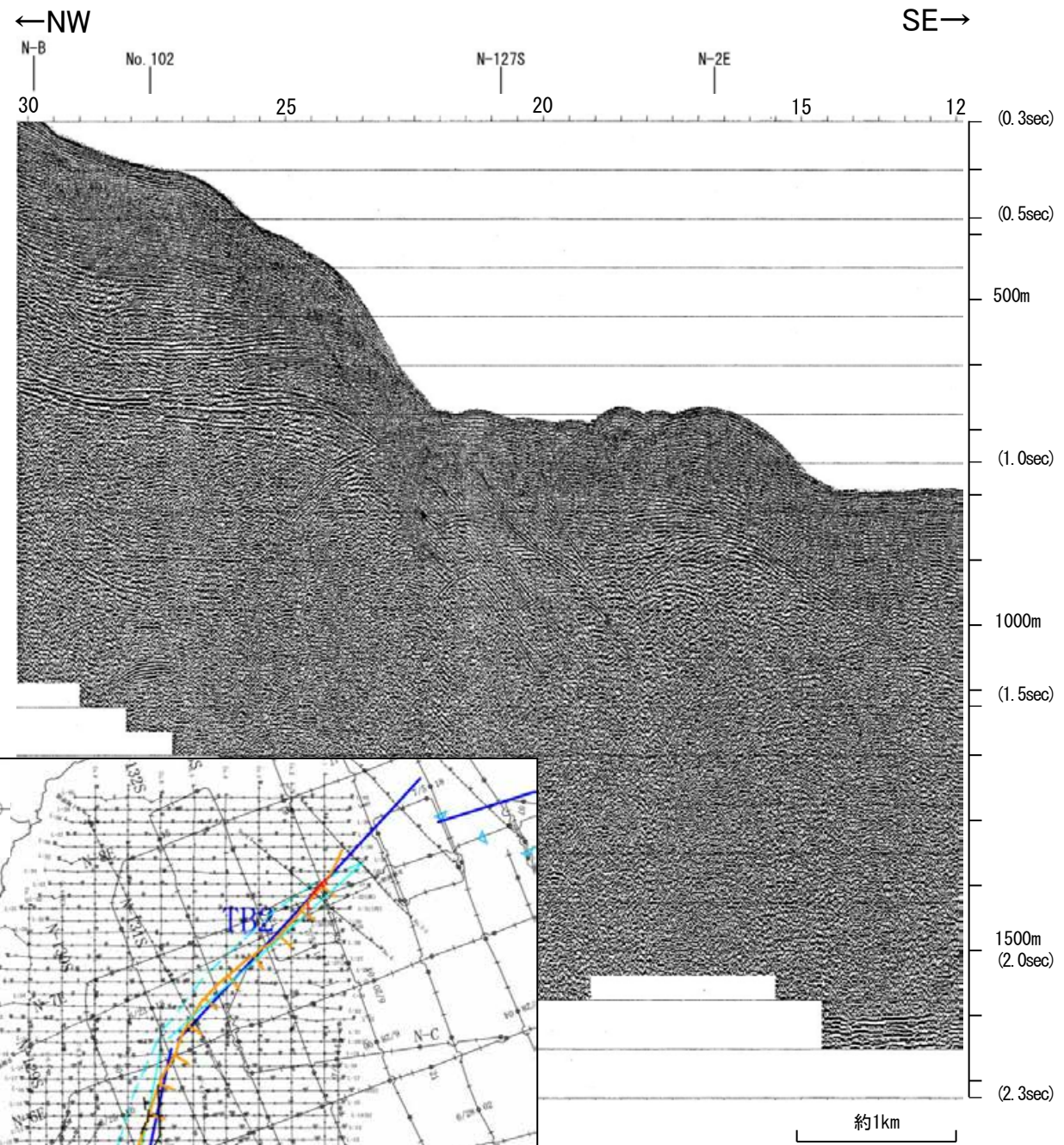


←NW



・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

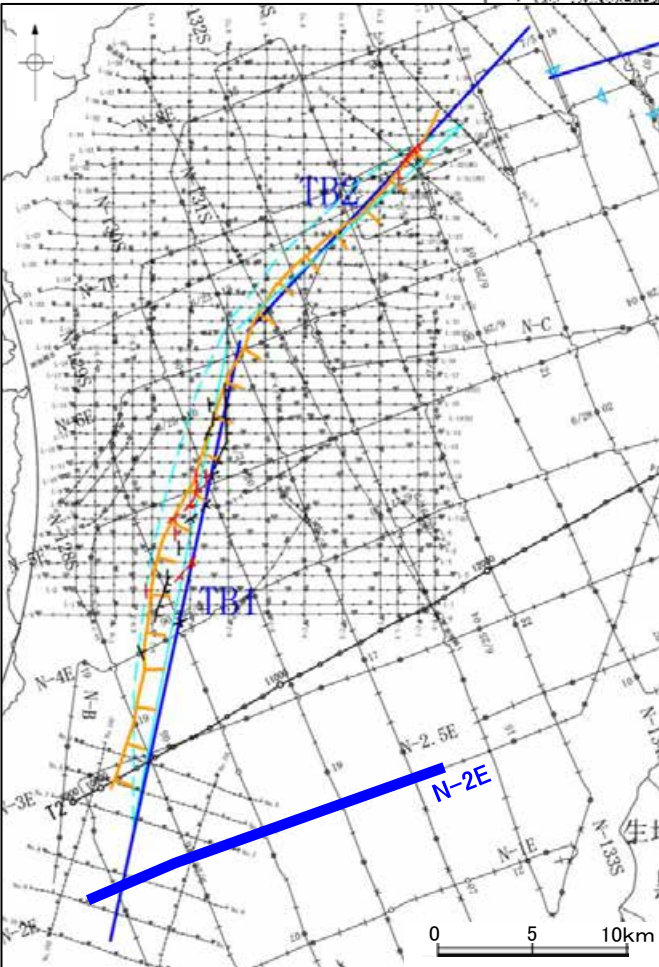
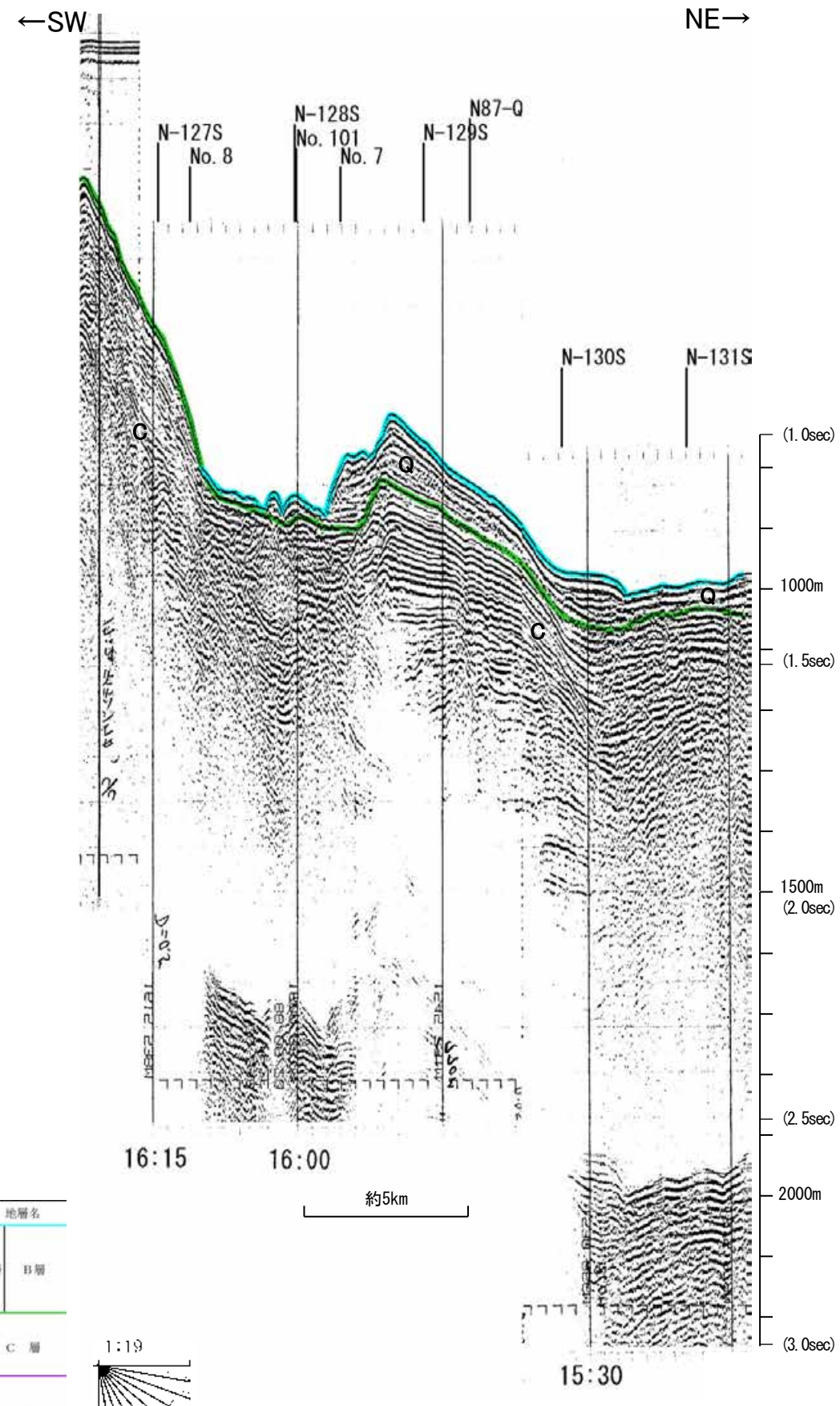
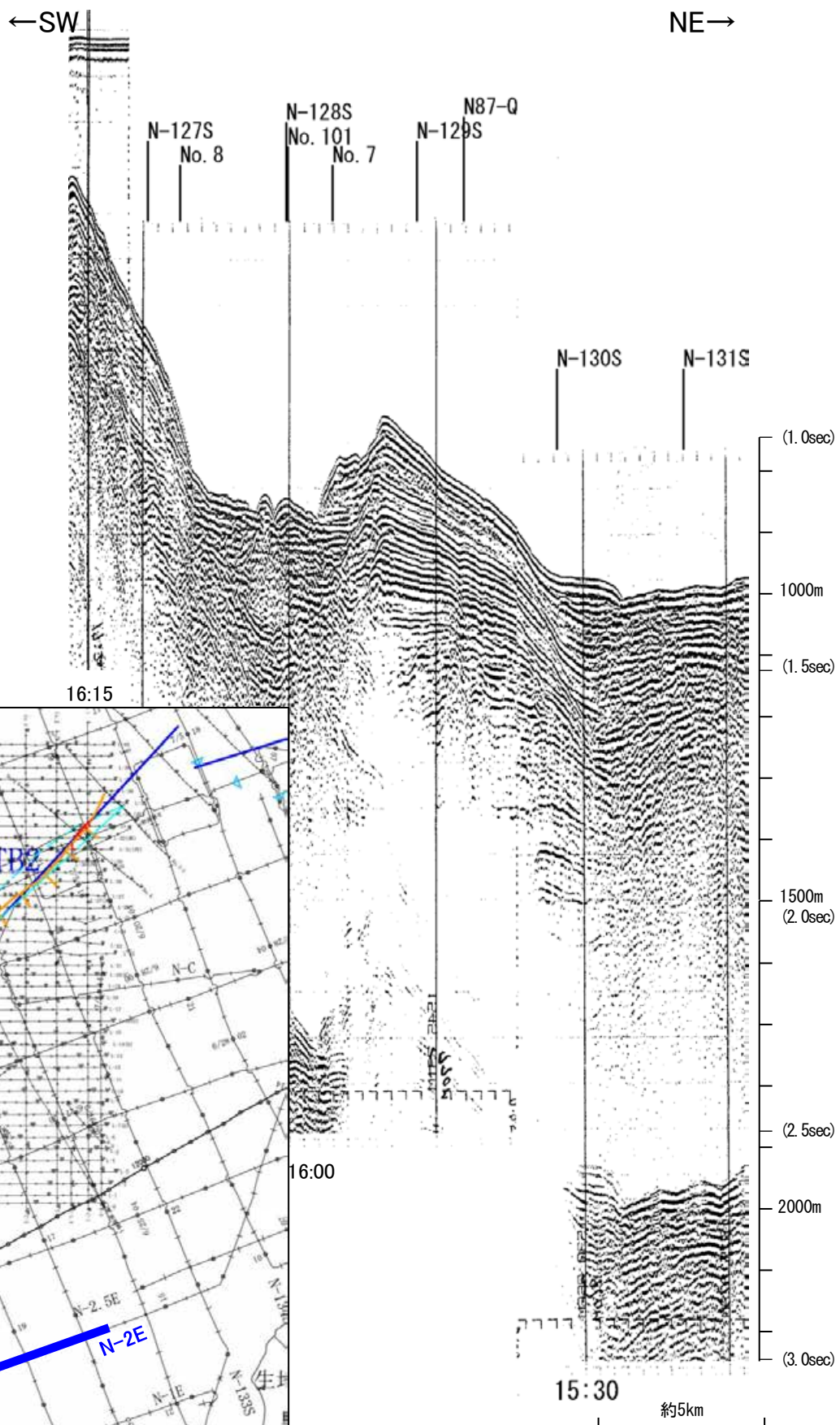
北陸電カスパーカー No.8



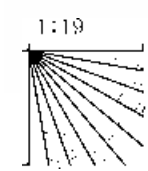
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	B層	
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期	C層	
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			

1:1

地質調査所エアガン N-2E

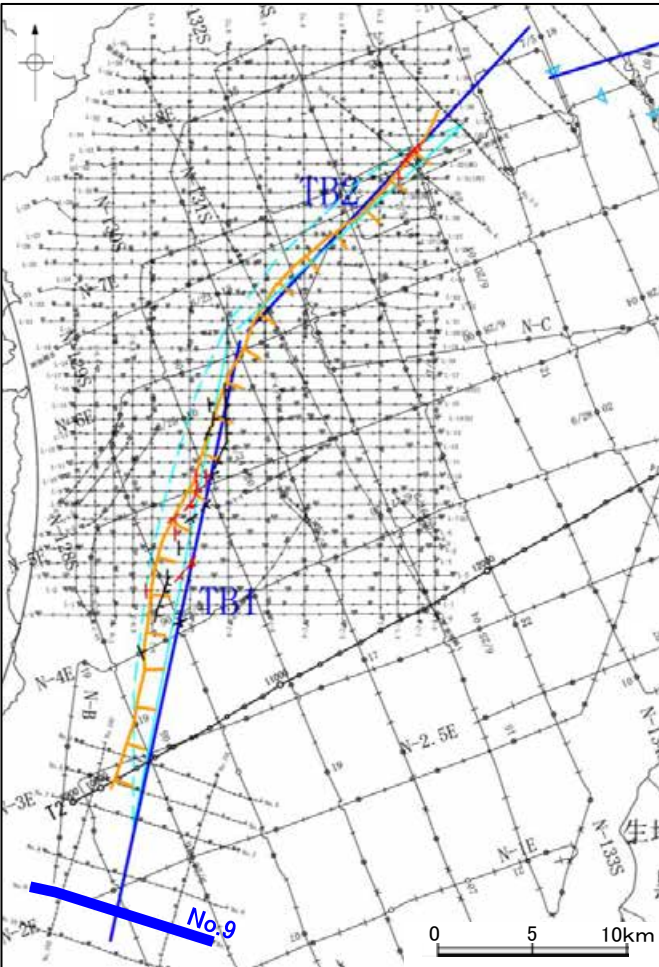
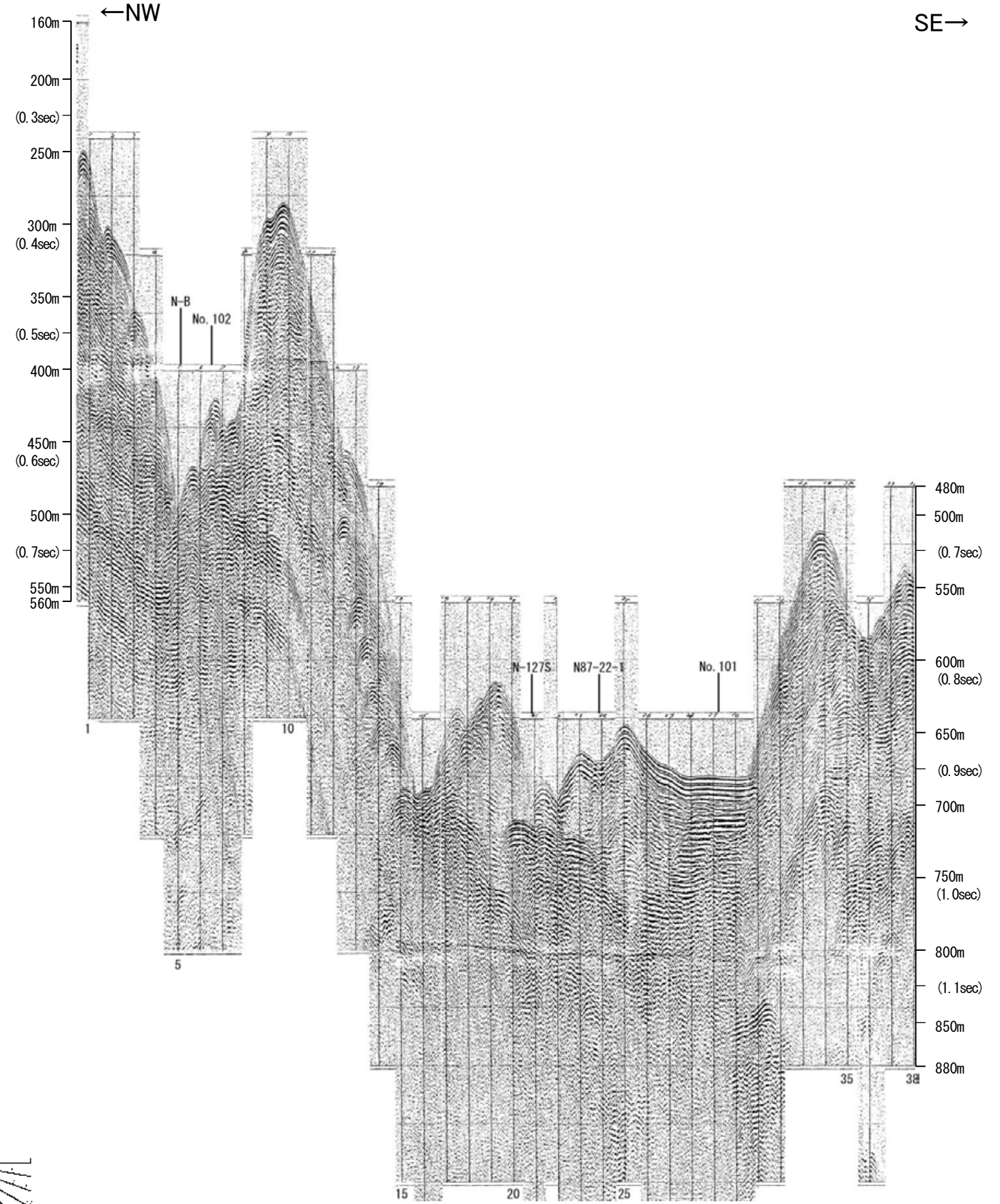


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期	C層	
第三紀	鮮新世		
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			
			D層

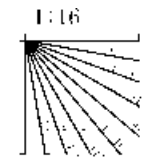


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

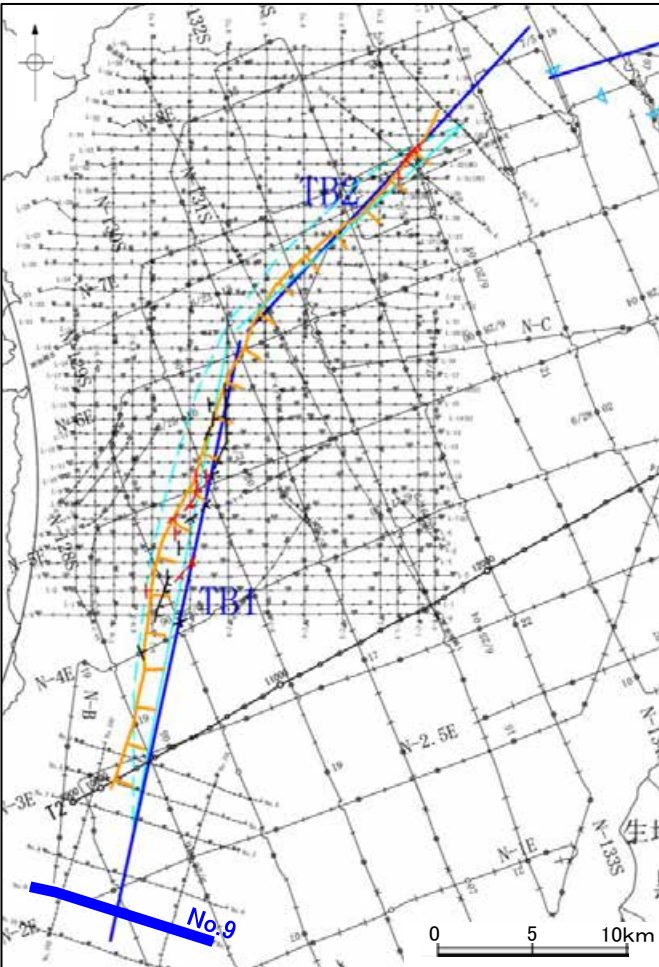
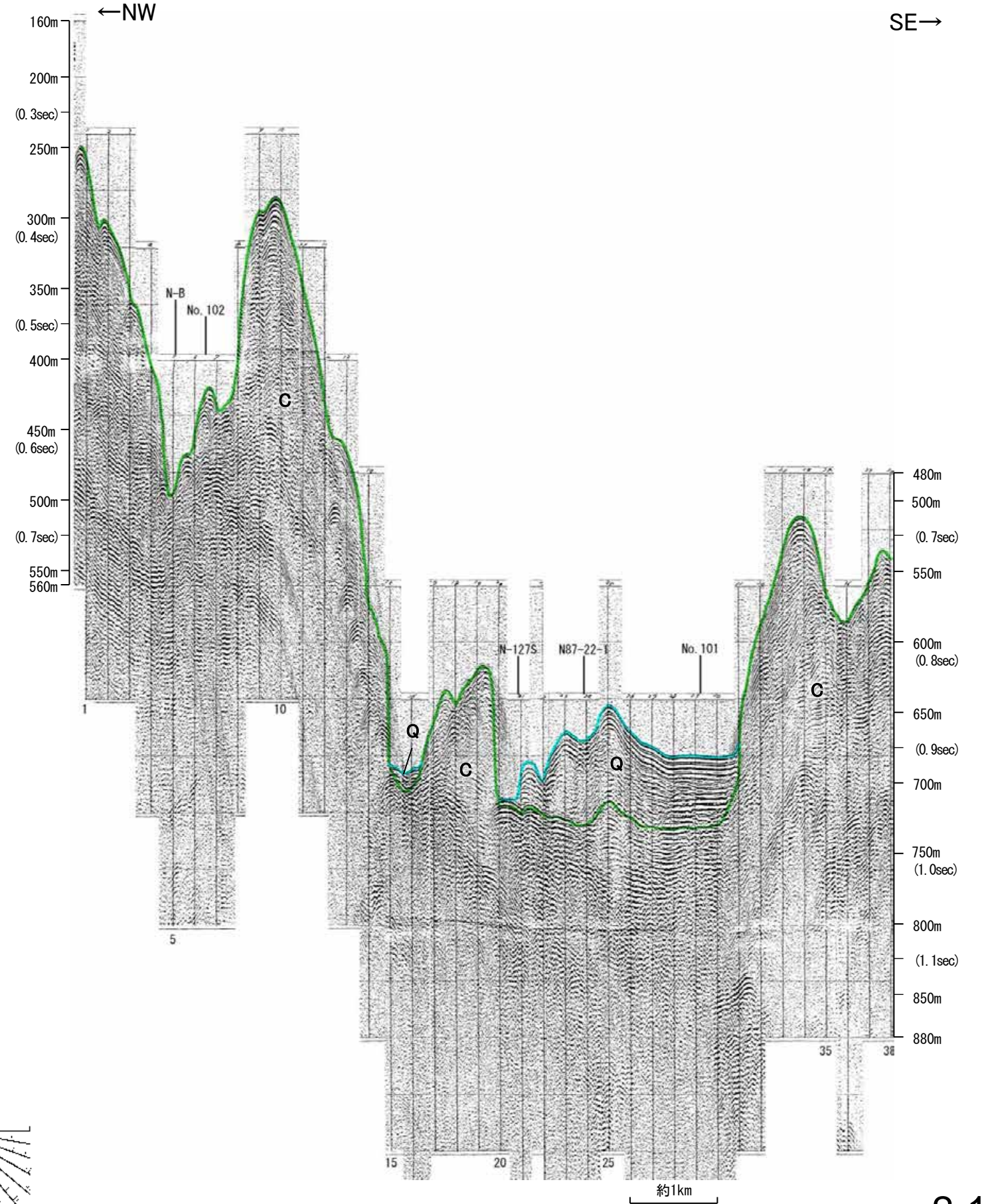
北陸電カスパーカー No.9



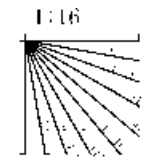
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	B層	
	後期	Q層	B層
	中期	C層	
新第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



北陸電カスパーカー No.9

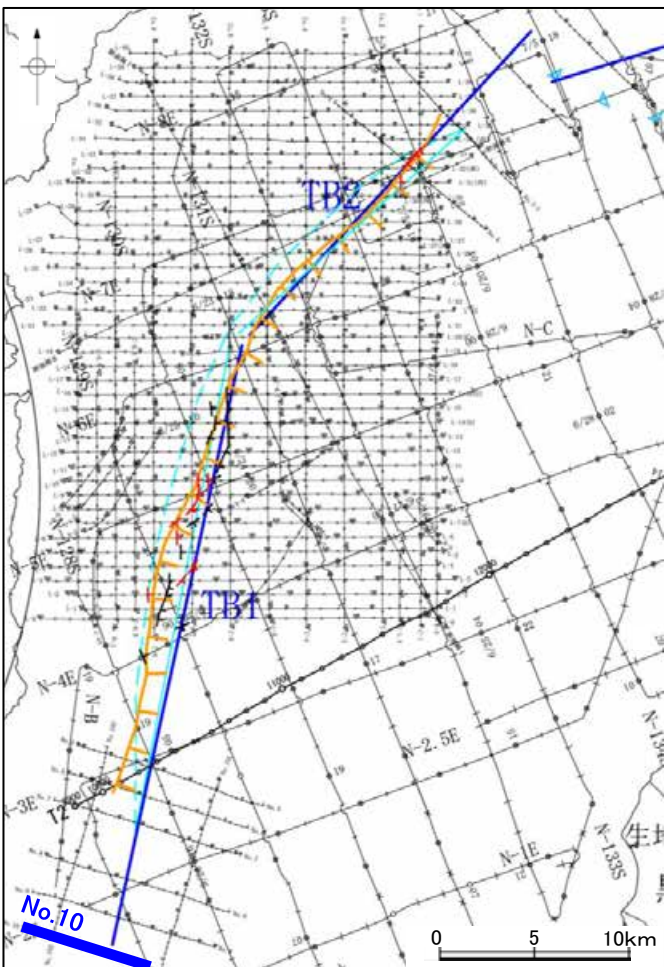
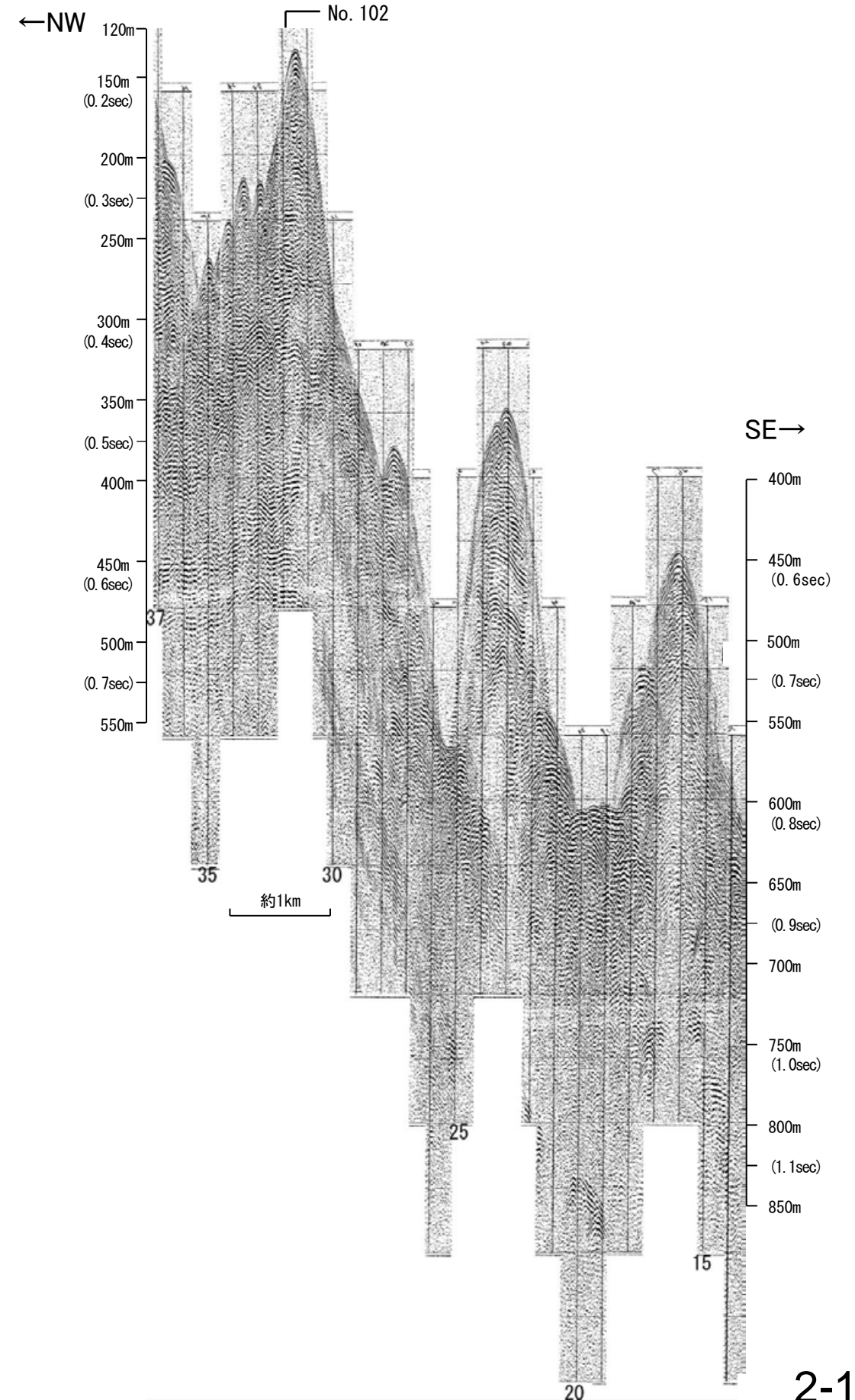


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	B層	
	後期	Q層	B層
	中期	C層	
更新世	前期	C層	
	前期	C層	
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世	D層	
古第三紀	D層		
先第三紀	D層		

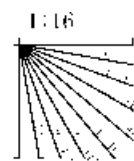


北陸電カスパーカー No.10

第1144回審査会合以降に追加したデータ

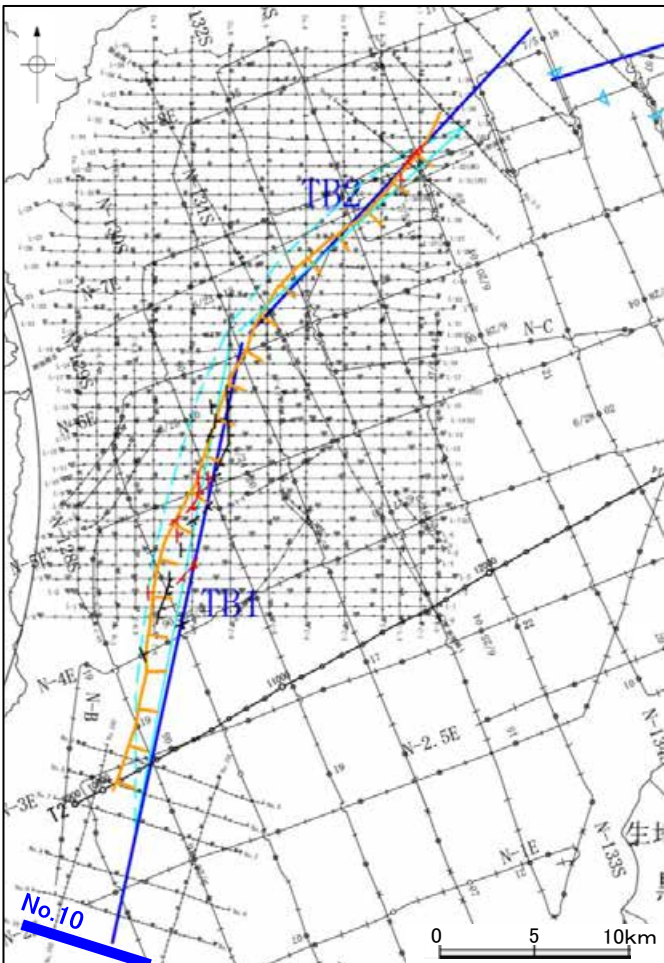
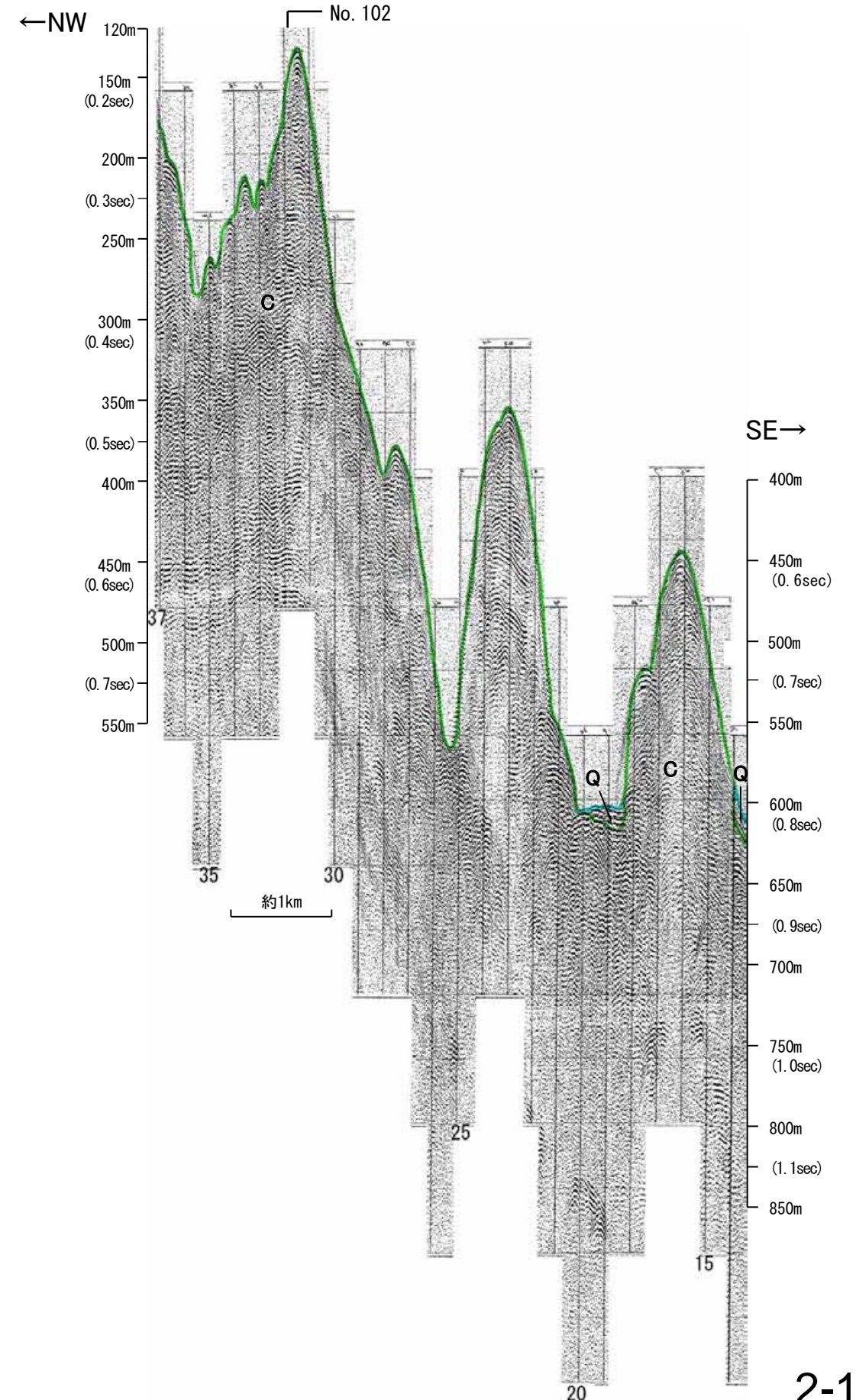


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
更新世	前期	C層	
	鮮新世	D層	
中新世			
古第三紀			
先第三紀			

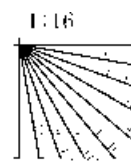


北陸電カスパーカー No.10

第1144回審査会合以降に追加したデータ



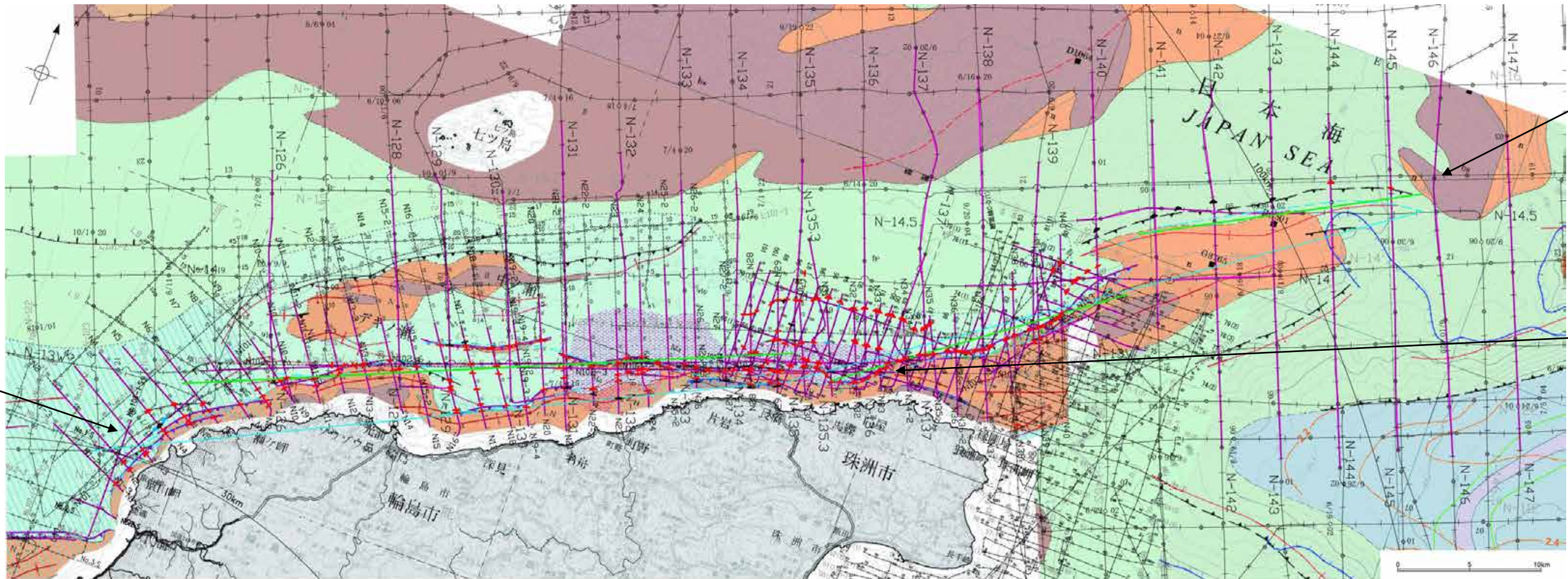
地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	D層
	中期		
更新世	前期	C層	
新第三紀	鮮新世		
	中新世		
古第三紀		D層	
先第三紀			



余白

能登半島北部沿岸域断層帯

音波探査記録 添付測線①(能登半島北部沿岸域断層帯)



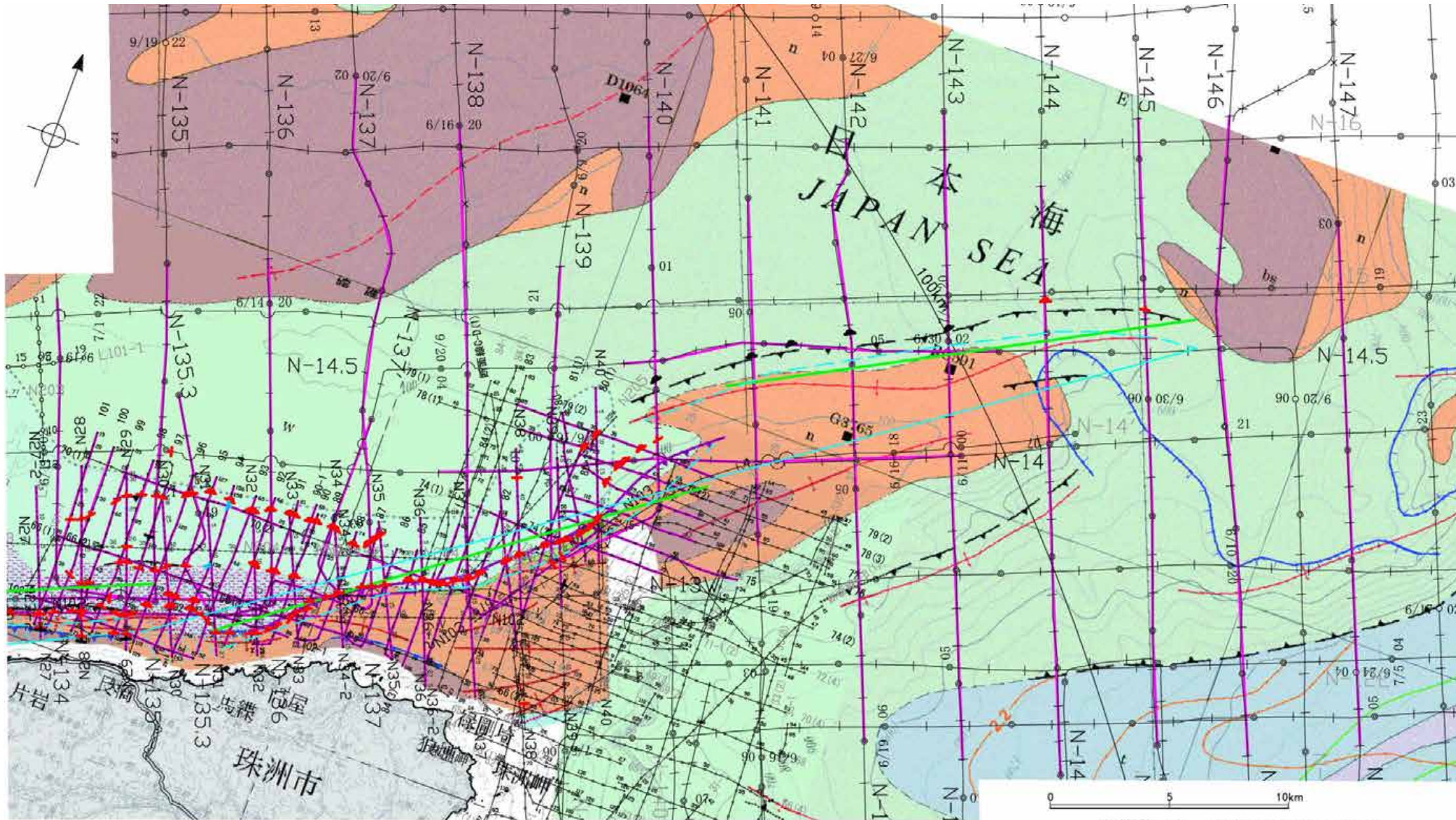
凡 例

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ⊥(△) 連続性のない断層(拗曲) ⊥(D) B₁層以上またはQ層に変位・変形が認められる ⊥(B) B₁層以上またはQ層に変位・変形の可能性が否定できない ⊥(C) B₁層以上またはQ層に変位・変形が認められない — 添付した音波探査記録 — 日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)による津波断層モデルの位置(破線は断層トレース) — 文部科学省研究開発局・国立大学法人東京大学地震研究所(2015)による震源断層モデルの上端位置 | <ul style="list-style-type: none"> No. 3 調査測線(北陸電力: スーパー・シングルチャンネル・約2450ジュール) No. 3-S 調査測線(北陸電力: スーパー・シングルチャンネル・約360ジュール) L3 調査測線(三澤(1997): ウォーターガン・シングルチャンネル) N-130 調査測線(地質調査所: エアガン・シングルチャンネル) N8 調査測線(産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル) 90 調査測線(海上保安庁水路部: スーパー・シングルチャンネル) |
|---|--|

<p>海城地質図凡例</p> <p>能登半島周辺海城地質図 Marine Geological map around Noto Peninsula</p> <p>更新世 Holocene</p> <p>縄文沖層群 Jomonoki Group</p> <p>七尾沖層群 Notooki Group</p> <p>輪島沖層群 Wajimaoki Group</p> <p>南志見沖層群 Najimioki Group</p> <p>音響基盤 Acoustic Basement</p> <p>チャナクシ堆積物 Chanakshi deposits</p>	<p>Legend of offshore geological map</p> <p>詳細地質調査区画 Detailed geological survey area</p> <p>門前沖層 Matsunoki Formation</p> <p>野野沖層 Nobinooki Formation</p> <p>輪島沖層群上部 Upper Wajimaoki Group</p> <p>輪島沖層群下部 Lower Wajimaoki Group</p> <p>南志見沖層群 Najimioki Group</p> <p>音響基盤 Acoustic Basement</p> <p>2007及び2008年詳細地質調査区画 Detailed geological survey area in 2007 and 2008</p>	<p>断層谷壁上面 Upper boundary of canyon wall</p> <p>実在逆断層(点線は伏在) Confirmed reverse fault, dotted where concealed</p> <p>推定逆断層(点線は伏在) Inferred reverse fault, dotted where concealed</p> <p>地直断層(点線は伏在) Fluxus, dotted where concealed</p> <p>実在正断層(点線は伏在) Confirmed normal fault, dotted where concealed</p> <p>実在活断層(点線は伏在) Active flutes, dotted where concealed</p> <p>実在活断層(点線は伏在) Confirmed active reverse fault, dotted where concealed</p> <p>実在背斜軸(点線は伏在) Confirmed anticlinal axis, dotted where concealed</p> <p>背斜軸(点線は伏在) Inferred anticlinal axis, dotted where concealed</p>
--	--	---

[井上・岡村(2010)]

音波探査記録 添付測線②(能登半島北部沿岸域断層帯 北東部)



凡 例

- 連続性のない断層 (撓曲)
- B₁層以上またはQ層に変位・変形が認められる
- B₁層以上またはQ層に変位・変形の可能性が否定できない
- B₁層以上またはQ層に変位・変形が認められない
- 添付した音波探査記録
- 日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)による津波断層モデルの位置 (破線は断層トレース)
- 文部科学省研究開発局・国立大学法人東京大学地震研究所(2015)による震源断層モデルの上端位置
- 調査測線 (地質調査所:エアガン・シングルチャンネル)
- 調査測線 (海上保安庁水路部:スパーカー・シングルチャンネル)
- 調査測線 (産業技術総合研究所:ブーマー・マルチチャンネル)
- 調査測線 (三澤(1997):ウォーターガン・シングルチャンネル)

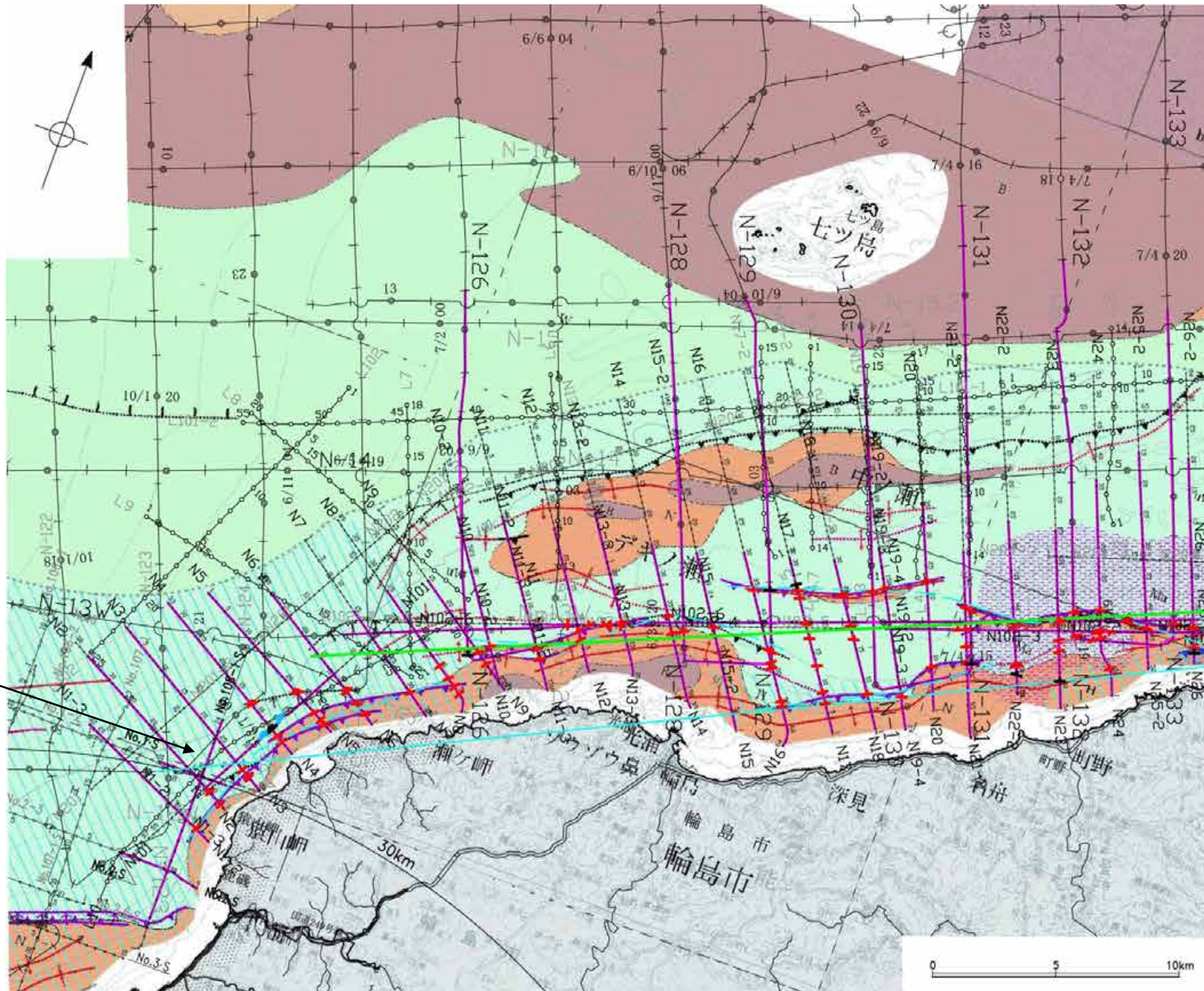
海域地質図凡例

- 能登半島周辺海底地質図
Marine Geological map
around Noto Peninsula
- 詳細海底地質調査範囲
Detailed geological survey area
- | | |
|---|-----------------------------------|
| 完新世
Holocene | 門前沖層
Monzen-oki Formation |
| 後期更新世
Late Pleistocene | 町野沖層
Machino-oki Formation |
| 更新世
~ 鮮新世
Pleistocene
~ Pliocene | 輪島沖層群上部
Upper Wajima-oki Group |
| | 輪島沖層群下部
Lower Wajima-oki Group |
| 新志見沖層群
Najimi-oki Group | 新志見沖層群
Najimi-oki Group |
| 音響基盤
Acoustic Basement | 音響基盤
Acoustic Basement |
| | チャンネル堆積物
Channel deposits |
- 2007及び2008年詳細海底地質調査範囲
Detailed geological survey area in 2007 and 2008

- 海峽谷壁上端
Upper boundary of canyon wall
- 実在逆断層(点線は伏在)
Confirmed reverse fault, dotted where concealed
- 推定逆断層(点線は伏在)
Inferred reverse fault, dotted where concealed
- 撓曲軸(点線は伏在)
Flexure, dotted where concealed
- 実在正断層(点線は伏在)
Confirmed normal fault, dotted where concealed
- 実在活撓曲軸(点線は伏在)
Active flexure, dotted where concealed
- 実在活逆断層(点線は伏在)
Confirmed active reverse fault, dotted where concealed
- 実在斜断層(点線は伏在)
Confirmed oblique-slip fault, dotted where concealed
- 推定斜断層(点線は伏在)
Inferred oblique-slip fault, dotted where concealed

[井上・岡村(2010)]

音波探査記録 添付測線③(能登半島北部沿岸域断層帯 南西部)



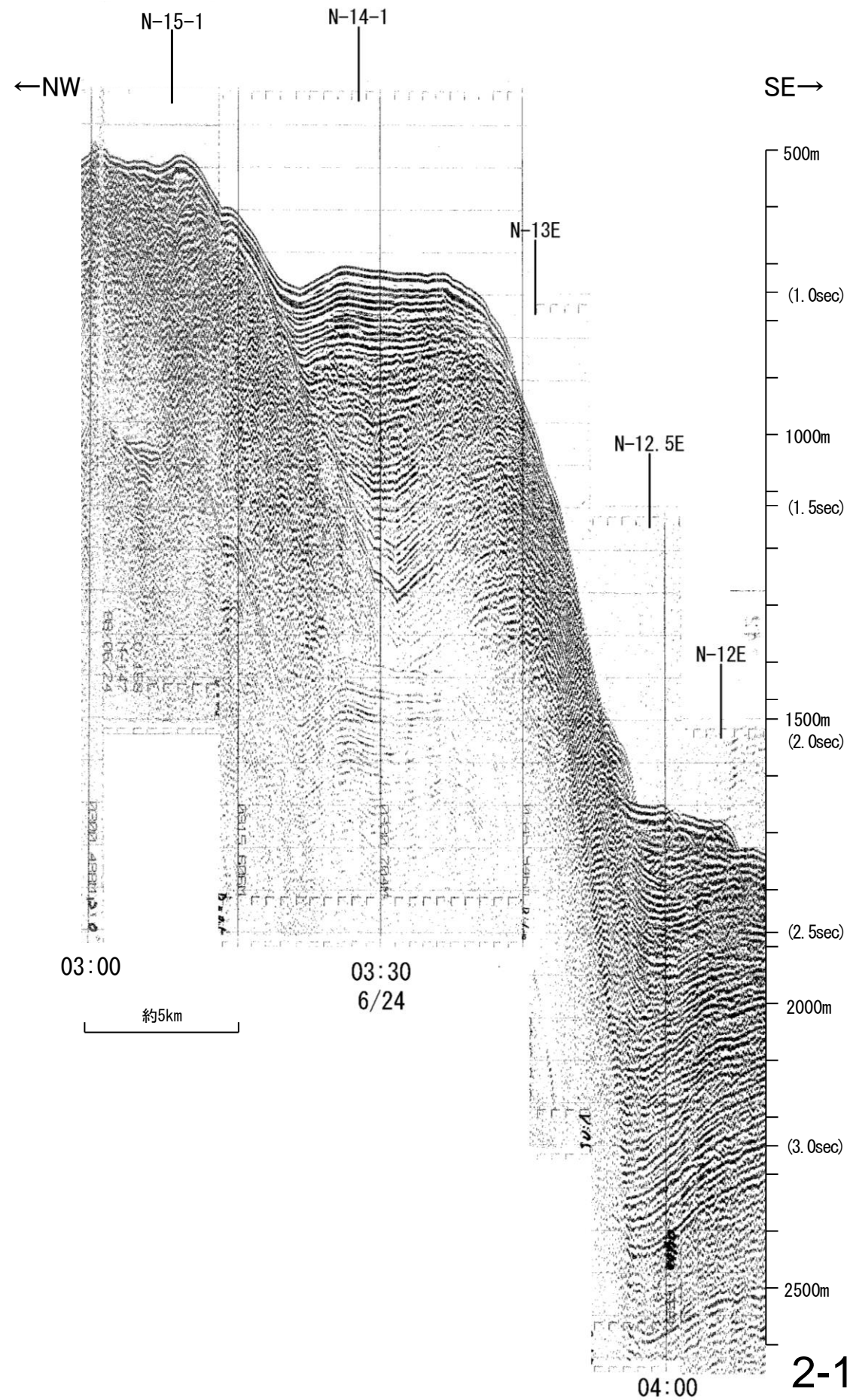
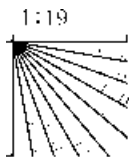
- 凡 例
- F (D) 連続性のない断層 (拗曲)
 - +— B₁層以上またはQ層に変位・変形が認められる
 - +— B₁層以上またはQ層に変位・変形の可能性が否定できない
 - +— B₁層以上またはQ層に変位・変形が認められない
 - No. 3 調査測線 (北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
 - No. 3-S 調査測線 (北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約360ジュール)
 - L3 調査測線 (三澤(1997): ウォーターガン・シングルチャンネル)
 - N-130 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)
 - N8 調査測線 (産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル)
 - 添付した音波探査記録
 - 日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)による津波断層モデルの位置 (破線は断層トレース)
 - 文部科学省研究開発局・国立大学法人東京大学地震研究所(2015)による震源断層モデルの上端位置

- 海域地質図凡例 Legend of offshore geological map
- | 能登半島周辺海域地質図
Marine Geological map
around Noto Peninsula | 詳細海域地質調査範囲
Detailed geological survey area | 海成谷壁上端
Upper boundary of canyon wall |
|---|---|---|
| 完新世
Holocene | 門前沖層
Manzen-oki Formation | 実在逆断層(点線は伏在)
Confirmed reverse fault, dotted where concealed |
| 後期更新世
Late Pleistocene | 町野沖層
Machino-oki Formation | 推定逆断層(点線は伏在)
Inferred reverse fault, dotted where concealed |
| 更新世
Pleistocene | 輪島沖層群上部
Upper Wajima-oki Group | 拗曲軸(点線は伏在)
Flexure, dotted where concealed |
| 輪島沖層群
Wajima-oki Group | 輪島沖層群下部
Lower Wajima-oki Group | 実在正断層(点線は伏在)
Confirmed normal fault, dotted where concealed |
| 南志見沖層群
Najimi-oki Group | 南志見沖層群
Najimi-oki Group | 実在活拗曲軸(点線は伏在)
Active flexure, dotted where concealed |
| 音響基盤
Acoustic Basement | 音響基盤
Acoustic Basement | 実在活逆断層(点線は伏在)
Confirmed active reverse fault, dotted where concealed |
| | チャンネル堆積物
Channel deposits | 実在背斜軸(点線は伏在)
Confirmed antiformal axis, dotted where concealed |
| | | 向斜軸(点線は伏在)
Synclinal axis, dotted where concealed |
- 2007及び2008年詳細海域地質調査範囲
Detailed geological survey area in 2007 and 2008

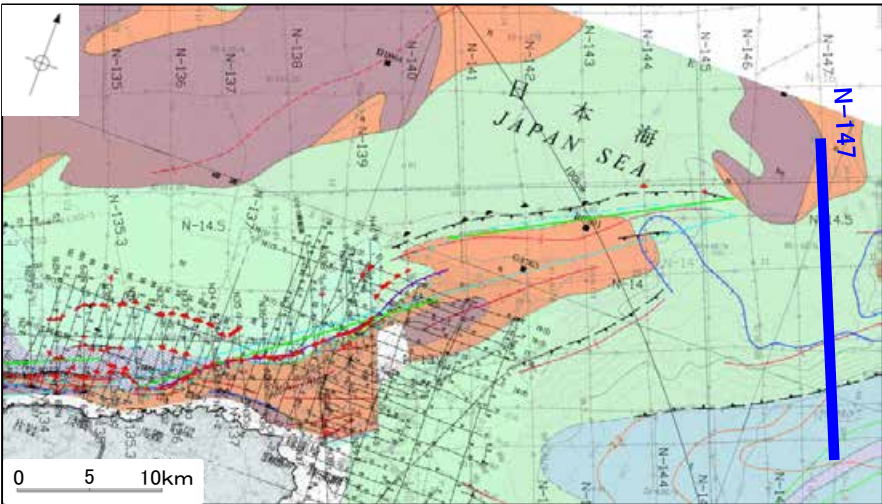
[井上・岡村(2010)]

地質調査所エアガン N-147

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	B層	B層
	中期		B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	D層	D層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層

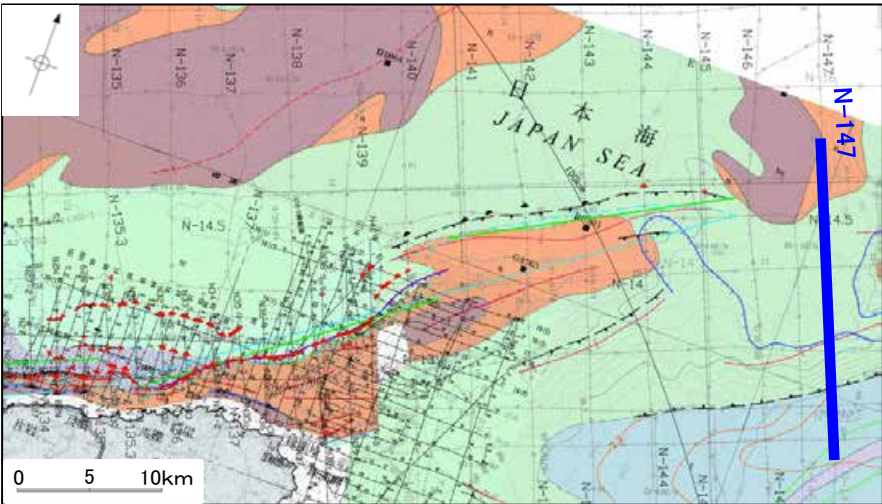
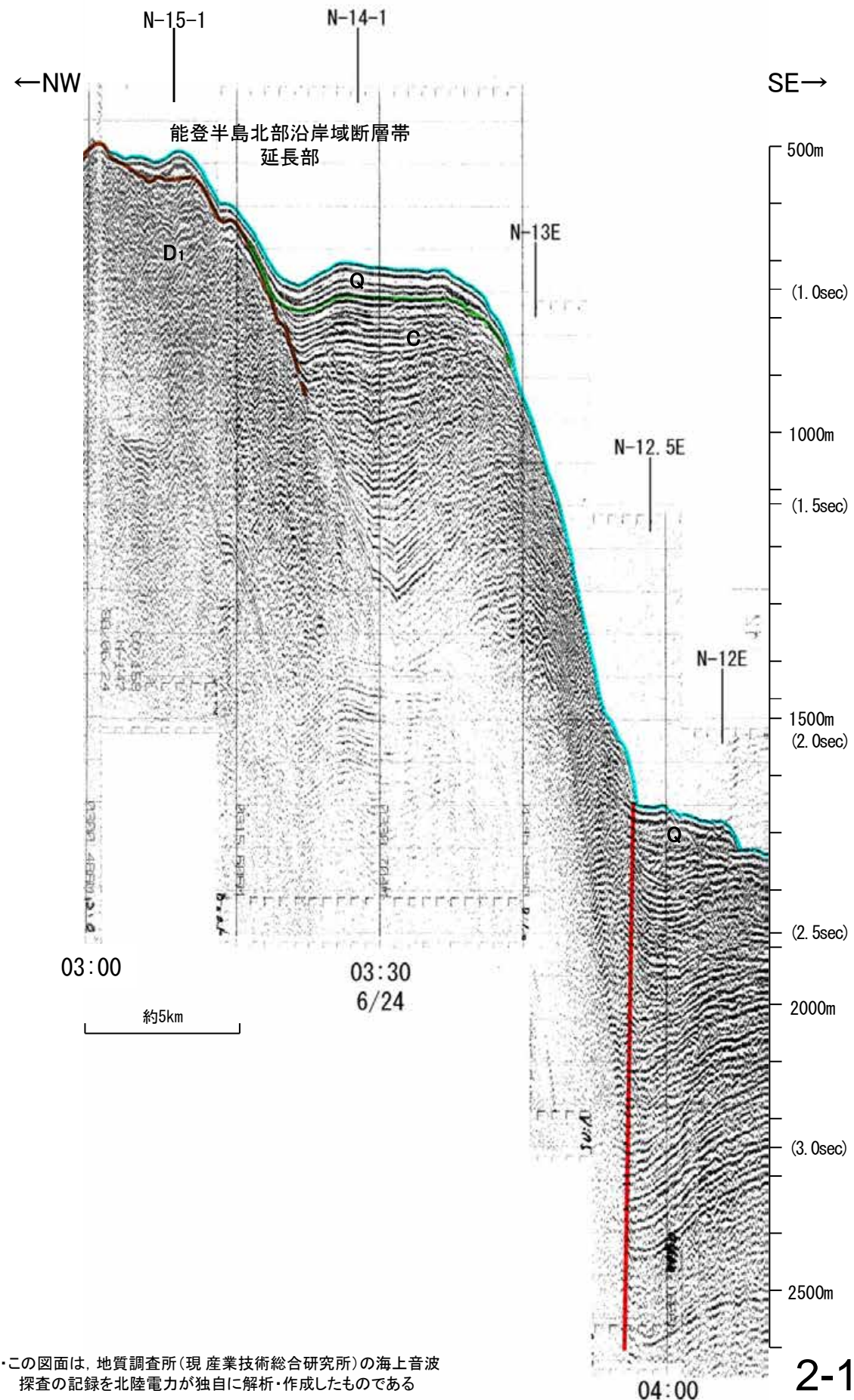
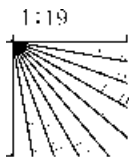


2-13-5



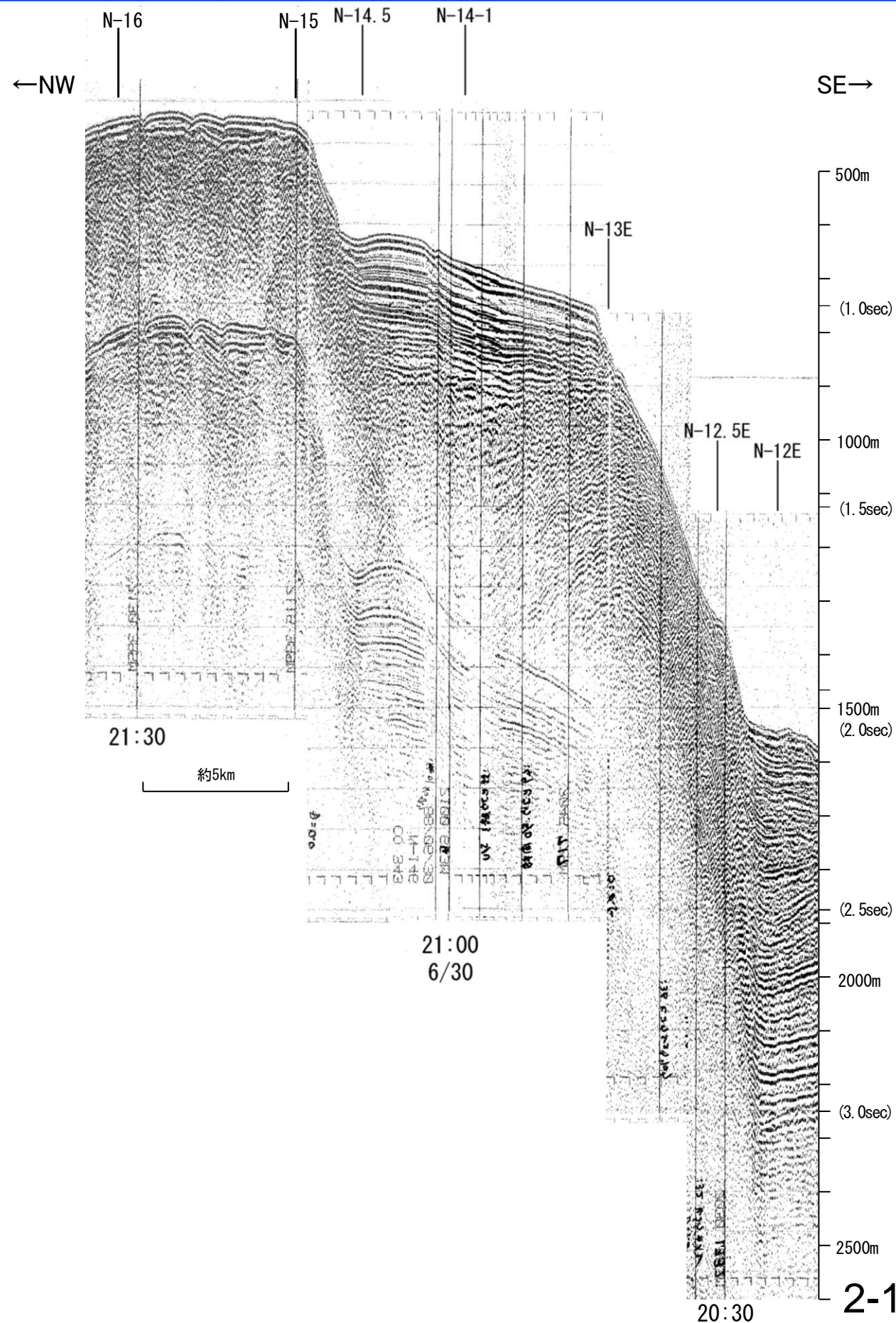
地質調査所エアガン N-147

地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
		B ₃ 層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C ₁ 層
	中新世	D ₁ 層
		D ₂ 層
古第三紀	D ₃ 層	
先第三紀	D ₄ 層	

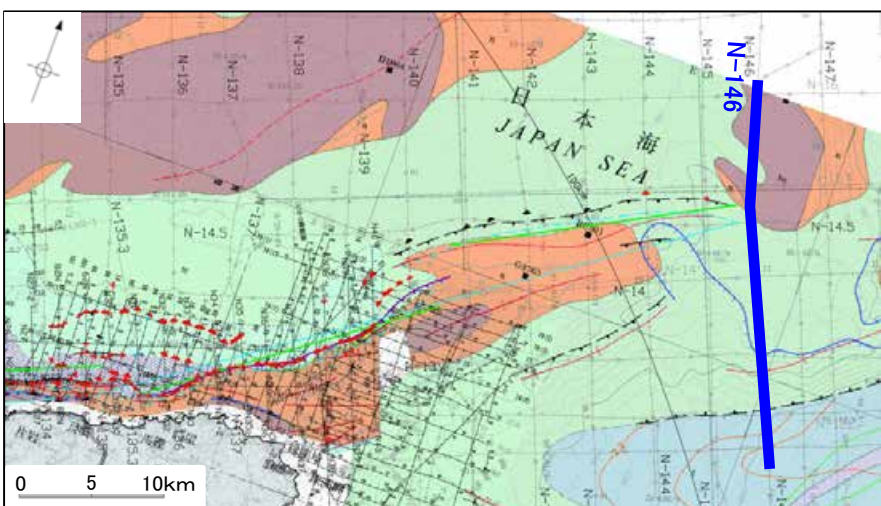
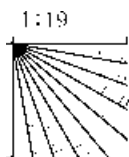


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

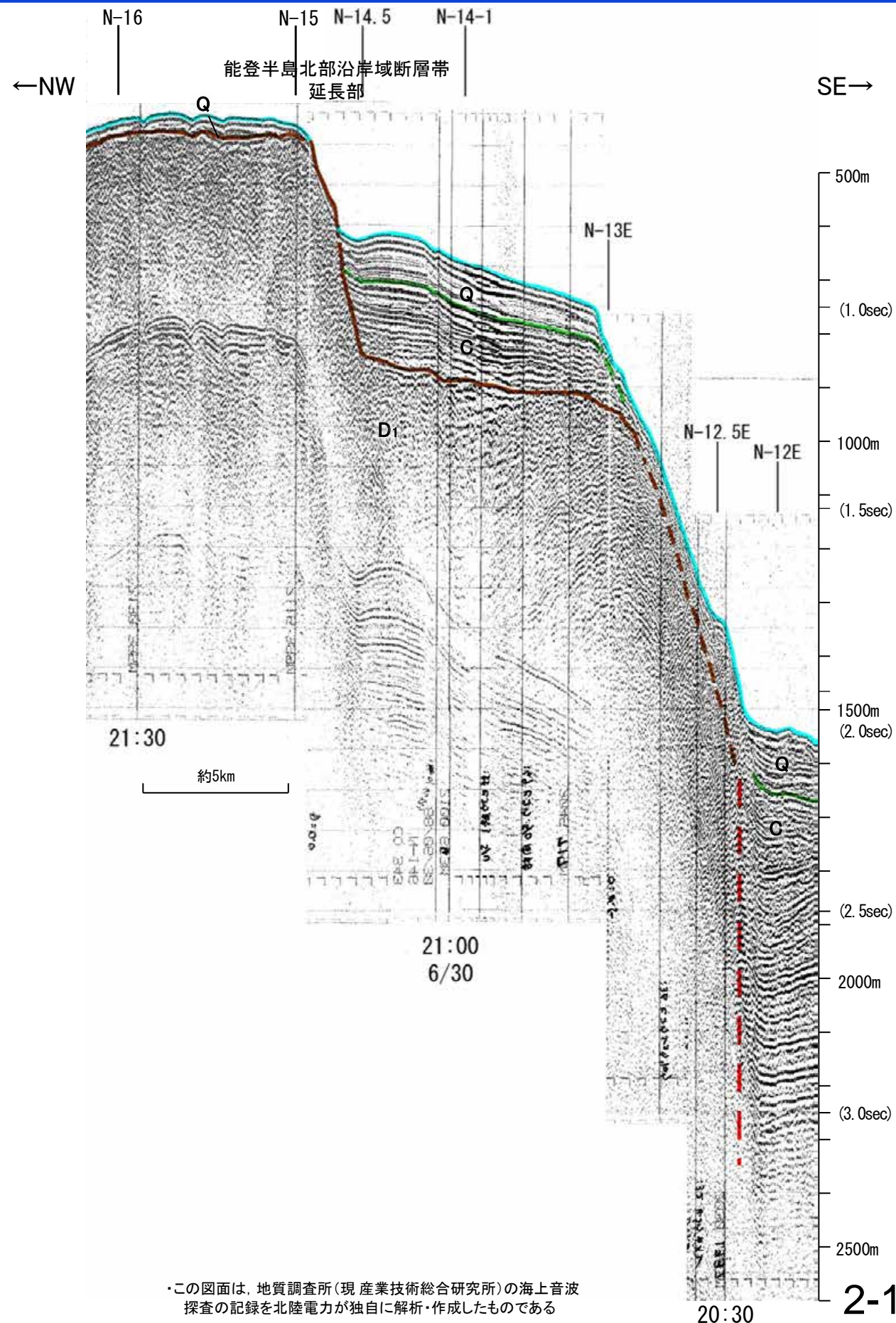
地質調査所エアガン N-146



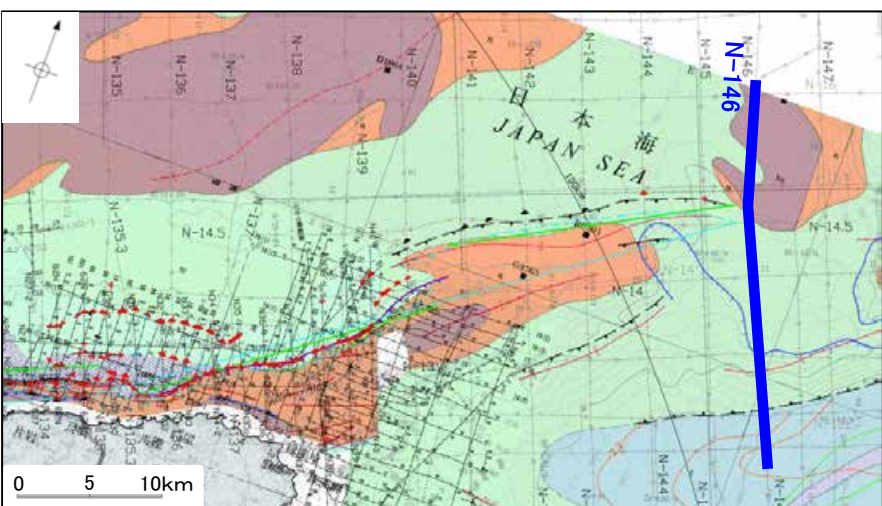
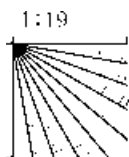
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	中期		B層
	前期		B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀			D層



地質調査所エアガン N-146



地質時代		地層名		
第四紀	完新世	A層		
	後期	B層		
	更新世	中期	B層	
		前期	B層	
第三紀	鮮新世	C層		
	中新世	C層		
		D層		
	古第三紀	D層		
先第三紀	D層			



この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである